本書の見かた

本書ではお車の各装置や装備の正しい取り扱いかたと、快適ドライブ情報やお手入れのしかた、万一のときの応急処置などを記載しています。

◎お車を安全・快適にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
◎「警告」「注意」は安全のために特に重要です。よく読んでお守りください。

■本書の中で使用しているマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。	
⚠ 警告	守らないと生命の危険、または重大な傷害につながるおそれがあります。
⚠ 注意	守らないと傷害、または事故につながるおそれがあります。
お車のために守っていただきたいこと。	
アドバイス	守らないと車両破損につながるおそれや本来の性能を確保できないことがあります。
お車を使ううえで知っておいていただきたいこと。	
知識	知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

■車両型式により異なる装備、またはオプションのため、すべての車に付いていない装備は☆/★マークで表示しています。

■参照して読んで頂きたいページなどを、⌕マークで表示しています。

■画面の表示が、車両の仕様により異なる場合があります。

■日産販売会社で取り付けられた装備（ディーラーオプション）については、その装備に付属の取扱説明書をお読みください。

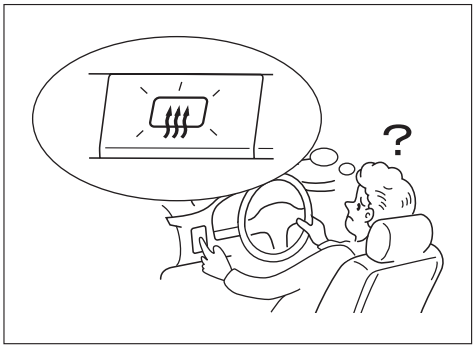
■点検･整備、保証については別冊のメンテナンスノートをお読みください。

■その他、ご不明な点はカーライフアドバイザーにお申しつけください。

・交通ルールやマナーを守って運転しましょう。
・自然環境保護に配慮してください。
・本書と別冊のメンテナンスノートはお車の中に保管してください。
・お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
・車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

検索のしかた

お客さまが知りたい内容・項目を簡単に検索できるように、色々な検索方法を用意しています。



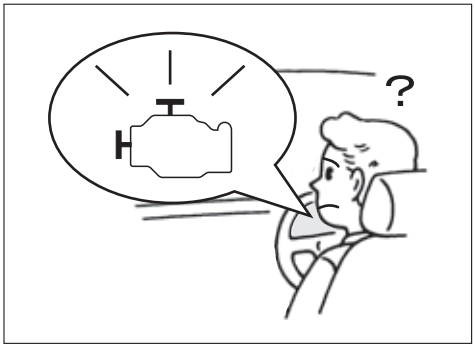
取り付け位置から探す

イラスト目次 …… 4



名称・タイトルから探す

五十音さくいん …… 389
アルファベットさくいん… 397



警告灯・警告表示から探す

警告灯・警告表示
さくいん …… 398

目次

イラスト目次 ……4

1. 必ずお読みください

お出かけまえには ……10
お子さまを乗せるときは ……13
走行するときは ……15
駐・停車するときは ……19
オートマチック車を運転するときは ……20
こんなことにも注意 ……22
こんなときは異常ではありません ……24
イベントデータレコーダ ……25

2. 走行する前に

インテリジェントキー ……28
インテリジェントキー機能について ‥29
キーについて ……31
各部の開閉のしかた ……37
ドアについて ……37
前席ドア ……38
スライドドア ……40
バックドア ……49
キー封じ込み防止機能 ……58
エンジンフード ……59
パワーウインドー ……60
燃料補給口 ……63
ツインサンルーフ ……64
ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた ……67
正しい運転姿勢 ……67
ハンドル ……68
フロントシート ……69
シートヒーター ……74
パーソナルドライビングポジションメモリーシステム ……75
セカンドシート ……78
サードシート ……82
ドアミラー ……86
防眩式ルームミラー ……88
ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー ……88
サイドアンダーミラー ……89
シートベルトの着用のしかた ……90
シートベルトの正しい着用 ……90
シートベルトの着用のしかた ……93
前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト ……97
チャイルドシート ……98
チャイルドシートについて ……98
チャイルドシート適合表 ……100
ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーについて ……102
SRSエアバッグ ……103
SRSエアバッグの作動 ……103
SRSエアバッグが作動するとき・しないとき ……107

3. 走行するとき

メーター・表示灯・警告灯の見かた ‥110
メーター ……110
表示灯 ……150
警告灯 ……154
インテリジェントキー機能の警報について ……161
警報装置 ……165
スイッチの使いかた ……166
ライトスイッチ ……166
方向指示器スイッチ ……173
非常点滅表示灯スイッチ ……173
ワイパー・ウォッシャースイッチ ‥174
リヤウインドーデフォッガースイッチ ……176
ホーンスイッチ ……176
運転のしかた ……177
エンジンスイッチ ……177
パーキングブレーキ ……181
セレクトレバーの使いかた ……182
オートマチック車の運転のしかた ‥186
4WD（4輪駆動）車の扱いかた ‥‥190
ALL MODE 4×4 ……192
VDC（ビークルダイナミクスコントロール）……195
インテリジェント クルーズコントロール ……197
ECOモード ……220
LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）……221
BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）……228
インテリジェントエマージェンシーブレーキ ……239
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）……247
踏み間違い衝突防止アシスト ……251
RCTA（後退時車両検知警報）……268
標識検知機能 ……272
ABS ……276

4. 室内装備の使いかた

エアコンの使いかた ……278
エアコンについて ……278
吹き出し口について ……279
インテリジェントエアコン
システムについて ……283
オートエアコン（前席用）……285
オートエアコン（後席用）……289
オーディオの使いかた ……293
オーディオを上手に使うために ……293
ステアリングスイッチ ……294
カメラシステム ……295
インテリジェント アラウンドビュー
モニター（移動物 検知機能付）……295
室内装備品の使いかた ……308
サンバイザー ……308
室内照明 ……308
ラゲッジルームランプ ……310
コミュニケーションミラー ……311
カップホルダー／ボトルホルダー …312
グローブボックス ……314
リッド付ポケット ……315
運転席アンダーポケット ……315
フロントセンターコンソール ……316
カップホルダー付シートサイド
テーブル ……317
電源ソケット ……318
USB電源ソケット ……319
ロールサンシェード ……320
シートバックフック ……320
アシストグリップ ……321
ラゲッジアンダーボックス ……321
ラゲッジフック ……321
ラゲッジルーム ……322
フロアカーペット ……324

5. 車との上手なつきあいかた

快適ドライブのために ……326
雨の日の快適ドライブ ……326
夏の快適ドライブ ……327
寒冷時の取り扱い ……328
タイヤチェーンについて ……332
お手入れのしかた ……333
外装のお手入れ ……333
内装のお手入れ ……336
ウォッシャー液の補給 ……338
ワイパーの交換 ……338
タイヤの交換 ……340

6. 万一のとき

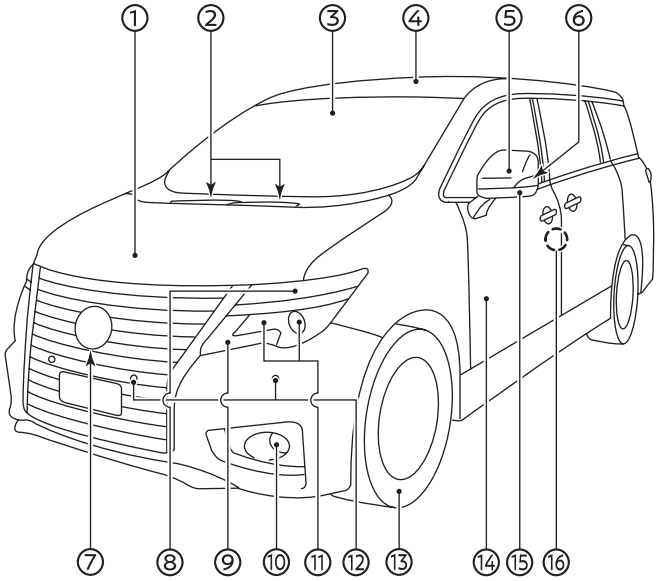
ドアが開かないときは ……344
インテリジェントキーで
ドアが開かない ……344
エンジンが始動しないときは ……345
インテリジェントキーで
始動できない ……345
ジャンプスタートのしかた ……346
ハンドルがロックし、
エンジンの始動ができないときは ……348
ハンドルロック（ステアリングロック）
の解除のしかた ……348
各種警告機能について ……349
警告灯がついたときは ……349
ブザー（警報音）が鳴ったときは …353
くもりが取れないときは ……354
窓ガラスのくもりの取りかた ……354
動かないときは ……355
セレクトレバーが動かない ……355
雪道やぬかるみからの
脱出のしかた ……355
けん引について ……356
路上で故障したときは ……359
発炎筒の使いかた ……359
故障したときの対処方法 ……360
工具・タイヤ
応急修理キットについて ……361
格納場所 ……361
ジャッキアップのしかた
（ディーラーオプション）……362
パンクしたときは ……365
タイヤ応急修理のしかた ……365
オーバーヒートしたときは ……370
水没したときは ……371
ヒューズを点検・交換するときは ……373
電球（バルブ）を交換するときは ……375
事故がおきたときは ……382

サービスデータ

サービスデータ ……383

さくいん

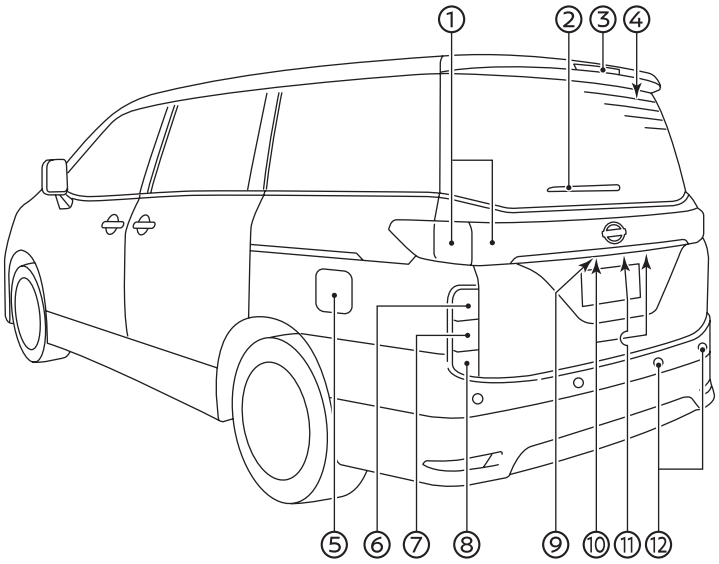
五十音さくいん ……389
アルファベットさくいん ……397
警告灯・警告表示さくいん ……398



ZSI0598

①エンジンフード…… 59
②フロントワイパー…… 174
③マルチセンシング
フロントカメラ…… 214
④ツインサンルーフ…… 64
⑤ドアミラー…… 86
⑥方向指示器 兼 非常点滅表示灯
…… 173、375
⑦インテリジェント アラウンドビュー
モニターカメラ…… 267
⑧方向指示器 兼 非常点滅表示灯
…… 173、375
⑨車幅灯…… 166、375
⑩フォグランプ…… 172、375
⑪ヘッドランプ…… 166、375
⑫ソナー…… 267
⑬タイヤ…… 340、386
⑭前席ドア…… 38
⑮サイドアンダーミラー…… 89
インテリジェント アラウンドビュー
モニターカメラ…… 267
⑯チャイルドセーフティドアロック
…… 43

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



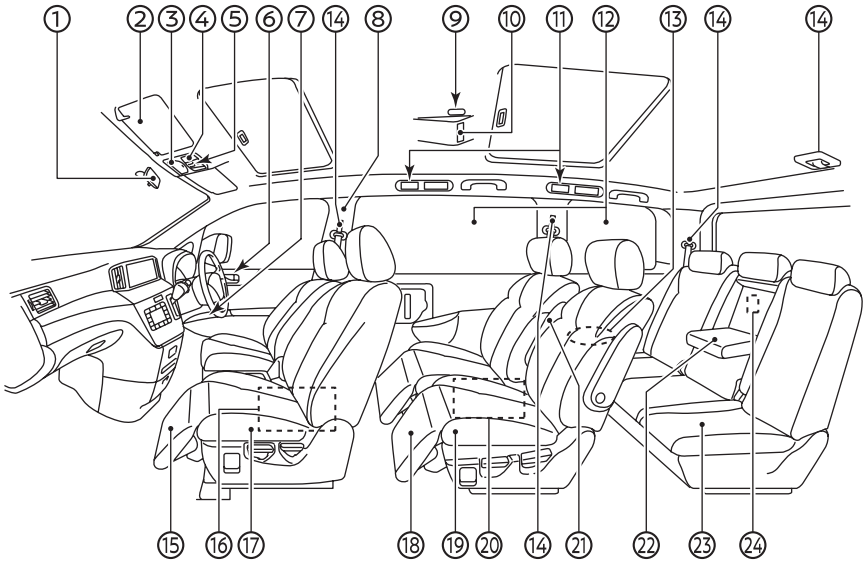
ZSI0564

①尾灯…… 166、375
②リヤワイパー…… 175
③ハイマウントストップランプ…… 375
④リヤウインドーデフォッガー…… 176

⑤燃料補給口…… 63
⑥制動灯…… 375
⑦方向指示器 兼 非常点滅表示灯
…… 173、375

⑧後退灯…… 375
⑨インテリジェント アラウンドビュー
モニターカメラ…… 267
⑩番号灯…… 166、375
⑪電磁式バックドアオープナースイッチ
…… 50
⑫ソナー…… 267

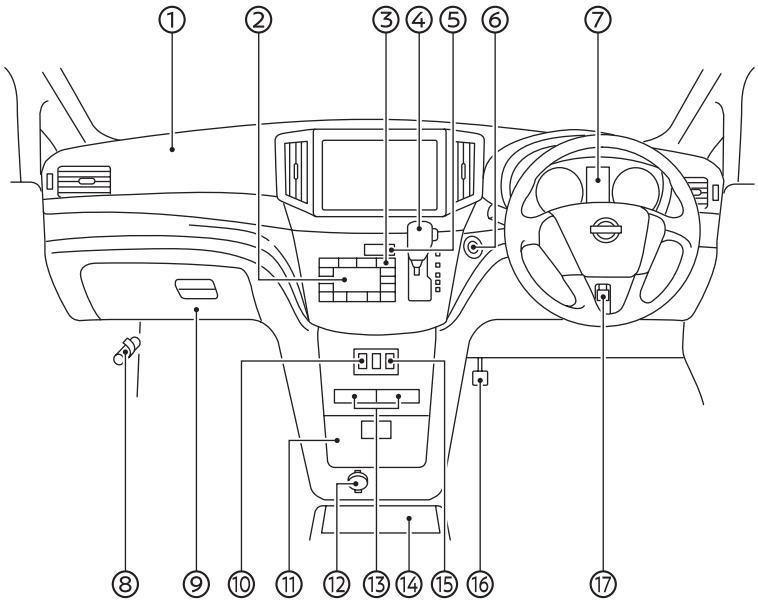
※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



ZSI0599

①ルームミラー…… 88
②サンバイザー…… 308
③コミュニケーションミラー…… 311
④マップランプ…… 308
⑤サンルーフスイッチ（前席スイッチ）
…… 65
⑥ロックノブ…… 40
⑦パワーウインドースイッチ…… 60
ドアロックスイッチ…… 40、41
ドアミラースイッチ…… 86
⑧SRSカーテンエアバッグシステム
…… 103
⑨サンルーフスイッチ（後席スイッチ）
…… 66
⑩エアコンスイッチ（後席用）…… 292
⑪パーソナルランプ…… 309
⑫ロールサンシェード…… 320
⑬サードシート用カップホルダー 313
⑭シートベルト
…… 90
⑮助手席オットマン…… 73
⑯フロントセンターコンソール…… 316
USB電源ソケット …… 319
⑰フロントシート…… 69
⑱セカンドシートオットマン…… 81
⑲セカンドシート…… 78
⑳カップホルダー付シートサイド
テーブル…… 317
㉑アームレスト（セカンドシート）
…… 80
㉒アームレスト（サードシート）… 85
㉓サードシート…… 82
㉔シートバックフック…… 320

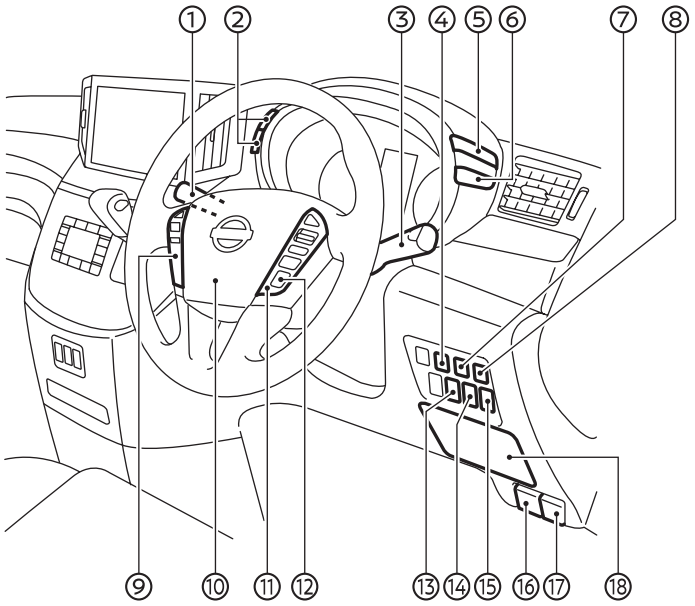
※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



ZSI0600

①助手席SRSエアバッグシステム……103
②エアコン……278
③リヤウインドーデフォッガースイッチ……176
④セレクトレバー……182
⑤非常点滅表示灯スイッチ……173
⑥エンジンスイッチ……177
⑦メーター……110
⑧発炎筒……359
⑨グローブボックス……314
⑩シートヒータースイッチ（助手席）……74
⑪リッド付ポケット……315
⑫電源ソケット……318
⑬カップホルダー（インスト部）…312
⑭カップホルダー（フロントセンターコンソール前端）……312
⑮シートヒータースイッチ（運転席）……74
⑯パーキングブレーキ……181
⑰ハンドル位置調節レバー……68

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。



ZSI0601

①ワイパー・ウォッシャースイッチ …… 174
②イルミネーションコントロール スイッチ…… 112
③ライトスイッチ…… 166
フォグランプスイッチ…… 172
方向指示器スイッチ…… 173
④VDC OFFスイッチ…… 196
⑤ECOモードスイッチ …… 220
⑥トリップ切り替えスイッチ…… 111
⑦助手席側オートスライドドアスイッチ …… 46
⑧運転席側オートスライドドアスイッチ …… 46
⑨ステアリングスイッチ…… 114
⑩運転席SRSエアバッグシステム …… 103
⑪ステアリングスイッチ …… 203、216
⑫セーフティ・シールドスイッチ …… 225、233
⑬駆動モード切り替えスイッチ…… 192
⑭オートバックドア運転席スイッチ …… 56
⑮オートドアメインスイッチ
ワンタッチオートスライドドア… 45
リモコンオートバックドア…… 55
⑯エンジンフードオープナー…… 59
⑰フューエルフィラーリッドオープナー …… 63
⑱ヒューズボックス…… 373
運転席アンダーポケット…… 315

※車両により異なる装備、オプション装備なども含んでいます。

必ずお読みください 1

お車を安全にお使いいただくため、必ず守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
ご使用前には各章と合わせて必ずお読みください。

●お出かけまえには……10
●お子さまを乗せるときは……13
●走行するときは……15
●駐・停車するときは……19
●オートマチック車を運転するときは……20
●こんなことにも注意……22
●こんなときは異常ではありません……24
●イベントデータレコーダ……25

⚠重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

日常点検は必ず実施

●車を安全にお使いいただくため、日常点検は必ず実施してください。
車の状態に応じて、適切な時期に実施することが法律で義務づけられています。
メンテナンスノートをお読みください。

●いつもと違うことに気がついたら日産販売会社で点検を受けてください。
（音、振動、臭い、水・油漏れなど）



TSB0433Z

タイヤの空気圧を点検する

●タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。
タイヤ空気圧の点検…P.341

バッテリーの液量を点検する

●バッテリーの液量が下限（LOWER LEVEL）以下になったまま使用、または充電すると、バッテリーが爆発するおそれがあります。日常点検でバッテリーの液量を点検してください。
メンテナンスノートをお読みください。

車にあった燃料を補給

●指定以外の燃料は補給しないでください。

●軽油や有鉛ガソリン、粗悪な燃料を使用すると車に悪影響を与えます。

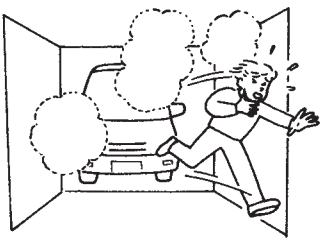
エンジン型式	指定燃料
QR25DE	無鉛レギュラーガソリン
VQ35DE	無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン

●VQ35DEエンジン搭載車は、無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンも使用できますが、エンジン出力低下などの現象が発生します。

車庫や屋内ではエンジンをかけたままにしない

●車庫や屋内など換気が悪い所では、排気ガスが充満しやすいため、エンジンをかけたままにしないでください。排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

●排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、日産販売会社で点検を受けてください。排気ガスが車内に侵入するおそれがあり危険です。



TCB0002Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

正しい運転姿勢に調節

●走行前にシート、ハンドル、ヘッドレストの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、ドアミラー、ルームミラーなどを後方視界が十分確認できる位置に調節してください。

正しい運転姿勢…P.67

シートベルトは正しく着用

●走行する前に必ず全員がシートベルトを着用してください。

●シートベルトは正しく着用しないと、ベルトの効果が十分発揮できません。また、ベルトによりケガをするおそれがあります。正しい着座姿勢で正しく着用してください。



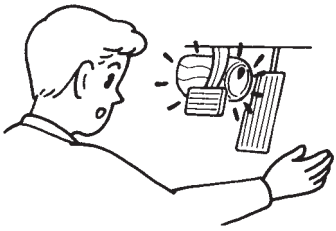
TCA0003Z

シートベルトの正しい着用…P.90

運転席足元には物を置かない

●足元のまわりにあき缶などの物を置かないでください。

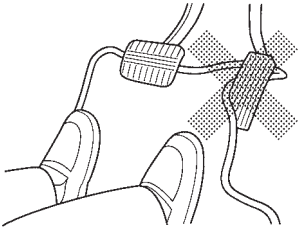
●ブレーキペダルやアクセルペダルに物が挟まると、ペダルの操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0004Z

車に合わないフロアカーペットは使わない

●この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出る、またはブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



ESD0143Z

フロアカーペット…P.324

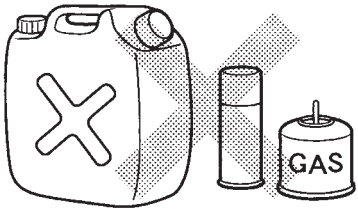
⚠重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

●ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。

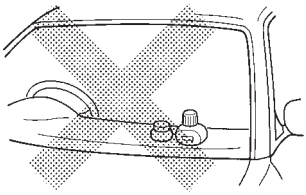


TCA0005Z

インストルメントパネルの上に物を置かない

●アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。SRSエアバッグが作動したときの衝撃で飛び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●走行中に移動しやすい物や、視界を妨げるような大きい物は置かないでください。安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

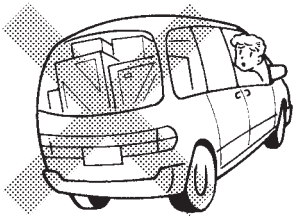


TCA0006Z

荷物を積みすぎない

●助手席や後席に荷物を重ねて積まないでください。急ブレーキなどのとき荷物が落ちてきて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

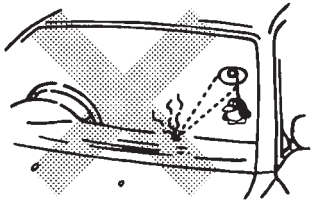
●ラゲッジルーム（荷室）に荷物を置くときは、背もたれの高さを越えないようにしてください。



TSB0434Z

アクセサリーの取り付けに注意

●ウインドーにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こすおそれがあります。また、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0029Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



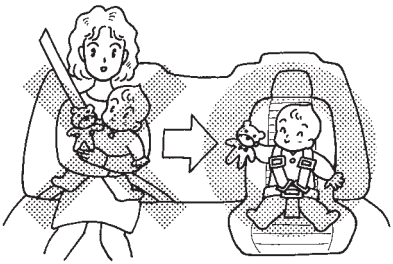
お子さまを乗せるときは

お子さまは後席に

●助手席に乗せるのは避けてください。お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。
また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用

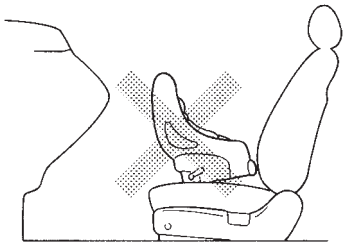
●お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いていると、衝突時などに支えることができず重大な傷害を受けるおそれがあります。
シートベルトの着用のしかた…P.90
●シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨に掛からないような小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。
チャイルドシート…P.98



TCA0008Z

チャイルドシートは後席に

●チャイルドシートは後席に取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。
固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
詳しくは、P.98の「チャイルドシート」も合わせてお読みください。
●助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けることはできません。SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、死亡、または重大な傷害につながるおそれがあります。やむを得ず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。
●チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、荷室などに収納してください。室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0355Z

チャイルドシート…P.98

⚠重要です。しっかりお読みください。



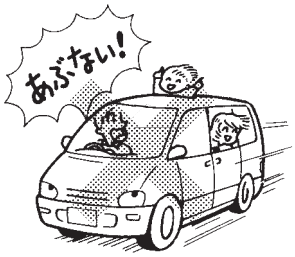
お子さまを乗せるときは

ドア、ウインドーなどは大人が操作

- ドア、ウインドー、サンルーフなどの開閉は、お子さまには操作させないでください。開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドセーフティドアロック（P.43）やパワーウインドーロックスイッチ（P.62）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。

窓やサンルーフから手や顔を出さない

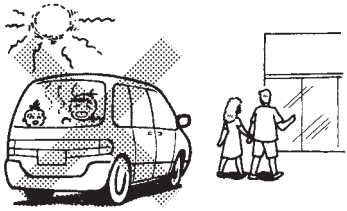
- お子さまが手や顔を出さないように注意してください。急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。



TCD0053Z

車内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまを一緒に降ろしてください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSB0436Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

車のためにならし運転を

●エンジン本体、駆動系など、この車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。
走行距離約1,600kmまでは適度な車速、エンジン回転数で運転してください。

走行中は電話をしない

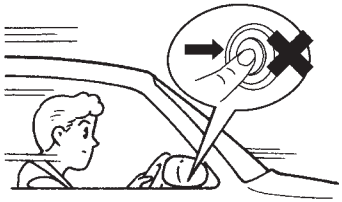
●運転中のハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話などの使用はやめてください。周囲への注意力が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCA0031Z

走行中はエンジンを止めない

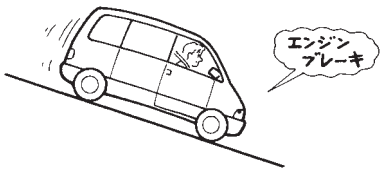
●エンジンが止まると、極度にハンドル操作力が重くなったり、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●エンジンをかけないで坂道を利用した移動は、極度にブレーキの効きが悪くなります。また、ハンドル操作力が重くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ZSS0016

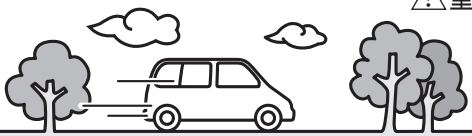
長い下り坂ではエンジンブレーキを併用

●ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じてエンジンブレーキを併用してください。（エンジンブレーキとは走行中アクセルペダルから足を離したときに発生するブレーキ力です。）
●坂の勾配に応じて最適なエンジンブレーキになるよう自動化してありますが、坂の勾配に応じてマニュアルモードを低速ギヤに入れます。
下り坂の走行…P188



TCB0006Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

雨天時の走行は速度を落とす

●路面がぬれると滑りやすくなります。
通常より注意して安全運転に心がけてください。

●わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロプレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。スピードを落として走行してください。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起こりやすいので注意してください。

●冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。



TCB0007Z

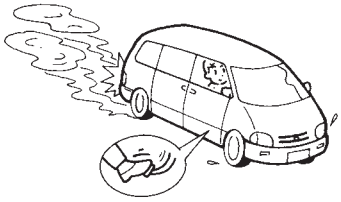
タイヤを傷つける運転をしない

●道路の縁石などにタイヤの側面を接触させないでください。また、道路上の凹みや突起物の乗り越しなどは避けてください。タイヤを傷つけるおそれがあります。

水たまり走行後はブレーキの効きを確認

●水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ブレーキペダルを軽く踏んで効きを確認してください。

●効きが悪いときは、周囲の安全に十分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまでブレーキペダルを繰り返し軽く踏んでください。

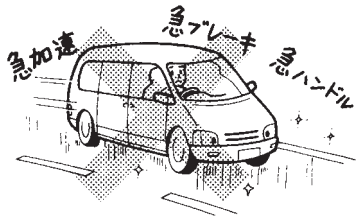


TCB0008Z

滑りやすい路面を走行するときは慎重に

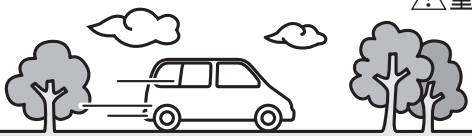
●ぬれた路面や凍結路、積雪路などではスピードを落としてください。

●急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキは避けてください。
タイヤがスリップしやすく、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCB0009Z

⚠重要です。しっかりお読みください。

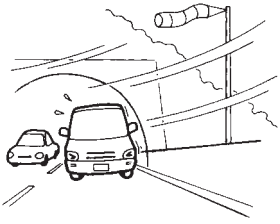


走行するときは

横風が強いときは

●横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落としてください。

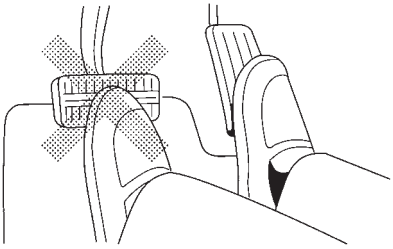
●トンネルの出口、橋の上、切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。



TCB0010Z

ブレーキペダルに足をのせたままにしない

●ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。ブレーキの部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱することにより効きが悪くなるおそれがあります。



TCA0019Z

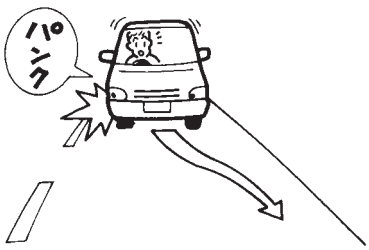
走行中に異常があったら

●異常を検知すると、マスターウォーニングが点灯し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告を表示します。

●警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。

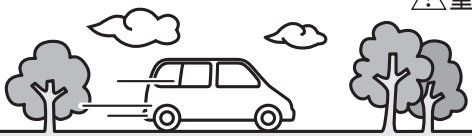
●走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）したときは、あわてずにハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落とし、安全な場所に停車してください。急ブレーキや急ハンドルを行うと、車両がコントロールできなくなり危険です。

●床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料の漏れ、マフラーなど車体下部の各部に損傷がないか確認してください。漏れや損傷がある場合は、日産販売会社に連絡してください。



TCB0011Z

⚠重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

車を後退させるときは周囲に注意

●バックミラーやインテリジェント アラウンドビューモニター★では確認できない視界があります。車から降りて後方の人や障害物を確認してください。

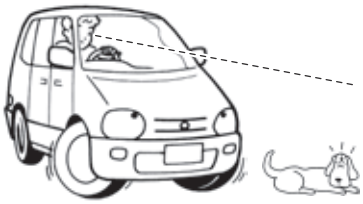


ZSS0044

車を発進させるときは周囲に注意

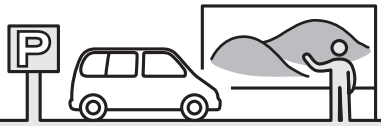
●この車は構造上通常の乗用車に比べ、車両の前方及び左斜前方が確認しにくいので、発進時などは周囲に十分注意をはらってください。

サイドアンダーミラー★…P.89



ZSS0045

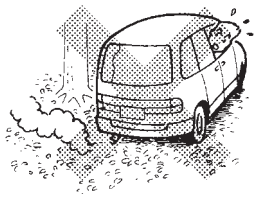
⚠重要です。しっかりお読みください。



駐・停車するときは

燃えやすい物の上や近くに駐・停車しない

●枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐・停車しないでください。排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。



TSB0437Z

車から離れるときは必ずエンジンを止め施錠する

●無人で車が動き出したり、盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止めてから施錠してください。

●お子さまや介護が必要な方を車内に残したままにしないでください。貴重品を置いたままにしないでください。

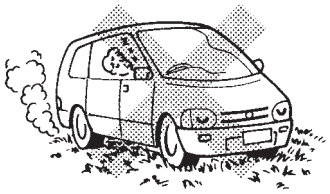
●坂道駐車はパーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーを**P**に入れてください。更にタイヤに輪止めをすると効果があります。

仮眠や長時間駐車するときは必ずエンジンを止める

●無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。

●以下の状況ではエンジンをかけたままにしないでください。一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

・雪が積もった場所や降雪時
・壁などに囲まれた換気の悪い場所
・他車の排気口が近くにあるとき

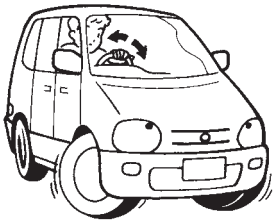


TCB0012Z

ハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けない

●車庫入れなどで、エンジンをかけたままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、ハンドル操作力が重くなることがありますが異常ではありません。

詳しくは、電動ポンプ式油圧パワーステアリング警告灯…P.157をお読みください。



TCB0013Z

⚠重要です。しっかりお読みください。

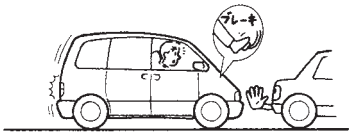


オートマチック車を運転するときは

オートマチック車はその特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。
詳しくは、P.186の「オートマチック車の運転のしかた」も合わせてお読みください。

クリープ現象に注意

- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーをP、N以外に入れると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。（これをクリープ現象といいます。）
- 停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。特にエンジン始動直後やエアコン作動時など、エンジン回転数が上がっているときは、動く力が強くなりますので、しっかりと踏んでください。



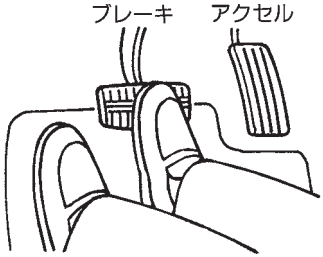
TCB0016Z

キックダウンは適切に

- セレクトレバーがDで走行中にアクセルペダルをいっぱいに踏み込むと、エンジン回転数が上がって、自動的に低速ギヤに切り替わり急加速します。（これをキックダウンといいます。）
- 滑りやすい路面や急カーブではキックダウン操作を避けてください。キックダウンすると、タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ペダルの位置を確認

- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。エンジンをかける前に必ずペダルの位置を確認してください。
- アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



TCA0579Z

セレクトレバーの操作は正しく確実に

- 発進時はブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを操作してください。アクセルペダルを踏んだ状態で操作すると、急発進して危険です。
- 後退したあとは、すぐセレクトレバーをRからNに戻す習慣をつけてください。

セレクトレバーの使いかた…P.182

⚠重要です。しっかりお読みください。

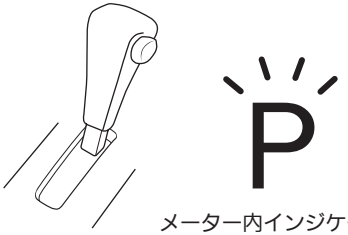


オートマチック車を運転するときは

セレクトレバー位置は目で確認

●エンジンをかけるときはP、前進するときはD、後退するときはRにあることを目で確認してください。

●電源ポジションがONのとき、セレクトレバーをRに入れると、後退位置を知らせるブザーが車内で鳴ります。（車外の人に注意するものではありません。）

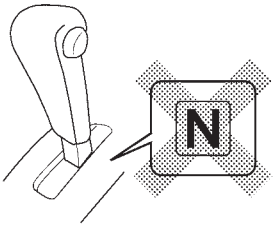


メーター内インジケーター

ESF0301Z

走行中はNにしない

●走行中にセレクトレバーをNにすると、エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスアクスルが故障する原因となります。



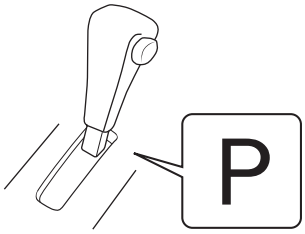
ESF0302Z

無用な空吹かしはしない

●万一、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車するときはPにする

●エンジンがかかったまま、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ESF0303Z

シフトロックシステム

よく理解して正しく操作してください。

●電源ポジションがONのときは、ロック装置が作動し、ブレーキペダルを踏んでいないと、Pからセレクトレバーを動かすことができません。

●セレクトレバーをPに入れないと、電源ポジションがLOCKになりません。

●セレクトレバーのボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かせないことがあります。
ブレーキペダルを踏んでから、セレクトレバーのボタンを押してセレクトレバーを動かしてください。

⚠重要です。しっかりお読みください。



こんなことにも注意

炎天下で駐車するときは

●炎天下で駐車するときは、車内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

ガスライターにも注意

●操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れないでください。また、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して、火災につながるおそれがあります。

工具や布などの置き忘れに注意

●点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

ラジエーターが熱いときはキャップを外さない

●ラジエーターやリザーバータンクが熱いときはキャップを外さないでください。
蒸気や熱湯が噴き出し危険です。

●冷却水の補給は温度が下がってから行ってください。

診断機接続用のコネクターにはご注意を

●診断機接続用のコネクターには、後付け用品を取り付けないでください。バッテリーがあがったり、警告灯が点灯するなど、思わぬトラブルをまねくおそれがあります。

⚠重要です。しっかりお読みください。

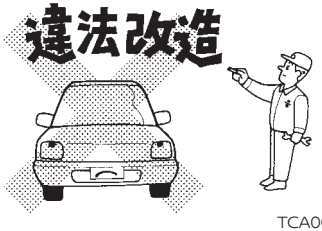


こんなことにも注意

違法改造はしない

●車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。本来の性能を発揮できなくなる可能性があります。故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。

●日産が国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。



TCA0030Z

●次のような場合には日産販売会社にご相談ください。

・タイヤ、ロードホイールの交換

指定以外のタイヤやロードホイールを装着しないでください。性能や機能に支障をきたし、安全な走行ができなくなるおそれがあります。

・電装品などの取り付け

適切でない電装品などを取り付けないでください。電子機器部品に悪影響を及ぼすおそれがあります。また、誤った配線は故障や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

また、バッテリー端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。バッテリーがあがる可能性があります。

（詳しくは、日産販売会社へご相談ください。）

・ハンドルの取り外しや交換

ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

冷却水に添加剤などを入れない

●冷却水には、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤を入れないでください。冷却装置に悪影響を及ぼし、車両故障につながるおそれがあります。

●冷却水は、日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

フロントバンパーと路面の干渉に注意

●エアロバンパー装着車は路面との間隔が狭いため、段差の大きい場所や縁石などに特に注意してください。フロントバンパーが路面と干渉して、破損するおそれがあります。

無線送信機の取り付けについて

●お車に無線送信機を取り付けると、電装システムに影響を及ぼす可能性があります。
悪影響を防ぐための措置や取り付け方法については、必ず日産販売会社にご相談ください。
お客さまのご要望により、無線送信機の取り付けに関する詳しい情報（周波数帯域・電力レベル・アンテナ位置・取り付け条件）を日産販売会社にてご提供します。

⚠重要です。しっかりお読みください。



こんなときは異常ではありません

ブレーキペダルを踏むと音がする

●朝一番及び長時間駐車後の走り始め、または降雨後や洗車後など湿気が多いときにブレーキペダルを踏むと、“キー”という音がする場合があります。この音はブレーキパッドが水分を吸収し、表面の摩擦力が一時的に変化したためで異常ではありません。

●これらの音がときどきするのは異常ではありませんが、頻繁に音がする場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる

●ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもるのと同様の現象で、機能上の問題ではありません。

また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。

ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

⚠重要です。しっかりお読みください。



イベントデータレコーダ

車両データの記録・蓄積について

●この車両に装備されている以下システムの各コンピュータはEDR（イベントデータレコーダ）機能を備えています。
以下システムの各コンピュータは正常に作動しているかどうかを常に診断し、EDRで車両が衝突したときの車両データを記録・蓄積しています。

SRSエアバッグシステム

●SRSエアバッグシステムが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。
・エアバッグシステムの作動に関する情報
・エアバッグシステムの故障診断情報

知識

●EDR（イベントデータレコーダ）は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

データの扱いについて

●日産自動車及び日産自動車が委託した第三者は、EDRに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。
なお、日産自動車及び日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。
・車両の使用者の同意がある場合
・裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
・統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

走行する前に 2

●インテリジェントキー…… 28
インテリジェントキー機能について …… 29
キーについて …… 31

●各部の開閉のしかた…… 37
ドアについて …… 37
前席ドア …… 38
スライドドア …… 40
バックドア …… 49
キー封じ込み防止機能 …… 58
エンジンフード …… 59
パワーウインドー …… 60
燃料補給口 …… 63
ツインサンルーフ …… 64

●ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた…… 67
正しい運転姿勢 …… 67
ハンドル …… 68
フロントシート …… 69
シートヒーター …… 74
パーソナルドライビングポジションメモリーシステム …… 75
セカンドシート …… 78
サードシート …… 82
ドアミラー …… 86
防眩式ルームミラー …… 88
ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー …… 88
サイドアンダーミラー …… 89

●シートベルトの着用のしかた…… 90
シートベルトの正しい着用 …… 90
シートベルトの着用のしかた …… 93
前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト …… 97

●チャイルドシート…… 98
チャイルドシートについて …… 98
チャイルドシート適合表 ……100
ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーについて…102

●SRSエアバッグ ……103
SRSエアバッグの作動 ……103
SRSエアバッグが作動するとき・しないとき ……107

インテリジェントキー

インテリジェントキーを携帯することにより、キーを取り出すことなくドアの施錠・解錠やエンジンの始動が可能になる機能です。従来通り、リモートコントロールエントリー機能も使えます。

⚠ 注意

インテリジェントキーは運転者が必ず携帯してください。

- エンジンの始動やドアの施錠・解錠など、車を操作するために必要なものです。

アドバイス

- インテリジェントキーは微弱な電波を使用しています。
  次のような使用環境では機能に障害が起こるため、インテリジェントキー機能やリモートコントロールエントリー機能が正常に作動しない場合があります。その場合には、メカニカルキーを使って操作を行ってください。
  - ・近くにテレビ塔や発電所、放送局など強い電波を発生する設備があるとき。
  - ・無線機や携帯電話などの無線通信機器を一緒に携帯しているとき。
  - ・インテリジェントキーが金属性のものに接したり、覆われたりしているとき。
  - ・近くで電波式リモートコントロールエントリーを使用しているとき。
  - ・インテリジェントキーをパソコンなどの電化製品の近くに置いたとき。
  - ・コインパーキングに駐車したとき。（車両検出用の電波の影響があるため）
  - ・近くで電波式侵入警報装置を使用しているとき。
  - ・極端に気温が低いとき。（電池の性能が低下するため）
- インテリジェントキーは電波法の認証に適合しています。次のことを必ずお守りください。
  - ・電池を交換するとき以外は分解しない。（分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。）
  - ・日本国内のみで使用する。
- インテリジェントキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池の寿命は使用状況によりますが約2年程度です。電池が切れた場合は、新しい電池と交換してください。（P. 35）
- インテリジェントキーをテレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。
  電池を著しく消耗することがあります。
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、応急処置としてエンジンの始動やドアの施錠・解錠を行うことができます。
  インテリジェントキーが正常に作動しないとき…P180
- 本車両は電気的にハンドルロック（ステアリングロック）を制御しているため、電源ポジションがLOCKのときにバッテリーがあがると、ハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えなくなります。バッテリーあがりには特に注意してください。
- 万一バッテリーがあがったときは、すみやかにバッテリーを充電してください。（P.346）

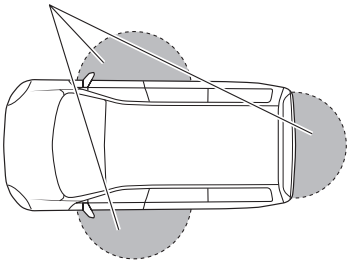
インテリジェントキー機能について

車内及び車外の作動範囲内でインテリジェントキーを携帯しているときに操作できます。

■ドア施錠・解錠の作動範囲

- 作動範囲は、各リクエストスイッチから周囲約80cm以内です。
  ドアの施錠・解錠…P.38
  バックドアの施錠・解錠…P.49

作動範囲（各リクエストスイッチから周囲約80cm以内）



ESF0119Z

アドバイス

- 車両（ドアガラスやドアハンドル、リヤバンパーなど）に近づきすぎている場合などは作動しないことがあります。
- 作動範囲は各リクエストスイッチを中心に約80cmの球状になっているため、地面近くや高い場所では作動しないことがあります。
- インテリジェントキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなる、また、作動しないことがあります。

知識

キー連動室内照明システム

- 運転席ドアを解錠すると、室内照明（P.310）が約15秒間点灯します。

アンサーバック機能

- ドアの施錠・解錠時に、作動確認のためのブザーと非常点滅表示灯が作動します。（施錠時1回、解錠時2回）
- アンサーバック機能を停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

ウェルカムライト（フェアウェル機能付）

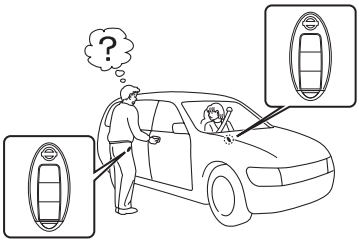
- 車幅灯・尾灯・番号灯がドアの施錠時に約10秒間、解錠時に約30秒間点灯します。
- ウェルカムライト（フェアウェル機能付）機能を停止することができます。日産販売会社にご相談ください。

オートロック機能

- リクエストスイッチ（またはインテリジェントキーのドア解錠スイッチ）を押して、解錠後約30秒以内に以下のいずれの操作も行わなかった場合は、盗難防止のため自動的に全ドアが施錠されます。
  （施錠されるまでの間に、再度インテリジェントキーの解錠スイッチを押すと、その時点から約30秒後に施錠されます。）
  ・ドアを開ける。
  ・エンジンスイッチを押す。

知識

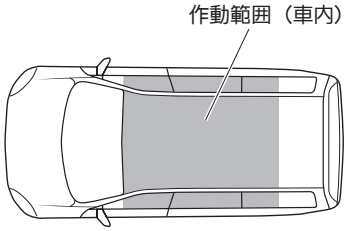
- インテリジェントキーが作動範囲内にあれば、インテリジェントキーを携帯している人以外でもリクエストスイッチを押して施錠、解錠ができます。
- 自車のインテリジェントキーが車内にあるときは、キー封じ込み防止のため、リクエストスイッチによるドアの施錠はできません。
  施錠したいときは、以下のことを行ってください。
  ・車内にあるインテリジェントキーを取り出し、リクエストスイッチを押す。
  ・リモートコントロールエントリー機能（P.33）、またはメカニカルキー機能（P.34）で施錠する。



ZIC0079

■エンジン始動の作動範囲

作動範囲は、車両室内です。（ラゲッジルーム内は除きます。）



ESF0120Z

アドバイス

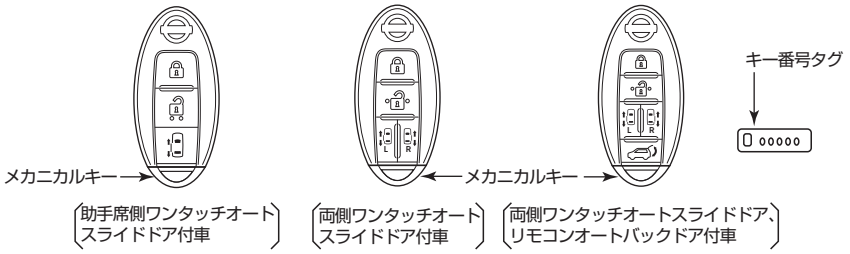
- インテリジェントキーの電池が消耗しているときや、強い電波、ノイズのある場所では、作動範囲が狭くなったり、作動しないことがあります。

知識

- ラゲッジルーム内は作動範囲ではありませんが、エンジンの始動が可能になることがあります。
- 車内でもインストルメントパネル上、グローブボックス内、ドアポケット内などにインテリジェントキーがあるときは、エンジンの始動ができないことがあります。
- 車外でもドアやドアガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがあります。

キーについて

●インテリジェントキー（メカニカルキー内蔵）が2個ついています。

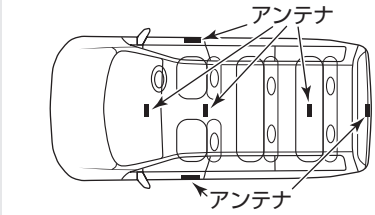


ZIC0464

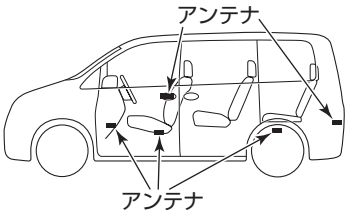
インテリジェントキーには以下の機能があります。
・インテリジェントキー機能（P.29）
・リモートコントロールエントリー機能（P.33）
・メカニカルキー機能（P.34）

⚠警告

- 植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器（ICD）を使用している方は、アンテナから約22cm以内の範囲に装着部位が近づかないようにしてください。ドア開閉時、各リクエストスイッチ操作時、エンジン始動時などにインテリジェントキーの電波が植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器（ICD）の作動に影響を与えるおそれがあります。



ZIC0465



ZIC0466

- 植え込み型心臓ペースメーカー及び植え込み型除細動器（ICD）以外の医療電気機器を使用している方は、インテリジェントキーの電波が医療電気機器の動作に影響を与える場合があるため、医療電気製造業者などへ影響を確認してからご使用ください。
- 詳しくは、日産販売会社にお問い合わせください。

⚠ 警告

- 航空機内ではインテリジェントキーのスイッチを押さないでください。また、バッグなどに収納するときは、荷物などでスイッチが押されないようにしてください。万一スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運航に支障をきたすおそれがあります。

アドバイス

- インテリジェントキーは送信機を内蔵している精密電子機器です。故障を防止するため、次のことをお守りください。
  - ・長時間高温になる場所に置かない。
  - ・分解しない。
  - ・無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
  - ・水にぬらさない。
  - ・超音波洗浄器などにかけない。
  - ・磁気を帯びたキーホルダーなどを付けない。
  - ・テレビ、オーディオなど、磁気を帯びた機器の近くに置かない。
- インテリジェントキーはドアポケットに入れないでください。ドアを閉めるとき衝撃により破損するおそれがあります。またドアポケット内に一緒に入れておいた物がドアを閉めた衝撃で当たるなどして勝手にスイッチが入り、キーを車内に封じ込めるおそれがあります。

知識

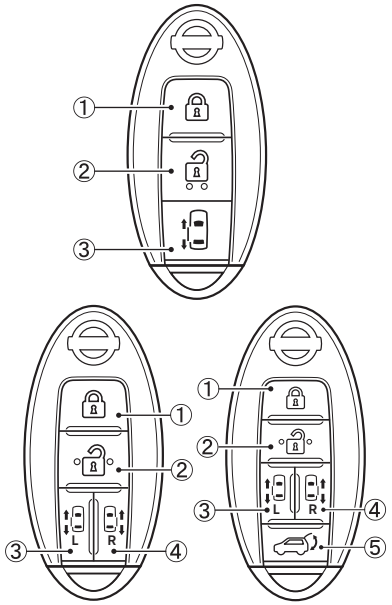
- インテリジェントキーは同じ車両で最大4個まで使うことができます。ご購入やご使用開始方法については、日産販売会社にご相談ください。
- キーを紛失したときは、盗難などを防ぐため、ただちに日産販売会社にご相談ください。
- キー番号を打刻したタグは大切に保管してください。キー番号を日産販売会社に連絡すると購入できます。
- インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しないときは、電池の消耗、または故障が考えられます。日産販売会社にご相談ください。（電池の交換のしかた…P.35）

リモートコントロールエントリー機能について

離れたところ（約1m）からインテリジェントキーで全ドアの施錠・解錠ができます。
また、ワンタッチオートスライドドア付車はスライドドアの開閉が、リモコンオートバックドア付車はバックドアの開閉ができます。

■使いかた

- 車に近づき、インテリジェントキーのスイッチを押します。
- リモートコントロールエントリー機能で施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。



ZIC0467

スイッチ	作　動
①ドア施錠スイッチ	全ドアを施錠します。
②ドア解錠スイッチ	全ドアを解錠します。
③ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ（助手席側）	約1秒間押し続けるとワンタッチオートスライドドア（P.44）が開閉します。※
④ワンタッチオートスライドドア開閉スイッチ（運転席側）★	
⑤リモコンオートバックドア開閉スイッチ★	約1秒間押し続けるとリモコンオートバックドア（P.54）が開閉します。※

※オート作動中にスイッチを押すと、作動している方向と反対の方向に動き、全開、または全閉して停止します。

知識

- ドアの施錠・解錠時にはキー連動室内照明システム、アンサーバック機能、オートロック機能が作動します。（P.29）
- ドア施錠スイッチを押したときに車外警報ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ったときは、ドアが施錠されていません。以下を確認し、再度施錠してください。
  - ・いずれかのドアが半ドアになっていないか。
  - ・ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押していないか。

★/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

■作動しないとき

- 次のような場合は、インテリジェントキーのスイッチを押しても作動しません。
  - ・電源ポジションがAcc、ONのとき。
  - ・ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき。（解錠のみできます。）
  - ・車から離れすぎているとき。
  - ・インテリジェントキーの電池が切れているとき。

アドバイス

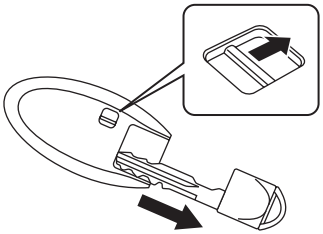
- 周囲の状況によっては、作動する距離が変わることがあります。確実に作動させるためには、車両から約1mまで近づいてください。

メカニカルキー機能について

インテリジェントキーの電池が切れたときや、車両のバッテリーがあがったときなどにドアの施錠・解錠ができます。

■メカニカルキーの取り外しかた

- インテリジェントキー裏側のロックを外しながらメカニカルキーを引き抜きます。



ZIC0035

- 元に戻すときは、ロックが戻るまで確実に差し込みます。

⚠ 注意

- インテリジェントキーは必ずメカニカルキーを内蔵した状態で携帯してください。

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）

車両の盗難に対する防御性能を高めるために、インテリジェントキーに送信機を内蔵し、あらかじめ登録されているインテリジェントキー以外でのエンジンの始動を禁止するシステムです。

- エンジンイモビライザーが働いているときは、セキュリティーインジケーター（P.152）が点滅します。

アドバイス

- 電源ポジションをONにしたときセキュリティーインジケーターが点灯し続ける場合は、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

知識

- インテリジェントキーに登録された信号は、インテリジェントキーごとに異なります。
- エンジンが始動できない場合は、一度電源ポジションをOFFにして、5秒以上経過してから再始動してください。
- 上記の操作を行ってもエンジンが始動できない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

電池の交換のしかた

警告

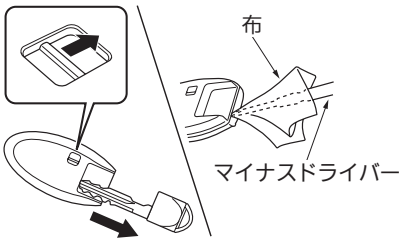
- 電池及び取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。

アドバイス

- 電池交換の際、キーを破損するおそれがあります。日産販売会社での交換をおすすめします。

使用電池：リチウム電池CR2025

①インテリジェントキー裏側のロックを外しながら、メカニカルキーを引き抜きます。
②スリットにマイナスの精密ドライバーを差し込み、ひねって上下に分解します。

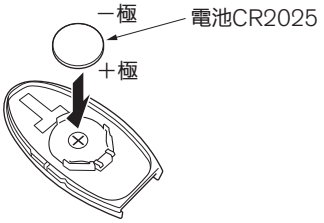


ESG0742Z

アドバイス

- 本体に傷をつけるおそれがあるため、ドライバーに布などを当てて外してください。ドライバーを奥に差し込みすぎると内部の基板を傷つけるおそれがあります。

③古い電池を取り外し、新しい電池の＋極を下側にしてはめ込みます。

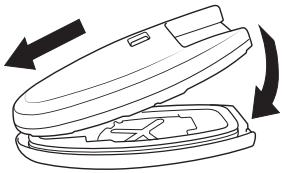


ECE0138Z

アドバイス

- 電池の＋極と－極は必ず正しい向きにしてはめ込んでください。
- 内部回路、電子端子などに触れないでください。故障の原因となります。

④上下を組み付けます。



ECH0006Z

アドバイス

- 電池交換後は、インテリジェントキーシステムの各機能が正常に作動するか必ず確認してください。

各部の開閉のしかた

ドアについて

⚠ 警告

- ドアの開閉はお子さまにはさせないでください。手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ドアを開けるときは、周囲の安全を十分確認してください。後続車や通行人にぶつかるおそれがあります。風が強いときは特に注意して開けてください。
- 走行する前にドアを確実に閉めてください。走行中に突然ドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 車から離れるときは、盗難や事故防止のため、必ずエンジンを止め施錠してください。

知識

- ドアハンドルを引きながら解錠しようとすると、ドアが解錠できないことがあります。一度ドアハンドルを戻すと自動的に解錠し、再度ドアハンドルを引くとドアを開けることができます。

キー連動室内照明システム

- 運転席ドアを解錠すると、室内照明（P.310）が約15秒間点灯します。

衝撃感知式ドアロック解除システム

- 電源ポジションがONのとき、車両が前後方向、または側面から強い衝撃を受けるとシステムが作動し、約3秒後に全ドアが自動的に解錠されます。衝撃の強さなどによっては、作動しないことがあります。システム作動後にシステムを解除させる（ドアをロックする）には、一旦電源ポジションをOFFにしてください。

知識

電源ポジション連動ドアロック解除システム

- 電源ポジションをONからOFFにすると全ドアが自動的に解錠されます。
- 電源ポジション連動ドアロック解除システムの作動・非作動を切り替えることができます。（工場出荷時は「非作動」に設定されています。）
  次の手順で設定を切り替えます。
  ①全ドアを閉めます。
  ②電源ポジションをONにします。
  ③電源ポジションをONにしたあと、20秒以内にドアロックスイッチの解錠側を5秒以上押し続け、作動と非作動を切り替えます。
  作動：非常点滅表示灯が2回点滅
  非作動：非常点滅表示灯が1回点滅

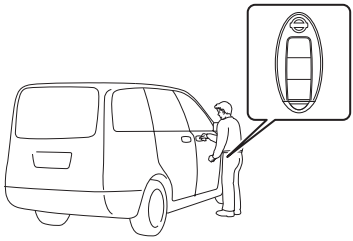
車速感応式オート集中ドアロック

- 車速が約25km/h以上になると、全ドアが自動的に施錠されます。ただしそのあと解錠すると、再度施錠はされません。再度作動させるには、いずれかのドアを開けるか、電源ポジションをOFFにします。
- 衝撃感知式ドアロック解除システム作動後は、一旦電源ポジションをOFFにするまでは作動しません。
- 車速感応式オート集中ドアロック機能の作動・非作動を切り替えることができます。（工場出荷時は「作動」に設定されています。）
  次の手順で設定を切り替えます。
  ①全ドアを閉めます。
  ②電源ポジションをONにします。
  ③電源ポジションをONにしたあと、20秒以内にドアロックスイッチの施錠側を5秒以上押し続け、作動と非作動を切り替えます。
  作動：非常点滅表示灯が2回点滅
  非作動：非常点滅表示灯が1回点滅

前席ドア

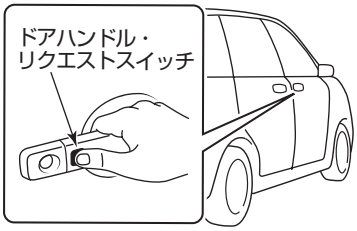
■インテリジェントキー機能による施錠・解錠

キーを取り出すことなく施錠や解錠ができます。



ZIC0468

- インテリジェントキーを携帯しているとき、運転席ドア、または助手席ドアの施錠・解錠作動範囲内でドアハンドル･リクエストスイッチを押すと全ドアが施錠、または解錠します。
- 施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。



ZIC0527

知識

- インテリジェントキーを検知しているドアハンドル・リクエストスイッチでのみ施錠・解錠を行うことができます。
- ドアの施錠・解錠時にはアンサーバック機能、オートロック機能が作動します。（P.29）

作動しないとき

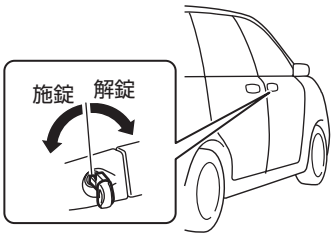
- 次のような場合は作動しません。
  - ・電源ポジションがAcc、ONのとき。
  - ・ドアが完全に閉まっていない（半ドア）とき。
  - ・インテリジェントキーが施錠・解錠作動範囲内（P.29）にないとき。
  - ・携帯しているインテリジェントキー以外に自車のインテリジェントキーが車内にあるとき。（解錠のみできます。）
  - ・インテリジェントキーの電池が切れているとき。（P.35）

■メカニカルキーによる施錠・解錠

車両前方に回すと解錠し、車両後方に回すと施錠します。

- 運転席ドアを施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠･解錠します。

メカニカルキー機能について…P.34



ZIC0469

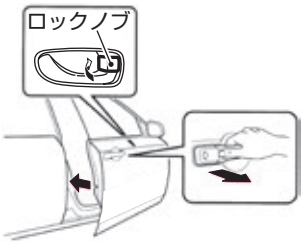
■リモートコントロールエントリー機能による施錠・解錠

- 車に近づき、インテリジェントキーのスイッチを押します。

リモートコントロールエントリー機能について…P.33

■キーを使わない施錠

- 車内のロックノブを押し込み、ドアハンドルを引きながらドアを閉めます。



ZIC0470

アドバイス

- キー封じ込み防止のため、キーを携帯していることを確認してから施錠してください。

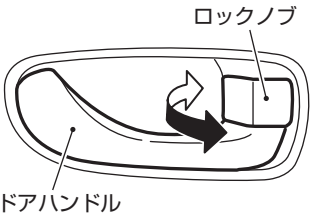
キー封じ込み防止機能…P.58

知識

- インテリジェントキーが車内にあるとき、運転席ロックノブ、またはドアロックスイッチで施錠できません。

■ロックノブによる施錠・解錠

- 車内のロックノブを車両前方に押し込むと施錠し、車両後方に押し込むと解錠します。
- 運転席のロックノブで施錠・解錠すると、全ドアが同時に、施錠・解錠します。
- ドアを開けるときは、解錠後ドアハンドルを引きます。



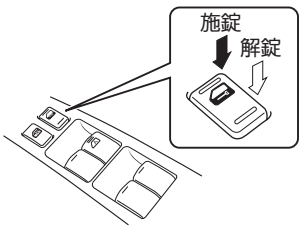
ZIC0471

知識

- 運転席ドアは、施錠したままでもドアハンドルを引くとドアが開けられます。そのとき、全ドアが同時に解錠します。

■ドアロックスイッチによる施錠・解錠

- 運転席のドアロックスイッチを押すと、全ドアの施錠・解錠ができます。

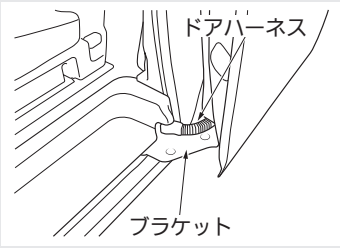


ECF0003Z

スライドドア

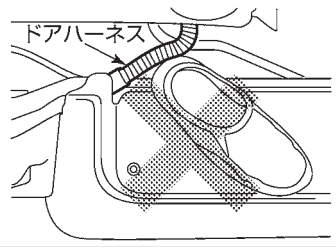
⚠ 注意

- 必ず次のことをお守りください。重大な傷害や事故、または車両破損につながるおそれがあります。
  - ・必ずドアハンドルを持って開閉する。
  - ・傾斜地でスライドドアを開けるときは、ロックするまで確実に開ける。
  - ・スライドドアを強く開けない。
  - ・ドアハーネスやブラケットに手や足などを掛けない。



ESF0014Z

  - ・スライドドアを閉めるときは、ステップの上に物がないことを確認する。



ZIC0280

アドバイス

- ドアポケットに物を収納するときは、はみ出さず、確実に入っていることを確認してください。スライドドア開閉の妨げになるだけでなく、開けるときに収納した物を破損したり、車と干渉し傷がついたり、故障の原因となります。

知識

- 燃料補給口を開けているときに助手席側のスライドドアを開けると、リッドとの干渉を防ぐために約半分開いたところで止まります。
- 助手席側のスライドドアが全開しているとき、燃料補給口を開けるとスライドドアと干渉します。

施錠・解錠のしかた

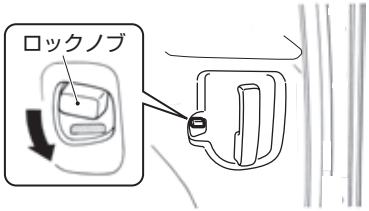
■リモコン（インテリジェントキー）による施錠・解錠

- 車に近づき、リモコン（インテリジェントキー）のスイッチを押します。

リモートコントロールエントリー機能について…P.33

■ロックノブによる施錠・解錠

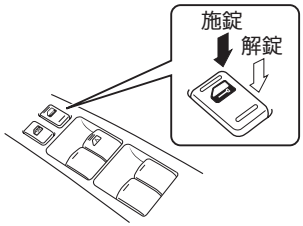
- 車内のロックノブを押し下げると施錠し、押し上げると解錠します。



ZIC0472

■ドアロックスイッチによる施錠・解錠

- 運転席のドアロックスイッチで、スライドドアの施錠・解錠ができます。

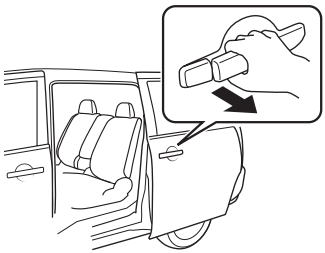


ECF0003Z

開閉のしかた

■車外からの開閉

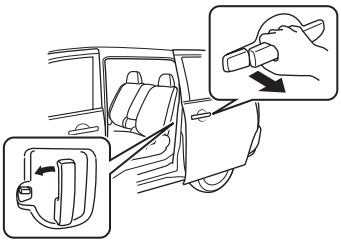
- 解錠後、ドアハンドルを手前に引きながらスライドドアを開閉します。



ESH0855Z

知識

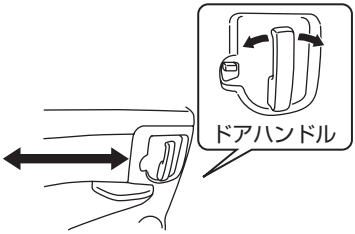
- スライドドアを全開すると全開位置でロックします。ロックしているときに、外側のドアハンドルを斜めに引いてもロックが外れず閉められません。ドアハンドルはスライドドアに対して垂直に引いてください。また、ロックは内側のドアハンドルを引いても外れます。



ZIC0473

■車内からの開閉

- 解錠後、ドアハンドルを引きながらスライドドアを開閉します。



ZIC0474

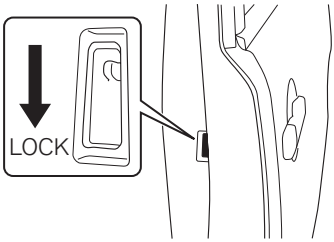
チャイルドセーフティドアロック

車内のロックノブの位置に関係なく、スライドドアを車内から開けられなくなります。

- お子さまを乗せるときに使います。

■施錠のしかた

- 左右のスライドドアにあるロックレバーをLOCK側にしてスライドドアを閉めます。



ZIC0475

- ロックを解除するときは、ロックレバーを元に戻します。

■スライドドアを開けるとき

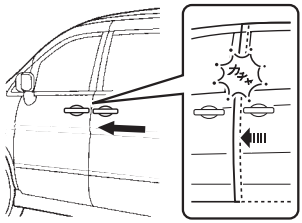
- ロック作動中にスライドドアを開けるときは、車内のロックノブが解錠していることを確認し、車外からドアハンドルを引きます。

知識

- 車内から開けるときは、窓ガラスを下げ、手を外に出して車外のドアハンドルを引きます。

オートクロージャー

自動的にスライドドアを全閉させる機能です。
閉めるとき、半ドア状態まで閉めると自動的に全閉します。



TSF0002Z

⚠ 注意

- スライドドアや車体側に手を触れていると、手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- スライドドアを閉めるときは、スライドドアのふちやその周辺に手を掛けず、ドアハンドルを持って閉めてください。

アドバイス

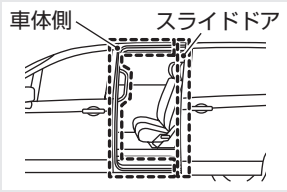
- ドアハンドルを開方向に引いたままスライドドアを閉めると、オートクロージャーは作動しません。
- バッテリーが弱っている場合には、オートクロージャーが作動しないことがあります。
- オートクロージャーの故障によりスライドドアが閉まりきらないときは、スライドドアを一旦開け、再度手で閉めてください。
- オートクロージャーの故障によりスライドドアが開かなくなった場合には、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

ワンタッチオートスライドドア★

スイッチを押すだけで、スライドドアを自動的に開閉させる機能です。

⚠ 注意

- 確実に停車している状態で開閉操作をしてください。
- 開閉操作をするときは、車外及び車内のスライドドア周囲の安全を十分確認してから行ってください。周囲の人の身体がスライドドアや車体側に触れたままオート作動させると、手や腕などを挟まれたり、頭や腕を引き込まれて思わぬケガをするおそれがあります。

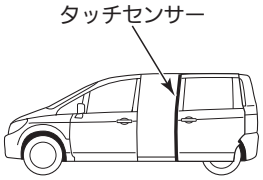


ZIC0687

- 車が大きく傾いている状態ではオート作動させないでください。
- オート作動中にドアを押したり引いたりしないでください。反転して挟まれるおそれがあります。

アドバイス

- エンジン停止時に何回も作動させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。
- オート作動中はエンジンを始動させないでください。正常に作動しなくなることがあります。
- 車を発進させるときは、オートスライドドアが全閉していることを確認してください。
- 次の場合は、オートドアメインスイッチをOFFにしてください。
  - ・スライドドアが故障したとき
  - ・スライドドアを長時間開けたままにするとき
  - ・洗車や整備を行うとき
  - ・手動で使用するとき
- スライドドア前端部のタッチセンサーを傷つけないようにしてください。センサーが切断されると、オートスライド機能は作動しなくなります。



ESE1041Z

- 全開時には、スライドドアの外側、または内側のドアハンドルに不用意に手を掛けたり、ワンタッチスイッチに触れないでください。ドアハンドル、またはスイッチを操作すると自動でドアが閉まり始めます。
- バッテリーあがりやバッテリーの脱着を行ったあと、スライドドアが開いている状態で再びバッテリーをつないだときは、必ず一旦手動でドアを全閉してからオート作動を行ってください。全閉位置以外からスイッチ操作を行うと、ドアのオート開閉機能が正常に作動しないことがあります。

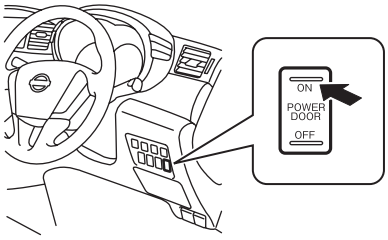
知識

- 閉作動時、半ドア位置までドアがスライドすると、オートクロージャー機能で全閉します。
  オートクロージャー…P.43
- オートドアメインスイッチがONのとき、スライドドアを開けたまま車を動かすとブザーが鳴ります。
- 燃料補給口が開いているときは、リッドとの干渉を防ぐため助手席側スライドドアのオートスライド（自動開閉）機能が作動しません。

■オートドアメインスイッチ

オートスライド（自動開閉）機能のON・OFFができます。
通常はONにしておきます。

- オートスライド機能を使うときは、ON側を押します。
- 使わないときは、OFF側を押します。



ZIC0476

知識

- オートドアメインスイッチをOFFにしてもオートクロージャー（P.43）は作動します。
- オートドアメインスイッチをOFFにするとバックドアのオート（自動開閉）機能もOFFになります。
- バッテリー電圧が極端に下がっている（11V以下）と作動しません。

アドバイス

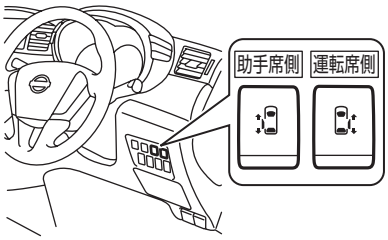
- オート作動中に次の内容が満たされなくなると、作動が停止しオート作動しなくなることがあります。その場合、作動状態を再度満たせばオート作動させることができます。

- オート作動は、オートドアメインスイッチがON、車速が約3km/h以下のときに作動させることができます。ただし、電源ポジションがONのときは、以下の条件のうちいずれか1つ以上を満たす必要があります。
  - セレクトレバーがPに入っている
  - フットブレーキを踏んでいる
  - パーキングブレーキをかけている

■運転席スイッチによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にスイッチを押すと、作動している方向と反対の方向に動き、全開、または全閉して停止します。

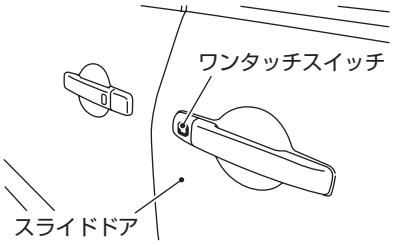


ZIC0477

■ワンタッチスイッチによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にワンタッチスイッチを押すと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にワンタッチスイッチを押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にワンタッチスイッチを押すと、作動している方向とは反対の方向に動き、全開、または全閉して停止します。

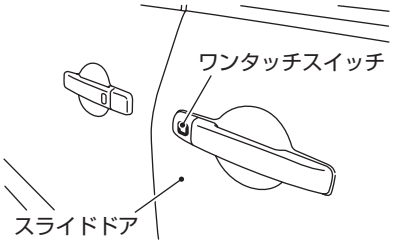


ZIC0478

■ワンタッチアンロック機能

インテリジェントキーを携帯していれば、施錠状態でもワンタッチスイッチを押すだけでスライドドアを開けることができます。

- インテリジェントキーを携帯し、運転席ドア、または助手席ドアの施錠・解錠作動範囲内でワンタッチスイッチを押すと、スライドドアが解錠し、自動的に開きます。このとき、全ドアが同時に解錠します。



ZIC0478

- スライドドアを閉めただけでは、施錠状態にはなりません。スライドドアを閉めたあとに車を離れる場合は、必ず施錠してください。

知識

- インテリジェントキーを携帯してワンタッチスイッチを押したときは、施錠・解錠のみの操作はできません。

■全ドア連動ロック機能

- スライドドア全開状態で、スライドドアのロックノブを押し下げたあとにスライドドアを閉めると、スライドドアが閉まると同時に全ドアが施錠されます。

ロックノブによる施錠・解錠…P.41

知識

- 電源ポジションがAcc、またはONのときは施錠されません。（施錠後、すぐに全ドアが解錠されます。）

■インテリジェントキーによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作します。

- スライドドア全閉時にインテリジェントキーのワンタッチオートスライドドア開閉スイッチを約1秒間押すと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にワンタッチオートスライドドア開閉スイッチを約1秒間押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にワンタッチオートスライドドア開閉スイッチを押すと、作動している方向と反対の方向に動き、全開、または全閉して停止します。

リモートコントロールエントリー機能…P.33

■ドアハンドルによる開閉のしかた

スライドドアを解錠してから操作します。

スライドドアの外側、または内側のドアハンドルをブザーが鳴るまで操作します。

外側のドアハンドル

- スライドドア全閉時にドアハンドルを引くと、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にドアハンドルを引くと、自動的に閉まります。
- オート作動中にドアハンドルを引くと、作動している方向と反対の方向に動き、全閉、または全開して停止します。

内側のドアハンドル

- スライドドア全閉時にドアハンドルを開方向に操作すると、自動的に開きます。
- スライドドア全開時にドアハンドルを開、または閉方向に操作すると、自動的に閉まります。
- オート作動中にドアハンドルを開、または閉方向に操作すると、作動している方向と反対の方向に動き、全閉、または全開して停止します。

知識

- チャイルドセーフティドアロックをLOCK側にしているとき、スライドドア内側のドアハンドルでは開けることができません。

■挟み込み防止機構

- スライドドアがオート作動中に、挟み込み、引っ掛かりなどを感知すると、ドアが反対方向に動き、全開、または全閉して停止します。
- スライドドアがオート閉作動中にドア前端部のタッチセンサーに触れると、ドアが反対方向に動き、全開位置で停止します。

⚠ 注意

- 挟まれる物や挟まれかたによっては、挟み込み防止機構が作動しない場合があります。手などを挟まないように十分注意してください。

アドバイス

- スライドドア前端部のタッチセンサーを傷つけないでください。
- タッチセンサーが切断されると、オートスライド機能は作動しなくなります。
- タッチセンサーが切断されたときは、安全のためすみやかに日産販売会社に連絡してください。
- 全開位置付近で挟み込みを感知すると、ドアは反転せずに停止することがあります。

バックドア

⚠ 警告

- ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。
- 走行前に、バックドアが確実に閉まっていることを必ず確認してください。バックドアを開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

⚠ 注意

- バックドアを開ける前に、バックドアに付着した雪や氷、ゴミ等の重量物を取り除いてください。重量物が付いたままバックドアを開けると、重みで突然閉まるおそれがあります。
- バックドアは必ず全開してください。途中で止めると突然閉まるおそれがあります。
- 風が強いときに開けると、風にあおられ急に閉まることがありますので特に注意してください。
- バックドアを閉めるときは、手などを挟まないよう注意してください。

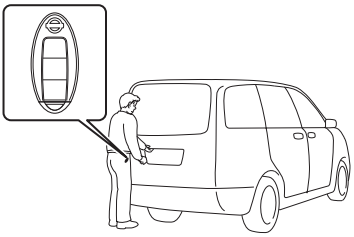
アドバイス

- 電磁式バックドアオープナースイッチを押したまま、リモコンでドアを施錠・解錠しないでください。故障の原因になります。
- 手を添えないと全開にならない場合は、ガスステーの保持力が低下しているおそれがあります。
  お近くの日産販売会社にて、早めの点検を受けてください。

施錠・解錠のしかた

■インテリジェントキー機能による施錠・解錠

キーを取り出すことなく施錠や解錠ができます。



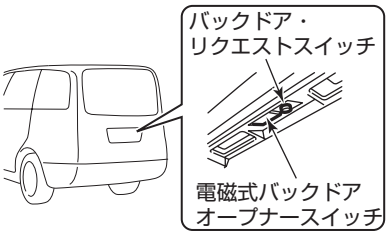
ZIC0479

バックドア・リクエストスイッチ

- インテリジェントキーを携帯しているとき、作動範囲内でバックドア・リクエストスイッチを押すとバックドア（ドアも同時に）が施錠、または解錠します。
- 施錠したあとは、必ず施錠されたことを確認してください。

電磁式バックドアオープナースイッチ

- インテリジェントキーを携帯しているとき、作動範囲内で電磁式バックドアオープナースイッチを押すと、バックドアを解錠し開けることができます。この時、ドアも同時に解錠します。



ZIC0480

知識

- 施錠するときはバックドアを閉めてからバックドア・リクエストスイッチを押します。
- 施錠・解錠時にはアンサーバック機能、オートロック機能（P.29）が作動します。

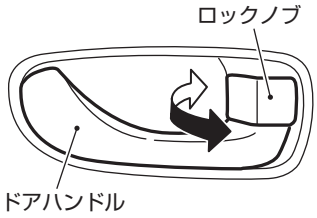
■リモコン（インテリジェントキー）による施錠・解錠

- 車に近づき、リモコン（インテリジェントキー）のスイッチを押します。

リモートコントロールエントリー機能について…P.33

■ロックノブによる施錠・解錠

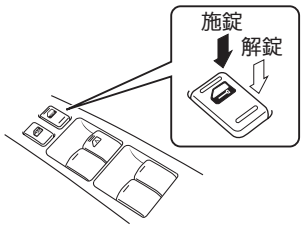
- 運転席のロックノブで施錠・解錠すると、バックドアが同時に施錠・解錠します。



ZIC0471

■ドアロックスイッチによる施錠・解錠

- 運転席のドアロックスイッチでバックドアの施錠・解錠ができます。

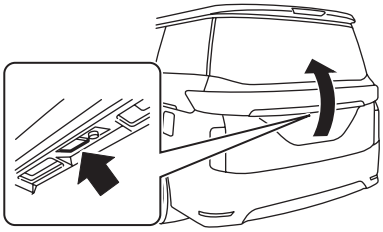


ECF0003Z

開閉のしかた

■開けかた

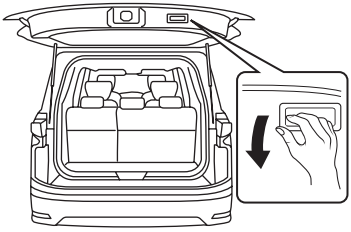
- 電磁式バックドアオープナースイッチを押してバックドアを持ち上げます。



ZIC0481

■閉めかた

- ドアグリップに手を掛け、バックドアを降ろし確実にロックするまで押しつけます。



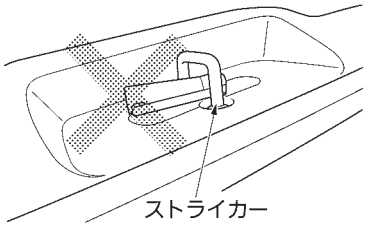
ZIC0482

⚠ 注意

- バックドアや車体側に手を触れたままバックドアを閉めると、手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手を掛けないでください。必ず外から押して閉めてください。
- バックドアを閉めたあとは、確実に閉まっていることを必ず確認してください。走行中にバックドアが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- バックドアを閉めるときは、ストライカーに異物をかみ込まないようにしてください。ストライカーやバックドアのロックが破損し、バックドアが閉まらなくなるおそれがあります。

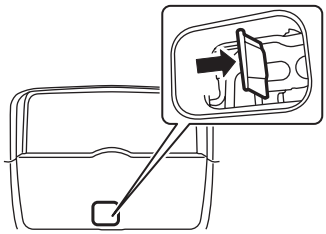


ESF0147Z

■バックドアが開けられなくなったとき

バッテリーあがりなどにより、電磁式バックドアオープナースイッチでバックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

①バックドア車内側にあるカバーの下側をお手持ちのマイナスドライバーなどにあて布をして外します。
②レバーを矢印の方向に動かし、解錠します。



ZIC0483

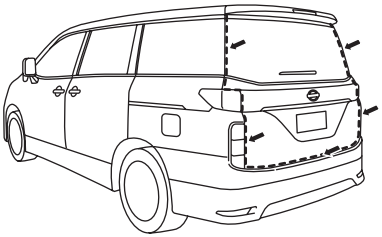
③バックドアを持ち上げます。

アドバイス

- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

オートクロージャー

自動的にバックドアを全閉させる機能です。
閉めるとき、半ドア状態まで閉めると自動的に全閉します。



ZIC0528

⚠ 注意

- バックドアや車体側に手を触れていたり、ドアグリップを握ったままバックドアを閉めると手を挟まれてケガをするおそれがあります。
- バックドアを閉めるときは、バックドアのふちやその周辺に手を掛けないでください。必ず外から押して閉めてください。

アドバイス

- 次のような場合はバックドアオートクロージャーが作動しません。ドア開き警告が表示されているときはバックドアを一旦開け、再度閉め直してください。
  - ・バックドアを開けて0.5秒以内に閉めたとき。
  - ・電磁式バックドアオープナースイッチを押したあと、バックドアを開けなかったとき。
- バッテリーが弱っているとオートクロージャーが作動しないことがあります。その場合は、手で強く閉めるかエンジンをかけてから閉め直してください。
- オートクロージャーの故障によりバックドアが閉まりきらないときは、バックドアを一旦開け、再度手で閉めてください。
- 荷物の積みすぎなどによりオートクロージャーで閉めきれない状態を繰り返すと、オートクロージャーが作動しなくなります。そのときは日産販売会社で点検を受けてください。

リモコンオートバックドア★

バックドアを自動的に開閉させる機能です。

⚠ 注意

- 確実に停車している状態で開閉操作をしてください。
- 開閉操作をするときは、バックドア周囲の安全を十分確認してから行ってください。
- バックドアに当たり、ケガをしたり物を損傷するおそれがあります。
- 車が大きく傾いている状態ではオート作動させないでください。
- オート作動中にバックドアを押したり引いたりしないでください。反転して挟まれたり、バックドアに当たりケガをするおそれがあります。

アドバイス

- エンジン停止時に何回も作動させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。
- オート作動中はエンジンを始動させないでください。正常に作動しなくなることがあります。
- 車を発進させるときは、バックドアが全閉していることを確認してください。
- 次の場合は、オートドアメインスイッチをOFFにしてください。
  - ・バックドアが故障したとき。
  - ・バックドアを長時間開けたままにするとき。
  - ・洗車や整備を行うとき。
  - ・手動で使用するとき。
- バックドア左右端部のタッチセンサーを傷つけないようにしてください。センサーが切断されると、オート（自動開閉）機能は作動しなくなります。
  また、オート閉作動中に切断されると、ドアが反転することがあります。



ZIC0529

- バッテリーあがりなどでリモコンオートバックドアへの電源供給が断たれたときや、オート作動中に反転作動（挟み込み防止機構を含む）を連続して作動させたときは、オート（自動開閉）機能が正常に作動しないことがあります。その場合は、バックドアを一旦手動で全閉にしてください。

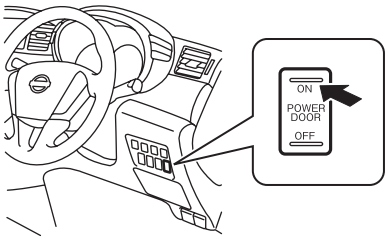
知識

- 閉作動時、半ドア位置までバックドアが閉まると、オートクロージャー機能で全閉します。
  オートクロージャー…P.52
- オート作動の開始時にはブザーが鳴り非常点滅表示灯が4回点滅します。また、オート作動中はブザーが鳴ります。
- オートドアメインスイッチがONのとき、バックドアを開けたまま車を動かすとブザーが鳴ります。（停車、またはバックドアを閉めると鳴り止みます。）

■オートドアメインスイッチ

オート（自動開閉）機能のON・OFFができます。
通常はONにしておきます。

- オート（自動開閉）機能を使うときは、ON側を押します。
- 使わないときは、OFF側を押します。



ZIC0476

注意

- オート作動中にオートドアメインスイッチをOFFにしないでください。バックドアが突然開いたり、閉まったりするおそれがあり、危険です。

知識

- オートドアメインスイッチをOFFにしてもオートクロージャー（P.52）は作動します。
- オートドアメインスイッチをOFFにするとスライドドアのオートスライド（自動開閉）機能もOFFになります。

■自動開閉の作動可能条件

- オート作動は、以下の条件が満たされたときのみ作動させることができます。
  - ・オートドアメインスイッチがONのとき。
  - ・バックドアが解錠しているとき。
  - ・車両が停止しているとき。

アドバイス

- オート作動中に作動可能条件が満たされなくなると、作動が停止しオート作動しなくなることがあります。その場合、作動可能条件を再度満たすとオート作動させることができます。
- 電源ポジションがONのとき、セレクトレバーがPに入っていないと運転席スイッチによる開操作は行えません。

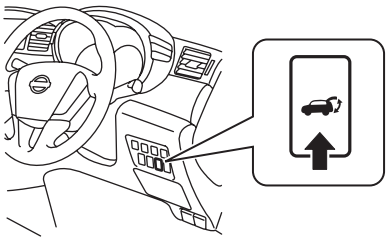
知識

- バッテリー電圧が極端に下がっている（11V以下）と作動しません。

■運転席スイッチによる開閉のしかた

開閉操作をするときは、バックドア周囲の安全を確認してください。

- バックドア全閉時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に開きます。
- バックドア全開時にスイッチを約1秒間押すと、自動的に閉まります。
- オート作動中にスイッチを押すと、作動している方向と反対の方向に動き、全閉、または全開して停止します。



ZIC0727

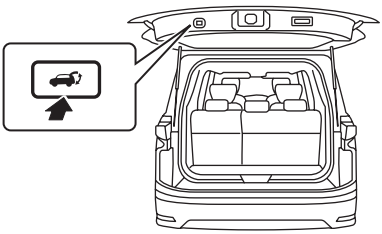
■リモコンによる開閉のしかた

- 車に近づき、リモコンのスイッチを押します。

リモートコントロールエントリー機能…P.33

■バックドアインナースイッチによる閉めかた

- バックドアが全開しているとき、スイッチを押すと自動的に閉まります。
  （バックドアインナースイッチによるオート開操作はできません。）
  オート作動中にスイッチを押すと、作動している方向と反対の方向に動き、全開、または全閉して停止します。



ZIC0485

■挟み込み防止機構

- バックドアがオート作動中に、挟み込み、引っ掛かりなどを感知すると、バックドアが反対方向に動き、全開、または全閉して停止します。
- バックドアがオート閉作動中にバックドア左右端部のタッチセンサーに触れると、バックドアが反対方向に動き、全開位置で停止します。

⚠ 注意

- 挟まれる物や挟まれかたによっては、挟み込み防止機構が作動しない場合があります。手などを挟まないように十分注意してください。

アドバイス

- バックドア左右端部のタッチセンサーを傷つけないでください。
  タッチセンサーが切断されると、オート（自動開閉）機能は作動しなくなります。
- タッチセンサーが切断されたときは、安全のためにすみやかに日産販売会社に連絡をしてください。
- 全開位置付近で挟み込みを感知すると、バックドアは反転せずに停止することがあります。

キー封じ込み防止機能

インテリジェントキーを車内に入れたまま施錠することを防ぐ機能です。

アドバイス

- 次のような場所に置いているときは、キー封じ込み防止機能が作動しないことがあります。
  - ・インストルメントパネル上
  - ・グローブボックス内
  - ・ドアポケット内
  - ・金属製のバッグの中
  - ・金属製のものの近く
- 周囲の電波環境によってはキー封じ込み防止機能が作動しないことがあります。
- インテリジェントキーが車外にあっても、車両（ドアやドアガラス、リヤバンパーなど）に近づけすぎた場合、キー封じ込み防止機能が作動することがあります。

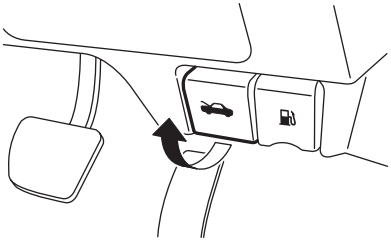
- インテリジェントキーが車内にあるとき
  ⇒運転席ドアを開けた状態での運転席のロックノブ、またはドアロックスイッチによる施錠ができません。（施錠後、すぐに全ドアが解錠されます。）

- ドアを開けた状態で運転席のロックノブ、またはドアロックスイッチにより全ドアを施錠し、インテリジェントキーを車内に入れてしまったとき
  ⇒全ドアを閉めると、車外警報ブザーが“ピピピピ…”と鳴り、全ドアが解錠されます。

エンジンフード

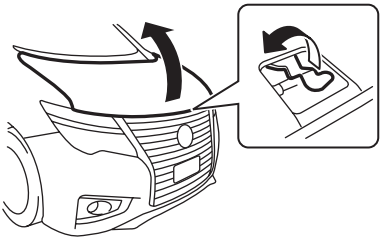
■開けかた

①運転席右下にあるオープナーを引きます。
ロックが外れエンジンフードの先端が少し浮き上がります。



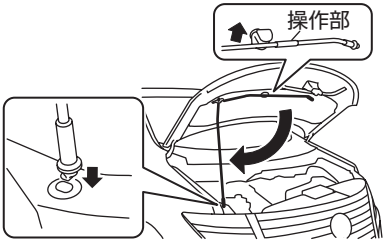
ZIC0486

②エンジンフード先端のすき間に手を入れ、レバーを横に押しながらエンジンフードを持ち上げます。



ZIC0807

③ステーの操作部を持ってフックから外し、エンジンルーム内にある穴に確実に差し込みます。



ZIC0808

⚠ 注意

- 風が強いときに開けると、風にあおられますので、しっかり持ってゆっくり開けてください。
- エンジンフードを開けたときは、フードに頭などをぶつけないように注意してください。
- エンジンがかかっているとき、エンジンルーム内に手、衣服、工具などを入れないでください。思わぬケガをするおそれがあります。
- エンジン停止直後は、排気系部品、ラジエーターなどの高温部に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

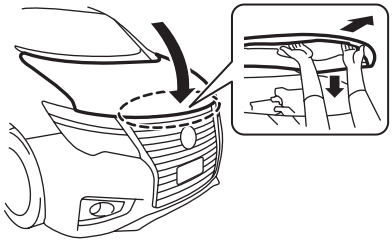
アドバイス

- ワイパーアームを起こしたままエンジンフードを開けないでください。エンジンフードやワイパーを損傷します。

■閉めかた

①エンジンフードを支えながらステーの操作部を持って穴から外し、フックに固定します。

②エンジンフードを20～30cmの高さまでゆっくり降ろしてから、手を離して落としてロックします。ロックできなかったときは、レバーを操作してエンジンフードをもう一度持ち上げてから再度落としてください。エンジンフードを上から押して閉めようとしないでください。



ZIC0809

⚠ 警告

- 走行前に、エンジンフードが確実に閉まっていることを、必ず確認してください。ロックされていないと、走行中エンジンフードが開いて、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンフードを閉めるときは、手などを挟まないようにゆっくり降ろしてください。

アドバイス

- エンジンフードを閉めるときに、エンジンフードに体重をかけて強い力で押すと、エンジンフードがへこむおそれがあります。

パワーウインドー

電源ポジションがONのとき操作できます。

⚠ 警告

- 乗員の操作を含めすべての窓ガラス開閉操作は運転者に責任があるため、次のことを必ず守ってください。
  - ・走行中は顔や腕、物などを車外に出さないでください。車外の物に当たったり、急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・窓ガラスを開閉するときは、窓から手や顔などを出したり、故意に挟み込み防止機構を働かせたりしないでください。手や顔、腕などを窓ガラスに挟まれたり巻き込まれたりすると、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・お子さまにはパワーウインドーを操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあるため、パワーウインドーロックスイッチを押し込んでください。
  - ・窓ガラスを開閉するときはお子さまに声をかけ、手や腕などが窓ガラス付近にないことを確認してから操作を行ってください。
  - ・車から離れるときは電源ポジションをOFFにし、キーとお子さまを車内に残さないでください。いたずらなどの誤った操作によって思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

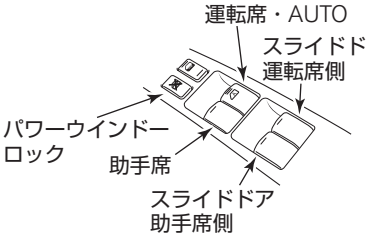
- 運転席のパワーウインドーロックスイッチが押し込まれているときは、助手席・後席窓ガラスの操作ができません。

キーOFF後作動機構

- 運転席の窓ガラスは電源ポジションをOFFにしたあとでも、約15分間は開閉することができます。ただし、その15分間に運転席ドア、または助手席ドアのどちらかを開けると、窓ガラスの開閉ができなくなります。

運転席スイッチ

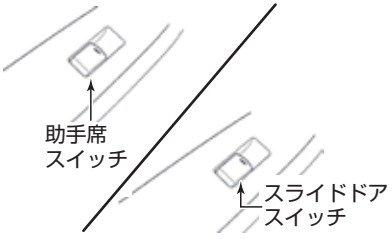
運転席スイッチで、各席の窓ガラスの開閉ができます。



ZIC0539

助手席・スライドドアスイッチ

助手席スイッチ、スライドドアスイッチで自席の窓ガラスの開閉ができます。



ZIC0490

■開閉のしかた

- スイッチを押している間、開きます。
- スイッチを引き上げている間、閉まります。

■ワンタッチ開閉のしかた

運転席の窓ガラスは、ワンタッチで開閉できます。

- スイッチを強く押すと全開します。
- スイッチを強く引き上げると全閉します。
- 途中で止めたいときは、スイッチを操作した反対側に軽く押すか引きます。

■挟み込み防止機構

- 運転席の窓ガラスを自動で閉めているときやキーOFF後作動機構で閉めているときに、車体と窓ガラスの間に異物の挟み込みを感知すると、窓ガラスの上昇が停止し、自動で少し下降し止まります。
- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重が窓ガラスに加わると作動することがあります。

⚠ 注意

- 窓ガラスを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まれないよう注意してください。

アドバイス

- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、窓ガラスを自動で閉めることができないときは、スイッチを上側へ引き続けて閉めてください。

■パワーウインドーのロックのしかた

- パワーウインドーロックスイッチを押し込むと、助手席とスライドドアの窓ガラスの開閉ができなくなります。
- スイッチを押し戻すと開閉できます。

スイッチ位置	作　動
ON	ロックされます。
OFF	ロックが解除されます。

■正常に作動しないとき

バッテリーを外したり、開閉操作を連続して行うと、運転席窓ガラスの自動閉操作、挟み込み防止機構、キーOFF後作動機構が正常に作動しないことがあります。
以下の操作を行い、初期設定してください。

※ドアを閉めて操作します。

①電源ポジションをONにします。
②運転席・AUTOスイッチを押し、窓ガラスを全開にします。（すでに全開しているときは、操作する必要はありません。）
③運転席・AUTOスイッチを引き上げ続け、窓ガラスが全閉して3秒以上たってから手を離します。
④正常に作動することを確認します。
・正常に作動しないときは、再度上記の操作を行ってください。

アドバイス

- 上記の操作で作動できない場合は、早めに日産販売会社で点検を受けてください。

燃料補給口

燃料補給口は助手席側の車両後方にあります。

⚠ 警告

- 燃料補給時は、以下のことを必ずお守りください。
  - ・エンジンを止める。
  - ・車のドアや窓を閉める。
  - ・タバコなどの火気を近づけない。
  - ・気化した燃料を吸わない。
- 補給作業を行う前に、金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。放電による火花で燃料に引火したり、やけどをするおそれがあります。
- 補給作業はひとりで行ってください。作業中に車内に戻ったり、帯電している人や物に触れると再帯電するおそれがあります。
- キャップを開けるときはゆっくり回し、燃料タンク内の圧力を下げてから外してください。急に開けると、燃料が補給口から吹き返すおそれがあります。
- 給油ノズルは確実に給油口へ挿入してください。給油ノズルの挿入が浅いと、給油の自動停止が遅れるため、燃料が吹きこぼれ火災につながるおそれがあります。
- 給油ノズルの自動停止後は、給油の継ぎ足しをしないでください。継ぎ足しをすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

■燃料の補給

●燃料タンクの容量は、約73ℓです。

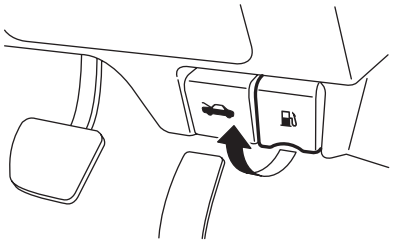
エンジン型式	指定燃料
QR25DE	無鉛レギュラーガソリン
VQ35DE	無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリン

アドバイス

- 指定以外の燃料は補給しないでください。
- VQ35DEエンジン搭載車は、無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンも使用できますが、エンジン出力低下などの現象が発生します。

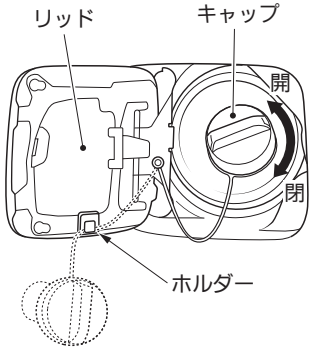
■開けかた

①運転席右下にあるオープナーを引きリッドを開けます。



ZIC0491

②キャップを左にゆっくり回して開けます。
・補給時、キャップのひもはリッドの裏側のホルダーに引っ掛けます。



TSD0007Z

■閉めかた

①キャップを“カチッ、カチッ”と、2回以上音がするまで右に回して閉めます。
②リッドを閉めます。

⚠ 警告

- キャップは確実に閉めてください。閉まっていないと走行中に燃料が漏れ、火災につながるおそれがあります。
- 日産純正品以外のキャップは使用しないでください。

アドバイス

- リッドを開閉するときは、助手席側スライドドアが閉まっていることを確認してください。スライドドアと干渉するおそれがあります。

ツインサンルーフ★

電源ポジションがONのとき操作できます。

⚠ 警告

- 乗員の操作を含めサンルーフ開閉操作は運転者に責任があるため、次のことを必ず守ってください。
  ・走行中は手や顔、物などを車外に出さないでください。走行時に車外のものに当たる、また急ブレーキ時に重大な傷害につながるおそれがあります。
  ・サンルーフを開閉するときは、手や首などを挟まないよう注意してください。また、お子さまには操作させないでください。重大な傷害につながるおそれがあります。
  ・車から離れるときは電源ポジションをOFFにし、キーとお子さまを車内に残さないでください。いたずらなどの誤った操作によって思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCD0054Z

⚠ 注意

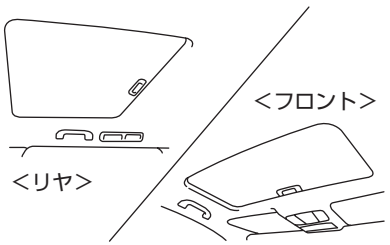
- 運転中はサンルーフの開閉操作を行わないでください。前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。操作は信号待ちなどの停車中に行ってください。
- ルーフに水や雪などがあるときは開けないでください。突然の水や雪に驚き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 開口部に腰を掛けたり、荷物を載せるなど、大きな力をかけないでください。ルーフが変形するおそれがあります。
- 車から離れるときや洗車するときは、盗難や故障などを防ぐためサンルーフを必ず閉めてください。
- 正常に作動しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

■サンシェードの開閉

- 手動で開閉します。
- サンルーフを開けると連動して開きます。
- サンルーフを開けているときは、開けているところまで閉めることができます。



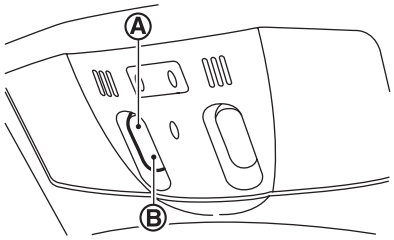
ZIC0492

⚠ 注意

- サンシェードを閉めるときは、サンシェードとルーフの間に指を挟まないようにしてください。

■サンルーフの開閉

フロントサンルーフ



ZIC0493

開閉のしかた

- スイッチのⒶ側を押すと自動で全開します。
- スイッチのⒷ側を押している間、閉まります。

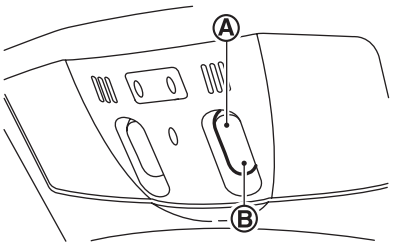
チルトアップのしかた

フロントサンルーフが全閉している状態で操作します。

- スイッチのⒷ側を押すと、自動で後部が上がります。
- スイッチのⒶ側を押している間、後部が下がります。

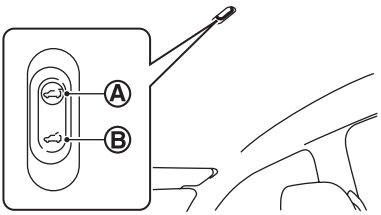
リヤサンルーフ

前席スイッチ



ZIC0520

後席スイッチ



ZIC0531

開閉のしかた

- 前席スイッチ、または後席スイッチのⒶ側を押すと自動で全開します。
- 前席スイッチ、または後席スイッチのⒷ側を押すと自動で全閉します。

チルトアップのしかた

リヤサンルーフが全閉している状態で操作します。

- 前席スイッチ、または後席スイッチのⒷ側を押すと、自動で後部が上がります。
- 前席スイッチ、または後席スイッチのⒶ側を押すと、自動で後部が下がります。

■リヤサンルーフのロックのしかた

- 運転席のパワーウインドーロックをONにすると、リヤサンルーフの開閉ができなくなります。
- パワーウインドーロックをOFFにすると開閉できます。

パワーウインドーのロックのしかた …P.62

■挟み込み防止機構（リヤサンルーフ）

リヤサンルーフを自動で閉めるときに、車体とサンルーフの間に異物の挟み込みを感知すると、サンルーフが停止し、自動で開き始めます。

⚠ 注意

- サンルーフを確実に閉めるため、閉め切る直前の部分では挟み込みを感知できない領域があります。指などを挟まれないように注意してください。

アドバイス

- 故障などで挟み込み防止機構が作動してしまい、サンルーフを自動で閉めることができないときは、スイッチを閉方向に繰り返し押して閉めてください。

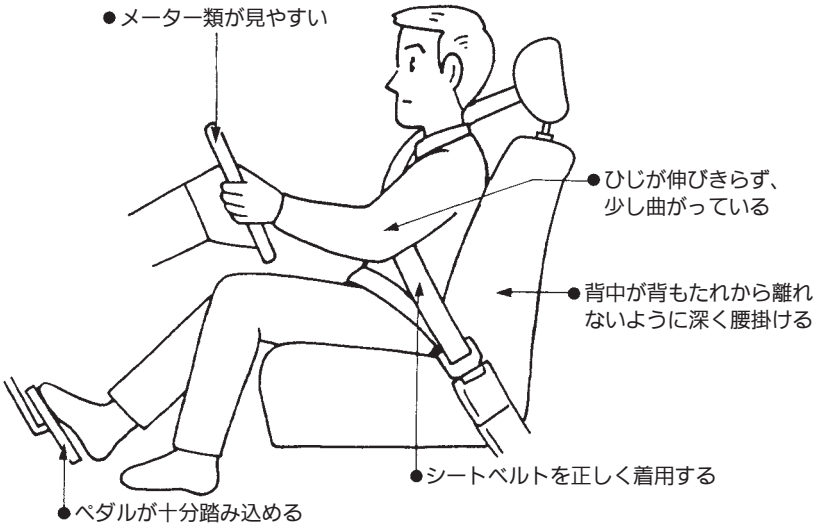
知識

- 環境や走行条件により、異物を挟んだときと同じような衝撃や荷重がサンルーフに加わると、挟み込み防止機構が作動することがあります。

ハンドル・シート・ミラーの調節のしかた

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるよう、ハンドル、シート、ミラーを調節してください。



TCD0008Z

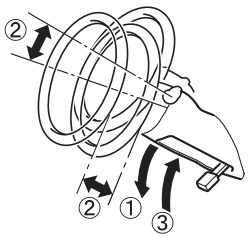
⚠ 警告

- ハンドル、シート、ミラーの調節は安全のため必ず走行前に行ってください。走行中に調節をすると前方不注意となり危険です。
- 調節したあとは確実に固定されたことを確認してください。ハンドルやシートが固定されていないと突然運転姿勢が変わり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- 調節するときは、動いている部分に手や足などを近づけないでください。挟まれてケガをするおそれがあります。
- マニュアルシートの背もたれを調節するときは、背もたれを支えながら調節してください。顔や身体に当たり思わぬケガをするおそれがあります。
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。運転姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 室内を清掃するときやシートの下に落とした物を拾うときなど、シートの下に手を入れるときは十分に注意してください。シートレールやシートフレームに当たりケガをするおそれがあります。

ハンドル



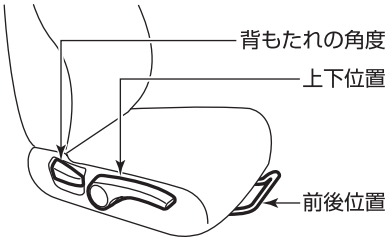
ZIC0495

前後・上下調節

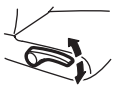
①ハンドル下のレバーを押し下げます。
②ハンドルを前後、または上下に動かし、適切な位置で止めます。
③レバーを引き上げ固定します。

フロントシート

マニュアルシートの調節★

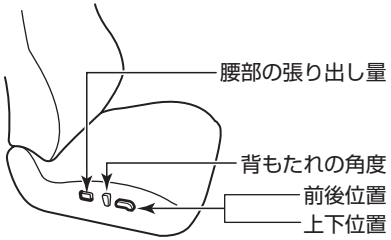


ZIC0053

調節箇所	レバー	操　作	運転席	助手席
前後位置 （スライド）	 ※ ZIC0530	●引いたまま調節したい方向にシートを動かします。	○	○
背もたれの角度 （リクライニング）	 ZIC0126	●引いたまま調節したい方向に背もたれを動かします。	○	○
上下位置 （リフター）	 ZIC0127	●引き上げると高くなります。 ●押し下げると低くなります。	○	－

※オットマン付車のみ

パワーシートの調節★



ZIC0107

調節箇所	スイッチ	操　作	運転席	助手席
前後位置 （スライド）	 ZIC0418	●調節したい方向に動かします。	○	○
背もたれの角度 （リクライニング）	 ZIC0419	●調節したい方向に動かします。	○	○
上下位置 （リフター）	 ZIC0420	●シート全体を調節するときは、後ろ側を動かします。 ●シートの前側を調節するときは、前側を動かします。	○	—
腰部の張り出し量 （ランバーサポート）	 ZIC0421	●調節したい方向を押します。	○	—

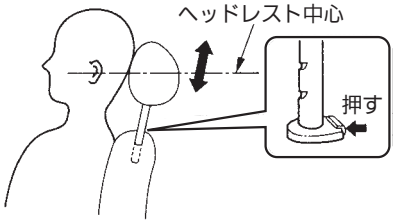
★/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

ヘッドレストの使いかた

■上下調節のしかた

ヘッドレストの中心が、耳の高さになるように調節します。

- 上げるときは、そのままヘッドレストを引き上げます。
- 下げるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを下げます。



TCE0051Z

■脱着のしかた

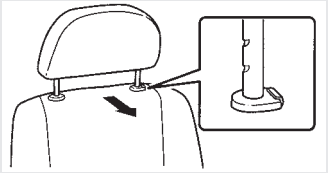
- 取り外すときは、ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。
- 取り付けるときは、ボタンを押しながらヘッドレストを差し込みます。

⚠ 警告

- ヘッドレストは外したまま走行しないでください。万一のとき、頭部への衝撃を防ぐことができなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 取り付けるときは、前後の向きを間違えないでください。



TCA0491Z

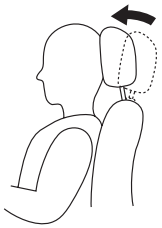
- 取り付けたあとは、ヘッドレストを持ち上げ、抜け出さないことを確認してください。万一のとき、ヘッドレストが効果を十分発揮せず、思わぬケガをするおそれがあります。

■前席アクティブヘッドレストについて

追突されたときに背もたれが乗員を受け止める力を利用して、ヘッドレストが瞬時に前方に移動します。

ヘッドレストの移動により、頭部の過度な後方への傾きを防ぎ、首への負担を軽減します。

いわゆる「むち打ち症」が多く発生するといわれている、低速から中速までの追突時に効果を発揮します。



TSC1471Z

⚠ 注意

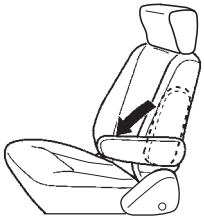
- ヘッドレストのステーにテーブル、テレビなどの用品を取り付けないでください。万一の追突時にアクティブヘッドレストの機能が損われるおそれがあります。

知識

- アクティブヘッドレストは、追突時のみ作動し、追突後は元の位置に戻ります。
- アクティブヘッドレストの調節方法は、通常のヘッドレストと同じです。正しく調節してください。

アームレストの使いかた

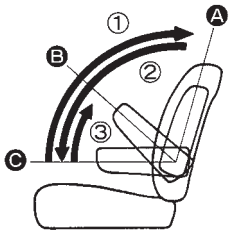
- 使うときはアームレストを前に倒します。格納するときは引き上げます。



TSC0099Z

■角度調節のしかた

- アームレスト位置を無段階に調節することができます。
  ①アームレストをⒶとⒷの範囲内に上げます。
  ②Ⓒの位置まで下ろします。
  ③ゆっくり上げるとⒷとⒸの範囲内の止めたところで固定します。



TSB0470Z

⚠ 注意

- 調節したあとは固定されていることを確認してください。

知識

- リクライニングの角度に合わせて、アームレストの角度を調節してお使いください。

助手席オットマン機構

シート下のオットマン（ふくらはぎ部）を調節することで、楽な姿勢をとることができます。また、足の疲労も軽減することができます。

⚠ 注意

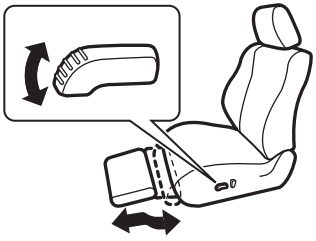
- シート位置が前方にあるときにオットマンを前方に調節すると、足を挟まれるおそれがあります。
- 乗降時及び使用後はシート下に格納してください。格納していないと、オットマンにつまずいて転倒するなど、思わぬケガをするおそれがあります。

アドバイス

- オットマンの上には乗らないでください。破損するおそれがあります。

パワーオットマン付車

①シートを最後方に動かします。
前後位置調節…P.70
②スイッチの前側を上、または下に押して調節します。
③シートの前後位置を調節します。

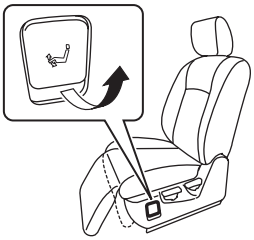


ZIC0496

●使用後は、格納位置に戻します。

マニュアルオットマン付車

①シートを後方に動かします。
前後位置調節…P.69
②レバーを引いてオットマンをお好みの位置まで上げます。



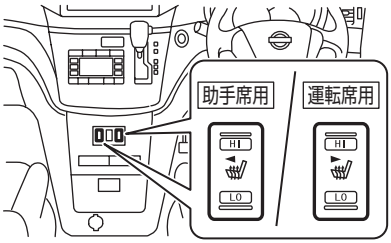
ZIC0497

●元に戻すときは、レバーを引きながらオットマンを押し下げて格納します。

シートヒーター★

電源ポジションがONのとき使えます。
フロントシートを温めます。

- スイッチのHI側、またはLO側を押します。
（スイッチの表示灯が点灯）
- OFFにするには、スイッチを中立位置にします。
（スイッチの表示灯が消灯）



ZIC0810

⚠ 注意

- 長時間の連続使用は低温やけどの原因となります。特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方、眠気をもよおす薬を服用された方、深酒や疲労の激しい方は注意して使ってください。
- シートに毛皮や座布団を載せないでください。また、日産純正以外のシートカバーを使わないでください。過熱するおそれがあります。
- 固くて重い物や突起がある物をシートに載せたり、ピンや針などの鋭い物でシートをつきさしたりしないでください。
- シートを清掃するときは、シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。
- 水などをこぼしたときは、乾いた布ですぐにふき取ってください。

アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけた状態で使ってください。また、アイドリング状態での連続使用は避けてください。

パーソナルドライビングポジションメモリーシステム★

●以下の機能があります。
・シートの退避・復帰機能
・メモリー機能（シート、ドアミラー鏡面角度）
・インテリジェントキー連動機能

知識

- 全ての機能は、セレクトレバーがPのときに作動します。
- エンジン始動時は作動が一時停止しますが、エンジン始動後に再開します。
- 以下のいずれかの操作を行うと作動が停止します。
  - セレクトレバーをP以外にしたとき。（シートの復帰機能は停止しません。）
  - シート、ドアミラーの調節スイッチを操作したとき。
  - セットスイッチ、メモリースイッチのいずれかを押したとき。

シートの退避・復帰機能

運転席シートが自動的に動き、乗り降りを楽にします。

■退避機能

●電源ポジションをOFFにして運転席ドアを開けると、運転席シートが乗り降りしやすい位置に動きます。

■復帰機能

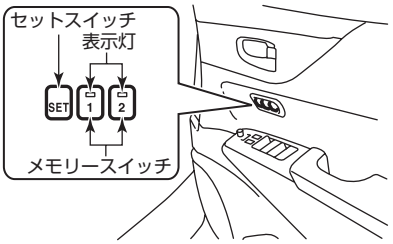
●電源ポジションをAccにすると、運転席シートが退避する前の位置に戻ります。

知識

- 退避した位置でシートを調節すると、復帰機能は作動しません。
- バッテリーを外したときは、電源ポジションをAccからLOCKに切り替え、ドアを2回開閉して作動状態にしてください。

設定の切り替え

シートの退避・復帰機能の作動・非作動を切り替えることができます。



ZIC0506

①電源ポジションをLOCKにします。
②セットスイッチを10秒以上押し続け、作動と非作動を切り替えます。

メモリー機能

2名分の運転ポジション（シート、ドアミラー鏡面角度）をスイッチに記憶させ、呼び出すことができます。

■記憶のしかた

①セレクトレバーをPにします。
②正しい運転姿勢がとれる運転席ポジションに調節します。
パワーシートの調節…P.70
ドアミラー…P.86
③セットスイッチを押し、押してから5秒以内に記憶させたい方のメモリースイッチを1秒以上押します。
・記憶させたスイッチの表示灯が約5秒間点灯します。

知識

- セットスイッチを押したとき、記憶されていると約5秒間、されていないと約0.5秒間、表示灯が点灯します。

■呼び出しかた

①セレクトレバーをPにします。
②記憶を呼び出したいメモリースイッチを1秒以上押します。
・呼び出し中は、スイッチの表示灯が点滅し、完了すると約5秒間点灯します。

知識

- 電源ポジションがLOCKでも、ドア解錠後に運転席ドアを開けてから約45秒間は呼び出すことができます。

インテリジェントキー連動機能

メモリースイッチに記憶させた運転ポジションをインテリジェントキーに登録すると、運転席ドアを解錠したときに運転ポジションが自動的に呼び出されます。

■登録のしかた

①セレクトレバーをPにします。
②電源ポジションをLOCKにします。
③セットスイッチを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）
④表示灯点灯中に記憶させたい方のメモリースイッチを押しながら、インテリジェントキーのドア解錠スイッチを押します。
（スイッチの表示灯が点滅）

■呼び出しかた

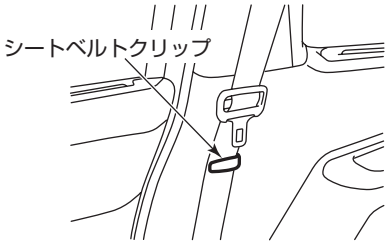
登録したインテリジェントキーを携帯し、運転席ドアハンドル・リクエストスイッチ、またはリモートコントロールエントリー機能で解錠します。

- 記憶させた運転ポジションが自動的に呼び出されます。

セカンドシート

アドバイス

- シートを操作するときは、左右のシートベルトをシートベルトクリップで留めてください。



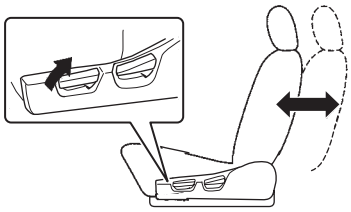
ZIC0538

前後位置調節（スライド）

左右別々に調整することができます。

①シートの横にある前側のレバーを引いたまま、シートを前後に動かします。

②レバーから手を離し、固定する位置までスライドさせます。



ZIC0500

※車種により形状が異なります。

⚠ 注意

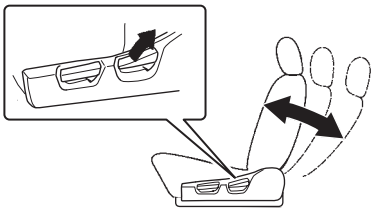
- シートは必ず固定する位置で使用してください。

背もたれの角度調節（リクライニング）

左右別々に調節することができます。

①シートの横にある後ろ側のレバーを引いたまま、背もたれを傾けます。

②レバーから手を離したところで固定します。



ZIC0501

※車種により形状が異なります。

⚠ 警告

- 背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- 背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻してください。急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。

ヘッドレストの使いかた

ヘッドレストの使いかたは、フロントシートと同じです。（大型センターアームレスト付車の中央席を除く）

ヘッドレストの使いかた…P.71

- 大型センターアームレスト付車の中央のヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。

⚠ 注意

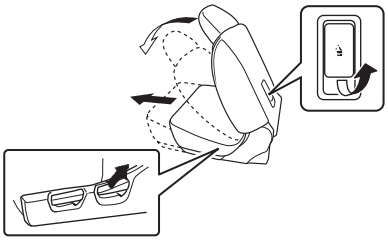
- 大型センターアームレスト付車の中央のヘッドレストはロック位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してから使用してください。格納状態では機能が十分に発揮できません。

サードシートへの乗り降り

サードシートへ乗り降りするとき、セカンドシートを前方へスライドさせ、乗り降りを楽にすることができます。

①セカンドシートのリクライニングレバー（後ろ側）、またはセカンドシート後ろ側のウォークインレバーを引くと背もたれが倒れます。

②セカンドシートを前方へスライドさせます。



ZIC0498

- 元に戻すときは、シートを後方へスライドさせたあと、背もたれを起こして固定させます。

⚠ 注意

- セカンドシートを操作するときは背もたれを手で押さえ、ゆっくり作動させてください。
  急に背もたれが倒れたりシートがスライドすると、顔や身体などに当たったり、手や足を挟んだりして思わぬケガをするおそれがあります。
- 物や飲物などを置いたままシートを前方へスライドさせないでください。物を壊したり室内を汚すおそれがあります。
- 背もたれを起こして元に戻したときは、シートが確実に固定されたことを確認してください。
- 走行するときは必ずシートを固定させてください。思わぬ事故やケガにつながるおそれがあります。

アームレストの使いかた

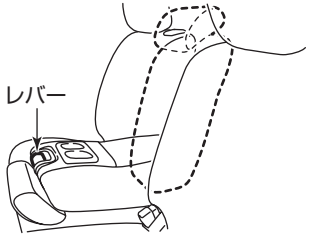
角度調整式アームレスト付車

使いかたは、フロントシートと同じです。

アームレストの使いかた…P.72

大型センターアームレスト付車

- 前に倒して使います。
- 格納するときは引き上げます。
- 中央のアームレストはレバーを引いて前に倒します。

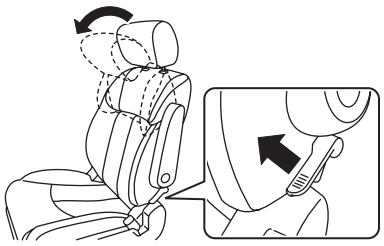


ZIC0526

シートバック中折れ機能（コンフォタブルキャプテンシート）★

セカンドシート背もたれ上部が中折れし、快適な姿勢に調節できる機構です。

- シート背もたれ内側下のレバーを上側に引くと背もたれ上部が前方に傾きます。



ZIC0499

- 元に戻すときは、レバーを引きながらシート背もたれ上部を手で押し戻します。

⚠ 注意

- 背もたれを傾けるときは、背もたれ上部を手で押さえ、ゆっくり傾けてください。急に傾けると顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。

オットマン機構★

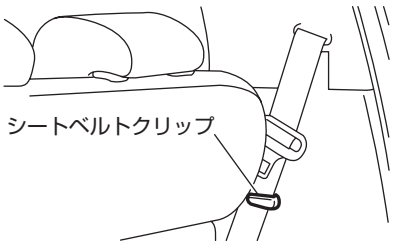
使いかたは、助手席マニュアルオットマンと同じです。

助手席オットマン機構（マニュアルオットマン付車）…P.73

サードシート

アドバイス

- サードシート中央のシートベルトは必ず格納してから操作してください。
  格納のしかた…P.95
- シートを操作するときは、左右のシートベルトをシートベルトクリップで留めてください。



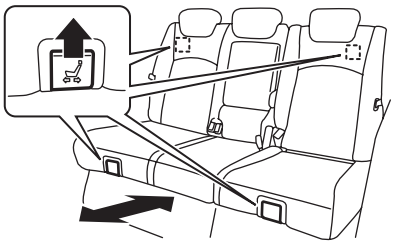
ZIC0508

前後位置調節（スライド）

左右別々に調整することができます。

①シートの下側にあるレバーを引いたまま、シートを前後に動かします。
ラゲッジルーム側から操作するときは、シート後ろ側にあるレバーを引いたまま、シートを前後に動かします。

②レバーから手を離し、固定する位置までスライドさせます。



ZIC0724

⚠ 注意

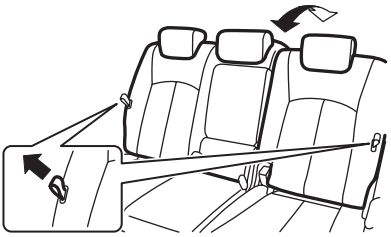
シートは必ず固定する位置で使用してください。

背もたれの角度調節（リクライニング）

左右別々に調節することができます。

①ストラップを引いたまま、背もたれを傾けます。

②ストラップから手を離したところで固定します。



ZIC0507

⚠ 警告

- 背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- 背もたれを起こすときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり戻してください。急に戻すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。

背もたれの倒しかた

ストラップ操作1つでサードシートを折りたたみ、ラゲッジルームのスペースを広げることができます。

⚠ 警告

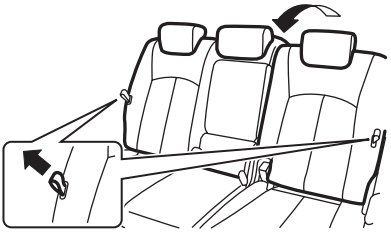
- ラゲッジルーム（荷室）に人を乗せて走行しないでください。急ブレーキをかけたときなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- シート脇のストラップで背もたれを倒すときは、背もたれを手で押さえ、ゆっくり倒してください。急に倒すと顔や身体などに当たり、思わぬケガをするおそれがあります。
- サードシートに人が乗っていたり、シートクッションの上や下に物や飲物などを置いたまま操作しないでください。ケガをしたり、物を壊したり、室内を汚すおそれがあります。特に車外（ラゲッジルーム）から背もたれを倒すときはサードシートが見えにくいので注意してください。
- サードシートを折りたたむときはシートクッションが下方向へ下がるため、手や足、物などを挟まないように注意してください。

■車内からの操作

●サードシート背もたれの左右にあるストラップを引き、背もたれを倒します。

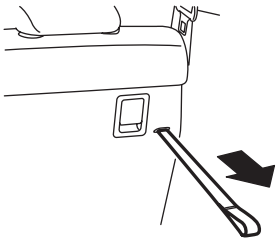


ZIC0509

●戻すときは、背もたれを起こし、手で後方へ押し付けてロックします。

■車外（ラゲッジルーム）からの操作

●サードシート背もたれの後ろ側にあるストラップを引き背もたれを倒します。



ZIC0725

●戻すときは、ストラップを引きロックする位置まで背もたれを引き上げます。

ヘッドレストの使いかた

ヘッドレストは、格納位置からロックする位置まで上げた状態で使います。

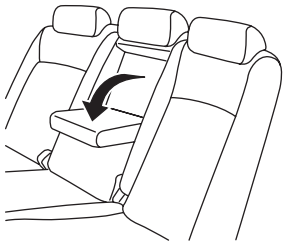
⚠ 注意

- ヘッドレストはロック位置まで上げ、確実に固定されていることを確認してから使用してください。格納状態では機能が十分に発揮できません。

- ヘッドレストの脱着は、フロントシートと同じです。
ヘッドレストの脱着のしかた…P.71

アームレストの使いかた

- 前に倒して使います。
- 格納するときは引き上げます。



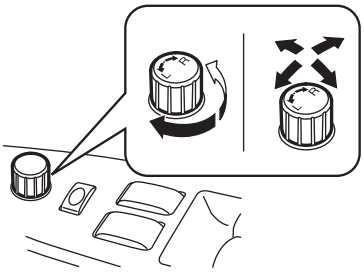
ZIC0537

ドアミラー

電源ポジションがAcc、またはONのとき操作できます。

■角度調節のしかた

①調節するドアミラー側にスイッチを回します。
（左側はL、右側はR）
②スイッチを動かして、鏡面角度を調節します。



ESH0396Z

⚠ 警告

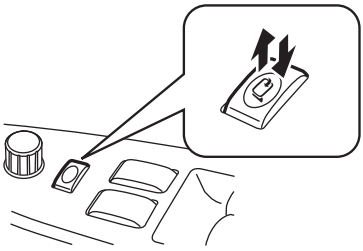
- 鏡面の調節は走行前に行ってください。走行中の調節は前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ミラーの映像は実際より遠くに見えるので注意してください。

■格納するとき

- スイッチを押すごとに切り替わります。



ESH0397Z

スイッチ位置	作　動
	格納します。
	元に戻ります。（使用位置）

⚠ 注意

- ミラーが動いているときは手を触れないでください。手を挟む、またミラーが故障する原因になるおそれがあります。
- ミラーを格納したまま走行しないでください。後方確認ができないため危険です。
- 手動で開閉すると走行中ミラーが前方、または後方に倒れるおそれがあります。手動で開閉したあとは、走行前に電動で開閉操作を行ってください。

アドバイス

- スイッチ操作を連続して行うと、途中で停止することがありますが、故障ではありません。しばらくしてから再度操作してください。
- 手動で開閉した場合、格納スイッチの位置により、電源ポジションをAcc、またはONにしたときにミラーが動き出すことがあります。

知識

ヒーター付ドアミラー★

- 電源ポジションがONのときにリヤウインドーデフォッガースイッチ（P.176）を押すと、バックドアガラスのくもりを取るのと同時にドアミラーの霜やくもりが取れます。

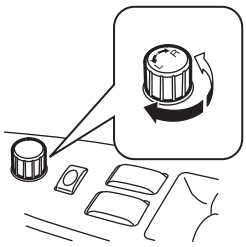
■リバース連動下向ドアミラー★

セレクトレバーをRにすると（後退時）、左右のドアミラーの角度が両側同時に後輪の外側付近を映すように作動します。

- 左右切り替えスイッチを左右どちらかにすると作動し、中立にあると作動が停止します。

使いかた

①電源ポジションをONにし、左右切り替えスイッチを左右どちらかに動かします。（左右どちらに動かしても作動します。）



ZIC0073

②セレクトレバーをRにします。
③ドアミラーが下向きに作動します。

- セレクトレバーをR以外にするか、スイッチを中立位置にすると元の角度に戻ります。

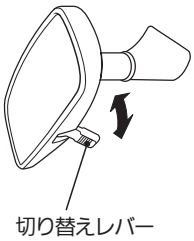
知識

- 電源ポジションをON以外にしてもドアミラーは元の角度に戻ります。
- 使用している鏡面角度によっては、リバース時に鏡面が作動範囲まで動いたあとも動こうとしますが異常ではありません。

防眩式ルームミラー★

通常は防眩切り替えレバーを前方に押した状態で使います。

- ミラー本体を持って、後方視界が十分確認できる位置に高さと角度を調節します。
- 後続車のヘッドライトがまぶしいときは、防眩切り替えレバーを手前に引くと反射が弱くなります。



ESG0764Z

⚠ 警告

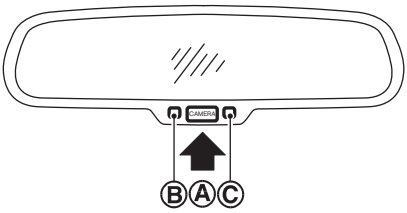
- ミラーの調節は走行前に行ってください。また、防眩への切り替えは必要なときのみ行ってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー★

自動防眩式ルームミラーは、後続車両のヘッドランプの明るさに応じて反射率を自動的に調整します。電源ポジションをONにすると自動的に作動します。

- システムが作動状態になるとインジケーターⒷが点灯し、後続車両のヘッドランプによるまぶしさを軽減します。
  スイッチⒶを約3秒間押すと、ルームミラーは標準作動状態になり、インジケーターが消灯します。スイッチを再び約3秒間押すと、自動防眩システムが作動します。
- セレクトレバーをRに入れると、モニターには車両周辺が映し出されます。

インテリジェント アラウンドビューモニター(移動物 検知機能付)…P.295



ZIC0726

⚠ 警告

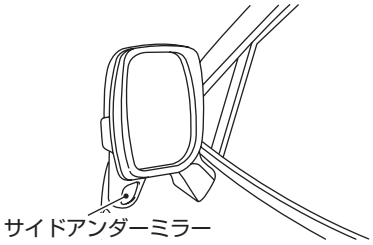
- ミラーの調節は走行前に行ってください。また、防眩への切り替えは必要なときのみ行ってください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ルームミラーに物をかけたり、ガラスクリーナーを使用したりしないでください。センサー©の感度が低下し、作動不良の原因となる場合があります。

知識

- インテリジェント アラウンドビューモニターを表示中は、防眩システムの作動、非作動の切り替えはできません。

サイドアンダーミラー★

発進時、車両の左側すぐ下の状況を確認するために使います。



ZIC0502

⚠ 注意

- 発進時には安全のためサイドアンダーミラーによる周囲の確認と合わせて直接目視確認してください。
- サイドアンダーミラーは車の近くを確認するため、角度が下向きにセットされています。進行中後方を見るときはドアミラーで確認してください。

アドバイス

- サイドアンダーミラーは固定式です。破損するおそれがありますので無理に動かさないでください。

シートベルトの着用のしかた

シートベルトの正しい着用

- 走行する前に全員が必ずシートベルトを着用してください。
- シートベルトは正しい姿勢で正しく着用しないと、シートベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガなどをするおそれがあります。
- 次の使用方法、警告にしたがって正しく着用してください。



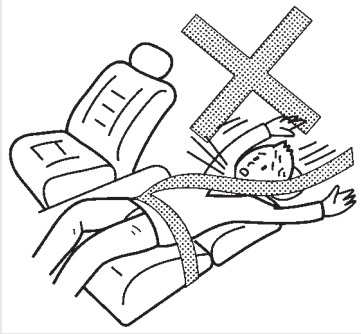
TCD0009Z

⚠ 警告

- 走行する前に全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。
- シートベルトを正しく着用しないと、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。着用するときは以下のことを必ずお守りください。
  - ・運転者は正しい運転姿勢で、同乗者は正しい着座姿勢で着用してください。
  - ・ベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使わないでください。
  - ・ベルトはねじれた状態で着用しないでください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、万一のとき衝撃力が分散できず、局部的に強い力を受けることがあります。
  - ・腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。ベルトが腰骨からずれていると、腹部に強い圧迫を受けることがあります。
  - ・肩ベルトは脇の下を通さず、確実に肩に掛けてください。肩に十分掛かっていないと、上半身を拘束しないことがあります。
  - ・シートベルトをクリップなどで故意にたるみをつけ、身体から浮いた状態に調節しないでください。ベルトにたるみがあると、十分な効果を発揮しないことがあります。

⚠ 警告

- シートの背もたれを倒したまま走行しないでください。シートベルトが効果を十分発揮せず、衝突時などに身体がシートベルトの下に入り込み、ベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。



TCA0041Z

- バックルや巻き取り装置の中に異物を入れないでください。シートベルトが正常に機能を発揮せず、万一のとき重大な傷害につながるおそれがあります。
- 妊娠中や疾患のある方も、万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし、局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので医師に相談し、注意事項を確認してください。妊娠中の方は、腰ベルトを腹部から避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩ベルトは、確実に肩を通し、腹部を避けて胸部に掛かるように着用してください。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまをひざの上に抱いていると、衝突時などにお子さまを支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。



TCA0042Z

- シートベルトが首や顔に当たるなど、適正な着用ができない小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。
チャイルドシート…P.98
- 一度強い衝撃を受けたシートベルトやベルト部分に傷がついたり破れたりしているシートベルトは、機能を十分発揮しないことがあります。事故などにより衝撃を受けたり傷がついた場合は、日産販売会社に点検を依頼してください。

⚠ 警告

- シートベルトの清掃は中性洗剤かぬるま湯で行い、乾かしてからお使いください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。ベルトの性能が落ち、シートベルトが機能を十分発揮しないことがあります。

知識

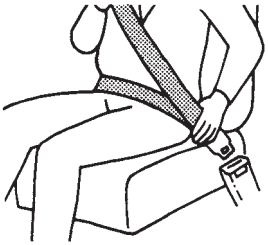
- 運転者がシートベルトを着用していないと、警告灯（P.158）や警報（P.165）が作動します。

シートベルトの着用のしかた

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト（フロント・セカンドシート、サードシート左右）

通常は身体の動きに合わせて伸縮しますが、衝突時など強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロックし身体を固定します。

①タングを持ってベルトをゆっくり引き出します。
・ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。
②ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



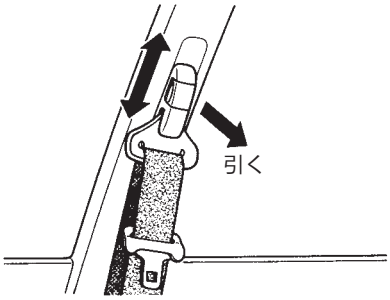
TCA0043Z

③ベルトがねじれないようにして、タングをバックルに“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



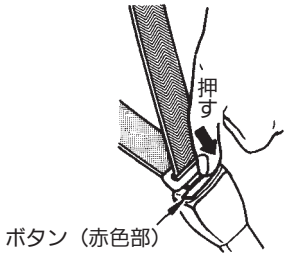
TCA0044Z

④肩ベルトのアンカー位置の高さを調節します。（フロント・セカンドシート左右のみ）
・ノブを引きながらアンカー部を上下させ、ベルトが肩に確実に掛かる位置に調節し手を離します。
・手を離したあと、“カチッ”と音がするまで動かし固定させます。



TCA0219Z

●外すときは、バックルのボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。



TCG0046Z

⚠ 警告

●ベルトが肩に確実に掛かる位置にアンカーの高さを調節してください。また、アンカーが確実に固定されていることを確認してください。ベルトが肩から外れたり、万一のときシートベルトが十分効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト（サードシート中央）

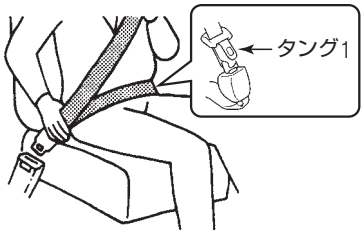
■着用のしかた

①タング1を持ってベルトをゆっくり引き出します。

・ベルトがロックして引き出せないときは、ベルトをゆるめ再度ゆっくり引き出してください。

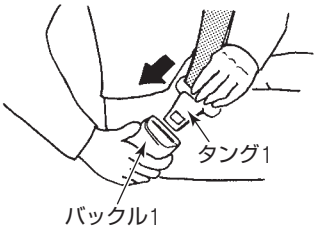
※ベルトが格納されている場合は、取り出しかた…P.96をお読みください。

②ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に掛け、たるみがないように密着させます。



ZIC0512

③ベルトがねじれないようにして、タング1をバックル1に“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。

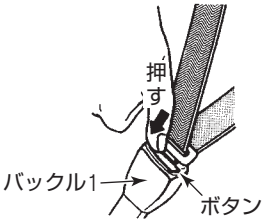


ZIC0513

⚠ 警告

- サードシート中央用のタングとバックルは2個ずつあります。着用するときは必ずタング1と2、バックル1と2を正しく差し込んでお使いください。正しく固定されていないと、万一のときシートベルトが十分効果を発揮せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

●外すときは、バックル1のボタンを押し、タングを持ってゆっくり戻します。



ZIC0521

アドバイス

- ベルトを外すとき、タングが急に戻ることがありますので、タングから手を離さないでください。

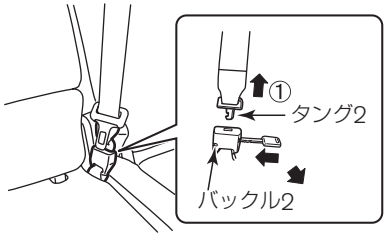
知識

- バックル1は、「CENTER」と表示されているものをご使用ください。

■格納のしかた

サードシート中央を使用しないときやサードシート背もたれを倒すときは、ラゲッジルームの天井にタングを格納します。

①タング2を持ってバックル2の白いボタンをキーなどで押し込んでロックを解除します。

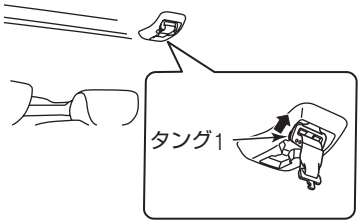


ZIC0522

アドバイス

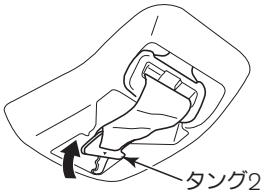
- ベルトを外すとき、タングが急に戻ることがありますので、タングから手を離さないでください。

②タング2を持ってゆっくりと格納場所まで戻します。
③タング1を車両前方側の格納部に差し込みます。



ZIC0523

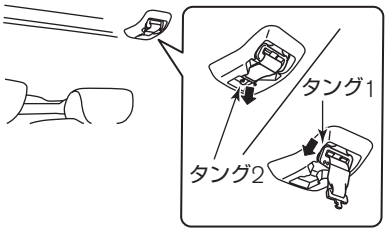
④タング1を手で押さえながらタング2のベルトを少し引き出し、タング2を片端ずつ車両後方側の格納部に差し込みます。



ESE1228Z

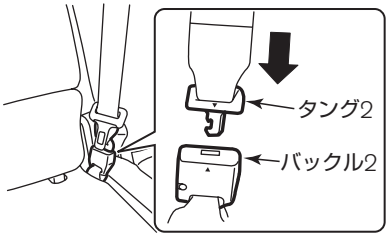
■取り出しかた

①タング2を車両後方側の格納部から抜き出したあと、タング1を車両前方側の格納部から抜き出します。



ZIC0524

②タング2をゆっくり引き出し、タング2の▼マークをバックル2の▲マークに合わせて“カチッ”と音がするまで確実に差し込みます。



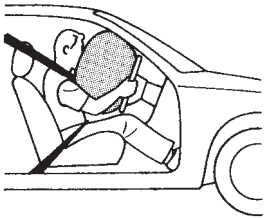
ZIC0525

前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト

正面衝突など車両前方から強い衝撃を受けたとき、装着したシートベルトを瞬時に巻き取るプリテンショナーと乗員に加わるシートベルトの拘束力を一定レベルに保つロードリミッターが付いています。

- 運転席・助手席SRSエアバッグシステムと同時に作動します。

SRSエアバッグが作動するとき・しないとき…P.107



TCA0050Z

⚠ 警告

- 使用方法は通常のシートベルトと同じです。正しく着用しないと、プリテンショナー及びロードリミッターの効果が十分発揮できず、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- 電源ポジションをON後約7秒間はシステムチェックを行うため、プリテンショナーは作動しません。SRSエアバッグ警告灯が消灯してから走行してください。

■プリテンショナーシートベルト付車の取り扱いについて

⚠ 警告

- プリテンショナーシートベルトの部品や配線を修理しないでください。また、電気テスターを使ってプリテンショナーのシステムの回路診断をしないでください。誤って作動する、または、正常に作動しなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

- 廃車にするときやプリテンショナーシートベルトを廃棄するときは、必ず日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- プリテンショナーが作動したとき作動音や白煙が出ますが、火災ではありません。
- プリテンショナーは、一度作動すると再使用できません。衝突を起こしたときは必ず日産販売会社で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

チャイルドシート

チャイルドシートについて

乳児用チャイルドシート、チャイルドシート、ジュニアチャイルドシートの総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。
チャイルドシートの固定機構を使ってチャイルドシートを固定することができます。

⚠ 注意

- お子さまの年齢や体格にあった、適切なチャイルドシートをお選びください。
- 固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

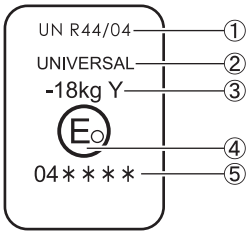
知識

- この車はUN R44※の基準に適合したISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーを標準装備しています。

※UN R44はチャイルドシートに関する国際法です。

UN R44認可マークについて

UN R44の基準に適合した汎用（ユニバーサル）チャイルドシートには、下記の認可マークが表示されています。必ずUN R44の基準に適合したチャイルドシートをお使いください。



ZIC0743

①法規番号
②チャイルドシートのカテゴリー（UNIVERSALは汎用品の認可であることを表します。）
③対象となるお子さまの体重範囲
④当該装置を認可した国番号
⑤当該装置認可番号

チャイルドシートの質量グループ

■質量グループについて

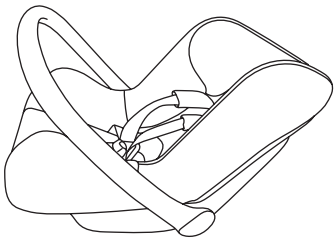
UN R44の基準に適合するチャイルドシートはお子さまの体重により以下のように分類されます。

質量グループ	お子さまの体重
グループ0	10kgまで
グループ0^+	13kgまで
グループⅠ	9～18kgまで
グループⅡ	15～25kgまで
グループⅢ	22～36kgまで

チャイルドシートの種類（例）

■乳児用チャイルドシート

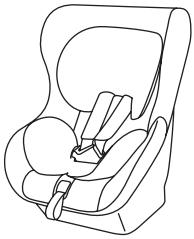
●UN R44基準のグループ0、0^+に相当します。



ZIC0381

■チャイルドシート

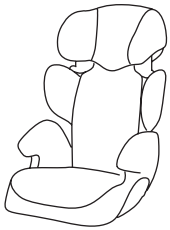
●UN R44基準のグループ0^+、Ⅰに相当します。



ZIC0382

■ジュニアチャイルドシート

●UN R44基準のグループⅡ、Ⅲに相当します。



ZIC0383

チャイルドシート適合表

チャイルドシートの固定方法には、シートベルトで取り付ける方法と、ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーで取り付ける方法があります。次の表から各着席位置でどのチャイルドシートが使用できるかを確認してください。

シートベルトで取り付けるチャイルドシートについて

■選択の目安

詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

質量グループ	着席位置					
	助手席	セカンドシート				サードシート
		7人乗り	8人乗り			全席
		左右	左 ※	中央	右	
0（10kgまで）	×	U	U	×	×	U
0+（13kgまで）	×	U	U	×	L	U
Ⅰ（9～18kg）	L	U	U	L	L	U
Ⅱ（15～25kg）	L	U	U	L	L	U
Ⅲ（22～36kg）	L	U	U	L	L	U

凡例

U　：この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのチャイルドシートに適合しています。

L　：以下の表に記載されている日産純正チャイルドシートの取り付けが可能です。

×　：チャイルドシートを取り付けることはできません。

※セカンドシート左側のシートを最後端から240mm（12ノッチ）以上前にスライドさせてから、チャイルドシートを取り付けてください。（ノッチとは、スライドがロックする位置の数です。）

■日産純正チャイルドシート

質量グループ	取り付け向き	商品名	
0（10kgまで）	―	―	
0+（13kgまで）	後向き	ISO FIX対応チャイルドセーフティシート（E4 04443716）	チャイルドセーフティシート（E4 04443812）
Ⅰ（9～18kg）	前向き		
Ⅱ（15～25kg）	前向き	ジュニアセーフティシート（E43 44R040006）	
Ⅲ（22～36kg）	前向き		

⚠ 注意

- 表に記載されていないチャイルドシートを使用するときは、チャイルドシート製造業者、または販売業者にご相談ください。

ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーで取り付けるチャイルドシートについて

■選択の目安

詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

質量グループ	サイズ等級	固定具	車両ISO FIX位置	
			セカンドシート左右	セカンドシート中央
キャリーコット	F	ISO/L1	×	−
	G	ISO/L2	×	−
0（10kgまで）	E	ISO/R1	×	−
0⁺（13kgまで）	E	ISO/R1	IL	−
	D	ISO/R2	×	−
	C	ISO/R3	×	−
Ⅰ（9〜18kg）	D	ISO/R2	×	−
	C	ISO/R3	×	−
	B	ISO/F2	IUF	−
	B1	ISO/F2X	IUF	−
	A	ISO/F3	IUF	−
Ⅱ（15〜25kg）	−	(1)	×	−
Ⅲ（22〜36kg）	−	(1)	×	−

凡例

IUF　：この質量グループでの使用を認可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーのISO FIX対応前向きチャイルドシートに適合しています。

IL　：この質量グループでの使用を認可された、以下の表に記載されている「日産純正ISO FIX対応ベビーシート」に適合しています。

×　：チャイルドシートを取り付けることはできません。

(1)　：サイズ等級表示のないチャイルドシートの各シート位置でのISO FIX対応チャイルドシート固定機構の取り扱いについては販売業者にご相談ください。

■日産純正ISO FIX対応チャイルドシート

質量グループ	サイズ等級	固定具	商品名	取り付け向き	カテゴリー
0⁺（13kgまで）	E	ISO/ R1	日産純正ISO FIX対応ベビーシート	後向き	準汎用

⚠ 注意

- 日産純正ISO FIX対応ベビーシートの取り付けには別売りのベースキットが必要です。
- ISO FIX対応のチャイルドシートをすでにお持ちの場合、ご使用前にUN R44の基準に適合していることを確認してください。詳しくは、チャイルドシートに付属の取扱説明書を参照してください。

ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーについて

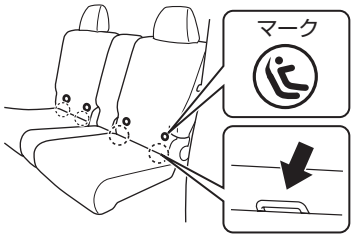
セカンドシート左右にはISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるためのアンカー（固定装置）が装備されています。

⚠ 注意

- ISO FIX対応チャイルドシートを取り付けるときは、ヘッドレストを最下段のロックする位置にしてください。

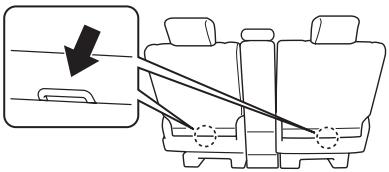
■アンカーの場所

- ISO FIX対応チャイルドシート用ロアアンカーは、マーク下側にあります。



ZIC0503

- テザーアンカーは、背もたれ後ろ側の下側にあります。



ZIC0504

- 取り付けかた及び取り外しかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書をお読みください。

⚠ 警告

- チャイルドシートを取り付けるときは、アンカー部周辺に異物がないことや、シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物やシートベルトなどをかみ込むとチャイルドシートが固定されず、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。
- チャイルドシートは確実に固定してください。確実に固定されていないと、衝突時や急ブレーキ時にお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

知識

- シートカバーを装着するときは、スリットがあるものを使用してください。日産純正シートカバーをおすすめします。

SRSエアバッグ

SRSエアバッグの作動

SRSエアバッグは、シートベルトと併用することで安全性を高めます。シートベルトは必ず着用してください。

※SRSとは、Supplemental Restraint Systemの略でシートベルトの補助拘束装置の意味です。

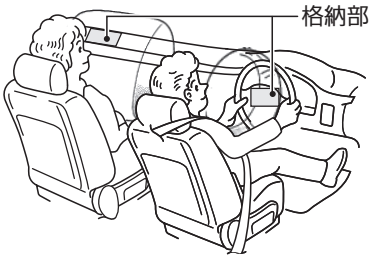
●電源ポジションがONのとき作動可能です。

■運転席・助手席SRSエアバッグシステム

車両前方から強い衝撃を受けたときSRSエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の頭部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

●運転席SRSエアバッグは、ハンドル部に格納されています。

●助手席SRSエアバッグは、助手席側インストルメントパネル部に格納されています。乗員がいなくても運転席と同時に作動します。

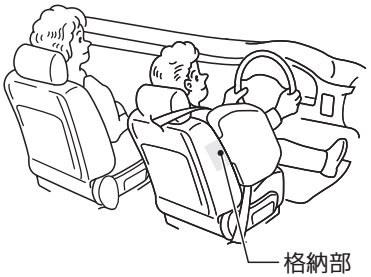


ESG0449Z

■運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSサイドエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に胸部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

●SRSサイドエアバッグは、シート背もたれ側面（外側）に格納されています。助手席は乗員がいなくても作動します。

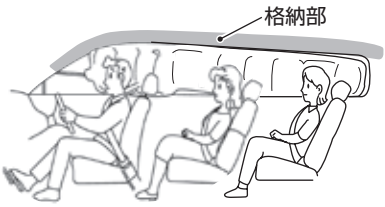


ESG0450Z

■SRSカーテンエアバッグシステム

車両側面から強い衝撃を受けたとき、衝撃を受けた側のSRSカーテンエアバッグが瞬時に膨らみ、乗員の主に頭部にかかる衝撃を緩和するシステムです。

●SRSカーテンエアバッグは左右のルーフサイドに格納されています。助手席側は乗員がいなくても作動します。



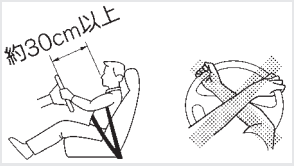
ZIC0515

⚠ 警告

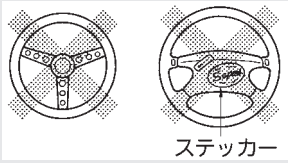
- SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置です。SRSエアバッグだけでは、身体の飛び出しなどを防止することはできません。SRSエアバッグの効果を発揮させるため、必ずシートベルトを正しい姿勢で正しく着用してください。
- 乗車するときは必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグが誤って作動したり正常に作動しなくなるおそれがあります。また、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ハンドルまわり、車両前部、インストルメントパネルまわり、フロントシートまわり、センターピラー（ロックピラー）まわり、センターコンソールまわり、ルーフサイド部などのSRSエアバッグ格納部を修理するときは、日産販売会社にご相談ください。また、SRSエアバッグ格納部に傷がついていたりひび割れがあるときは、そのまま使用せず日産販売会社で交換してください。
  - ・SRSエアバッグ格納部に過度の衝撃を与えないでください。
  - ・電気テスターを使ってSRSエアバッグの回路診断をしたり、回路を変更しないでください。
  - ・エアロパーツなどを取り付けたりサスペンションを改造するときは、日産販売会社にご相談ください。不適正な改造をすると衝撃を正しく検知できません。

運転席SRSエアバッグシステム

- 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなるおそれがあります。また、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ハンドルから顔をできるだけ（約30cm以上）離し、ハンドルにもたれかかるなどSRSエアバッグ格納部に手や顔、胸などを不必要に近づけないでください。また、内がけでのハンドル操作はしないでください。
  - ・不適正なハンドルに交換しないでください。また、センターパッド部（SRSエアバッグ格納部）にステッカーなどを貼らないでください。
  - ・前面ガラスにアクセサリーなどを付けないでください。



TCG0030Z

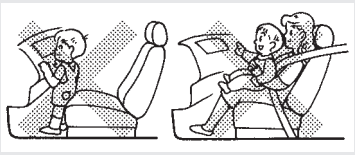


TCG0031Z

⚠ 警告

助手席SRSエアバッグシステム

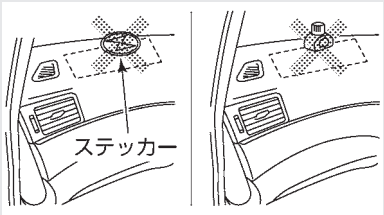
- 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなるおそれがあります。また、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - インストルメントパネル（SRSエアバッグ格納部）に手や足を置いたり、顔や胸などを近づけないでください。また、お子さまをSRSエアバッグ格納部の前に立たせたりひざの上に抱いたりせず、後席に乗せてください。


TCG0032Z

  - チャイルドシートは後席シートに取り付けてください。やむを得ず助手席シートに取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。
    チャイルドシート…P.98


TSG0038Z

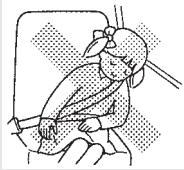
  - チャイルドシートは走行する前に確実に固定されていることを確認してください。固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。
  - インストルメントパネル上面にステッカーなどを貼らないでください。また、アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。



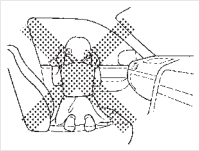
ZIC0514

運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム及びSRSカーテンエアバッグシステム

- 必ず次のことをお守りください。守らないと、SRSエアバッグ作動時に強い衝撃を受けたり正常に作動しなくなるおそれがあります。また、重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ドアにもたれるなど、フロントシート背もたれ側面（外側）のSRSサイドエアバッグ格納部及び各シートの窓ガラスやピラートリムなどのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に近づかないでください。特にお子さまが窓から腕を出したり、フロントシートの背もたれを抱えたりしないように注意してください。


TSG0065Z

  - 前席ドアをガラスが割れるほど強く閉めないでください。SRSエアバッグが誤作動するおそれがあります。


TSG0066Z

⚠ 警告

・フロントシートのSRSサイドエアバッグ格納部付近に傘やカバンなどを置かないでください。また、センターピラー（ロックピラー）まわり、ルーフサイド部などのSRSカーテンエアバッグ格納部付近に、アクセサリーやハンガーなどを取り付けないでください。
・シートカバーはフロントシート背もたれ側面を覆わないものをお使いください。日産純正シートカバーをおすすめします。

⚠ 注意

- 電源ポジションをONにしたあと約7秒間はメーター内のSRSエアバッグ警告灯が点灯し、システムチェックを行うため、SRSエアバッグは作動しません。警告灯が消灯してから走行してください。
- SRSエアバッグは膨らんだあと高温になるため、30分以内はさわらないでください。やけどをするおそれがあります。
- SRSエアバッグは高温のガスにより高速で膨らむため、事故の状態によっては、擦過傷、打撲、やけどなどを負うことがあります。
- SRSエアバッグが膨らむとき､作動音や白煙が出ますが火災ではありません。また、発生するガスによりむせることがありますが毒性はありません。ただし、SRSエアバッグ作動時の残留物（カス）などが目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く水で洗い流してください。皮膚の弱い方などは、まれに皮膚に刺激を感じることがあります。
- 廃車にするときやSRSエアバッグを廃棄するときは必ず日産販売会社にご相談ください。SRSエアバッグの作動により、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- SRSエアバッグは、一度膨らむと再使用できません。日産販売会社で交換してください。

知識

- 助手席SRSエアバッグが作動した衝撃で前面ガラスが割れることがあります。
- 運転席、助手席SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしぼむので、視界の妨げになることはありません。

SRSエアバッグが作動するとき・しないとき

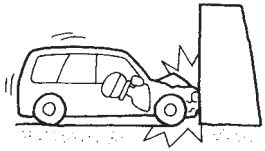
正面衝突時や側面衝突時において、乗員がシートベルトを正しく着用していても重大な傷害を受けるおそれのあるような衝撃を受けた場合に作動します。しかし衝撃が車体で吸収、または分散され、車両の損傷は大きくても乗員への衝撃が強くならない場合には、作動しない場合があります。

■作動するとき

運転席・助手席SRSエアバッグシステム

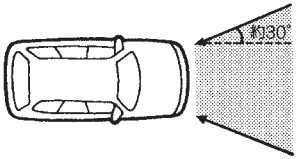
次のような衝撃が強いときに作動します。

- 25km/h以上の速度で厚いコンクリートのような壁に正面衝突したとき



TCG0053Z

- 車両前方左右、約30度以内の方向から強い衝撃（左図と同等）を受けたとき



TCG0054Z

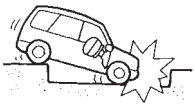
次のような、車両下部に強い衝撃を受けたときも作動することがあります。
（車両の損傷は少なくても乗員への衝撃は強いとき）

- 高速で縁石などに衝突したとき



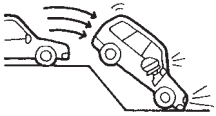
TCG0055Z

- 深い穴や溝に落ち込んだとき



TCG0056Z

- ジャンプして地面にぶつけたとき

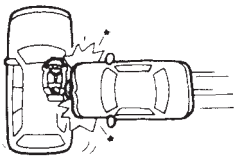


TCG0057Z

運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム、SRSカーテンエアバッグシステム

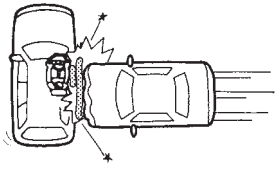
次のような衝撃が強いときに作動します。

- 一般的な乗用車に25km/h以上の速度で側面に真横から衝突されたとき



〈SRSサイドエアバッグシステム〉

TCG0058Z



〈SRSカーテンエアバッグシステム〉

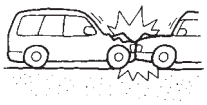
TCG0059Z

■作動しにくいとき

次のような衝撃が弱いときは作動しないことがあります。
衝突したものが変形したり移動したときや、衝突したものの形状や衝突の状態によって衝突時の衝撃が緩められたときは、作動しにくくなります。

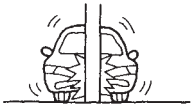
運転席・助手席SRSエアバッグシステム

- 停車している同クラスの車に約50km/h以下の速度で衝突したとき



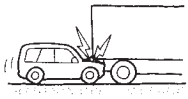
TCG0060Z

- 衝突時に折れない電柱などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき



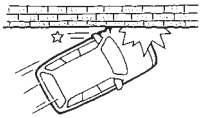
TCG0061Z

- トラックなどの荷台の下にもぐり込んだようなとき



TCG0062Z

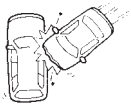
- 斜め前方からガードレールなどに衝突したとき



TCG0063Z

運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム、SRSカーテンエアバッグシステム

- 側面に斜め方向から衝突されたとき



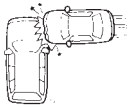
TCG0064Z

- 側面にバイクが真横から衝突したとき



TCG0065Z

- エンジンルーム（ラゲッジルーム）に衝突されたとき



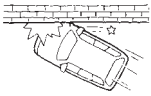
TCG0066Z

- 横転、転覆したとき



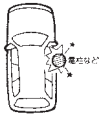
TCG0067Z

- 斜め前方から衝突したとき



TCG0068Z

- 電柱などに衝突したとき



TCG0069Z

■作動しないとき

一度、SRSエアバッグが作動したあとに衝突しても作動しません。また、次のようなときは作動しません。

運転席・助手席SRSエアバッグシステム

- 横方向や後ろから衝突されたとき



TCG0070Z

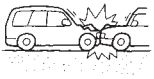
- 横転、転覆したとき



TCG0071Z

運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム、SRSカーテンエアバッグシステム

- 停車中や走行中の車に正面衝突したとき



TCG0072Z

- 後ろから衝突されたとき



TCG0073Z

走行するとき 3

●メーター・表示灯・警告灯の見かた…… 110
メーター …… 110
表示灯 …… 150
警告灯 …… 154
インテリジェントキー機能の警報について… 161
警報装置 …… 165

●スイッチの使いかた…… 166
ライトスイッチ …… 166
方向指示器スイッチ …… 173
非常点滅表示灯スイッチ …… 173
ワイパー・ウォッシャースイッチ …… 174
リヤウインドーデフォッガースイッチ …… 176
ホーンスイッチ …… 176

●運転のしかた…… 177
エンジンスイッチ …… 177
パーキングブレーキ …… 181
セレクトレバーの使いかた …… 182
オートマチック車の運転のしかた …… 186
4WD（4輪駆動）車の扱いかた …… 190
ALL MODE 4×4 …… 192
VDC（ビークルダイナミクスコントロール）… 195
インテリジェント クルーズコントロール … 197
ECOモード …… 220
LDW（車線逸脱警報）/インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）… 221
BSW（後側方車両検知警報）/インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）… 228
インテリジェント エマージェンシーブレーキ… 239
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報） 247
踏み間違い衝突防止アシスト …… 251
RCTA（後退時車両検知警報）…… 268
標識検知機能 …… 272
ABS …… 276

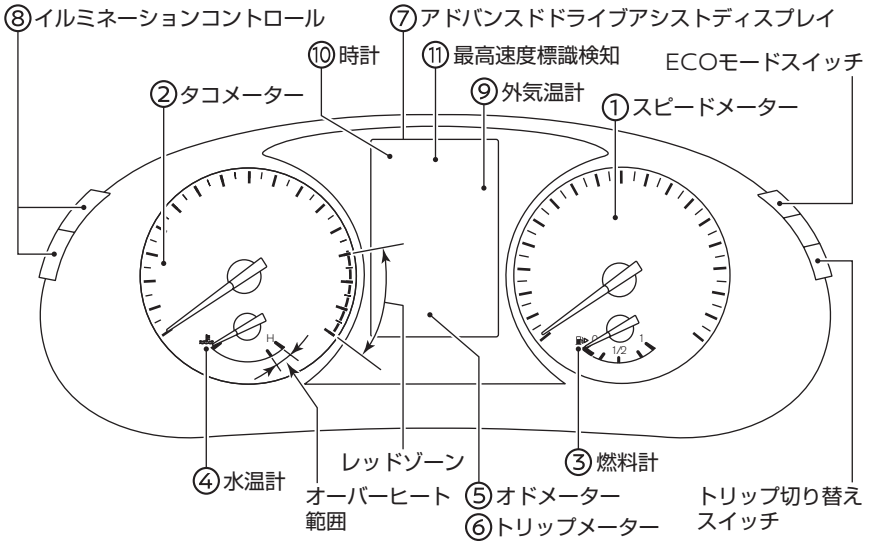
メーター・表示灯・警告灯の見かた

メーター

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
電源ポジションをONにすると表示します。

知識

- エンジンを始動すると、指針がスイープ動作をします。（スピードメーター及びタコメーターの指針が一度最大値付近を指し、戻ります。）



ZPA1751

知識

- 電源ポジションをOFFにしてからしばらくして指針が振れることがありますが故障ではありません。

①スピードメーター（速度計）
走行速度を表示します。

②タコメーター（エンジン回転計）
1分間あたりのエンジン回転数を表示します。
（車種により目盛りが異なります。）

⚠ 注意

- レッドゾーン（赤色表示部）に入らないように運転してください。レッドゾーンではエンジンが過回転となり故障の原因になります。

③燃料計

燃料の残量を表示します。

●燃料タンクの容量は約73ℓです。

知識

- 坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、燃料計の表示が上下することがあります。

④水温計

エンジン冷却水の温度を表示します。

警告

- オーバーヒートを示したときは、ただちに安全な場所に車を止めて処置してください。そのまま走行を続けると、エンジン故障の原因となり、火災につながるおそれがあります。

オーバーヒートしたときは…P.370

⑤オドメーター（積算距離計）

総走行距離をkmで表示します。

000000 km

ZPA1695

⑥トリップメーター（区間距離計）

AとBで2種類の区間走行距離をkmで表示します。

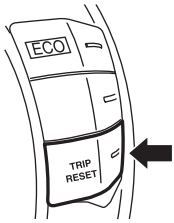
0000.0A

ZPA1151

※イラストは、Aの表示です。

●トリップ切り替えスイッチを押すごとにAとBが切り替わります。

●リセットするときは0にしたいほうを表示させ、トリップ切り替えスイッチを約1秒以上押します。



ZPA1152

知識

- バッテリーを外したときは、AとBの記憶が消去され0に戻ります。

⑦アドバンスドドライブアシストディスプレイ

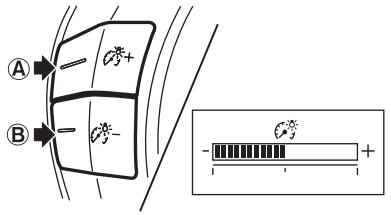
以下の情報を表示します。

- オドメーター…P.111
- トリップメーター…P.111
- ポジションインジケーター…P.151
- イルミネーションコントロールレベル表示…P.112
- ドライブコンピューター…P.114
- インテリジェントキー表示・警告…P.140
- インテリジェント クルーズコントロール…P.197
- LDW（車線逸脱警報）…P.221
- インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）…P.222
- BSW（後側方車両検知警報）…P.228
- インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）…P.229
- インテリジェント エマージェンシーブレーキ…P.239
- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）…P.247
- 踏み間違い衝突防止アシスト…P.251
- RCTA（後退時車両検知警報）…P.268
- ソナー表示…P.146
- 標識検知機能…P.272

⑧イルミネーションコントロール

メーター照明の明るさを調節します。

- スイッチを押して調節します。
  - A：明るくなる
  - B：暗くなる
- 明るさのレベル表示は、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示されます。



ZPA1153

知識

- バッテリーを外すと調節した記憶は消去されます。

⑨外気温計

外気温を表示します。



ZPA1178

知識

- 外気温の表示は、外気温によって表示が一部異なります。
- 次の場合には、正しく外気温が表示されないことがあります。
  - ・外気温が－30℃以下、または60℃以上のとき。
  - ・停車、または低速走行（約20km/h以下）しているとき。

⑩時計

時刻を表示します。



ZPA1220

※設定により表示は異なります。

- ドライブコンピューターの「設定」画面で時刻を調整します。
  時計調整…P.132

知識

- バッテリーを外すと記憶が消去されます。バッテリーを接続後、正しい時刻に調整してください。

⑪最高速度標識検知

フロントガラス上部にあるマルチセンシングフロントカメラにより最高速度標識を検知し表示します。



ZPA1752

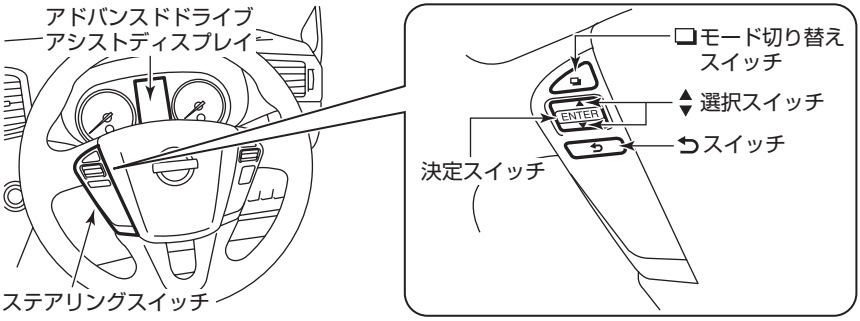
詳しくは、標識検知機能（P.273）をお読みください。

ドライブコンピューター

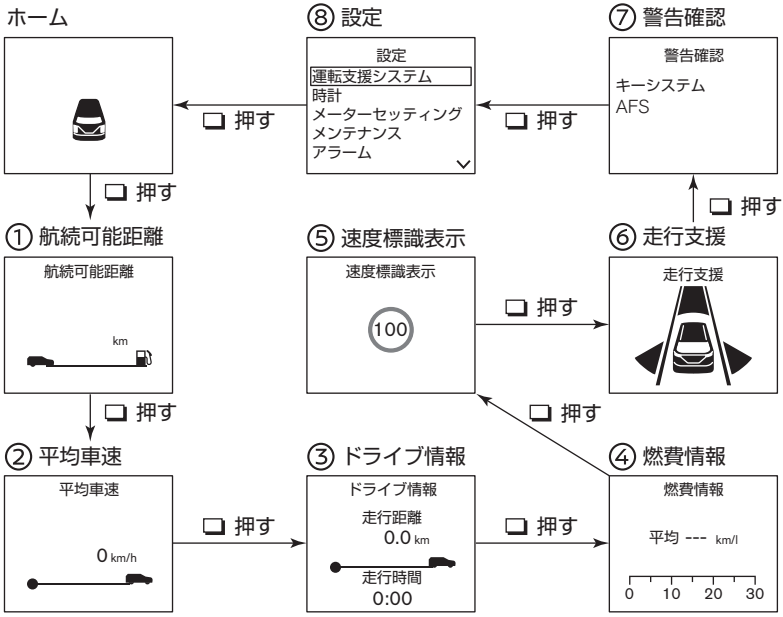
アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示されます。

■切り替えかた

●電源ポジションをONにすると、ステアリングスイッチでモードの選択や設定の変更、調整などができます。



ZPA1154



ZPA1687

※表示項目は一例です。

知識

- ホーム、①、②、③、④、⑤、⑥はメーターセッティングで表示する項目を選択できます。
- ⑦は警告メッセージが0件のとき、「メッセージはありません」と表示します。
- ⑧はその他に、単位、言語、工場出荷設定を表示します。

メーターセッティング…P.133

■表示について

知識

- 表示される数値は、走行状況などにより実際の数値と異なる場合があります。

①航続可能距離

- 現在の燃料残量と平均燃費から航続可能な距離を表示します。
- 燃料残量警告（P.119）が表示されると、航続可能距離の距離表示が点滅します。
- 燃料残量警告表示後も燃料を補給しないと「----」と表示します。

知識

- 数値は約30秒ごとに算出しています。

②平均車速

- リセットしてからの平均車速を表示します。
- リセットするときは、この画面を表示中に、モード切り替えスイッチ を1秒以上押します。

知識

- バッテリー接続後やリセット後は「---」と表示します。
- 数値は約30秒ごとに更新します。

③ドライブ情報

- リセットしてからの走行時間、走行距離を表示します。
- リセットするときは、この画面を表示中に、モード切り替えスイッチ を1秒以上押します。

④燃費情報

- リセットしてからの平均燃費及び走行中の瞬間燃費を表示します。
  平均燃費をリセットするときは、この画面を表示中に、モード切り替えスイッチ を1秒以上押します。

知識

- 平均燃費は、バッテリー接続後やリセット後は「---」と表示します。
- 平均燃費は約30秒ごとに更新します。

⑤速度標識表示

- フロントガラス上部にあるマルチセンシングフロントカメラにより最高速度標識を検知し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「速度標識表示」を選択すると、機能のON·OFFを切り替えることができます。

速度標識表示



ZPA1697

詳しくは、標識検知機能（P.273）をお読みください。

⑥走行支援

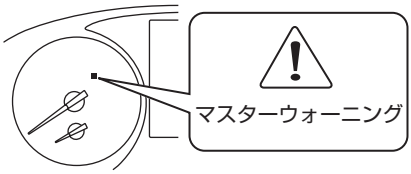


ZPA1696

- 走行支援システムの作動状態を表示します。
- 設定画面の運転支援システムから、各システムのON·OFFを設定できます。詳しくは、運転支援システム（P.128）をお読みください。
- 詳しくは、各走行支援システムの説明をお読みください。
  - インテリジェント エマージェンシーブレーキ…P.239
  - インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）…P.247
  - 踏み間違い衝突防止アシスト…P.251
  - LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）…P.221
  - BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）…P.228
  - RCTA（後退時車両検知警報）…P.268

⑦警告確認

- 以下の内容を検知するとマスターウォーニング（P.160）が点灯し、警告を表示します。
- 警告が表示されたときは、すみやかに適切な処置をしてください。放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。



ZPA1155

インテリジェントキー持ち出し警告



キーが
見つかりません

ZPA1156

- 電源ポジションがONのとき、インテリジェントキーが車外へ持ち出されると表示します。

➡ 対処方法

- インテリジェントキーが車外へ持ち出されていないか確認してください。
- 電源ポジションをOFF、またはLOCKにしてください。

知識

- 次の場合に表示が消えます。
  ・インテリジェントキーが車内に戻ってきたとき

ドア開き警告



ZPA1157

- ドアが確実に閉まっていないとき、開いている位置を表示します。

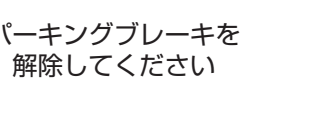
➡ 対処方法

- ドアを確実に閉めてください。

⚠ 注意

- 走行前に表示が消えていることを確認してください。ドアが完全に閉まっていない（半ドア）と走行中に突然開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

パーキングブレーキ戻し忘れ警告



ZPA1188

●パーキングブレーキ（P.181）を戻し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）、表示します。

➡ 対処方法

- すみやかにパーキングブレーキを解除してください。

アドバイス

- 低速走行時には表示されない場合があります。走行するときは必ずパーキングブレーキを解除してください。

燃料残量警告

ZPA1158

●燃料が少なくなると表示します。残っている燃料で航続可能な距離を表示します。

➡ 対処方法

- すみやかに指定の燃料を補給してください。

知識

- 燃料の残量が約9ℓ以下で表示します。
- 車両姿勢、走行状況によっては、燃料がタンク内で移動するため、警告が表示されるタイミングが変わる場合があります。

踏み間違い衝突防止アシスト作動警告



踏み間違い
衝突防止アシストが
作動しました。

ZPA1189

- 踏み間違い衝突防止アシストが作動すると、表示します。
（低速衝突軽減ブレーキ機能（P.252）が作動したときは表示しません。）

➡ 対処方法

- 進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者などを検知している場合に、アクセルペダルが素早く深く踏み込まれたとシステムが判断したときに作動します。

踏み間違い衝突防止アシスト… P.251

油圧警告



油圧低下
車両を安全なところに
止めてください

ZPA1191

- エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると表示します。

➡ 対処方法

- 表示したときは、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、日産販売会社に連絡してください。

⚠ 注意

- 表示したまま走行しないでください。エンジンを破損するおそれがあります。

4WD警告★

4WD

4WDシステム異常
取扱説明書を見てください

ZPA1192

●エンジン回転中、4WDシステムに異常があると表示します。

➡ 対処方法

- 4WDシステムに異常が発生しているため2WD状態になっています。高速走行をせず、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 注意

- 4WD警告が表示したときは2WD走行になります。走行には十分気をつけてください。

アドバイス

- 走行中に表示しても、その後消灯し、再度表示しなければ正常です。
- 消灯しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

知識

- 4WD警告が表示されると駆動モード表示灯は消灯します。

4WD高油温警告★

4WD

4WDシステム高油温
車両を安全なところに
止めてください

ZPA1272

●AUTO、またはLOCKモードで走行中、前後輪の回転数の差が大きい状態が続き、駆動系部品の油温が異常に高くなると表示します。

➡ 対処方法

- すみやかに安全な場所に停車し、アイドリング状態にしてください。表示中は駆動系部品の保護のため、駆動モード表示灯が点灯しているにもかかわらず2WD状態になっています。しばらくして消灯すると、AUTOモードに復帰し、走行できます。

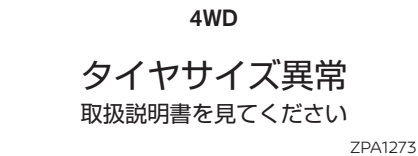
⚠ 注意

- 4WD高油温警告が表示したときは2WD走行になります。走行には十分気をつけてください。

アドバイス

- 走行中に表示しても、その後消灯し、再度表示しなければ正常です。
- 消灯しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

タイヤサイズ警告★



●前後輪のタイヤ径差が大きすぎると表示します。

➡ 対処方法

- 駆動モード切り替えスイッチを2WDに切り替え、すみやかに安全な場所に停車し、装着タイヤの種類とサイズ及びタイヤ空気圧などを点検してください。タイヤの種類やサイズが異なるときは、同一銘柄、同一サイズのタイヤを装着してください。また、タイヤ空気圧が不足しているときは、空気を入れてください。それでも表示が消えないときは、高速走行をせず、すみやかに最寄りの日産販売会社で点検を受けてください。

駆動モード切り替えスイッチ…P.192

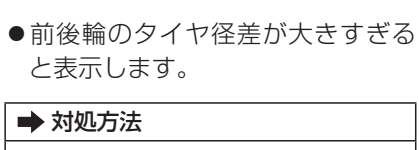
⚠ 注意

- タイヤサイズ警告が表示したときは2WD走行になります。走行には十分気をつけてください。

アドバイス

- 点検後に消灯し、再度表示しなければ正常です。

キーシステム警告



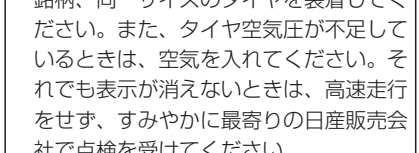
●ハンドルロック（ステアリングロック）やインテリジェントキーのシステムに異常があると表示します。

➡ 対処方法

- 表示したときは日産販売会社に連絡してください。エンジンがかからないことや電源ポジションがLOCKから動かないことがあります。

インテリジェントキー…P.28

AFS警告



●AFSシステムに異常があると表示します。

➡ 対処方法

- すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

アクティブAFSについて…P.167

ヘッドランプ警告

ヘッドランプ
システム異常
取扱説明書を見てください

ZPA1195

- LEDヘッドランプに異常があると表示します。

➡ 対処方法

- すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

CVT警告

CVT故障
取扱説明書を見てください

ZPA1196

- CVTのシステムに異常があると表示します。

➡ 対処方法

- すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

キーID警告



キーIDが
正しくありません

ZPA1197

- 未登録のインテリジェントキーを携帯しているとき、電源ポジションをLOCKから切り替えようとすると表示します。

➡ 対処方法

- 登録済みのインテリジェントキーを使用してください。

システム故障警告A

システム故障

取扱説明書を見てください

ZPA1536

●LDW（車線逸脱警報）、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）、BSW（後側方車両検知警報）、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）、インテリジェント エマージェンシーブレーキ、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、踏み間違い衝突防止アシスト、RCTA（後退時車両検知警報）、標識検知機能が故障すると表示します。

➡ 対処方法

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
- エンジン再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）…P.221
BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）…P.228
インテリジェント エマージェンシーブレーキ…P.239
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）…P.247
踏み間違い衝突防止アシスト…P.251
RCTA（後退時車両検知警報）…P.268
標識検知機能…P.272

システム故障警告B

作動範囲外のため
現在使用できません

ZPA1537

●VDCが作動したときにインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）をONにする、または、インテリジェント クルーズコントロールをセットすると表示します。

●VDCをOFFにしたときにインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）をONにする、または、インテリジェント クルーズコントロールをセットすると表示します。

●VDCが作動する、または、タイヤが空転するような状況ではインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）、インテリジェント エマージェンシーブレーキ、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、踏み間違い衝突防止アシスト、インテリジェント クルーズコントロールは使用できません。

●VDCがOFFの場合はインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）、インテリジェント エマージェンシーブレーキ、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、踏み間違い衝突防止アシスト、インテリジェントクルーズコントロールは使用できません。

VDC…P.195
インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）…P.222
インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）…P.229
インテリジェント エマージェンシーブレーキ…P.239
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）…P.247
踏み間違い衝突防止アシスト…P.251
インテリジェント クルーズコントロール…P.197

システム故障警告C

車線認識カメラ・その周辺が高温のため使用できません

ZPA1539

●カメラ及びカメラ周辺の温度が高いときに表示します。

●室内の温度が下がるとLDW（車線逸脱警報）、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）、インテリジェント エマージェンシーブレーキ、踏み間違い衝突防止アシスト、標識検知機能表示を使用できます。

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）…P.221
インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）…P.229
インテリジェント エマージェンシーブレーキ…P.239
踏み間違い衝突防止アシスト…P.251
標識検知機能…P.272

フロントレーダーシステム停止警告

フロントレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください

ZPA1688

- 車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。
  - ・インテリジェント クルーズコントロール（P.197）
  - ・インテリジェント エマージェンシーブレーキ（P.239）
  - ・インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）（P.247）
- 次のような道路形状、または建造物がある場合は、レーダーが先行車を正確に検知できず、作動が停止します。
  - ・長い橋を走行しているとき
  - ・砂地や雪原を走行しているとき
  - ・長い壁の近くを走行しているとき

➡ 対処方法

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからレーダーセンサー及びその周辺の汚れなどを取り除き、エンジンを再始動してください。
- 停止したときの状態が改善、または変更されると、システムは作動を再開します。（再開するまでに時間がかかることがあります）

サイドレーダーシステム停止警告

サイドレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください

ZPA1746

- 車両後部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着し、次のシステムが停止すると表示します。
  - ・BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）（P.228）
  - ・RCTA（後退時車両検知警報）（P.268）

➡ 対処方法

- レーダーセンサー及び周辺の汚れなどを取り除いてから、システムを一旦OFFにしたあと、再びONにしてください。

進入禁止標識検知表示



前方進入禁止有り

ZPA1540

- 一方通行路へ進入する可能性がある場合に表示します。
- 表示・非表示の設定ができます。
  標識検知機能…P.272

一時停止標識検知表示



この先、一旦停止

ZPA1689

- 前方の一時停止標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。
- 表示・非表示の設定ができます。
  一時停止標識検知…P.272

最高速度標識検知表示

速度標識表示



ZPA1690

- 前方の最高速度標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイ及びドライブコンピューターに表示します。
- 表示・非表示の設定ができます。
  最高速度標識検知…P.273

ソナーシステム異常警告

ソナー故障

取扱説明書を見てください

ZPA1541

- ソナーが故障したときに表示します。

➡ 対処方法

- 安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
- エンジン再始動後もメッセージを表示するときは、システムの異常が考えられます。通常走行に支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

踏み間違い衝突防止アシスト…P.251
ソナー表示…P.146

〈警告の確認のしかた〉

- 選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER で決定します。



ZPA1201

- 警告が複数ある場合は、選択スイッチ ▲▼ を押して表示を切り替えます。

知識

- 警告メッセージが0件のとき、「メッセージはありません」と表示します。

⑧設定

運転支援システム、時計、メーターセッティング、メンテナンス、アラーム、単位、言語、工場出荷設定を設定することができます。

知識

- 以下の場合は、設定することができません。
  - ・走行しているとき。
  - ・インテリジェントキー表示の一部や、その他警告表示の一部を表示しているとき。

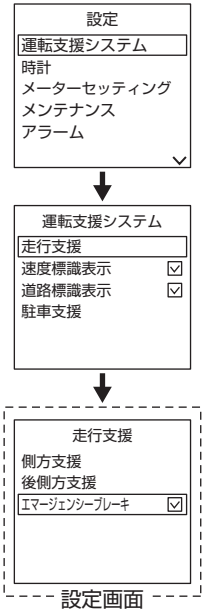
運転支援システム

各運転支援システムの設定ができます。

- ●走行支援
- ・LDW（車線逸脱警報）（P.221）、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）（P.222）、BSW（後側方車両検知警報）（P.228）、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）（P.229）、インテリジェント エマージェンシーブレーキ（P.239）／インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）（P.247）／踏み間違い衝突防止アシスト（P.251）のON、OFFを設定します。
- ●速度標識表示／道路標識表示
- ・走行中に検知した進入禁止標識（P.272）、一時停止標識（P.272）、及び最高速度標識（P.273）の情報をアドバンスドドライブアシストディスプレイに表示し、運転者にお知らせする機能です。
- ●駐車支援
- ・ソナー（P.146）をON、OFF、前方のみから設定します。前方のみに設定すると、リヤソナーはOFFになります。
- ・障害物を検知したときにアドバンスドドライブアシストディスプレイに表示する、ソナー割込み表示（P.131）のON、OFFを設定します。
- ・ソナーの音量（P.131）を、高、中、低から設定します。
- ・ソナーのセンサー感度（P.131）を、遠、中、近から設定します。障害物をより遠い状態から検知させたいときは、ソナー感度を「遠」に設定します。
- ・RCTA（後退時車両検知警報）のON、OFFを設定します。

設定のしかた

● 選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER で決定して各設定画面にします。



ZPA1691

例：インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定の場合

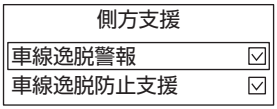
知識

- ひとつ前の画面に戻るときは、⮌スイッチを押します。

〈走行支援の設定〉

● 走行支援の設定画面で選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER を押して切り替えます。

側方支援

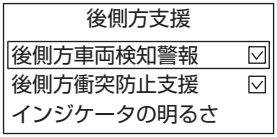


ZPA1692

● 側方支援の設定画面で選択スイッチ ▲▼ で車線逸脱警報／車線逸脱防止支援を選び、決定スイッチ ENTER を押して切り替えます。

☑ ：システムON
☐ ：システムOFF

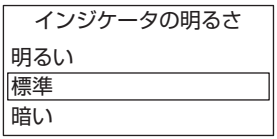
後側方支援



ZPA1747

● 後側方支援の設定画面で選択スイッチ ▲▼ で後側方車両検知警報／後側方衝突防止支援を選び、決定スイッチ ENTER を押して切り替えます。

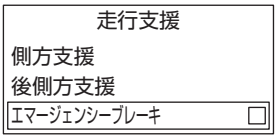
☑ ：システムON
☐ ：システムOFF



ZPA1748

●インジケータの明るさの設定画面で選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER を押して切り替えます。

エマージェンシーブレーキ

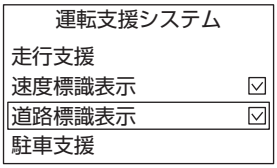


ZPA1749

●走行支援の設定画面で選択スイッチ ▲▼ でエマージェンシーブレーキを選び、決定スイッチ ENTER を押して切り替えます。

☑ ：システムON
☐ ：システムOFF

〈速度標識表示／道路標識表示の設定〉

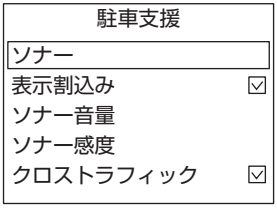


ZPA1693

●運転支援システムの設定画面で選択スイッチ ▲▼ で速度標識表示／道路標識表示を選び、決定スイッチ ENTER を押して切り替えます。

☑ ：システムON
☐ ：システムOFF

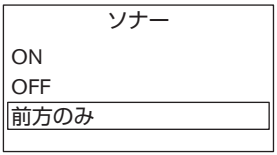
〈駐車支援の設定〉



ZPA1704

●駐車支援の設定画面で選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER を押して決定します。

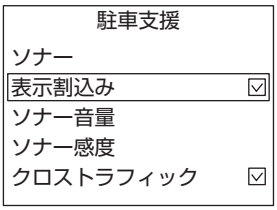
ソナー



ZPA1551

●ソナーの設定画面で選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER を押して切り替えます。

表示割込み

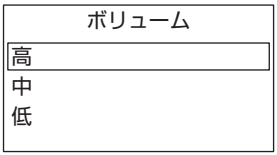


ZPA1745

●駐車支援の設定画面で選択スイッチ ▲▼ で表示割込みを選び、決定スイッチ ENTER を押して切り替えます。

☑ ：割込みあり
☐ ：割込みなし

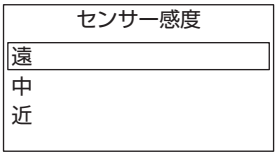
ソナー音量



ZPA1553

●ソナー音量（ボリューム）の設定画面で選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER を押して切り替えます。

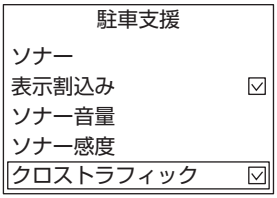
ソナー感度



ZPA1554

●ソナー感度（センサー感度）の設定画面で選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER を押して切り替えます。

クロストラフィック



ZPA1694

●駐車支援の設定画面で選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER を押して切り替えます。

☑ ：システムON
☐ ：システムOFF

時計

時計の調整や12H、24H表示の切り替えを設定できます。

●時計調整
・時計調整画面を表示します。
●12H/24H
・12H、24Hを切り替えます。

設定のしかた

● 選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER で決定して各設定画面にします。



ZPA1533

例：時計調整の設定の場合

知識

● ひとつ前の画面に戻るときは、↩スイッチを押します。

〈時計調整〉

●設定画面で選択スイッチ ▲▼ で時間を切り替え、決定スイッチ ENTER で決定します。

〈12H/24Hの設定〉

●設定画面で選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER で決定します。

メーターセッティング

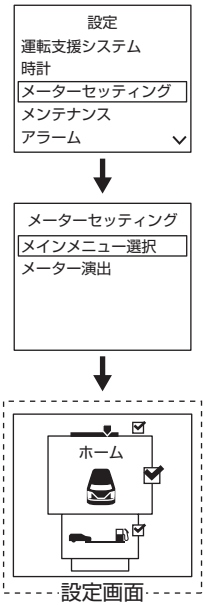
メインメニューの選択やメーターの演出機能を設定できます。

●メインメニュー選択
・車両情報としてメインメニューに表示する項目を設定します。

●メーター演出
・スイープ演出のON、OFFを設定します。
エンジンをかけたとき、指針がスイープ動作（スピードメーター及びタコメーターの指針が一度最大値付近を指し戻る）するかしないかを設定することができます。
・ディスプレイ演出のON、OFFを設定します。
電源ポジションをONにしたときにディスプレイに表示されるオープニングムービー（車両の回転動作）を表示するかしないかを設定することができます。

設定のしかた

● 選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER で決定して各設定画面にします。



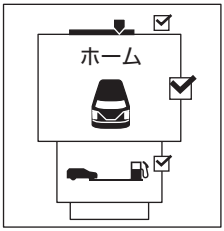
ZPA1534

例：メインメニュー選択の設定の場合

知識

● ひとつ前の画面に戻るときは、↩スイッチを押します。

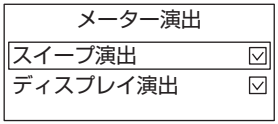
〈メインメニューの設定〉



ZPA1213

- 設定画面で選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER で決定します。
  - ☑ ：メインメニューへ表示する
  - ☐ ：メインメニューへ表示しない

〈メーター演出の設定〉



ZPA1214

- メーター演出の設定画面で決定スイッチ ENTER を押して切り替えます。
  - ☑ ：演出あり
  - ☐ ：演出なし

メンテナンス

各種交換時期の設定ができます。

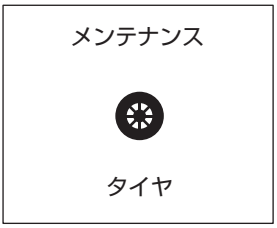
- 設定した距離を超えると、以下の表示で知らせます。

エンジンオイル／オイルフィルター



ZPA1208

タイヤ



ZPA1209

ユーザー



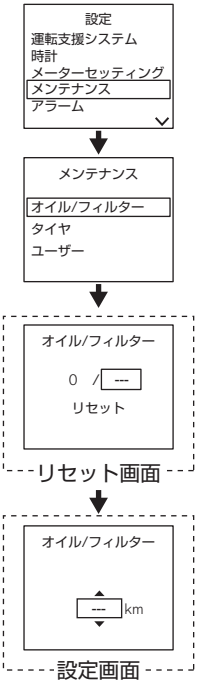
ZPA1210

知識

- 走行距離を元にお知らせしているもので、実際の車両状態を示したものではありません。目安としてお使いください。
- 「ユーザー」には、お好みの部品の交換時期を設定してください。

〈設定のしかた〉

- 選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER で決定して各設定画面にします。



ZPA1526

例：エンジンオイル／オイルフィルターの設定の場合

知識

- ひとつ前の画面に戻るときは、↩スイッチを押します。

〈距離の設定〉

- 最大30,000kmまで設定できます。
- 設定距離は500km単位で切り替わります。
- 各設定画面で選択スイッチ ▲▼ で距離を切り替え、決定スイッチ ENTER で決定します。
- 設定しないときは、「---」にします。

〈距離のリセット〉

- 走行した距離をリセットできます。
- リセット画面で選択スイッチ ▲▼ で「リセット」を選び、決定スイッチ ENTER で決定します。

アラーム

走行時間、凍結注意の表示を設定できます。

- 走行時間

・設定した時間まで連続走行したことを知らせます。



ZPA1203

- 凍結注意

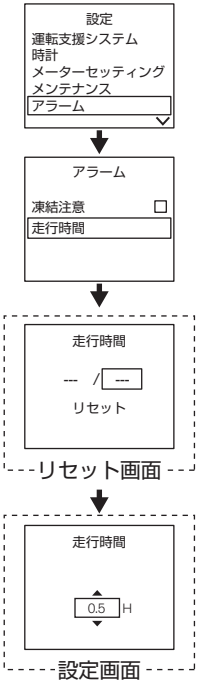
・外気温が3℃以下になったことを知らせます。



ZPA1204

設定のしかた

● 選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER で決定して各設定画面にします。



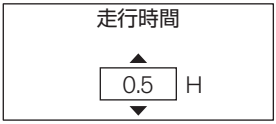
ZPA1542

例：走行時間の設定の場合

知識

- ひとつ前の画面に戻るときは、⮌スイッチを押します。

〈走行時間の設定〉



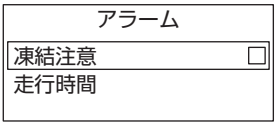
ZPA1206

- 最大6時間まで設定できます。
- 設定時間は0.5h（30分）単位で切り替わります。
- 走行時間設定画面で選択スイッチ ▲▼ で時間を切り替え、決定スイッチ ENTER で決定します。
- 設定しないときは、「---」にします。

〈走行時間のリセット〉

- 走行した時間をリセットできます。
- リセット画面で選択スイッチ ▲▼ で「リセット」を選び、決定スイッチ ENTER で決定します。

〈凍結注意表示の設定〉



ZPA1207

- 凍結注意の設定画面で決定スイッチ ENTER を押して切り替えます。
  ☑ ：アラーム設定
  ☐ ：アラーム解除

単位

燃費及び温度の表示単位を設定できます。

●燃費

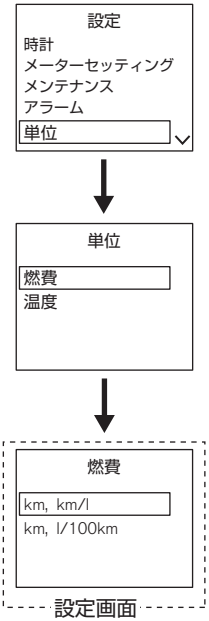
・燃費の表示単位をkm、km/ℓ、またはkm、ℓ/100kmに切り替えます。

●温度

・温度の単位を℃または℉に切り替えます。

設定のしかた

選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER で決定して各設定画面にします。



ZPA1215

例：燃費表示単位の設定の場合

知識

● ひとつ前の画面に戻るときは、↩スイッチを押します。

〈各項目の設定〉

項目	選択項目	設定
燃費	km、km/ℓ	設定画面で選択スイッチ ▲▼ で項目を選び、決定スイッチ ENTER で決定します。
	km、ℓ/100km	
温度	℃	
	℉	

言語・工場出荷設定

言語の設定、工場出荷設定をすることができます。

●言語

・表示言語を、日本語、またはUS Englishに切り替えます。

●工場出荷設定

・ドライブコンピューターの設定を初期化します。

〈各項目の設定〉

項目	選択項目		設定
言語	日本語		設定画面で選択スイッチ▲▼で項目を選び、決定スイッチ ENTER で決定します。
	US English		
工場出荷設定	リセット	はい（初期化）	
		いいえ	

インテリジェントキー表示・警告

●警告を表示したときは、同時に警報ブザーが鳴ります。
インテリジェントキー機能の警報について…P.161

■エンジン始動操作表示



ZPA1159

●ブレーキペダルを踏みながらエンジンスイッチを押し、エンジンを始動することを表示します。

➡ 対処方法

●ブレーキペダルを踏みながら、エンジンスイッチを押してください。

知識

●次の場合に表示が消えます。
・エンジンを始動したとき。
・表示から約15秒経過したとき。
・リモートコントロールエントリー機能、またはリクエストスイッチでドアを施錠したとき。
・セレクトレバーがP以外になったとき。

■ハンドルロック（ステアリングロック）未解除表示



ZPA1160

●ハンドルロック（ステアリングロック）を解除できないときに表示します。

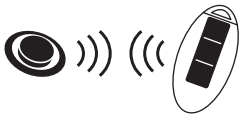
➡ 対処方法

●ハンドルを軽く左右に回しながらエンジンスイッチを押してください。

知識

●次の場合に表示が消えます。
・ハンドルロック（ステアリングロック）を解除したとき。
・表示から約15秒経過したとき。

■インテリジェントキー非作動時エンジン始動表示



ZPA1161

インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境により、インテリジェントキーと車両の通信が正常に行われないときに表示します。

➡ 対処方法

- ブレーキを踏みながら、インテリジェントキーの裏面をエンジンスイッチに接触させてください。（P.180）

■インテリジェントキー電池切れ表示



キー電池残量が
低下しています

ZPA1190

- インテリジェントキーの電池切れが近くなると電池の交換を知らせます。

➡ 対処方法

- 新しい電池に交換してください。（P.35）

知識

- 次の場合に表示が消えます。
  - ・表示から約30秒経過したとき。
  - ・電源ポジションをON以外にしたとき。

■インテリジェントキー持ち出し警告



キーが
見つかりません

ZPA1156

- 電源ポジションがAccのとき、インテリジェントキーが車外へ持ち出されると表示します。

➡ 対処方法

- インテリジェントキーが車外へ持ち出されていないか確認してください。
- 電源ポジションをOFF、またはLOCKにしてください。

知識

- 次の場合に表示が消えます。
  ・インテリジェントキーが車内に戻ってきたとき。

- インテリジェントキーを携帯していないときに表示します。

➡ 対処方法

- インテリジェントキーを携帯してください。

- 携帯しているインテリジェントキーの電池が切れているときに表示します。

➡ 対処方法

- 新しい電池に交換してください。
（P.35）

- 登録されていないインテリジェントキーを携帯しているときに表示します。

➡ 対処方法

- 自車のインテリジェントキーであることを確認してください。

知識

- 表示から約5秒経過すると表示が消えます。

■P戻し忘れ警告



Pレンジに
入れてください

ZPA1162

- セレクトレバーがP以外のとき、電源ポジションをONからOFFにすると表示します。
- セレクトレバーがP以外にあることをお知らせします。

➡ 対処方法

- セレクトレバーをPにしてください。

知識

- 次の場合に表示が消えます。
  - ・セレクトレバーをPにしたとき。
  - ・電源ポジションをONにしたとき。

■キーシステム警告



キーシステム故障

取扱説明書を見てください

ZPA1193

キーシステム警告…P.122をお読みください。

■電源ポジションOFF忘れ警告



ZPA1163

- 電源ポジションがAccでP戻し忘れ警告の表示中に、セレクトレバーを操作してPにしたときに表示します。
- 上記を操作後、エンジンスイッチを押して電源ポジションをONにしたときに表示します。

➡ 対処方法

- 電源ポジションをOFFにしてください。

知識

- 次の場合に表示が消えます。
  - ・電源ポジションをOFFにしたとき。
  - ・エンジンを始動したとき。
  - ・セレクトレバーをP以外にしたとき。

■ヘッドランプ消し忘れ警告



ZPA1226

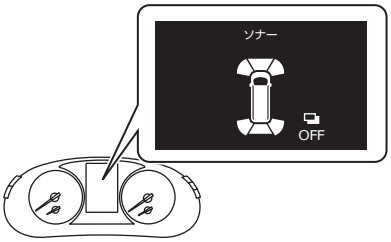
- 電源ポジションがOFFで運転席ドアを開けたとき、ライトスイッチがAUTO以外の位置にあると表示します。

➡ 対処方法

- ライトスイッチをAUTOにしてください。

ライトスイッチ…P.166
ヘッドランプ消し忘れ警報…P.165

■ソナー表示



ZPA1569

- 車両が障害物に近づくと、アドバンスドドライブアシストディスプレイのソナー表示色が緑→黄→赤の順に切り替わり、警報音が鳴ります。
- 次の場合にソナー機能が作動します。
  - ・セレクトレバーをRにしたとき
  - ・セレクトレバーがDで障害物を検知したとき（10km/h以下）
- ソナー表示中にステアリングスイッチのモード切り替えスイッチ または を押すと、一時的にソナー機能を停止できます。
  ただし次の場合は、一時停止が解除されます。
  - ・セレクトレバーをR以外にしてから再度Rにしたとき
  - ・車両を12km/h以上で走行させたとき
- ソナー表示の見かたについては、ソナー機能について（P.146）をお読みください。
  ソナーの取り扱いについては、（P.267）をお読みください。

知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「駐車支援」を選択すると、ソナー機能の各種設定ができます。設定の詳細については、運転支援システムをお読みください。
  ドライブコンピューター…P.114
  運転支援システム設定…P.128
- ソナーが障害物を検知すると、ソナー画面が割込み表示します。割込み表示はOFFにすることができます。
  表示割込み…P.131

ソナー機能について

- バンパーに凹みなどがあると正確な距離が測定できず、正常に作動できない場合があります。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤作動の原因になります。
- 純正以外の部品を取り付けたとき、正常に作動できない場合があります。

⚠ 注意

- 気温や天候、路面状態などの周囲の状況や、障害物の大きさ、形状によってはソナーが検知できないことがあります。また、音波を吸収しやすいものにも、ソナーが検知できないことがあります。必ず周囲を確認して運転をしてください。
- 次のような障害物には作動しません。
  - ・背の低い障害物
  - ・幅の狭い障害物
  - ・針金、金網、ロープなどの細い障害物
  - ・ソナーに非常に近い障害物
  - ・急に進行方向に現れた障害物
- 次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。
  - ・地面から高い位置に存在する障害物
  - ・スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物
- ソナーは次のような場合は検知しない、もしくは正しく検知できない場合があります。
  - ・雨、雪、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
  - ・障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
  - ・周囲に草が生い茂っているとき
  - ・車両側面の近くに壁があるとき
  - ・路面上に段差や突起物があるとき
  - ・垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
  - ・車両周辺に雪のかたまりがあるとき
  - ・周囲で大きな音が鳴っているとき
  - ・車両感応センサーやホーン、他車のソナー、オートバイの排気音など超音波を発生するものが付近に存在するとき
  - ・炎天下や寒冷時
  - ・表面が一様でない障害物（複数の障害物が積載されて凹凸に形状を成している場合）
- バンパーに凹みなどがあると正確な距離が測定できず、正常に作動できない場合があります。

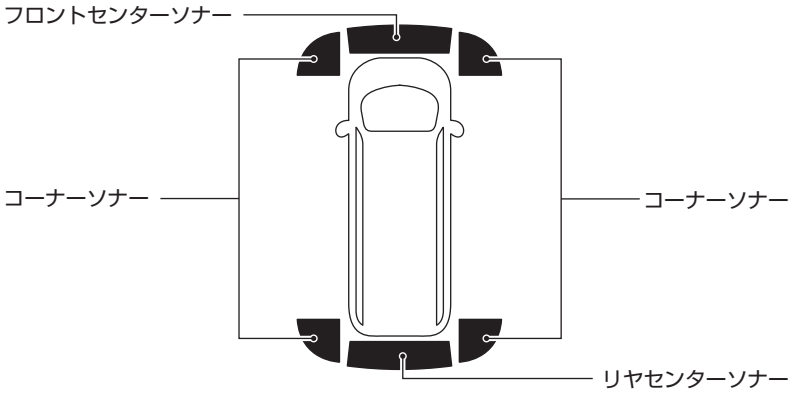
⚠ 注意

- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤作動の原因になります。
- 純正以外の部品を取り付けたとき、正常に作動できない場合があります。
- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。
- ソナー部が凍結したときは異常表示が出たり、壁などの障害物があってもソナーが検知しないことがあります。
  （氷が解ければ、正常に復帰します。）
- ソナーは前後バンパーについています。バンパーには、ステッカーを貼ったりアクセサリーなどを取り付けないでください。
- 適正なタイヤの空気圧を維持してください。誤警報や誤操作の原因になります。

アドバイス

- システムを正しく作動させるためにソナーはいつもきれいにしておいてください。ソナーの取り扱いについては、（P.267）をお読みください。

- 車速約10km/h以下で前進中にソナーが障害物を検知した場合は、自動的にアドバンスドドライブアシストディスプレイがソナー画面に切り替わり、ソナー表示とブザーでお知らせします。



ZPA1567

■コーナーソナー

障害物までの距離（目安）	60～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■フロントセンターソナー

障害物までの距離（目安）	100～70cm	70～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	遅い	早い	点灯
ブザー音	無し	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

■リヤセンターソナー

障害物までの距離（目安）	150～50cm	50～30cm	30cm以下
表示色	緑	黄	赤
表示点滅速度	遅い	早い	点灯
ブザー音	ピッ、ピッ、ピッ…	ピピピピピ…	ピー

〈ソナー表示色〉

●ソナー表示の色は、障害物に近づくにしたがって、緑、黄、赤と変化します。ソナーの表示の色と距離目安線とでは、障害物までの距離は異なります。

〈ブザー音〉

●障害物との距離が近づくにしたがって、断続音の間隔が短くなります。表示が赤の場合は連続音になります。
●障害物との距離が広がった場合は断続音が消え、ソナー表示のみとなります。
●フロントソナーが検知したときは低音、リヤソナーが検知したときは高音でお知らせします。
●車速約10km/h以下で走行中にコーナーソナーが検知したときは、障害物との距離が3秒間変わらない場合は断続音は消え、ソナー表示のみとなります。

〈ソナー機能OFF〉

●アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「駐車支援」を選択すると、各ソナー機能のON·OFFを設定できます。
運転支援システム…P.128

〈ソナーによるカメラ画面の自動表示機能〉

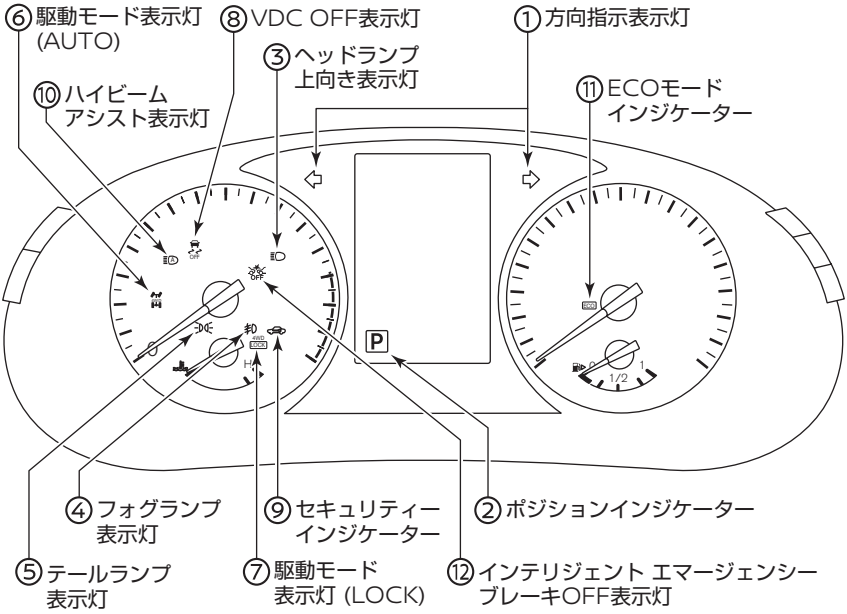
●セレクトレバーがDかつ車速約10km/h以下でカメラが表示されていない場合に、車両前方の障害物を検知した場合はインテリジェント アラウンドビューモニター画面を自動で表示します。
●障害物がなくなると、インテリジェント アラウンドビューモニターはOFFになります。
●ディスプレイ付自動防眩式ルームミラーのCAMERAスイッチを操作して画面を表示させた場合には、障害物がなくなっても自動でOFFになりません。

〈ソナーシステムの作動が停止するとき〉

●システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイ内に警告が表示され、システムが停止します。
ソナーシステム異常警告…P.127

表示灯

メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
電源ポジションをONにすると表示します。



ZPA1700

①方向指示表示灯



TCA0087Z

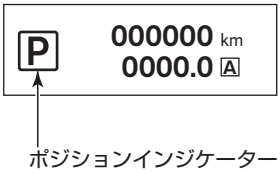
方向指示器、または非常点滅表示灯を作動させると点滅します。

知識

- 方向指示器のランプの電球が切れたときは点滅が速くなります。電球を交換してください。
  電球（バルブ）を交換するときは…P.375

方向指示器スイッチ…P.173
非常点滅表示灯スイッチ…P.173

②ポジションインジケーター



ZPA1165

セレクトレバーのポジションを表示します。

- セレクトレバーをマニュアルシフトゲートに入れると、マニュアルモードを示す「M」と設定したシフトポジションの位置を表示します。

セレクトレバーの使いかた…P.182

③ヘッドランプ上向き表示灯



TCA0089Z

ヘッドランプの上向きを点灯させると点灯します。

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え…P.169

④フォグランプ表示灯



ESD0132Z

フォグランプを点灯させると点灯します。

フォグランプの点灯・消灯…P.172

⑤テールランプ表示灯



TCC0014Z

車幅灯、尾灯、番号灯を点灯させると点灯します。

ライトの点灯・消灯…P.166

⑥駆動モード表示灯（AUTO）★



TSH0089Z

電源ポジションをONにすると約1秒間点灯後、消灯します。

- エンジン回転中は駆動モード切り替えスイッチ（P.192）をAUTOに切り替えると点灯します。

⑦駆動モード表示灯（LOCK）★



TSH0090Z

電源ポジションをONにすると約1秒間点灯後消灯します。

- エンジン回転中は駆動モード切り替えスイッチ（P.192）をLOCKに切り替えると、駆動モード表示灯（AUTO）と合わせて点灯します。

⑧VDC OFF表示灯



ZPA0492

VDC OFFスイッチを押すと点灯します。

VDC…P.195

⑨セキュリティーインジケーター



TSC1941Z

電源ポジションがON以外のときに点滅します。

アドバイス

- 電源ポジションをONにしたあとも点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）…P.35

⑩ハイビームアシスト表示灯



ZPA1496

●ハイビームアシストをONにすると点灯します。
ハイビームアシストの使いかた…P.170

⑪ECOモードインジケーター



ZPA0493

●ECOモードスイッチをONにすると点灯します。
ECOモード…P.220

⑫インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯



ZPA1535

●インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすると点灯します。
●VDCをOFFにすると点灯します。
●次の場合はゆっくり点滅します。
・フロントガラスの汚れなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき
・前方からの強い光により、カメラが前方を認識できなくなったとき
・炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき
・フロントガラスの結露やくもりなどにより、マルチセンシングフロントカメラが前方を認識できなくなったとき

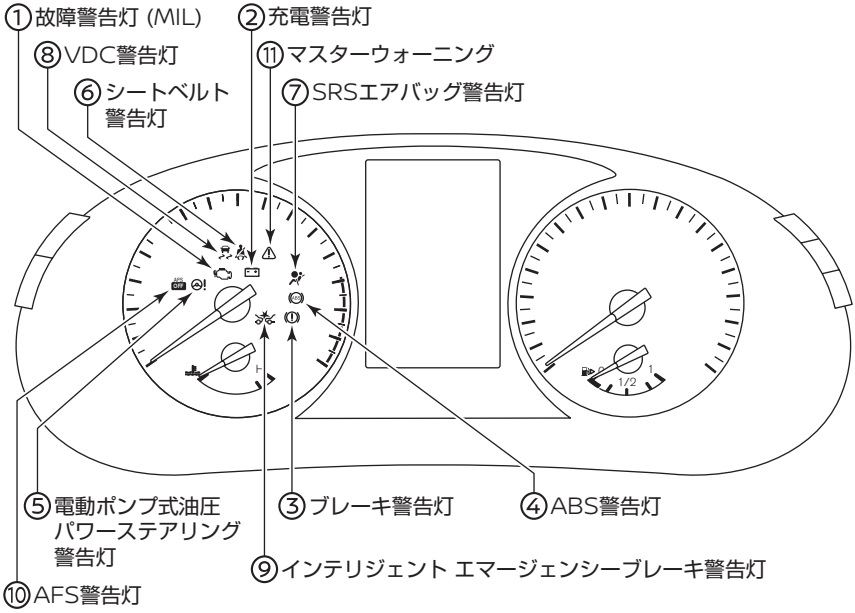
➡ 対処方法

- フロントガラスが汚れているときは、フロントガラスを清掃し、警告灯が消灯したことを確認してください。
- フロントガラスに結露やくもりなどがある場合は結露やくもりを除去し、警告灯が消灯したことを確認してください。
- 室内の温度が高いときなどは、温度が下がると自動的に作動を復帰します。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ…P.239
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）…P.247
踏み間違い衝突防止アシスト…P.251

警告灯

警告灯が点灯、または点滅したときは、すみやかに適切な処置をしてください。
放置すると故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
メーター内の装備は、車種、グレードなどの違いにより異なります。
電源ポジションをONにすると表示します。



ZPA1701

①故障警告灯（MIL）



TCA0098Z

電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯、または点滅します。

➡ 対処方法

- 点灯、または点滅したときは、ただちに日産販売会社に連絡してください。

②充電警告灯



TCA0099Z

電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。

➡ 対処方法

- 点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。

⚠ 注意

- 点灯したまま走行しないでください。バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

③ブレーキ警告灯



TCE0049Z

電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。（パーキングブレーキをかけているときは消灯しません。）

- 電源ポジションがONのとき、次の場合は点灯し続けます。
  - ・パーキングブレーキをかけているとき。

➡ 対処方法

- 走行中はパーキングブレーキを解除してください。

⚠ 注意

- パーキングブレーキの解除のし忘れに注意してください。パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警告（P.119）が表示され、パーキングブレーキ戻し忘れ警報（P.165）が鳴ります。

・ブレーキ液が不足しているとき。

➡ 対処方法

- パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。

・ブレーキシステムに異常があるとき。

➡ 対処方法

- エンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

④ABS警告灯



TSA1106Z

電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。

➡ 対処方法

- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、またはエンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 点灯したときはABSは作動しませんが、ABSのない普通のブレーキ性能は確保されています。この場合は、滑りやすい路面でのブレーキ時や急ブレーキ時にタイヤがロックすることがあります。

ABS…P.276

⑤電動ポンプ式油圧パワーステアリング警告灯



ZPA1167

電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。

- エンジン回転中、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。

➡ 対処方法

- 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 停車中、または極低速走行中にハンドル操作を繰り返したり、ハンドルに力をかけた状態を長く続けると、電動パワーステアリングシステムの過熱を防ぐためにシステムの働きを制限します。そのためハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。
  ただし、さらにハンドル操作を続けた場合、電動パワーステアリングは作動を停止し、電動ポンプ式油圧パワーステアリング警告灯が点灯することがあります。その場合は、エンジンを停止させ、電源ポジションをOFFにしてからしばらくハンドル操作を控えると、電動パワーステアリングシステムの温度が下がり、再度エンジン始動後は通常のハンドル操作力に戻り、電動ポンプ式油圧パワーステアリング警告灯が消灯します。

知識

- 点灯しているときは、電動パワーステアリングは作動しませんが、マニュアルステアリングの性能は確保されています。この場合は、ハンドル操作力が重くなります。
- ハンドル操作時に、車両前方から機械が作動するような音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

⑥シートベルト警告灯



TCH0012Z

電源ポジションがONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。

➡ 対処方法

- 点灯したときはシートベルトを着用してください。

⚠ 警告

- 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

- 点灯したまま走行すると、シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）（P.165）が鳴ります。

⑦SRSエアバッグ警告灯



TCA0335Z

電源ポジションをONにすると約7秒間点灯後、消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯、または点滅を続けます。

➡ 対処方法

- 電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または約7秒間たっても点灯、点滅を続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- 電源ポジションをONにしても点灯しないときや、点灯、点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

SRSエアバッグ…P.103
前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト…P.97

⑧VDC警告灯



ESH0408Z

電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- VDC作動中に点滅します。
- 電源ポジションがONのとき、VDCのシステムに異常があると点灯します。

➡ 対処方法

- 点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 点灯したときはVDCの作動は停止しますが、VDCのない普通の車として走行できます。 滑りやすい路面では注意して走行し、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

VDC…P.195

⑨インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯



ZPA1357

- 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。
- 次の場合は点灯します。
  インテリジェント エマージェンシーブレーキ、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、または踏み間違い衝突防止アシストのシステムに異常が発生しているとき
- 次の場合は点滅します。
  インテリジェント エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストが作動したとき

➡ 対処方法

- エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。各システムについては、インテリジェント エマージェンシーブレーキ（P.239）、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）（P.247）、及び踏み間違い衝突防止アシスト（P.251）をお読みください。

⑩AFS警告灯



ECG0016Z

電源ポジションをONにすると約1秒間点灯後、消灯します。

- 電源ポジションがONのとき、アクティブAFSのシステムに異常があると点滅します。

➡ 対処方法

- 点滅したときは、日産販売会社で点検を受けてください。

アクティブAFSについて…P.167

⑪マスターウォーニング



ESG0221Z

電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されると点灯します。

➡ 対処方法

- 点灯したときはアドバンスドドライブアシストディスプレイの警告表示を確認して、適切な処置をしてください。

知識

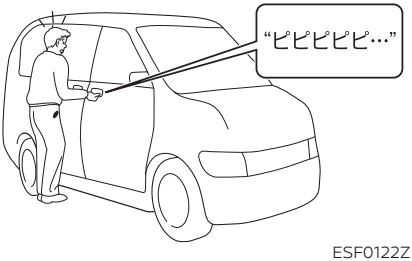
- 警告された要因が処置されると消灯します。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイの表示を切り替えても、警告された要因を処置しないとマスターウォーニングは消灯しません。

アドバンスドドライブアシストディスプレイ（警告）…P.118

インテリジェントキー機能の警報について

インテリジェントキー機能では、誤操作などによる予期せぬ車両の動き出しや、車両盗難などを防ぐため、車内外で警報ブザーを鳴らします。

- 警報ブザーが鳴ったときは、必ず車両及びインテリジェントキーの確認を行ってください。



ESF0122Z

知識

- 警報と同時にアドバンスドドライブアシストディスプレイにインテリジェントキー表示・警告（P.140）を表示する場合があります。

■ドア開閉時の警報

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピッピッピッ”と鳴ったとき

ドアを閉めたときに、車内警報ブザーが“ピピッピピッピピッ”と鳴ったとき

- 電源ポジションがAcc、またはONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
  ⇒インテリジェントキーを車内に戻してください。
  ⇒電源ポジションをOFF、またはLOCKにしてください。

アドバイス

- インテリジェントキーがインストルメントパネル上、グローブボックス内、ドアポケット内、ラゲッジルーム内などにあると警報ブザーが作動することがあります。

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピー”と鳴り続けたとき

- セレクトレバーがP以外に入っているときに、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
  ⇒セレクトレバーをPにしてからインテリジェントキーを持ち出してください。

知識

- 車外警報ブザーはセレクトレバーをPに戻すと停止します。

運転席ドアを開けたときに、車内警報ブザーが“ピピピピッ、ピピピピッ…”と鳴ったとき

- 電源ポジションがLOCKになっていますか？
  ⇒電源ポジションをLOCKにしてください。

知識

- 車内警報ブザーは下記のいずれかの操作を行うと停止します。
  ・電源ポジションをLOCKにする。
  ・運転席ドアを閉める。

ドアを閉めたときに、車外警報ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ったとき

- 無意識にリクエストスイッチを押していませんか？
  ⇒リクエストスイッチに触れないようにして ドアを閉めてください。

■ドア施錠時の警報

リクエストスイッチを押したときに、車外警報ブザーが“ピピピピ…”と鳴ったとき

- 電源ポジションがOFF、またはLOCKになっていますか？
  ⇒電源ポジションをOFF、またはLOCKにしてください。

- インテリジェントキーを車内、またはラゲッジルーム内に置き忘れていませんか？
  ⇒インテリジェントキーを取り出してください。

- いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
  ⇒ドアを閉め直してください。

- ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していませんか？
  ⇒ドアを閉めてからリクエストスイッチを押してください。

知識

- 警報ブザーが鳴ったときは、施錠されていません。原因を確認し、再度施錠してください。
- 次の場合にインテリジェントキーのドア施錠スイッチを押しても警報ブザーが作動します。
  ・いずれかのドアが半ドアのとき。
  ・ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押したとき。

■エンジンスイッチを押したときの警報

車内警報ブザーが“ピピピピピピッ”と鳴ったとき

- セレクトレバーがPになっていますか？
  ⇒セレクトレバーをPにしてください。

車内警報ブザーが“ピピッピピッピピッ”と鳴ったとき

- インテリジェントキーを携帯していますか？
  ⇒インテリジェントキーを携帯してください。
  ⇒携帯している場合は、電池を交換（P.35）してください。

■セレクトレバーをPにしたとき

車内警報ブザーが“ピピピピピピッ”と鳴ったとき

- 電源ポジションがOFFになっていますか？
  ⇒電源ポジションをOFFにしてください。

■警報ブザー音別一覧表

警報ブザー音		アドバンスドドライブアシストディスプレイ	何をしたときに鳴ったか？	確認すること
車外警報ブザー	ピピピピ…	—	リクエストスイッチを押したとき	電源ポジションがAcc、またはONのままになっていませんか？
		—		インテリジェントキーを車内、またはラゲッジルーム内に置き忘れていませんか？
		—		いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
		—		ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していませんか？
		—	インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押したとき	ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押していませんか？
				いずれかのドアが半ドアになっていませんか？
		—	ドアを閉めたとき	無意識にリクエストスイッチを押していませんか？
	ピッピッピッ	キーが見つかりません	ドアを閉めたとき	電源ポジションがAcc、またはONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
	ピー	キーが見つかりません / Pレンジに入れてください	ドアを閉めたとき	セレクトレバーがPになっていますか？
車内警報ブザー	ピピピピッ、ピピピピッ…	BRAKE	運転席ドアを開けたとき	電源ポジションがAcc、またはONのままになっていませんか？
	ピピッピピッピピッ	キーが見つかりません	ドアを閉めたとき	電源ポジションがAcc、またはONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていませんか？
		キーが見つかりません	エンジンスイッチを押したとき	インテリジェントキーを携帯していますか？（※）
	ピピピピピピッ	Pレンジに入れてください	エンジンスイッチを押したとき	セレクトレバーがPになっていますか？
		パワースイッチを押してください	セレクトレバーをPにしたとき	電源ポジションがAcc、またはONのままになっていませんか？

※：インテリジェントキーを携帯していても警報ブザーが鳴るときは、インテリジェントキーの電池を交換してください。（P.35）

警報装置

インテリジェントキー機能の警報については、P.161をお読みください。

■ブレーキパッド摩耗警報

ディスクブレーキのパッド（摩擦材）が摩耗すると、走行中にブレーキ付近から金属音（キーキー音）が発生します。

- 金属音が発生したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 注意

- 金属音が発生したまま走行を続けると、ブレーキが効かなくなり、事故につながるおそれがあります。

■ヘッドランプ消し忘れ警報

電源ポジションがON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、ライトスイッチがAUTO以外の位置にあるとブザーが鳴ります。

ライトスイッチ…P.166
ヘッドランプ消し忘れ警告…P.144

■リバースブザー

電源ポジションがONのとき、セレクトレバーをRにすると、車内でブザーが鳴ります。

知識

- ブザーを鳴らして、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。車外の人に対する警報ではありません。

■パーキングブレーキ戻し忘れ警報

パーキングブレーキを戻し忘れたまま走行すると（約7km/h以上）、ブザーが鳴ります。

- すみやかにパーキングブレーキを解除してください。

⚠ 警告

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱することによって、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

パーキングブレーキ…P.181

■シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）

運転者がシートベルトを着用していない状態で走行すると（約15km/h以上）、約90秒間ブザーが鳴ります。

⚠ 警告

- 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。

知識

- 走行前にメーター内のシートベルト警告灯（P.158）が消灯していることを確認してください。

スイッチの使いかた

ライトスイッチ

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

知識

ヘッドランプ消し忘れ警報

- 電源ポジションがON以外の位置で運転席ドアを開けたとき、ライトスイッチがAUTO以外の位置にあるとブザーが鳴ります。

バッテリーセーバー

- ライトを点灯したままエンジンを止め、リモートコントロールエントリー機能、またはリクエストスイッチで施錠するとバッテリーあがりを防止するためライトが消灯します。（次回運転席ドアを開けるとライトが再点灯します。）

オートレベライザー

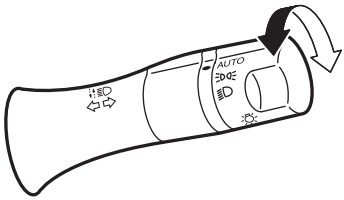
- ヘッドランプが下向き点灯時に乗車人員や荷物量の違いにより車両姿勢が変化すると自動的に照射方向を調整するシステムです。

- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。

ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる …P.24

ライトの点灯・消灯

スイッチを回し、●の位置にマークを合わせると、次のように点灯・消灯します。



ZPA1669

スイッチ位置	点灯するランプ
AUTO	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が自動点灯・消灯
 TCA0106Z	車幅灯、尾灯、番号灯が点灯 ヘッドランプが自動点灯・消灯
 ECD0021Z	ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯

■アクティブAFSについて

ヘッドランプが自動的に進行方向を照射し、夜間走行時に曲路の視覚認識を高めるシステムです。

- ヘッドランプ点灯時、カーブや交差点などでハンドルを操作すると作動します。

⚠ 警告

- ランプの脱着、バルブの交換は、日産販売会社にご相談ください。

知識

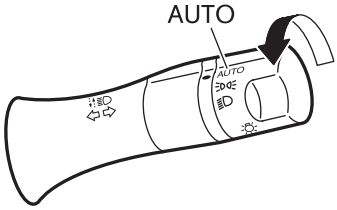
- 左側はセレクトレバーがP、R以外のとき作動します。
  右側はセレクトレバーがP、R以外で、車速が約0km/hになると作動を停止します。
- エンジン始動時、ヘッドランプが細かく動きますが、システムの作動をチェックしているためで異常ではありません。

AFS警告灯…P.160
AFS警告…P.122

AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた

■使いかた

電源ポジションがONのとき、スイッチ位置をAUTOの位置にすると、車外の明るさに応じてヘッドランプや車幅灯などを点灯、消灯させます。



ZPA1683

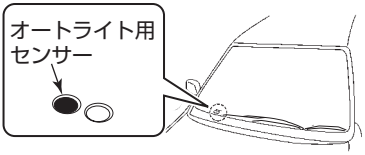
- スイッチを回し、●の位置にマーク（AUTO）を合わせると、次のように点灯・消灯します。
- ワイパー作動時は、ワイパーが数回作動すると点灯します。

ワイパー / 車外	作動中	停止
明るいとき	点灯	消灯
薄暗いとき	点灯	点灯
暗いとき	点灯	点灯

- ライトスイッチがAUTOの位置で、パーキングブレーキをかけている場合は、電源ポジションをOFFからONにしてもランプは点灯しません。
- パーキングブレーキを解除して走行した後、ランプが点灯している場合は、パーキングブレーキをかけても消灯しません。
- 電源ポジションをOFFにすると消灯します。

アドバイス

- センサーの上に物を置いたり、ガラスクリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



ZPA0720

知識

- インテリジェント オートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付）の感度を調整したい場合は、日産販売会社へご相談ください。
- 通常時はAUTOの位置で使用してください。

フロントワイパー連動、薄暮れ感知機能

- 夜間やトンネルなどの走行時に加え、歩行者事故等が多く発生している夕暮れ時や雨天でのフロントワイパー作動時もライトを点灯させることにより、自車両を目立たせ、周囲の歩行者やドライバーへの注意を喚起します。

（ヘッドランプ自動点灯･消灯）の使いかた

■使いかた

電源ポジションがONのとき、スイッチ位置をの位置にすると、車外の明るさに応じてヘッドランプを点灯･消灯させます。

- 以下の場合はヘッドランプが消灯し、車幅灯などが点灯し続けます。
  - ・電源ポジションがOFFのとき
  - ・セレクトレバーがPのとき
  - ・車両が停止している状態で、パーキングブレーキをかけているとき
  - ・フォグランプが点灯しているときに、スイッチ位置をAUTOからに、またはからにしたとき

自動点灯ランプの消灯のしかた（車両停車時）

ヘッドランプの消灯方法

- ライトスイッチをの位置にし、セレクトレバーをPにする、またはパーキングブレーキをかけると、ヘッドランプが消灯します。

すべてのランプの消灯方法

- ライトスイッチをAUTOの位置にし、セレクトレバーをPまたはNに入れ、パーキングブレーキをかけて電源ポジションをOFFにします。その後、ブレーキペダルをしっかり踏みながら、電源ポジションをOFFからONにすると、すべてのランプが消灯状態を保ちます。

知識

- 自動点灯したヘッドランプは、走行中に消灯できない仕様となっております。

ヘッドランプの上向き、下向き切り替え

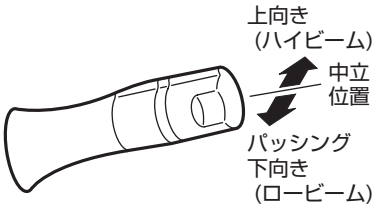
ライトスイッチが位置のとき

- ライトスイッチを車両前方に押すと、上向き（ハイビーム）に切り替わります。
  下向き（ロービーム）に戻したいときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。上向き（ハイビーム）の状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。

ライトスイッチがAUTOまたは位置のとき

ヘッドランプが点灯しているとき、ライトスイッチを車両前方に2回押すとハイビームに切り替わります。（1回押すとハイビームアシスト（P.170）がONになります。）

- 下向き（ロービーム）に戻したいときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。
- パッシングするときは、ライトスイッチを車両後方に引きます。上向き（ハイビーム）の状態からパッシングしたいときは、ライトスイッチを2回車両後方に引きます。



ZPA1503

アドバイス

- 対向車があるときや市街地走行などでは下向きにしてください。

知識

- ハイビームに切り替えているときは、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯が点灯します。
- ハイビームアシストがONのとき、ライトスイッチを車両前方に押すと、ハイビームに切り替わります。
- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがありますが異常ではありません。
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

ヘッドランプ上向き表示灯…P.151

ハイビームアシストの使いかた

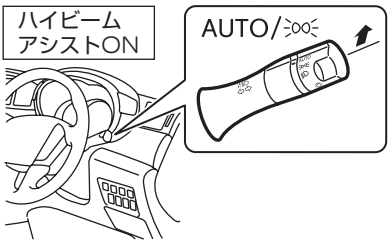
■ハイビームアシストについて

先行車または対向車や周囲の明るさなどに応じ、自動的に上向き（ハイビーム）と下向き（ロービーム）を切り替えます。

約25km/h以上で走行中、ヘッドランプが点灯しているときに自動的に切り替えを行い、約15km/h以下になると自動的に下向き（ロービーム）に切り替わります。

ハイビームアシストをONにする方法

- ライトスイッチがAUTOまたは≋D≋の位置でレバーを車両前方に押すと、ハイビームアシストがONになります。
（メーター内のハイビームアシスト表示灯が点灯）



ZPA1743

ハイビームアシストをOFFにする方法

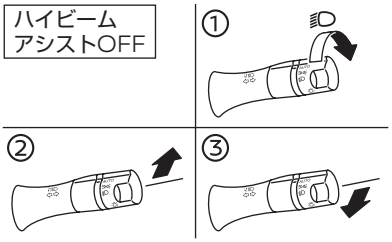
次のいずれかの操作をすると、ハイビームアシストがOFFになります。

上向き（ハイビーム）のとき

- ライトスイッチを≋D位置にする。…①
- ライトスイッチを車両前方に押す。（上向き（ハイビーム）に切り替わります）…②
- ライトスイッチを車両後方に引く。（下向き（ロービーム）に切り替わります）…③

下向き（ロービーム）のとき

- ライトスイッチを≋D位置にする。…①
- ライトスイッチを車両前方に押す。（上向き（ハイビーム）に切り替わります）…②



ZPA1679

⚠ 警告

- システムを過信せず常に周囲の状況を確認し、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。
- 次のようなときは、ハイビームアシストが正しく作動しない場合があるため、必要に応じて上向きと下向きを手動で切り替えてください。
  - ・悪天候のとき（雨、霧、雪、強風など）
  - ・周囲にヘッドランプや尾灯に似た光源があるとき
  - ・対向車または先行車が無灯火のとき
  - ・対向車のヘッドランプが汚れていたり、光軸がずれているとき
  - ・明るさの急激な変化が連続しているとき
  - ・段差や起伏のある道路を走行しているとき
  - ・カーブが多い道路を走行しているとき
  - ・ミラーや標識など反射の強いものが前方にあるとき
  - ・トレーラーやコンテナなど先行車両の後部の反射が強いとき
  - ・対向車のヘッドランプが破損または汚れているとき
  - ・パンクやけん引などで車両が傾いているとき
- 次のような原因で、上向きと下向きの切り替わるタイミングが変化することがあります。
  - ・対向車または先行車のランプの明るさ
  - ・対向車または先行車の向きや動き
  - ・対向車または先行車のランプが片側のみ点灯している
  - ・対向車または先行車が二輪車
  - ・道路状況（カーブや勾配、路面状況など）
  - ・乗車している人数や荷物の量

アドバイス

- ハイビームアシストが正しく作動しなかったり、作動中にメーターにハイビームアシスト表示灯が点灯しなかったりしたときは、ハイビームアシストが故障しているおそれがあります。日産販売会社で点検を受けてください。

ハイビームアシスト表示灯…P.153

知識

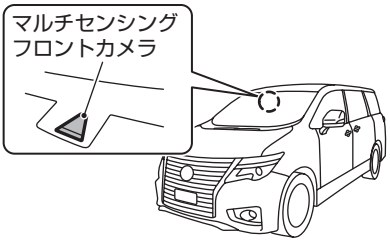
- ハイビームアシストがONで下向き（ロービーム）のとき、ライトスイッチを車両後方に引くとパッシングになります。
  （ハイビームアシストはONを維持）
- ライトスイッチは車両前方に押しても車両後方に引いても、手を離すと自動で中立位置に戻ります。

■マルチセンシングフロントカメラについて

フロントガラス上部に周囲の状況を感知するためのカメラがあります。

ハイビームアシストを正しく作動させるため、次のことをお守りください。

- フロントガラスが汚れたら清掃してください。
- カメラの周辺にアクセサリーやステッカーなどを取り付けないでください。
- カメラのレンズには触れないでください。
- カメラ及びその周囲に強い衝撃を与えないでください。



ZPA1702

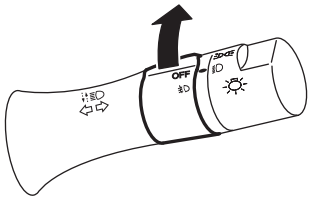
マルチセンシングフロントカメラの取り扱い…P.214

フォグランプの点灯・消灯

ヘッドランプまたは車幅灯が点灯しているときに使用できます。

霧などで視界が悪いときに使います。

- スイッチの  マークを●の位置に合わせると点灯します。
（メーター内の表示灯が点灯）
- 消灯するときは、OFFに合わせます。
（メーター内の表示灯が消灯）



ZPA1573

ライトの点灯・消灯…P.166

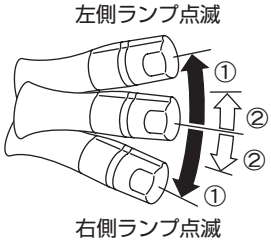
知識

- 濃霧時にヘッドランプを消灯して走行したい場合は、以下の操作を行うと車幅灯とフォグランプの点灯で走行することができます。
  - ・フォグランプが点灯しているときに、スイッチ位置をAUTOから、またはにしたとき

方向指示器スイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。

- スイッチを①の位置まで上、または下に動かすと、方向指示器のランプが点滅します。
  （メーター内の表示灯が点滅）
- 車線変更などのときには、スイッチを②の位置まで上、または下に軽く押さえます。
  スイッチを押さえている間は点滅し、手を離すと消灯します。



ZPA0094

アドバイス

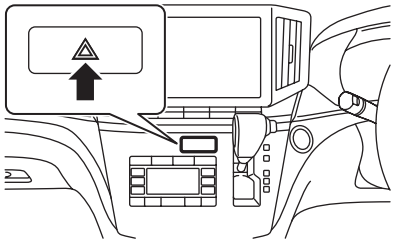
- 方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯の点滅が速くなったときは、方向指示器のランプの電球切れなどのおそれがあります。電球を交換してください。
  電球（バルブ）を交換するときは…P.375

方向指示表示灯…P.150

非常点滅表示灯スイッチ

故障などでやむを得ず路上駐車するときや、非常時に使います。

- スイッチを押すと、すべての方向指示器のランプとメーター内の方向指示表示灯（P.150）が点滅します。
- 止めるときは、スイッチを押し戻します。



ZPA1703

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

知識

- SRSエアバッグが作動するような衝撃を感知すると、非常点滅表示灯が自動的に点滅します。
  非常点滅表示灯スイッチを押すと消灯しますが、2次災害を防ぐため、安全が確保できるまでは消灯しないことをおすすめします。
  また、衝撃の大きさによっては、点滅しないことがあります。

ワイパー・ウォッシャースイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。

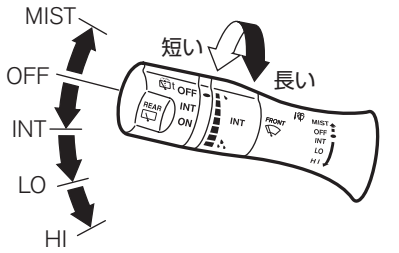
■ワイパーの使いかた

アドバイス

- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ワイパーに雪が積もり、破損するおそれがあります。
- ワイパーアームを起こすときは、運転席側のワイパーアームを先に起こしてください。
- ワイパー作動中、雪などの障害物によりワイパーが作動できなくなると、モーター保護のためにワイパーの作動が停止することがあります。その場合は、スイッチをOFFにし障害物を取り除いたあと、モーターが冷えるまで（約1分程度）待ってから、再度スイッチをONにしてください。ワイパーが作動を開始します。
- 凍結などでブレードがガラスに張り付いているときは、作動させないでください。ワイパーが損傷したり、モーターが故障するおそれがあります。
- ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してからワイパーを使ってください。ガラスが乾いた状態でワイパーを使用すると、ガラスやブレード（ゴム部）を傷つけるおそれがあります。

フロントワイパー

- スイッチを下げる（MISTは上げる）と、次のようにワイパーが作動します。
- 止めるときは、OFFの位置に戻します。
- 間けつ作動の間隔を調節するときは、スイッチを回します。



ZPA1288

スイッチ位置	作　動
MIST	1 回 作 動
OFF	停　止
INT	自 動 制 御
LO	低速連続作動
HI	高速連続作動

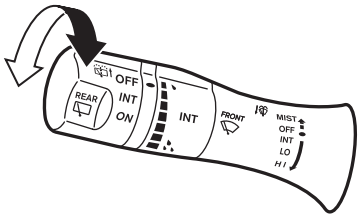
知識

- MISTの位置では、スイッチを押し上げている間ワイパーは作動し、手を離すと自動的にOFF位置に戻り停止します。
- 間けつ作動の間隔は、車速が速くなると短くなる車速感知式です。
- 車速感知機能のON/OFFを切り替えたい場合は、日産販売会社へご相談ください。
- ライトスイッチがAUTO位置のときにワイパーが数回作動すると、車外の明るさに関係なくライトが点灯します。
AUTO（自動点灯・消灯）の使いかた…P.167

リヤワイパー

●スイッチを回し、●の位置にマークを合わせると次のように作動します。

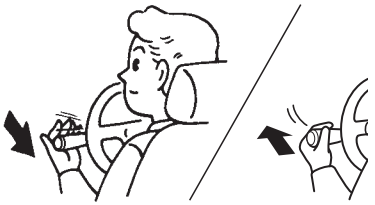
スイッチ位置	作　動
OFF	停　止
INT	間けつ作動
ON	連続作動



ZPA1289

■ウォッシャーの使いかた

●フロント側はスイッチを手前に引くと、リヤ側は車両前方に軽く押すとウォッシャー液が噴射し、ワイパーが数回作動します。



ECF0054Z

警告

- 寒冷時は、ウインドーガラスに吹きつけられたウォッシャー液が凍結し、視界を妨げ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  ウォッシャー液を噴射する前に、ヒーターを使ってウインドーガラスを温めてください。また、ウォッシャー液は外気温に合わせた希釈割合にしてください。
ウォッシャー液の濃度点検…P.328

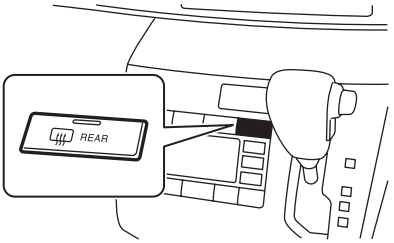
アドバイス

- ウォッシャー液が出ないときは、そのままで30秒以上作動させないでください。モーターが故障する原因となります。
- ウォッシャー液を補給しても液が出ないときは、日産販売会社にご相談ください。

リヤウインドーデフォッガースイッチ

電源ポジションがONのとき使えます。
バックドアガラス内側のくもりを取るときに使います。

- スイッチを押すと約15分間作動します。
（スイッチの表示灯が点灯）
- 作動中に止めるときは、スイッチをもう一度押します。
（スイッチの表示灯が消灯）



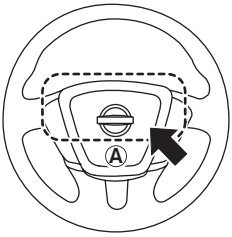
ZSD0075

アドバイス

- 連続して長時間使用しないでください。消費電力が大きいためバッテリーあがりの原因になります。
- ヒーター付ドアミラー（P.87）付車は、リヤウインドーデフォッガースイッチを押すと、ドアミラーヒーターも同時に作動します。

ホーンスイッチ

- ハンドルのラッパマークがあるパッド面（Ⓐの部分）を押すと、ホーンが鳴ります。



ZPA0101

知識

- パッド面の上部の方が中央部よりも比較的軽い操作で鳴ります。

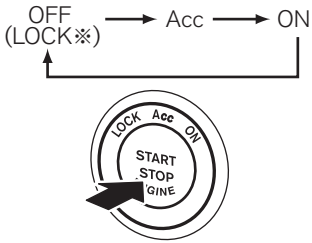
運転のしかた

エンジンスイッチ

■電源ポジションの切り替えかた

インテリジェントキーを携帯しているとき、ブレーキペダルを踏まずにエンジンスイッチを押すと電源ポジションが切り替わります。

- 電源ポジションがOFFのとき、いずれかのドアを開けるか、または閉めるとハンドルがロックされます。
  ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは…P.348



ZPA1296

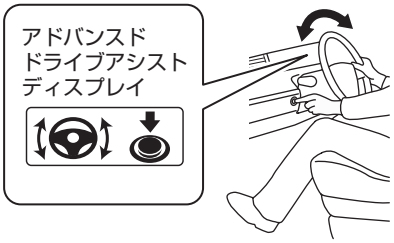
電源ポジション	働　き
OFF（LOCK※）	電源が切れる位置 ※いずれかのドアを開閉するとハンドルがロックされます
Acc	オーディオ★、ドアミラーなどが使える位置
ON	すべての電装品が使える位置

アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、以下の条件がそろった状態で約60分経過すると自動的に電源がOFFになります。
  - 電源ポジションがAccのとき。
  - 全ドアが閉まっているとき。
  - セレクトレバーがPのとき。
- エンジンを止めたままオーディオ★などを長時間つけておいたり、電源ポジションをAcc、またはONにしたまま長時間放置しないでください。バッテリーがあがり、エンジンの始動やハンドルロック（ステアリングロック）の解除ができなくなります。

知識

- インテリジェントキーの電池が切れているときは、電源ポジションを切り替えることができません。対処方法については、以下のページをお読みください。
  インテリジェントキーが正常に作動しないとき…P.180
  電池の交換のしかた…P.35
- エンジンスイッチを押したときに「ハンドルロック（ステアリングロック）未解除表示」（P.140）が表示されたときは、ハンドルを軽く左右に回しながらエンジンスイッチをもう一度押してください。



ZPA1168

エンジンの始動・停止のしかた

■エンジンの始動のしかた

運転するときは、インテリジェントキーを運転者が必ず携帯してください。

インテリジェントキーが作動範囲内にあるとき、キーを取り出すことなくエンジンの始動ができます。

エンジン始動の作動範囲…P.30

⚠ 警告

- 換気の悪い車庫や屋内では、暖機運転をしないでください。排気ガスによる一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。
- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。右足でアクセルペダルとブレーキペダルを交互に踏み、その位置を確実に覚えてください。
- セレクトレバーの操作は必ずエンジンが始動したことを確認してから行ってください。スターターモーターが回転中にセレクトレバーを操作すると、エンジン始動が中止され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

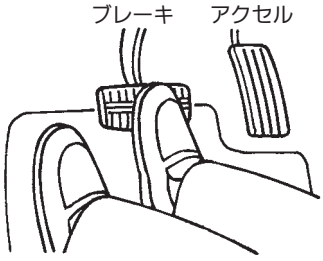
- エンジンの始動は、必ず運転席に座って行ってください。車外から行うと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- ブレーキペダルを踏んだり離したりしたとき、“カチッ”と音が聞こえることがありますが異常ではありません。

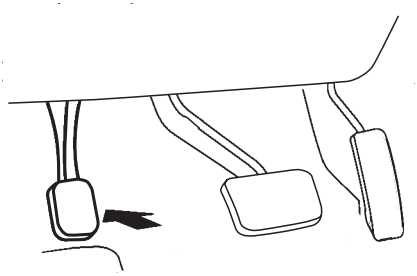
①アクセルペダルとブレーキペダルの位置を確認します。

・正しい運転姿勢（P.67）がとれるようにハンドル、シート位置を調節します。



TCA0579Z

②パーキングブレーキがかかっていることを確認します。



ECF0020Z

③セレクトレバーがPにあることを確認します。

・セレクトレバーがNでも始動できますが、安全のため必ずPで始動してください。

④ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
⑤アクセルペダルを踏まずに、エンジンスイッチを押すとエンジンが始動します。
（一度押しただけでエンジンがかかります。）
・エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを5秒以上押し続けてください。

エンジンがかかりにくいときは

ブレーキペダルを踏みながら、アクセルペダルをいっぱいに踏み込んでエンジンスイッチを約5秒間押し続けてください。
そのあと、再度①～⑤の操作をしてください。

アドバイス

- 緊急時以外は走行中にエンジンスイッチの操作を行わないでください。（走行中にエンジンスイッチを3連打以上、または2秒間押し続けるとエンジンが停止します。）

知識

- エンジンの始動を連続して行うと保護機能が作動し、エンジンがかからなくなることがあります。その場合は、3分以上待ってから再度エンジンスイッチを押して始動してください。

■エンジンの停止のしかた

①停車後、セレクトレバーをPにします。
②エンジンスイッチを押します。
・電源ポジションがOFFになり、エンジンが停止します。

注意

- 車から離れるときは以下のことをお守りください。
・セレクトレバーをPに入れる。
・電源ポジションをLOCKにする。

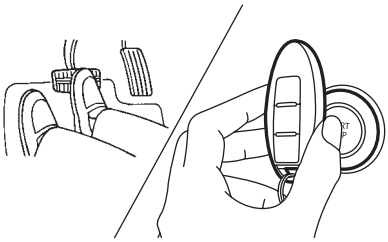
アドバイス

- セレクトレバーをPに戻す前にエンジンスイッチを押すとLOCKになりません。（P戻し忘れ警告（P.143）が表示）
エンジンを停止するときは、必ずセレクトレバーをPにしてからエンジンスイッチを押してください。

■インテリジェントキーが正常に作動しないとき

インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境によりインテリジェントキーと車両の通信が正常に行われないときには、以下の手順でエンジンを始動してください。

①セレクトレバーがPにあることを確認し、ブレーキペダルを踏みます。
②インテリジェントキーの裏面を、エンジンスイッチに接触させます。（ブザーが“ピピッ”と鳴ります。）



ZPA0396

③LOCKの表示が点灯してから約10秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままエンジンスイッチを押すとエンジンが始動します。
・ブレーキペダルから足を離してエンジンスイッチを押すと、電源が切り替わります。

アドバイス

- 上記の操作で始動できない場合は、早めに日産販売会社へ連絡してください。

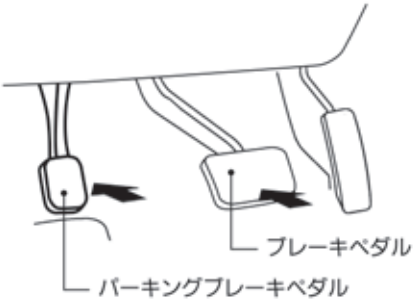
- エンジンを止めるときは、通常のときと同じように、セレクトレバーをPにしてからエンジンスイッチを押してください。

知識

- ドアの施錠・解錠は、メカニカルキーを使って行ってください。（P.39）
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。（P.35）

パーキングブレーキ

●パーキングブレーキをかけるときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルをいっぱいに踏み込みます。



ESG0731Z

●解除するときは、右足でブレーキペダルを踏みながら、左足でパーキングブレーキペダルを“カチッ”と音がするまで踏み、ゆっくりと離します。

⚠ 警告

●パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

●駐車するときは、必ずパーキングブレーキをかけてください。
●パーキングブレーキをかけたあとに、パーキングブレーキをかけ直したいときは、一度解除してから踏み込み直してください。

知識

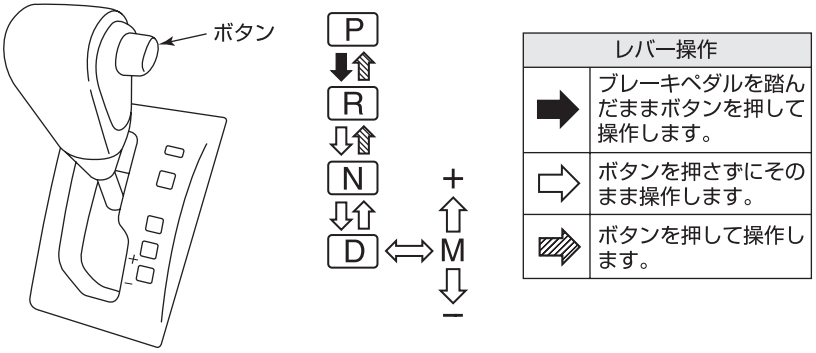
●パーキングブレーキをかけると後輪が固定されます。
●パーキングブレーキをかけたまま走行すると、パーキングブレーキ戻し忘れ警告（P.119）が表示され、パーキングブレーキ戻し忘れ警報（P.165）が鳴ります。

セレクトレバーの使いかた

■各セレクトレバー位置の働き

セレクトレバー位置	働き
P パーキング	**駐車及びエンジンを始動するときの位置** 電源ポジションをOFF、またはLOCKに切り替えることができます。 （P以外では電源ポジションをLOCKにできません。）
R リバース	**後退するときの位置** 車内でブザーが鳴り運転者に知らせます。 （車外の人に注意するものではありません。）
N ニュートラル	**動力が伝わらない状態の位置** （Nでもエンジンの始動ができますが、安全のためPで始動してください。）
D ドライブ	**通常走行するときの位置** 速度に応じて無段階に自動変速します。
M マニュアルモード	**マニュアルモード走行する時の位置** セレクトレバーを+（アップ）側に動かすとシフトアップします。 セレクトレバーを−（ダウン）側に動かすとシフトダウンします。

■セレクトレバーの操作



ZPA0677

⚠ 警告

- 次のような操作は、トランスアクスルを破損し、思わぬ事故につながるおそれがありますので、絶対にしないでください。
  - ・車が完全に停止する前にPに入れる。
  - ・車を前進させているときにRに入れる。
  - ・車を後退させているときにDに入れる。
- セレクトレバーの操作は必ずエンジンが始動したことを確認してから行ってください。スターターモーターが回転中にセレクトレバーを操作すると、エンジン始動が中止され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ⇨印の操作は、ボタンを押さないで操作する習慣をつけてください。ボタンを押して操作すると、意に反してP、Rに入れてしまうおそれがあります。
- Pから操作するとき、ボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かせないことがあります。ボタンは、ブレーキペダルを踏んでから押してください。

■マニュアルモードの使いかた

停車中や走行中に、セレクトレバーをDからマニュアルシフトゲートに入れると、マニュアルモードとなり、手動でギヤを選択するマニュアル車のような運転ができます。

- セレクトレバーをDからマニュアルシフトゲートに入れます。
（ポジションインジケーターに「M」と設定したシフトポジションを表示します。）

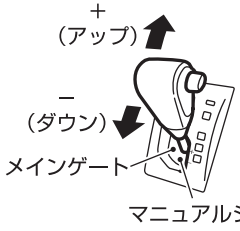
シフトアップするとき

- セレクトレバーを＋（アップ）側に動かします。
（高速ギヤに変速します。）

シフトダウンするとき

- セレクトレバーを－（ダウン）側に動かします。
（低速ギヤに変速します。）

※セレクトレバーを同じ方向に連続して動かしたときは、ギヤを連続して変速します。



ZPA0678

マニュアルモードを解除するとき

- セレクトレバーをメインゲートに戻すと、通常のD位置での走行状態に戻ります。

知識

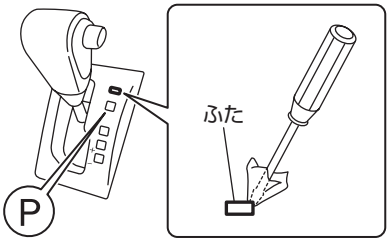
- マニュアルモードでは、走行性能の確保や安全のため、セレクトレバーを操作しても希望する変速ギヤにシフトしないことがあります。（その場合は、ポジションインジケーターが点滅し、ブザーが鳴ります。）以下のような場合には自動的に変速制御やエンジン回転制御が行われますが、異常ではありません。
  - ・変速を希望するギヤに対して、エンジン回転数が特に高いとき。
  - ・加速時などにあらかじめ設定されているエンジン回転数を超えたとき。
- 走行中にエンジンが高回転になったり、VDCが作動すると自動的にシフトアップされ、その場の速度に応じたエンジン回転数に制御されます。また、車速が下がると自動的にシフトダウンし、停車前に1速に入ります。
- 外気温が非常に低いときは、トランスアクスルが暖機されるまで、マニュアルシフトゲートに入れてもマニュアルモードに入らずDレンジのままになることがあります。そのときは、セレクトレバーをDに戻して走行してください。（マニュアルシフトゲートに入れたまま走行した場合は、トランスアクスルが暖機されてもマニュアルモードには自動で切り替わりません。一度セレクトレバーをDに戻してから操作してください。）
- アクセルを深く踏んだ高負荷な状態で長く走り続けると、CVT油温を下げるために通常より低いエンジン回転数で自動的にシフトアップすることがあります。高負荷な運転をやめ、CVT油温が下がると元に戻ります。

シフトロック解除ボタンの使いかた

万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーをPから動かせないときに使います。

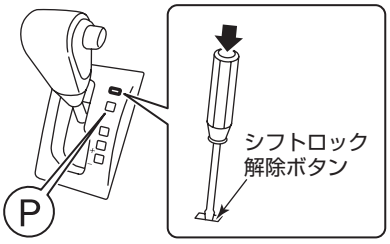
①安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。

②お手持ちのマイナスドライバーなどでふたを外します。傷つきを防ぐため、ドライバーに布などを当てて外してください。



ZPA1698

③お手持ちのマイナスドライバーなどでシフトロック解除ボタンを押しながら、セレクトレバーのボタンを押してセレクトレバーを動かします。



ZPA1699

アドバイス

- セレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロックシステム（P.21）などの故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

■アダプティブシフトコントロール

急な上り下りや、カーブが連続するような道路状況でも快適で安全な走りを実現できるよう自動的に適切なギヤチェンジを行います。

上り坂での制御

変速回数の少ないなめらかな走行ができるように、坂の勾配に応じて低速ギヤを保持します。

下り坂での制御

エンジンブレーキを併用させることで、フットブレーキを使う回数を低減させるように坂の勾配に応じて低速ギヤに切り替えます。

スポーティな走行での制御

アクセルペダルを踏み込んだときにもたつきのないスムーズな加速が得られるように、加減速を繰り返すような連続するカーブでは低速ギヤを保持します。

⚠ 注意

- オートマチックトランスアクスルが、走行開始直後で暖まっていないときや、低速で高負荷な走行を繰り返し過熱しているときは制御が作動しない場合があります。その場合には必要に応じてセレクトレバーをマニュアルモードに入れ、シフトダウンしてください。

オートマチック車の運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作が無くギヤチェンジを自動化してあるため、運転操作が簡単になりますが、オートマチック車特有の取り扱いかたがありますので、運転の基本操作を十分理解して、正しく操作する習慣をつけてください。

■発進のしかた

通常の発進

①ブレーキペダルを右足でしっかりと踏んだまま、セレクトレバーを動かします。
・前進するときはD（またはマニュアルシフトゲート）に入れます。
・後退するときはRに入れます。
・セレクトレバー位置を、目で確認してください。

⚠ 警告

- 発進時は、絶対にアクセルペダルを踏んだままのセレクトレバー操作をしないでください。急発進して、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- セレクトレバーがP、N以外にあると、クリープ現象で車が動き出します。エンジン始動直後やエアコン作動時は、特に動き出す力が強くなりますので、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

②パーキングブレーキを解除します。
③ブレーキペダルを徐々にゆるめたあと、アクセルペダルをゆっくり踏み発進します。

急な上り坂での発進

①セレクトレバーの位置を、目で確認します。
②パーキングブレーキをかけたままで、ブレーキペダルを徐々にゆるめます。
③アクセルペダルをゆっくり踏み、車が動き出す感触を確認します。
④パーキングブレーキを解除し、発進します。

■走行のしかた

⚠ 注意

- 走行中はセレクトレバーをNにしないでください。エンジンブレーキが全く効かなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスアクスルが故障する原因となります。
- 次のような場合は、CVT保護のためにエンジン出力を抑制することがあります。
  - ・エンジン回転数が急激に上がったとき。
  - ・滑りやすい路面を走行したとき。
  - ・動力測定機で動力測定したとき。

通常の走行

- セレクトレバーをDに入れたまま走行します。
- アクセルペダルとブレーキペダルの操作だけで加速、減速を行います。
  アクセルペダルの踏みかげんと走行速度や走行状況などにより、適切なギヤに自動変速されます。

急加速したいとき

- アクセルペダルをいっぱいに踏み込みます。
  キックダウンし急加速します。

上り坂の走行

- 速度が下がってきたら、セレクトレバーはDのままでアクセルペダルを踏み込みます。
  坂の勾配に応じて、自動的に低速ギヤに切り替わり、低速ギヤを保持します。
- アクセルペダルの踏みかげんと走行速度により、キックダウンすることがあります。
- マニュアルモード（P.183）のときは、マニュアル車と同様に、坂の勾配に応じて低速ギヤに入れます。

下り坂の走行

エンジンブレーキを併用して走行します。

- セレクトレバーがDでも、アクセルペダルを戻すと自動的にエンジンブレーキが得られます。
- マニュアルモード（P.183）のときは、マニュアル車と同様に、坂の勾配に応じて低速ギヤに入れます。

⚠ 警告

- セレクトレバーをDにしたまま下り坂を走行すると、エンジンブレーキの効きが弱く、スピードが出すぎることがあります。このようなときに、フットブレーキだけを使い続けると、フットブレーキに負担がかかり、過熱してブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。必ずエンジンブレーキを併用してください。
- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキは効かせないでください。タイヤがスリップするおそれがあり危険です。

■停車のしかた

- セレクトレバーはDのままで、ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- 上り坂では、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車時間が長くなるときは、セレクトレバーをNに入れます。

⚠ 警告

- 停車中の空吹かしはしないでください。万一、セレクトレバーがP、N以外にあると急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。停車後に再発進するときは、セレクトレバーの位置を、目で確認してください。

⚠ 注意

- エアコン使用時はエンジン回転数が変動するため、クリープ現象が断続的に強くなることがあります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏んでください。

アドバイス

- 上り坂ではクリープ現象を利用した停車や、アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つような停車はしないでください。トランスアクスルが故障する原因となります。

■駐車のしかた

①車を完全に停止させます。
②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかけます。
③セレクトレバーをPに入れ、目で確認します。
・セレクトレバーをPに入れると駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。
④エンジンを止めます。

⚠ 注意

- 車から離れるときは、必ずセレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めてください。エンジンがかかったままで、セレクトレバーがP、N以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出すおそれがあります。また、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■そのほかに気をつけること

⚠ 警告

- 坂道などでセレクトレバーをD、マニュアルシフトゲートに入れたまま惰性での後退をしたり、Rに入れたまま惰性での前進をしないでください。エンジンが止まり、極度にハンドルの操作力が重くなります。また、ブレーキの効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

- 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダル、アクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

- 後退時は身体をひねった状態となり、ペダルの操作を間違うおそれがあります。ブレーキペダルが確実に踏める姿勢をとるようにしてください。
- 少し後退したときなどは、セレクトレバーをRに入れたことを忘れてしまうことがあります。後退したあとは、すぐにセレクトレバーをNに戻す習慣をつけてください。

4WD（4輪駆動）車の扱いかた

■4WD車について

4WD車は、滑りやすい路面などで優れた走行性能を発揮しますが、万能ではありません。
4WD車特有の取り扱いかたを十分理解し、正しい運転をしてください。
ALL MODE4×4…P.192

■走行するときは

- オフロード（不整地）走行やラリー走行用ではありません。
  走行するときは以下のことを必ずお守りください。
  - ・渡河などの水中走行はしないでください。
  - ・砂地、ぬかるみなど、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。
  - ・脱輪などにより車輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させないでください。
- 運転操作は一般車と同様です。ハンドル、アクセル、ブレーキなどの操作は慎重に行い、安全運転に心がけてください。

知識

- 砂地・渡河などのオフロード走行や脱輪時の無理な操作などにより、前後輪間の回転数差が大きい（車輪が空転する）状態が続くと駆動系部品の油温が上昇します。
  この場合、駆動系部品の保護のため、アドバンスドドライブアシストディスプレイに4WD高油温警告を表示し、2WD状態に切り替わります。しかしアイドリング状態でしばらく停車し、表示しなくなるとAUTOモードに復帰します。
- 4WD車は2WD車に対し、制動距離が短くなるわけではありません。

■タイヤについて

- タイヤの交換は4輪とも同時に行い必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを装着してください。
- 摩耗差が大きいものやサイズが異なるタイヤを装着すると車の駆動機構を破損するおそれがあります。
  冬用タイヤも必ず4輪同じものを装着してください。
  タイヤ交換は日産販売会社にご相談ください。

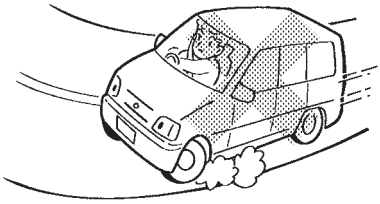
■4WD車の特性

タイトコーナーブレーキング現象

●乾燥した舗装路を4WD状態で走行中、ハンドルをいっぱいにきって旋回すると、ブレーキをかけたような状態になることがあります。この現象をタイトコーナーブレーキング現象といいます。この現象は旋回するとき前後輪に回転差が生じるために起きる4WD車特有の現象で異常ではありません。この現象が発生したときはハンドルの操作力が重くなります。

LOCKモード時の急旋回はしない

●乾燥した舗装路をLOCKモードで急旋回するとタイトコーナーブレーキング現象が起きてハンドルの操作力が重くなり運転しにくくなります。
乾燥した舗装路ではLOCKモードで走行しないでください。



TSC0085Z

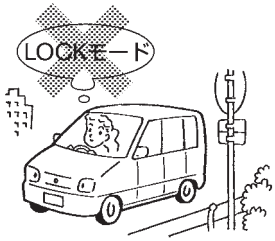
アドバイス

●タイトコーナーブレーキング現象が起きるとタイヤのスリップ音や駆動系のきしみ音などが発生することがあります。

■走行のしかた

乾燥した舗装路を走行するとき

●駆動モード切り替えスイッチ（P.192）を2WD、またはAUTOにして走行します。



ZPA0680

注意

●乾燥した舗装路をLOCKモードで走行しないでください。駆動系に無理がかかり重大な故障の原因となりますので、絶対に避けてください。また、タイヤが摩耗したり燃費が悪くなることがあります。

雪道など舗装路以外を走行するとき

●駆動モード切り替えスイッチ（P.192）をAUTO、またはLOCKに切り替えます。
●路面の状態に合わせて慎重に走行します。

注意

●急加速や急ハンドル、急ブレーキなどはしないでください。
タイヤがスリップ、横滑り、または尻振りなどをおこし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ALL MODE4×4★

ALL MODE4×4は3通りのモード（2WD、AUTO、LOCK）を備え、走行状況に応じて任意の駆動モードを選択できる4WDシステムです。
AUTOモードでは電子制御の働きにより多板クラッチの押付力をコントロールし、前後輪の駆動トルク配分をほぼ100：0（2WD）～50：50（4WD）まで自動的に変化させ、路面状況の変化に合わせた最適なトルク配分が得られます。

アドバイス

- エンジン暖機中はエンジンアイドル回転数が高くなっています。AUTOモードで滑りやすい路面などを発進、または走行するときは十分注意してください。
- 駆動モード切り替えスイッチは、車を直進状態にして操作してください。
- LOCKモードに切り替えるときは、停車状態か低車速で操作してください。車速が10km/h以上になるとLOCKモードに切り替えることはできません。

知識

- AUTOモードにしておくと、路面状態に応じ前後輪へのトルク配分を自動的に変更し、雪道や滑りやすい路面での走行性能が高まります。
- 旋回時及び加減速時に駆動モード切り替えスイッチを操作したときや電源ポジションをOFFにしたときは、ショックが発生することがありますが、故障ではありません。

駆動モード切り替えスイッチ

エンジン回転中に、スイッチを押して駆動モードを切り替えます。

AUTOモード

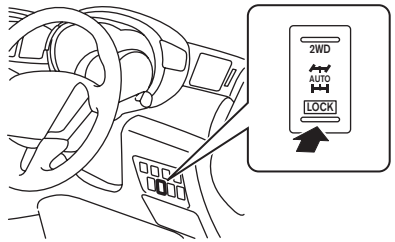
- スイッチが中立位置の場合は、基本的にAUTOモードになります。

2WDモード

- 2WDモードに切り替えるときは、スイッチの上側を押します。
- 2WDモードを解除するときは、スイッチの下側を押して中立位置に戻します。

LOCKモード

- LOCKモードに切り替えるときは、停車状態あるいは車速が約10km/h以下のときに、スイッチの下側を押します。
  （メーター内の表示灯4WD LOCKが点灯）
- LOCKモードを解除するときは、もう一度スイッチの下側を押します。
  （メーター内の表示灯4WD LOCKが消灯）



ZPA1257

■駆動モード切り替えスイッチの働き

駆動モード	駆動状態	駆動モード表示灯	路面状況
2WD	前輪駆動	消　灯	乾いた舗装路を経済的に走行したいとき。
AUTO	前輪駆動から4輪駆動まで自動調節	 ESA1341Z	舗装路や滑りやすい路面を通常に走行するとき。
LOCK	直結4輪駆動（低車速時）＊1、2、3	 ESA1342Z	ラフロードを走行するとき。

※1：前後輪の回転差が大きい状態が続くとき、一時的にAUTOモードからLOCKモードに切り替わりますが異常ではありません。
※2：車速が上がると自動的にAUTOモードに切り替わります。（駆動モード表示灯は点灯のまま）
※3：車速が上がった状態で走行を続けた場合はLOCKモードが自動的に解除され、AUTOモードに切り替わります。（駆動モード表示灯4WD LOCKが消灯）

⚠ 注意

- 雪道などで前輪を空転させたまま駆動モード切り替えスイッチを操作しないでください。車両が思わぬ方向へ飛び出すおそれがあります。
- 乾燥した舗装路をLOCKモードで走行しないでください。駆動系に無理がかかり、重大な故障の原因になりますので絶対に避けてください。また、タイヤの早期摩耗や燃費低下にもつながります。
- 4WD車は万能ではありません。走行するときは以下のことを必ずお守りください。
  - ・渡河などの水中走行はしない。
  - ・砂地、ぬかるみなど、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしない。
  - ・脱輪などにより車輪が宙に浮いているときは、むやみに空転させない。

知識

- LOCKモードを選択時、車速が上がると駆動モード表示灯は点灯したままAUTOモードに自動的に切り替わりますが、車速が下がると直結4輪駆動状態に自動的に戻ります。
- LOCKモードを選択時、車速が上がった状態で走行を続けるとLOCKモードが自動的に解除され、駆動モード表示灯が消灯し、AUTOモードに切り替わります。
- LOCKモード選択時は、常時駆動モード表示灯が点灯しています。
- 電源ポジションをOFFにすると、LOCKモードは自動的に解除されます。

■駆動モード表示灯



ESA1343Z

メーター内にあります。

- 電源ポジションをONにすると約1秒間点灯後、消灯します。
- エンジン回転中、駆動モード切り替えスイッチで選択した位置を表示します。

知識

- アドバンスドドライブアシストディスプレイに4WD警告を表示すると駆動モード表示灯は消灯します。
- LOCKモードで使用中、電源ポジションをOFFにすると、LOCKモードが自動的に解除されます。再度LOCKモードで使いたいときは、エンジン始動後にスイッチを押して駆動モード表示灯を点灯させてください。
- エンジン始動前にスイッチを押してもモードの切り替えはできません。

詳しくは、駆動モード切り替えスイッチの働き…P.192をお読みください。

■4WD警告・4WD高油温警告・タイヤサイズ警告

アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。

- エンジン回転中に4WDシステムに異常があると表示します。

4WD警告…P.121
4WD高油温警告…P.121
タイヤサイズ警告…P.122

VDC（ビークルダイナミクスコントロール）

走行中、滑りやすい路面や障害物の緊急回避などのときには、車両が横滑りや尻振りを起こすことがあります。

VDCは横滑りや尻振りを起こしそうになると横滑り状態をセンサーが判別し、ブレーキ制御とエンジン出力制御により走行時の車両安定性を向上させるシステムです。

- VDCが実際に作動しているとき、メーター内のVDC警告灯が点滅します。
- VDCシステム内のトラクションコントロール機能のみが作動しているときもVDC警告灯が点滅します。
- VDC警告灯が点滅したときは、車両が滑りやすい状態になっていますので特に慎重に運転してください。

VDC警告灯…P.159

⚠ 注意

- この装置は車両の走行安定性を向上させるもので事故を防止するものではありません。VDCの作動にも限界があるため、滑りやすい路面やカーブの手前では特にスピードを落とし安全運転に心がけてください。
- 下記部品を純正品以外に交換、または改造したときにVDC警告灯が点灯することがあります。
  その場合は、VDCが正常に作動しないことがあります。
  - ・サスペンション関係部品（ショックアブソーバー、ストラット、スプリング、ブッシュ類など）
  - ・タイヤ、ホイール（指定サイズ以外）
  - ・ブレーキ関係部品（パッド、ローター、キャリパーなど）
  - ・エンジン関係部品（マフラー、ECM〔エンジンコントロールモジュール〕など）
  - ・車体補強関係部品（ロールバー、タワーバーなど）
- サスペンション、タイヤ、ブレーキなどの関係部品が著しく摩耗及び劣化した状態で走行すると、VDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがあります。
- 駐車場の入り口などにあるターンテーブルや動くものの上に車があるとき、VDCの警告灯が点灯することがあります。この場合はターンテーブルなど動くものの上から降りてからエンジンをかけ直してください。
- 極端に傾いた特殊な路面（サーキット路に見られるバンクなど）を走行するとVDC警告灯が点灯することがあります。その場合は、VDCが正常に作動しないことがありますので、そのような路面を走行しないでください。
- VDC付車でも雪道などでは冬用タイヤやタイヤチェーンを装着してください。

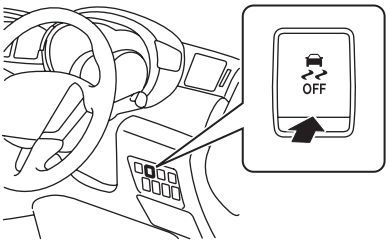
知識

- VDCには「ブレーキLSD」機能があります。これは、滑りやすい路面などで駆動輪が空転した場合、空転している駆動輪にブレーキをかけることにより、もう一輪の駆動力を確保するLSD（リミテッドスリップデフ）機能です。作動時は、ブレーキの作動により音や振動が発生する場合がありますが、異常ではありません。

■VDC OFFスイッチの使いかた

VDCの作動を停止したいときに使います。

- VDC OFFスイッチを押すと、VDCの働きを停止します。（メーター内の表示灯が点灯）
- もう一度スイッチを押すか、エンジンを再始動するとVDCは作動を回復し、表示灯が消灯します。



ZPA0682

アドバイス

- VDCが作動すると発進時や加速時に車体及びペダルにわずかな振動と作動音が発生しますが異常ではありません。
- ぬかるみや新雪から脱出するときなどは、スリップ状態を感知し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジン回転数が上がらないことがあります。回転数を上げたいときはVDC OFFスイッチを押してシステムをOFFにしてください。
- VDC OFFスイッチを押すと、VDCのすべての機能と次の機能が停止します。（ABS機能及びブレーキLSD機能を除く）
  - インテリジェント エマージェンシーブレーキ…P.239
  - インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）…P.247
  - インテリジェント クルーズコントロール…P.197
  - 踏み間違い衝突防止アシスト…P.251
  - インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）…P.222
  - インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）…P.229

知識

- 電源ポジションをONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームからモーターなどの音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

インテリジェント クルーズコントロール

インテリジェント クルーズコントロールには、以下のような機能があります。

- 先行車を検出していない場合は、運転者がセットした車速で定速走行します。
- 先行車を検出している場合は、先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行います。

詳しくは、P.198をお読みください。

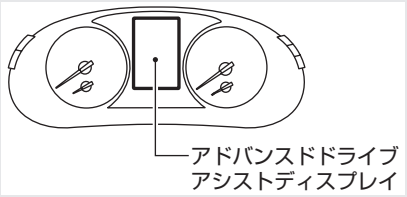
定速制御機能

- 運転者がセットした車速（約40km/h以上）で定速走行します。
（車間距離の制御は、行いません。）

詳しくは、P.215をお読みください。

⚠ 注意

- 機能によって制御内容が異なります。
インテリジェント クルーズコントロールを使用するときは、どの機能が選択されているかをアドバンスドドライブアシストディスプレイで必ず確認してください。



ZPA1169

インテリジェント クルーズコントロール

先行車との距離を測定し、運転者がセットした車速を上限として車速に応じた車間距離を自動的に保ちながら走行することができます。

セレクトレバーがD、またはマニュアルモードのときに以下の制御を行います。

- 先行車を検出していないときは、運転者がセットした車速（約30km/h以上）で定速走行します。
- 先行車を検出しているときは、運転者がセットした車速（約30km/h以上）を上限として、車速に応じた車間距離を保つように車間制御を行い走行します。また、先行車両が停止したときには、自車もそれに応じて停止します。（停止後はシステムが自動的に解除されます。）
- 先行車を検出しなくなったときは、セットした速度までゆっくりと加速し、定速走行を行います。

  なお、車速が約25km/hを下回っている場合は、システムが自動的に解除されます。

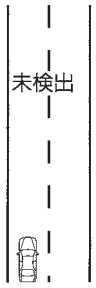
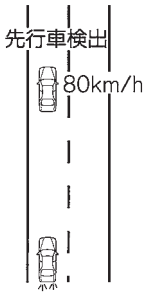
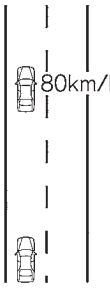
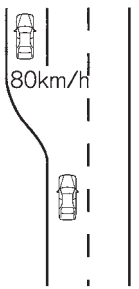
⚠ 警告

- **高速道路や自動車専用道路でご使用ください。**

  一般道での使用は思わぬ事故につながるおそれがありますので使用しないでください。
- **インテリジェント クルーズコントロールの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転に心がけてください。**

  自車の前への急な割り込みや先行車が急ブレーキをかけたとき、悪天候などでは、適切な減速が行えず先行車に接近することがあります。先行車との車間距離、周囲の状況に応じて自らアクセルペダル、ブレーキペダルを操作し、常に安全運転を心がけてください。

  インテリジェント クルーズコントロールにより停止までブレーキ制御を行いますが、停止状態を保持する機能はありません。自車が停止したとシステムが判断すると、ブザー音とともにブレーキ制御が解除され、クリープ現象によりゆっくりと車両が動き出します。停止状態を保持するためのブレーキ操作は、必ず運転者が行ってください。（先行車との車間距離が短いときや下り坂で追従走行しているときなど、状況により停止できない場合もあります。）

走行状況	定速走行 先行車を検出していないとき	減速走行 設定した車速より遅い先行車が検出されたとき	追従走行 設定した車速より遅い先行車に追従するとき	加速走行 設定した車速より遅い先行車を検出しなくなったとき
例	100km/hに設定	100km/hで定速走行時に、80km/hの先行車を検出したとき	100km/hに設定しているときに、80km/hの先行車がいるとき	100km/hに設定しているときに、80km/hの先行車を検出しなくなったとき
	 TSA1598Z 100km/h （設定車速）	 TSA1599Z 100km/h →80km/h	 TSA1600Z 80km/h	 TSA1601Z 80km/h →100km/h （設定車速）

⚠ 注意

- **インテリジェント クルーズコントロールの性能には限界があるため、システムだけに頼った運転はせず、常に安全運転に心がけてください。**
  脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨、雪、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- **インテリジェント クルーズコントロールの減速能力には限界があり、自車の前へ他車が割り込んだときや先行車が急ブレーキをかけたとき、下り坂で追従走行しているときなどは、十分に減速できず先行車に接近することがあるため注意してください。**
  この場合は、ブザー音及び表示による警報で注意を促します。

⚠ 注意

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますのでインテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。

・**急カーブや曲がりくねった道**
インテリジェント クルーズコントロールは直線路や緩やかなカーブ路での使用を想定して設計しているため、思わぬ事故につがるおそれがあります。

・**急勾配の坂道**
停止状態を保持できず、車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

・**急な下り坂**
設定車速を超えてしまうおそれがあります。また先行車がいる場合は、ブレーキが過熱して十分な減速ができなくなるおそれがあります。

・**凍結路や積雪路など滑りやすい路面**
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。

・**頻繁な加減速により、車間距離が保ちにくい交通状況**
ブレーキ作動が遅れて車間距離が短くなるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

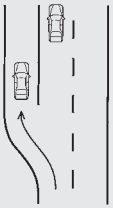
・**交通量の多い道や急カーブのある道**
道路状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。

・**悪天候（雨、霧、雪など）のとき**
先行車との車間距離が正確に検出できない場合があります。

・**カメラ前方のフロントガラスに雨滴、雪などが付着しているとき**
先行車との距離が正確に検出できない場合があります。

・**急な上り坂、下り坂が繰り返される道**
先行車を正確に検出できず、先行車に近づきすぎて思わぬ事故につながるおそれがあります。

・**高速道路などで、インターチェンジ、サービスエリア、パーキングエリアなどに進入する（本線から出る）とき本線上でインテリジェント クルーズコントロールによりセット車速よりも遅い車速で走行する先行車に追従走行している場合には、自車または先行車の車線変更などで、自車線上に先行車を検出しなくなることによりセット車速まで自動的に加速するため、思わぬ事故につながるおそれがあります。**



TSA1602Z

⚠ 注意

- **次のような状況では先行車との車間距離が正確に検出できない場合があり、適切に制御できず、思わぬ事故につながるおそれがありますのでインテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。**
  - ・悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
  - ・前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  - ・カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
  - ・カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
  - ・前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
  - ・前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
  - ・夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
  - ・夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
  - ・トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
  - ・工事などによる車線規制や仮設のレーンマーカーがあるとき
  - ・未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
  - ・急な上り坂、下り坂が繰り返される道を走行するとき
  - ・雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
  - ・放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
  - ・オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき
- **インテリジェント クルーズコントロールを正しく作動させるために、カメラ前方のフロントガラス、レーダーセンサー及びその周辺のお手入れを行ってください。**
  マルチセンシングフロントカメラの取り扱い…P.214
  レーダーセンサーの取り扱い…P.238
- **次のような状況ではインテリジェント クルーズコントロールは正しく機能しません。インテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。**
  - ・タイヤの空気圧が適正ではないとき
  - ・摩耗しているタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
  - ・純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき
  - ・カメラの視界を妨げるようなものを取り付けたとき
  - ・極端に重い荷物を積んでいるとき
  - ・けん引しているとき
- **状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。**
- **次のような車両は正しく検出できず、適切な車間制御が行えない場合があります。**
  - ・車高の低い車両
  - ・最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
  - ・特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
  - ・前方の至近距離に割り込んだ車両
  - ・自車の正面から横にずれた位置に存在する車両
  - ・後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
  - ・後輪から車両後端までが長い車両

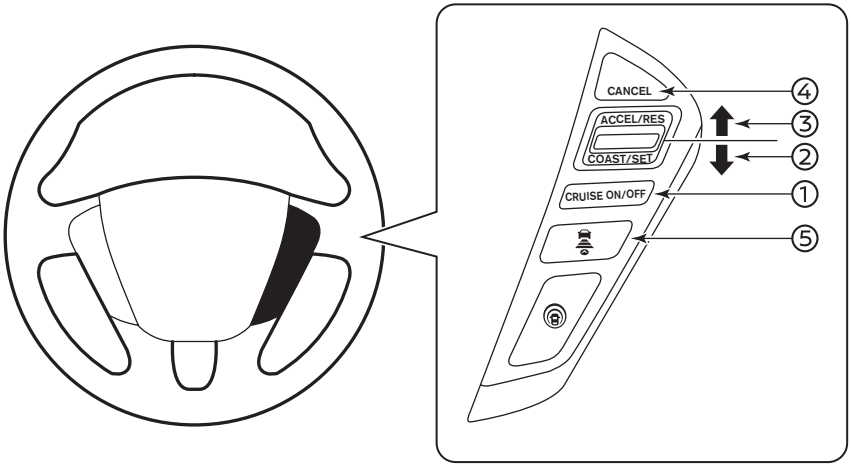
⚠ 注意

・四輪車以外の車両（二輪車など）
・荷台から荷物や幌がはみ出している車両
・バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両

知識

- センサーの汚れを判定する機能を備えておりますが万全ではありません。状況によってはセンサーが汚れていても判定できない場合があります。また雪、氷などが付着したときも判定できない場合があります。このような状況では、適切な作動ができなくなるおそれがありますので、常に前方に注意して走行してください。また、レーダーセンサー及びその周辺はいつもきれいにしておいてください。
  なお、汚れを判定した場合は、インテリジェント クルーズコントロールは自動的に解除されます。

■ステアリングスイッチ（インテリジェント クルーズコントロール）



ZPA1515

①メインスイッチ
インテリジェント クルーズコントロールのON・OFFができます。

②セット/コーストスイッチ（下押し）
・インテリジェント クルーズコントロールのセットができます。
・設定車速を下げることができます。

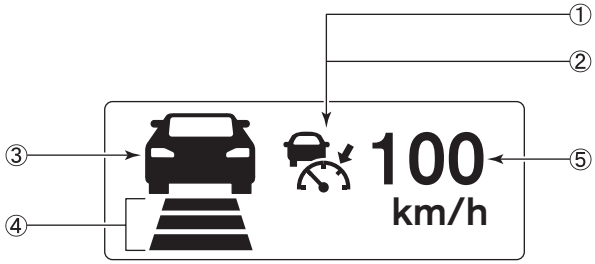
③リジューム/アクセラレートスイッチ（上押し）
・インテリジェント クルーズコントロールを解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
・設定車速を上げることができます。

④キャンセルスイッチ
・インテリジェント クルーズコントロールの解除ができます。

⑤車間設定スイッチ
・車間設定を「長」「中」「短」の3段階に切り替えることができます。

■表示灯・警告灯・アドバンスドドライブアシストディスプレイ

アドバンスドドライブアシストディスプレイはメーター内にあります。



ZPA1227

①クルーズ表示灯（白）
メインスイッチがONになっていることをお知らせします。

②インテリジェント クルーズコントロール警告灯（オレンジ）
インテリジェント クルーズコントロールのシステムに異常があることをお知らせします。

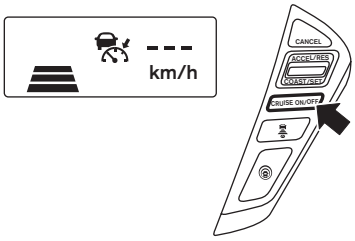
③先行車検出表示
先行車検出の有無をお知らせします。

④車間設定表示
車間設定スイッチで設定した車間設定を表示します。

⑤設定車速表示
設定した車速を表示します。

■セットのしかた

①メインスイッチを押してインテリジェント クルーズコントロールをONにします。(1.5秒未満押す)
(クルーズ表示灯(白)、車間設定表示、設定車速表示が点灯し、セット待機状態になります。)



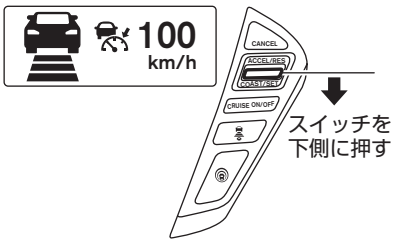
ZPA1527

②設定したい車速まで加速、または減速します。

③セット/コーストスイッチ側に押します。

・スイッチを押したときの車速が設定車速になります。

・車速が約30km/h以下で先行車を検出しているときにスイッチを押した場合、設定車速は30km/hになります。
(先行車検出の有無、車間設定、設定車速が表示)



ZPA1528

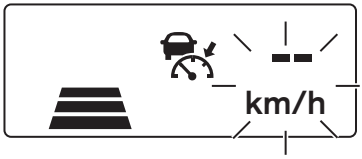
④制御を開始します。

⚠ 注意

- インテリジェント クルーズコントロールを使用しないときは、メインスイッチをOFFにしてください。
間違ってスイッチを押してしまった場合、インテリジェント クルーズコントロールがセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 以下の場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイが約2秒間点滅し、セットすることができません。
  - ・車速が約25km/hを下回っていて、先行車を検出していないとき。
  - ・セレクトレバーがD、またはマニュアルモード以外のとき。
  - ・ワイパーを高速(HI)で作動させたとき。
  - ・パーキングブレーキがかかっているとき。
  - ・ブレーキを踏んでいるとき。
    雨、雪、霧、またはカメラ前方のフロントガラスの凍結、汚れなどで、カメラの視界が確保できなくなったとき
  - ・前方から強い光(太陽光など)を受けているとき。



ZPA1238

知識

- 以下の場合は“ピー”というブザー音とともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「作動範囲外のため現在使用できません」と警告が表示され、セットすることができません。
  - ・VDCをOFFにしているとき。（インテリジェント クルーズコントロールを使用するときは、VDCをONにしたあと、メインスイッチを一旦OFFにし、再度①から操作し直してください。）
    VDC…P.195
  - ・ABS、またはVDC（トラクションコントロールを含む）が作動しているとき。
  - ・タイヤが空転しているとき。（インテリジェント クルーズコントロールを使用するときは、上記の状態が改善されてから、メインスイッチを一旦OFFにし、再度①から操作し直してください。）
    システム故障警告B…P.124
- エンジンを止めるとインテリジェント クルーズコントロールは自動的に解除されます。
- 車間設定はエンジンをかけるたびに「長」に設定されます。「中」、または「短」に切り替えたいときは車間設定スイッチを操作します。
  車間距離設定の変えかた…P.209

■システムの作動

先行車を検出しているとき

運転者が設定した車間距離を保つように制御します。
（先行車検出表示が点灯）

先行車が停止したとき

- インテリジェント クルーズコントロールで走行中に先行車が停止したときは、先行車に続いて自車も停止します。停止後はシステムが自動的に解除されます。



ZPA1230

知識

- 設定車速（約30km/h以上）を上限とする範囲で制御します。
- 車間設定スイッチにより、車間を設定することができます。
- インテリジェント クルーズコントロールの制御によりブレーキが作動したときは、ブレーキペダルが動き自車の制動灯が点灯します。
- ブレーキが作動したとき、音がすることがありますが異常ではありません。

先行車を検出しなくなったとき

設定車速までゆっくりと加速し、定速走行します。
（先行車検出表示が消灯）



ZPA1231

知識

- 設定車速までの加速中に先行車を検出すると、再び車間制御を行います。
- 設定車速までは機能の制御によって加速しますが、素早く加速したいときはアクセルペダルを踏んで加速してください。
- 車速が約25km/hを下回ったときに、先行車を検出しなくなると自動的に制御を解除します。

■設定車速の変えかた

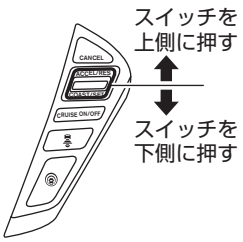
⚠ 注意

- 車間制御しているときは、先行車に合わせた車速に制御されるため、リジューム/アクセラレートスイッチ側に押して、設定車速を上げても加速しません。
  しかしこのとき機能上は設定車速を変更しているため、先行車を検出しなくなるとその設定した車速まで加速します。設定車速はアドバンスドドライブアシストディスプレイの設定車速表示を確認しながら変更してください。

設定車速を変えたいとき

設定車速が5km/hきざみで変更できます。
（設定した車速はアドバンスドドライブアシストディスプレイに表示されます。）

- 設定車速を上げたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチ側（上側）に押します。
- 設定車速を下げたいときは、セット/コースト側（下側）に押します。



ZPA1516

一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

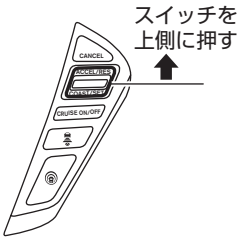
- アクセルペダルを踏むと、加速します。
  アクセルペダルを離すと、元の制御状態に戻ります。

⚠ 注意

- アクセルペダルを踏んでいるときは、インテリジェント クルーズコントロールによるブレーキ操作も警報も行いません。

減速したいとき

- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御が解除）します。
  （設定車速表示の車速値が消灯し、セット待機状態になります。）
- 解除前の設定車速で再びセットしたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチ側に押します。
  （アドバンスドドライブアシストディスプレイが再びセット状態の表示になります。）



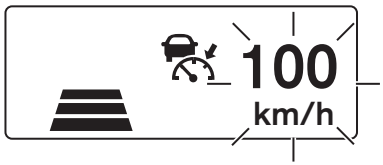
ZPA1517

⚠ 注意

- 通常、車間制御中は先行車の速度に合わせて自動的に加速、減速を行います。しかし車線変更などで加速が必要なときや、先行車が急減速したり、他車が割り込むなどして先行車に接近しそうになったときなどはアクセルペダル、またはブレーキペダルを踏んで周囲の状況に応じた適切な加速、減速を行ってください。

知識

- アクセルペダルを踏んで加速した場合や、セット/コーストスイッチで設定車速を下げた場合などで設定車速より実際の車速の方が高くなったときは、設定車速表示が点滅します。



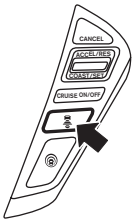
ZPA1239

- アクセルペダルを戻したあとに定速走行し、車速が設定車速となった場合や、車間制御で車速が設定車速以下となったときは、設定車速が点灯状態に戻ります。

■車間距離設定の変えかた

先行車との車間距離を交通状況に応じて選ぶことができます。制御中、またはセット待機状態のときに車間設定を切り替えることができます。

- 車間設定スイッチを押すごとに「長」→「中」→「短」→「長」の順に切り替わります。



ZPA1518

車間設定	ディスプレイ
長	 ZPA1232
中	 ZPA1233
短	 ZPA1234

アドバイス

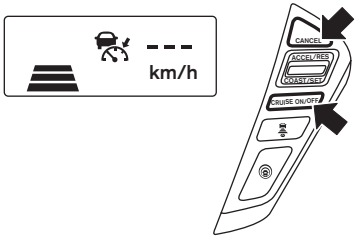
- エンジンを止めると、車間設定は「長」に戻ります。
  （エンジンをかけるたびに初期の車間設定は「長」になります。）

知識

- 各制御は車速に応じて変わり、車速が高いほど長くなります。
- 車速100km/hで走行しているとき、車間設定での制御車間距離の目安は次のとおりです。
  長：約60m
  中：約50m
  短：約40m

■解除のしかた

- 次の操作でインテリジェント クルーズコントロールが解除されます。
  - ・キャンセルスイッチを押す。
  - ・メインスイッチを押す。
  - ・ブレーキペダルを踏む。



ZPA1529

知識

- キャンセルスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。

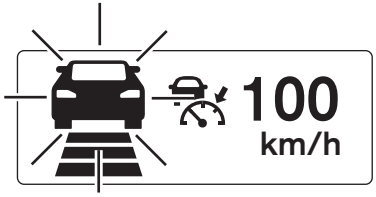
- 次の場合は“ピー”というブザー音とともに制御が自動的に解除されます。
  - ・先行車を検出していない場合に、車速が約25km/hを下回ったとき。
  - ・インテリジェント クルーズコントロールにより自車が停止したとき。
  - ・セレクトレバーを**D**、またはマニュアルモード以外にしたとき。
  - ・パーキングブレーキをかけたとき。
  - ・ABS、またはVDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき。
  - ・VDCをOFFにしたとき。
  - ・タイヤが空転したとき。
  - ・周辺の電波源の影響を受けているとき。

■接近警報

車間制御中に先行車の減速度合いが大きい場合や他車の割り込みなどによって、十分な減速ができない状態で先行車に接近したときは、次のようにブザーとアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示によって運転者に注意を促します。

この場合は、ブレーキを踏んで減速し、適切な車間距離を確保してください。

- 先行車に接近し、車間距離が十分でないと判断されるときは
  - ・ブザーが“ピッ、ピッ、ピッ、ピッ…”と鳴ります。
  - ・アドバンスドドライブアシストディスプレイの先行車検出表示、車間設定表示が点滅します。



ZPA1240

⚠ 注意

- 警報ブザーが頻繁に鳴るような状況では、インテリジェント クルーズコントロールを使用しないでください。
- 短い車間距離でも、次の場合には警報が作動しないことがあります。
  - ・先行車との相対速度が小さいとき。(ほぼ同じ速度で走っているとき)
  - ・先行車の方が自車より速いとき。(車間距離が次第に離れていくとき)
  - ・他車が至近距離に割り込んできたとき。

■警告表示

- 次の場合は、“ピー”というブザー音とともにインテリジェント クルーズコントロールが自動的に解除され、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示され、セットできなくなります。
  - ・ABS、またはVDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき。
  - ・VDCをOFFにしたとき。
  - ・タイヤが空転したとき。

システム故障B…P.124

➡ 対処方法

- 制御が解除されたときの状態が改善されてから、メインスイッチでシステムを一旦OFFにしたあと、再びセット操作を行ってください。

アドバイス

- 上記の操作をしてもセットできない、または表示が点灯し続けるときは、インテリジェント クルーズコントロールの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

・インテリジェント クルーズコントロールに異常があるとき。
⇒インテリジェント クルーズコントロール警告灯（オレンジ）が点灯します。



ZPA1245

➡ 対処方法

- 点灯したときは、安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから再度セット操作を行ってください。

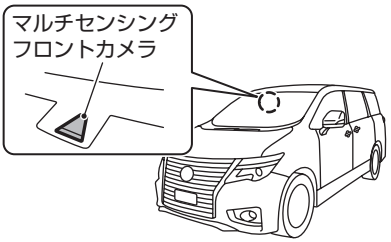
アドバイス

- 上記の操作をしてもセットできない、または表示が点灯し続けるときは、インテリジェント クルーズコントロールの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

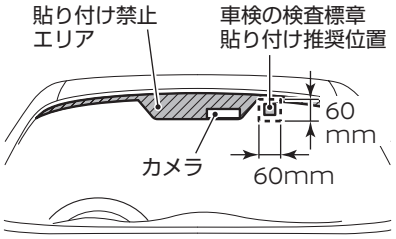
システムを正しく作動させるために、次のことをお守りください。

- カメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。
- カメラ前方のフロントガラスにステッカー（透明なものを含む）を貼らないでください。
- インストルメントパネル上に鏡や白い紙などの光を反射しやすいものを置かないでください。太陽光が反射し、カメラの検知性能に影響がでるおそれがあります。
- カメラ周辺に強い衝撃を与えないでください。またカメラを取り外さないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでカメラ周辺部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。



ZPA1702

- フロントガラスに車検の検査標章（ステッカー）を貼り付ける場合は、貼り付け禁止エリアを避けて貼り付けてください。貼り付け推奨位置は、フロントガラスのプリント上側コーナー部を起点とした範囲です。



ZPA1489

■レーダーセンサーの取り扱い

レーダーセンサーの取り扱い（P.238）をお読みください。

定速制御機能

セレクトレバーがD、またはマニュアルモードのとき、アクセルペダルを踏まなくても、一定の速度で走行することができます。
約40km/h以上で任意の速度にセットできます。

⚠ 注意

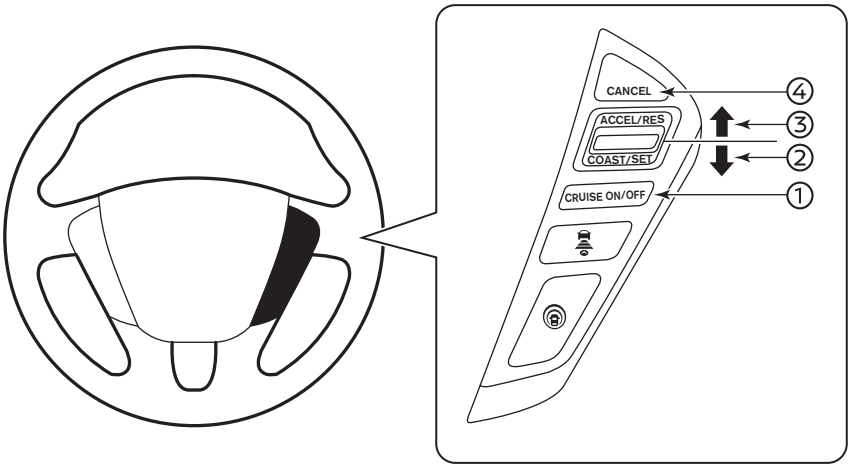
- 定速制御中は車間制御を行わないため、ブレーキ操作も警報も行いません。
  先行車との車間距離、周囲の状況に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転に心がけてください。
- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので定速制御機能を使わないでください。

・交通量の多い道や急カーブのある道
交通状況にあった速度で走行できないため事故につながるおそれがあります。

・凍結路や積雪路など滑りやすい路面
タイヤが空転し、車のコントロールを失うおそれがあります。

・急な下り坂
急な下り坂ではエンジンブレーキが十分効かないため、セットした速度を超えてしまい、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■ステアリングスイッチ（定速制御機能）



ZPA1519

①メインスイッチ
定速制御機能のON・OFFができます。

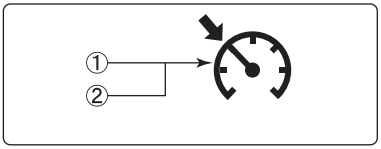
②セット/コーストスイッチ（下押し）
・定速制御機能のセットができます。
・設定車速を下げることができます。

③リジューム/アクセラレートスイッチ（上押し）
・定速制御機能を解除後、解除前の設定車速に再びセットすることができます。
・設定車速を上げることができます。

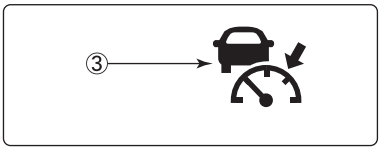
④キャンセルスイッチ
・定速制御機能の解除ができます。

■表示灯・警告灯・アドバンスドドライブアシストディスプレイ

アドバンスドドライブアシストディスプレイはメーター内にあります。



ZPA1276



ZPA1275

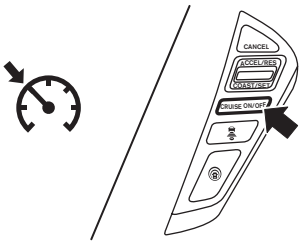
①クルーズ表示灯（白）
メインスイッチがONになっていることをお知らせします。

②セット表示灯（緑）
設定したい車速をセットしたことをお知らせします。

③インテリジェント クルーズコントロール警告灯（オレンジ）
定速制御機能に異常があることをお知らせします。

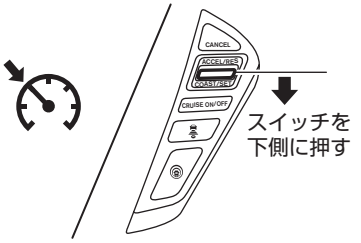
■セットのしかた

①メインスイッチを約1.5秒以上押し続けて定速制御機能をONにします。
（クルーズ表示灯（白）が点灯し、セット待機状態になります。）



ZPA1530

②設定したい車速まで加速、または減速します。
③セット/コーストスイッチ側に押します。
・スイッチを押したときの車速が設定車速になります。
（セット表示灯（緑）が点灯）



ZPA1531

④制御を開始します。

⚠ 注意

- 定速制御機能を使用しないときは、メインスイッチをOFFにしてください。間違ってスイッチを押してしまった場合、定速制御機能がセットされてしまい思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

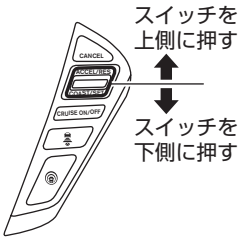
- 定速で走行中、アクセルペダルを踏むと加速しますが、アクセルペダルを戻すとセットした速度で定速走行に戻ります。

■設定車速の変えかた

設定車速を変えたいとき

設定車速が5km/hきざみで変更できます。

- 設定車速を上げたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチ側（上側）に押します。
- 設定車速を下げたいときは、セット/コースト側（下側）に押します。



ZPA1516

一時的に加速、減速をしたいとき

加速したいとき

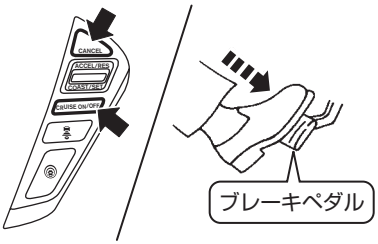
- アクセルペダルを踏むと、加速します。
  アクセルペダルを離すと、セットした速度での定速走行に戻ります。

減速したいとき

- ブレーキペダルを踏むと、減速（制御を解除）します。
  （セット表示灯が消灯し、セット待機状態になります。）
- 解除前の設定車速で再びセットしたいときは、リジューム/アクセラレートスイッチ側に押します。
  （セット表示灯が再び点灯）

■解除のしかた

- 次の操作で定速制御機能が解除されます。
  - ・キャンセルスイッチを押す。
  - ・メインスイッチを押す。
  - ・ブレーキペダルを踏む。



ZPA1520

知識

- キャンセルスイッチで解除したときやブレーキペダルを踏んで解除したときは、セット待機状態になります。

- 次の場合は“ピー”というブザー音とともに制御が自動的に解除されます。
  - ・車速が約25km/h以下になったとき。
  - ・設定車速より約13km/h以上車速が低下したとき。
  - ・セレクトレバーをD、またはマニュアルモード以外にしたとき。
  - ・VDC（トラクションコントロールを含む）が作動したとき。
  - ・パーキングブレーキをかけたとき。
  - ・タイヤが空転したとき。

■警告表示

定速制御機能に異常がある場合、“ピー”というブザー音とともに定速制御機能が自動的に解除され、インテリジェント クルーズコントロール警告灯（オレンジ）が点灯してセットできなくなります。



ZPA1245

➡ 対処方法

- 点灯したときは、安全な場所に停車して、一度エンジンを止めてから、再度セット操作を行ってください。

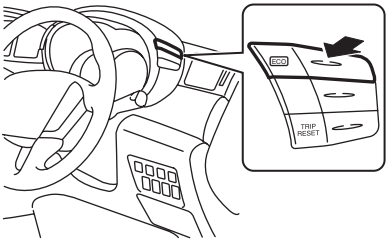
アドバイス

- 上記の操作をしてもセットできない、または表示が点灯し続けるときは、定速制御機能の異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

ECOモード

エンジンやCVTを自動で制御をすることで、急発進・急加速を抑え燃費向上に配慮したエコドライブをサポートするシステムです。

- スイッチを押すと作動します。（メーター内のECOモードインジケーターが点灯）
- もう一度スイッチを押すと機能が停止します。（メーター内のECOモードインジケーターが消灯）



ZPA1171

知識

- システムに異常がある場合は、自動で機能が停止します。
- ECOモードを解除するときは、スイッチを押したあと、一旦アクセルペダルから足を離し、再度必要な量まで踏み込んでください。
- 次のように、加速が必要な場合は、必要に応じてECOモードを停止させてください。
  - ・乗車人員や荷物量が多いとき。
  - ・急勾配を登坂走行するとき。

LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）

■LDW（車線逸脱警報）について

LDW（車線逸脱警報）は、運転者が意図せず走行車線から逸脱しそうなとき、警報によって注意を促します。

- LDW（車線逸脱警報）は車速が約60km/h以上で作動します。
- ルームミラー上方に取り付けられたマルチセンシングフロントカメラにより走行している車線のレーンマーカーを検知し、右側もしくは左側のレーンマーカーに近づいたと判断すると、警報音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのLDW（車線逸脱警報）表示がオレンジ色に点滅します。

※レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。



ZPA1563

⚠ 警告

- LDW（車線逸脱警報）は車線からの逸脱を自動的に回避するシステムではありません。また、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨、雪、霧などの視界不良を補助するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。
- カメラには限界がありますので、機能を過信しないでください。道路の状態、天候、交通状況などによりシステムが正常に作動しないことがあります。

知識

- 次の場合は警報を行いません。
  - ・方向指示器を使用しているとき（方向指示器を解除したあと、約2秒間は作動しません）
  - ・車速が約60km/hを下回っているとき
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「走行支援」に切り替えると、LDW（車線逸脱警報）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイで確認することができます。詳しくは、運転支援システムをお読みください。

運転支援システム…P.128

■インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）について

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は、走行している車線から逸脱しそうになると警報によって運転者に注意を促すとともに、車両の向きを変える方向に力を発生させ運転者が自車を車線内に戻す操作を支援します。

- インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は車速が約60km/h以上で作動します。
- ルームミラー上方に取り付けられたマルチセンシングフロントカメラにより走行している車線のレーンマーカーを検知し、走行している車線の右側もしくは左側のレーンマーカーに近づくと、警報音を鳴らすとともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）表示がオレンジ色に点滅します。同時にブレーキを短時間制御し、車両を車線内に戻す方向に制御力を短時間発生させて車両を車線内に戻す操作を促します。

※レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。



ZPA1563

⚠ 警告

- インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）は車線からの逸脱を自動的に回避したり、車線内での走行を自動的に維持するシステムではありません。また、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨、雪、霧などの視界不良を補助するものではありません。周囲の状況に応じてハンドル操作を行い、常に安全運転に心がけてください。
- カメラには限界がありますので機能を過信しないでください。道路の状態、天候、交通状況などによりシステムが正常に作動しないことがあります。

知識

次の場合は警報もブレーキ制御も行いません。

- 方向指示器を使用しているとき
  （方向指示器を解除したあと、約2秒間は作動しません）
  - 車速が約60km/hを下回っているとき
- アドバンスドドライブアシストディスプレイを「走行支援」に切り替えると、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）の作動状態をアドバンスドドライブアシストディスプレイで確認することができます。詳しくは、運転支援システムをお読みください。

運転支援システム…P.128

■LDW（車線逸脱警報）／インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）について

⚠ 注意

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますので、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）を使用しないでください。
  - ・悪天候（雨、雪、霧など）のとき
  - ・凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
  - ・急なカーブ、急な上り坂·下り坂が繰り返されるとき
  - ・工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
  - ・車線の幅が狭い道路を走行するとき
  - ・摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているとき
  - ・純正品以外のブレーキ部品やサスペンション部品を使用しているとき
- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
  - ・検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり·汚れ·雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき
  - ・急なカーブのある道路を走行するとき
  - ・消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
  - ・道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報したり、制御する場合があります。）
  - ・車線の分岐·合流のある道路を走行したとき
  - ・自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき
  - ・先行車との車間距離が短く、カメラの検出範囲が遮られるとき
  - ・雨、雪、霧、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
  - ・汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
  - ・前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
  - ・急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

知識

- 次の場合は、警報もブレーキ制御も行いません。
  - ・方向指示器を使用しているとき（方向指示器を解除したあと、約2秒間は作動しません）
  - ・車速が約60km/hを下回っているとき
- 次の場合は、ブレーキ制御を行いません。
  - ・ブレーキペダルを踏んでいるとき
  - ・車線変更に相当する程度にハンドル操作をしたとき
  - ・インテリジェント クルーズコントロールの接近警報が鳴っているとき
  - ・インテリジェント エマージェンシーブレーキが作動しているとき
  - ・非常点滅表示灯を作動させているとき
  - ・カーブ路でスピードを出して走行しているとき
- ブレーキ制御しているとき、運転者がアクセルペダルを踏み増すとブレーキ制御を中止します。

■ON・OFFのしかた

LDW（車線逸脱警報）

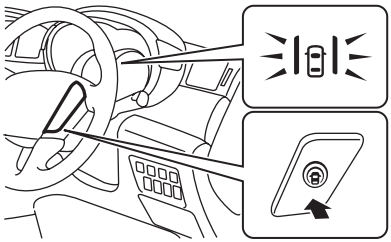
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「側方支援」⇒「車線逸脱警報」を選択すると、LDW（車線逸脱警報）のON・OFFを切り替えることができます。
  設定の詳細については、ドライブコンピューター（P.114）をお読みください。
  設定のしかたは、P.129をお読みください。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
  （アドバンスドドライブアシストディスプレイのLDW（車線逸脱警報）表示が消灯します。）



ZPA1705

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「側方支援」⇒「車線逸脱防止支援」をONにしているとき、セーフティ・シールドスイッチを押すとシステムがONになります。
  設定の詳細については、ドライブコンピューター（P.114）をお読みください。
  設定のしかたは、P.129をお読みください。
- インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）をONにすると、アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）表示が緑色に点灯します。



ZPA1565

知識

- ハンドルにあるセーフティ・シールドスイッチを押すと、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）のON／OFFが同時に切り替わります。
- エンジンを停止するとインテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）はOFFになります。

■警告表示

LDW（車線逸脱警報）

- 炎天下に駐車したときなどマルチセンシングフロントカメラが高温になったときは、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「車線認識カメラ・その周辺が高温のため使用できません」と警告が表示され、一時的に作動が停止します。
  （室内の温度が下がると、自動的に作動が復帰します。）
  システム故障警告C… P.125
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「システム故障」と警告が表示され、自動的に作動が停止します。
  システム故障警告A…P.124

アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（P.214）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
  エンジン再始動後も警告が表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）

- 次の場合は、“ポー”というブザー音とともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「作動範囲外のため現在使用できません」と警告が表示され、自動的に作動を解除します。
  システム故障警告B… P.124
  - ABS、またはVDC（トラクションコントロールは含まない）が作動したとき
  - VDCをOFFにしたとき

➡ 対処方法

- システムを再び作動させる場合は、停止したときの状態が改善されてから、ステアリングスイッチで再びシステムをONにしてください。

- 炎天下に駐車したときなどマルチセンシングフロントカメラが高温になったときは、“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「車線認識カメラ・その周辺が高温のため使用できません」と警告が表示され、一時的に作動が停止します。
  システム故障警告C… P.125

➡ 対処方法

- システムを再び作動させる場合は、室内の温度が下がってからステアリングスイッチで再びシステムをONにしてください。

● システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「システム故障」と警告が表示され、自動的に作動が停止します。
システム故障警告A…P.124

アドバイス

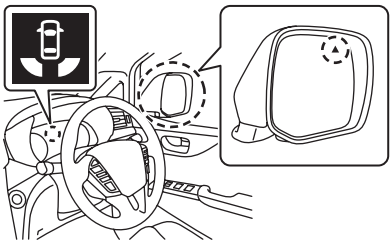
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し一度エンジンを停止してから再始動してください。
  エンジン再始動後もシステムがONにできない、またはアドバンスドドライブアシストディスプレイの警告が消えないときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。
- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（P.214）をお読みください。

BSW（後側方車両検知警報）／インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）

■BSW（後側方車両検知警報）について

BSW（後側方車両検知警報）は、車線変更をするとき、隣車線に車両がいる場合に警報によって運転者に注意を促します。

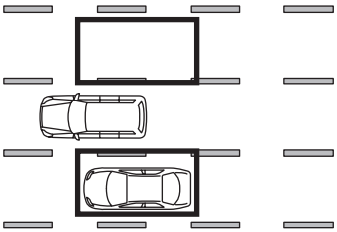
- 車両後部のレーダーセンサーにより隣車線の車両を検知します。
- 車速約30km/h以上で作動します。
- レーダーセンサーにより隣車線の車両を検知すると、検知した側のドアミラー鏡面にある表示灯が点灯します。
- 隣車線の車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると、警報音（ブザー）とともにメーター内のBSW（後側方車両検知警報）表示と、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。



ZPA1706

検知範囲について

- レーダーセンサーは、自車両の左右にある検知範囲内にいる車両を検知します。
- 検知範囲は、自車両のドアミラーから後方に約6m、車両の側面から横方向に約3mです。



ZPA1709

⚠ 警告

- BSW（後側方車両検知警報）は、ドアミラーによる周囲の検知を代わりに行ったり、車両や障害物との接触を防ぐ機能ではありません。車線変更を行うときは、機能に頼った確認をせず、必ずドアミラー及びルームミラーで側方及び後方の安全を確認してください。
- レーダーセンサーには限界がありますので、機能を過信しないでください。道路の状態、天候、交通状況などによりシステムが正常に作動しないことがあります。

知識

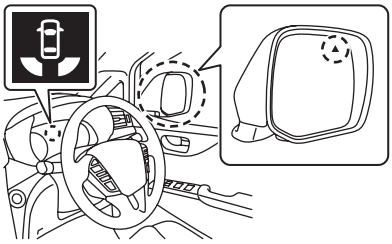
- ドアミラー鏡面の表示灯は電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって切り替わります。
- 方向指示器が作動しているときに、レーダーセンサーにより隣車線の車両を検知した場合には、表示灯は点滅しますが音は鳴りません。

■インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）について

インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）は隣接車線に車両がいるときに運転者が車線変更を開始した場合、警報とともに車両をもとの車線内に戻す方向に力を発生させ、隣接車両との接触を回避するよう支援します。

- 車両後部のレーダーセンサーにより隣車線の車両を検知します。また、ルームミラー上方に取り付けられたカメラを使用し、走行している車線のレーンマーカーを検知します。
- 約60km/h以上で走行中に隣車線の車両を検知しているとき、検知している側のレーンマーカーに自車両が接近すると、警報音（ブザー）とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）表示と、ドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。同時にブレーキを制御し、車両をもとの車線に戻す方向に制御力を短時間発生させ、自車両をもとの車線に戻す操作を促します。

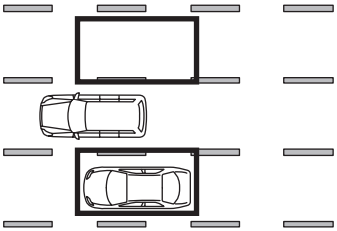
  ※レーンマーカーとは、車線の右側もしくは左側に引かれた線のことを示します。



ZPA1706

検知範囲について

- レーダーセンサーは、自車両の左右にある検知範囲内にいる車両を検知します。
- 検知範囲は、自車両のドアミラーから後方に約6m、車両の側面から横方向に約3mです。



ZPA1709

⚠ 警告

- インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）は、ドアミラーによる周囲の検知を代わりに行ったり車両や障害物との接触を防ぐ機能ではありません。車線変更を行うときは機能に頼った確認をせず、必ずドアミラー及びルームミラーで側方及び後方の安全を確認してください。
- レーダーセンサー及びカメラには限界がありますので機能を過信しないでください。道路の状態、天候、交通状況などによりシステムが正常に作動しないことがあります。

📖 知識

- あらかじめ表示灯が点灯した状態で自車両がレーンマーカーに接近すると、警報とブレーキ制御の両方が作動します。ただし、自車両がレーンマーカーと交差してから検知範囲に車両が入ってきたときは、警報とブレーキ制御は作動しません。
- インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）は、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）よりも先に作動します。

⚠ 注意

- 次のような状況では、思わぬ事故につながるおそれがありますのでインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）を使用しないでください。
  - ・悪天候（雨、雪、霧など）のとき
  - ・凍結路や積雪路など滑りやすい路面を走行するとき
  - ・急なカーブ、急な上り坂･下り坂が繰り返されるとき
  - ・工事中の道路や車線規制がある道路を走行するとき
  - ・車線の幅が狭い道路を走行するとき
  - ・摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤ、タイヤチェーンを装着しているときや、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外のタイヤを使用しているとき
  - ・純正品以外のステアリング部品、ブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
- 次のような車両は、正確に検知できず、システムが正しく作動しないおそれがあります。
  - ・背の低い車両や、オートバイなどの幅の狭い車両
  - ・停車状態から検知範囲に居続ける車両
  - ・後方から速い速度で接近してくる車両
  - ・自車両が速い速度で追い越した車両
  - ・合流や車線変更で自車両の横にほぼ同じ速度で移動してきた車両
- 次のような場合は、隣の車線の車両を検知できないことがあります。
  - ・悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
  - ・水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  - ・雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- 次のような状況では、レーンマーカーを正確に検出できず、適切な作動ができない場合があります。
  - ・検出しにくいレーンマーカー（不明瞭なレーンマーカー、黄色のレーンマーカー、一般的でないレーンマーカー、水たまり･汚れ･雪などで隠れているレーンマーカー）がある道路を走行するとき
  - ・急なカーブのある道路を走行するとき
  - ・消されたレーンマーカーがまだ見えている道路を走行するとき
  - ・道路上に影、雪、水たまり、わだち、道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき（これらのものをレーンマーカーとして検出して警報したり、制御する場合があります。）
  - ・車線の分岐･合流のある道路を走行したとき
  - ・自車がレーンマーカーに対してまっすぐに走行していないとき
  - ・先行車との車間距離が短く、マルチセンシングフロントカメラの検出範囲が遮られるとき
  - ・雨、雪、汚れなどがフロントガラスに付着しているとき
  - ・汚れなどでヘッドランプの明るさが不十分なときやヘッドランプの光軸調整が適切に行われていないとき
  - ・前方から強い光（太陽光など）を受けているとき
  - ・急な明るさの変化が起こったとき（トンネルの出入り口など）
- レーダーセンサーは次のような障害物は検知しません。
  - ・歩行者、自転車、動物など
  - ・対向車

アドバイス

- 外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。

知識

- 車線の幅が極端に広い道路を運転する場合、隣の車線にいる車両を検知できないことがあります。また、車線の幅が極端に狭い道路を運転する場合、2つ隣の車線にいる車両を検知することがあります。
- レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないよう設計されていますが状況によっては、ガードレール、壁、植物、駐車された車両などを検知してしまうことがあります。
- 次の場合はブレーキ制御を行いません。
  - ・ブレーキペダルを踏んでいるとき
  - ・素早いハンドル操作を行ったとき
  - ・インテリジェント クルーズコントロールの接近警報が鳴っているとき
  - ・インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）が作動しているとき
  - ・インテリジェント エマージェンシーブレーキが作動しているとき
  - ・非常点滅表示灯を作動させているとき
  - ・カーブ路でスピードを出して走行しているとき
- ブレーキ制御しているとき、運転者がアクセルペダルを踏み増すとブレーキ制御を中止します。

■ON／OFFのしかた

BSW（後側方車両検知警報）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「後側方支援」⇒「後側方車両検知警報」を選択すると、BSW（後側方車両検知警報）機能のON･OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、ドライブコンピューター（P.114）をお読みください。
- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
  （アドバンスドドライブアシストディスプレイのBSW（後側方車両検知警報）表示が消灯します。）

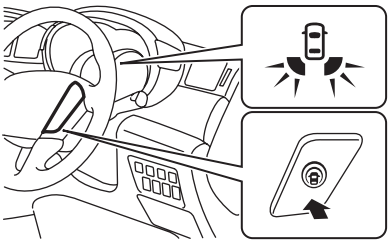


ZPA1750

インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「後側方支援」⇒「後側方衝突防止支援」をONにしているとき、セーフティ･シールドスイッチを押すとシステムがONになります。
  設定の詳細については、ドライブコンピューター（P.114）をお読みください。

●インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）をONにすると、アドバンスドドライブアシストディスプレイのBSI（後側方衝突防止支援システム）表示が緑色に点灯します。



ZPA1710

知識

●ハンドルにあるセーフティ・シールドスイッチを押すと、インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）、インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）のON／OFFを同時に切り替えることができます。

ドアミラー鏡面の表示灯の明るさ

●アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「後側方支援」⇒「インジケータの明るさ」を選択すると、ドアミラー鏡面にある表示灯の明るさを切り替えることができます。
設定の詳細については、ドライブコンピューター（P.114）をお読みください。

知識

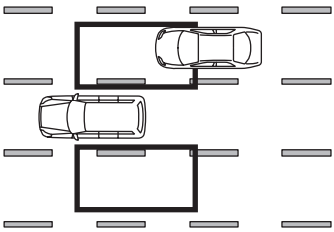
●エンジンを停止するとインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）はOFFになります。

■システムの作動

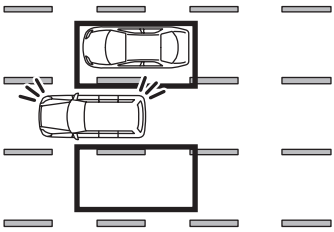
後方から車両が接近してくるとき

●後方から車両が接近してくる場合、その車両が検知範囲内に入るとドアミラー鏡面にある表示灯が点灯します。

●車両を検知しているときに、検知している側の方向指示器を作動させると、警報音が鳴るとともにドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。



ZPA1711



ZPA1712

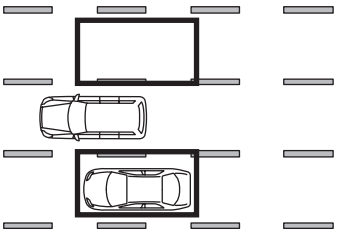
⚠ 注意

- 車線変更を行うときは、必ずドアミラー及びルームミラーを使用して周囲の安全を確認してください。
- 自車両より極端に速い速度で接近してくる車両は検知できないことがあります。

知識

- 方向指示器を作動させた後に、検知範囲に車両が入ってきたときは、表示灯は点滅しますが警報音は鳴りません。
- 自車両がレーンマーカーと交差してから検知範囲に車両が入ってきたときは、警報とブレーキ制御は作動しません。

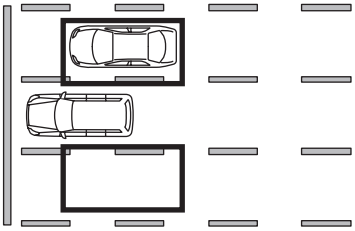
- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音が鳴るとともにドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。同時にブレーキを短時間制御し、自車両を車線中央へ戻すことを補助します。



ZPA1709

発進するとき

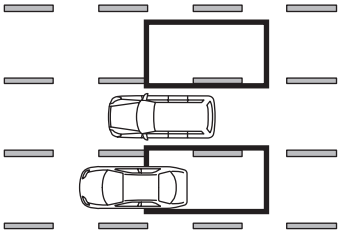
- 停車状態から検知範囲に居続ける車両は検知できないことがあります。



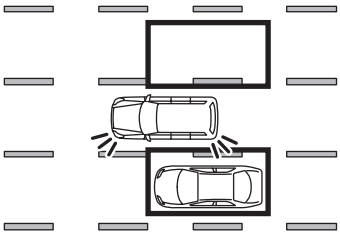
ZPA1713

他の車両を追い越すとき

他の車両を追い越すとき、追い越される車両が検知範囲内に2秒以上とどまるとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。車両を検知し表示灯が点灯しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると、警報音が鳴るとともにドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。



ZPA1714

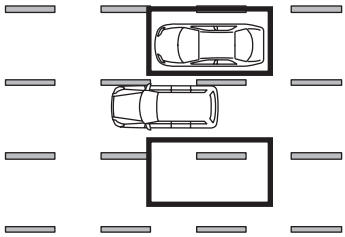


ZPA1715

知識

- 速度の遅い車両を素早く追い越したときはシステムが検知しません。

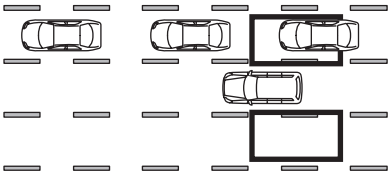
- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音が鳴るとともにドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。同時にブレーキを短時間制御し、自車両を車線中央へ戻すことを補助します。



ZPA1716

他の車両に追い越されるとき

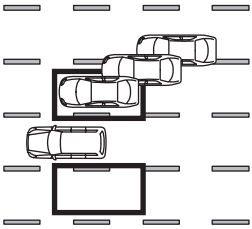
複数の車両に連続して追い越されるとき、追い越す車両の車間距離が短い場合は、1台目の車両以外が検出されないことがあります。



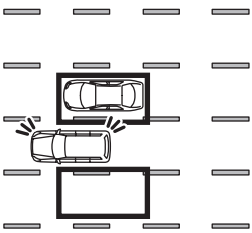
ZPA1717

他の車線から車両が接近してきたとき

- 車線変更などで車両が接近してきたときは、検知範囲内に入るとドアミラー鏡面の表示灯が点灯します。
- 車両を検知しているときに、検知している側に方向指示器を作動させると、警報音が鳴るとともにドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。



ZPA1718

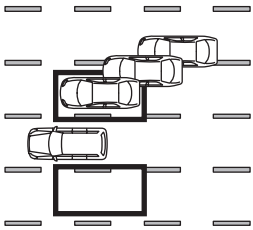


ZPA1719

知識

- 自車両とほぼ同じ速度で走行する車両が車線変更してきた場合、検出できないことがあります。
- 方向指示器を作動させた後に、検知範囲に車両が入ってきたときは、表示灯は点滅しますが警報音は鳴りません。

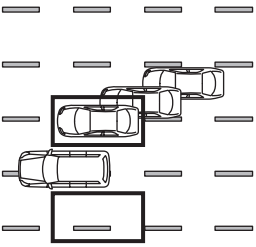
- 車両を検知しているときに、検知している側のレーンマーカーに接近すると、警報音が鳴るとともにドアミラー鏡面の表示灯が点滅します。
  同時にブレーキを短時間制御し、自車両を車線中央へ戻すことを補助します。



ZPA1718

自車両がレーンマーカーの上を走行しているとき

検知範囲に車両が入ってもインテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）は作動しません。
この場合、BSW（後側方車両検知警報）のみが作動します。



ZPA1707

■警告表示

BSW（後側方車両検知警報）

- 次の場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイに「サイドレーダー及び　その周辺が汚れています　拭いてください」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。
  - ・レーダーセンサーが汚れているとき
  - ・レーダーセンサーに雨、雪、氷などが付着しているとき

  サイドレーダーシステム停止警告…P.126
- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。

  システム故障警告A…P.124

➡ 対処方法

- レーダーセンサーの周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサーの周辺の汚れなどを取り除いてからエンジンを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、（P.238）をお読みください。
- アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。
  エンジン再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）

- 次の場合は“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「作動範囲外のため　現在使用できません」と警告が表示され、作動を解除します。
  - ・ABSまたはVDC（トラクションコントロール機能（TCS）は含まない）が作動したとき
  - ・VDCをOFFにしたとき

  システム故障警告B…P.124

➡ 対処方法

- システムを再び作動させる場合は、解除されたときの状態が改善されてから一度セーフティ・シールドスイッチをOFFにし、再度インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）をONにしてください。

- 炎天下に駐車したときなど、マルチセンシングフロントカメラが高温になったときは、“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、作動を解除します。システムを再び作動させる場合は、室内の温度が下がってから再びシステムをONにしてください。

  システム故障警告C…P.125
- 次の場合は“ポー”というブザー音とともにアドバンスドドライブアシストディスプレイに「サイドレーダー及び　その周辺が汚れています　拭いてください」と警告が表示され、システムが停止します。

・サイドレーダー周辺が汚れているとき
・サイドレーダー周辺に雨、雪、氷などが付着しているとき

サイドレーダーシステム停止警告…P.126

- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。

システム故障警告A…P.124

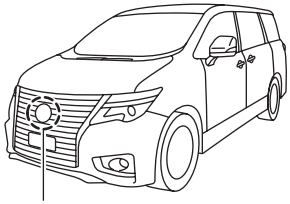
■マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（P.214）をお読みください。

■レーダーセンサーの取り扱い

システムを正しく作動させるために次のことをお守りください。

- レーダーセンサー周辺部はいつもきれいにしておいてください。
- 強い力で乾拭きしないでください。また、高圧式スプレーガンやスチームクリーナーで清掃するときは、センサーから十分に離して使用してください。レーダーセンサーを損傷するおそれがあります。
- レーダーセンサー周辺に強い衝撃を与えないでください。衝突などでレーダーセンサー周辺を破損したときは、日産販売会社で点検を受けてください。レーダーセンサー周辺にステッカー（透明な物を含む）を貼ったり、アクセサリーなどを取り付けたり、塗料を塗ったりないでください。誤作動の原因になります。
- リヤバンパーを改造、脱着したり、塗装しないでください。リヤバンパーを改造したり塗装する場合は、日産販売会社にご相談ください。



ZPA1720



ZPA1728

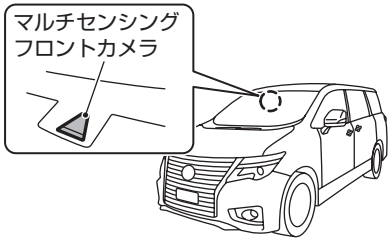
アドバイス

- フロントレーダー周辺に雪や氷、泥などが付着している場合は、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告メッセージが表示されることがあります。
  フロントレーダーシステム停止警告（P.126）
  システム故障警告A（P.124）
- フロントレーダー周辺の遮蔽物を取り除いて走行すると、システムの作動は再開します。再開しない場合は日産販売会社にご連絡ください。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ

前方の車両や歩行者と衝突のおそれがあるとき、警報と自動ブレーキにより、運転者の衝突回避操作を支援します。

- インテリジェント エマージェンシーブレーキは車速約10～80km/hの範囲で作動します。
（車速約60km/h以上では、歩行者に対しては作動しません。）
- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。



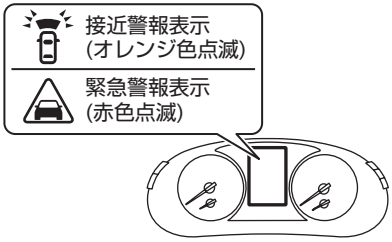
ZPA1702

⚠ 警告

- インテリジェント エマージェンシーブレーキは前方の車両や歩行者との衝突回避操作を支援、または衝突時の被害や傷害の軽減を目的としています。あらゆる状況で効果があるわけではありませんので機能を過信せず、運転者は周囲の安全確認を行い、前方車両との車間距離を維持し、常に安全運転を心がけて走行してください。

■作動について

- 衝突するおそれがあると判断すると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯とアドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示（接近警報表示）が点滅し、ブザー音で警報します。
- 運転者の衝突回避操作が不十分で、衝突の危険性が高まったときには、アドバンスドドライブアシストディスプレイの接近警報表示が緊急警報表示になり、ブザー音とともに軽いブレーキが自動的にかかります。
- さらに衝突の危険性が高まったときには、衝突の直前に強いブレーキが自動的にかかります。



ZPA1556

知識

- 次の場合、システムによるブレーキの作動が解除されます。
  - ・アクセルペダルを強く踏み込んだとき
  - ・ハンドルを大きく、または素早く切ったとき
  - ・前方の車両や歩行者との衝突の危険がなくなったと判断したとき
- システムによるブレーキで車両が停止したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。
- 運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作している場合は、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が遅れたり、作動しない場合があります。
- 前方車両と自車の速度の差が小さいときは作動しません。
- システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

⚠ 注意

- **次のような障害物は検知しません。**
  - ・子供などの背の低い人、動物、自転車
  - ・対向車両
  - ・道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物）

- **システムは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しない、もしくは検知できない場合があります。**
  - ・バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
  - ・幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
  - ・前方を横切って通過する車両
  - ・斜めもしくは前向きに止まっている車両

- **次のような場合は、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。**
  - ・悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
  - ・前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  - ・カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などの付着やワイパーの拭き残しがあるとき
  - ・カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
  - ・前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
  - ・前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
  - ・夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
  - ・夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
  - ・トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
  - ・カーブを走行しているとき
  - ・勾配の変化があるところを走行しているとき
  - ・未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
  - ・歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
  - ・前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
  - ・対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更・右左折、前方車両の右左折・急ハンドル・急加速・急減速など）
  - ・始動してから約15秒間
  - ・カメラの視界がさえぎられているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）
  - ・カメラの向きがずれているとき
  - ・雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
  - ・放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
  - ・オートバイのような幅が狭い車両が前方を走行しているとき

⚠ 注意

- **以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。**
  - ・対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
  - ・対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
  - ・対象物が路面の水たまりの付近にいる場合（周りの風景が水たまりに映りこむなど）
  - ・対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
  - ・対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき

- **以下の対象物にはシステムが作動しない場合があります。**
  - ・歩行者の移動速度が速いとき
  - ・対向して接近する歩行者
  - ・歩行者の姿勢や手足の状態（手を上げているときなど）により、歩行していると特定できないとき
  - ・夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
  - ・車高の低い車両
  - ・最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
  - ・特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
  - ・前方の至近距離に割り込んだ車両
  - ・前方の至近距離に飛びだしてきた歩行者
  - ・自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
  - ・後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
  - ・リヤタイヤから車両後端までが長い車両
  - ・四輪車以外の車両（二輪車など）
  - ・荷台から荷物や幌がはみ出している車両
  - ・ショッピングカートやベビーカーなどを押しているとき

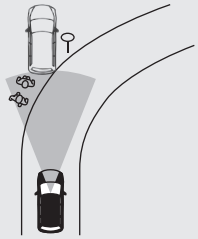
- **以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。**
  - ・複数の対象物同士が近接している場合
  - ・対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合

- **外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。**

- **次のような場合は、システムが機能を十分に発揮できないことがあります。**
  - ・滑りやすい路面を走行しているとき
  - ・勾配のある路面を走行しているとき
  - ・外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
  - ・下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
  - ・水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
  - ・長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
  - ・摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
  - ・純正品以外のブレーキ部品、サスペンション部品を使用しているとき
  - ・車両が傾いているとき（後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき）

⚠ 注意

- **路面または壁面の影や模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示、濡れた路面に映り込んだ模様、わだちなどや光の反射を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール、カーブミラー、電柱や電線、看板）などで構成される形状が、車両や歩行者の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っている場合、システムが作動する場合があります。**
  - ・右左折中の前の車両にシステムが作動を継続する場合があります。
  - ・前の車両に接近し追い越す場合、システムが作動する場合があります。
  - ・道路形状（カーブ路、カーブの出入り口、ワインディング道、車線規制や工事中など）によっては、一時的に自車正面の対向車にシステムが作動する場合があります。
- **自転車で走行している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。**
- **以下のような物に反応し、システムが作動する場合があります。**
  - ・道路脇にある物（道路標識、ガードレール、歩行者、車両など）



ZPA1721

  - ・道路上方にある物（低い橋、道路標識など）
  - ・路面上にある物（線路、格子、鉄板など）
  - ・駐車場内にある物（梁など）
  - ・走行路にある物（近接する樹木など）

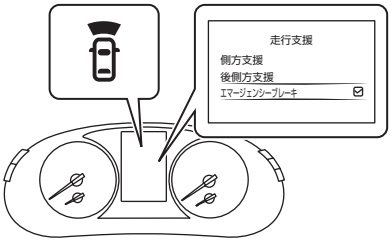
インテリジェント エマージェンシーブレーキの停止のしかた

知識

- インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定は、踏み間違い衝突防止アシスト、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）の設定と連動しています。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキ機能をOFFに設定しても、エンジンを再始動するとONになります。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにすると、踏み間違い衝突防止アシスト（P.251）、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）（P.247）もOFFになります。

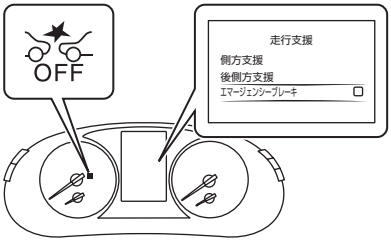
- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「エマージェンシーブレーキ」を選択すると、インテリジェント エマージェンシーブレーキのON・OFFを切り替えることができます。
  設定の詳細については、ドライブコンピューター（P.114）をお読みください。
  設定のしかたは、P.129をお読みください。

- 機能をONにすると、アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が点灯します。



ZPA1722

- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
  （アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が消灯し、インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯が点灯）



ZPA1723

インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき

インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯はメーター内にあります。



ZPA1535

- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯が点灯し、作動が停止します。
  - ・インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
- 次の場合、システムが一時的に作動しなくなります。
  - ・ABS、またはVDC（トラクションコントロールは含まない）が作動したとき
  - ・VDCをOFFにしたとき
  - ・周辺の電波源の影響を受けているとき

  停止したときの状態が改善されると、システムは自動的に作動を再開します。
- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯がゆっくり点滅するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが一時的に作動しなくなります。
  - ・炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき（室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します。）

  システム故障警告C……P125
- システムに異常があると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されシステムが停止します。

  システム故障警告A……P124

●次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「フロントレーダー及び　その周辺が汚れています　拭いてください」と警告が表示され、システムが自動的に停止します。
・車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき
上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからレーダーセンサー及びその周辺の汚れを取り除き、エンジンを再始動してください。
・道路形状や周辺の建造物により、レーダーが先行車を正確に検知できないとき
（例：長い橋、雪原、長い壁の横など）
上記の状況から離れるとシステムは自動的に作動を再開します。
フロントレーダーシステム停止警告…P.126



ZPA1357

➡ 対処方法

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（P.214）をお読みください。
- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

知識

- VDCをOFFにしたときは、メーターの表示と警報音のみ作動します。
- 夜間、ライトをつけずに走行するなどで、カメラの視界が真っ暗な状態になった場合は、インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯がゆっくり点滅する場合があります。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯…P.159

■マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（P.214）をお読みください。

■レーダーセンサーの取り扱い

レーダーセンサーの取り扱い（P.238）をお読みください。

インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）

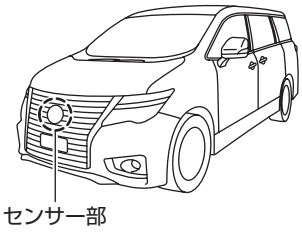
■インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）について

前方を走行する2台前の車両を検知し、急な減速などにより、自車の回避操作が必要と判断した場合には、警報によって運転者に注意を促します。

- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は車速が約5km/h以上で作動します。
- 車両前部に取り付けられたレーダーセンサーにより前方の2台前の車両との距離を計測します。



ZPA1352



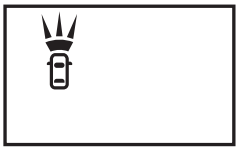
ZPA1744

⚠ 警告

- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は前方を走行する2台前の車両の急な減速などを検知したとき運転者に警報を行いますが、衝突を回避する機能はありません。
- インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）は脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意及び雨、霧などの視界不良による危険を回避するものではありません。前方の車両との車間距離、周囲の状態に応じてブレーキペダルを踏んで減速するなどして車間距離を確保し、安全運転を心がけてください。

■システムの作動

●自車の回避操作が必要と判断すると、メーター内のディスプレイに接近警報表示が点滅するとともに警報音を鳴らして、運転者に注意を促します。



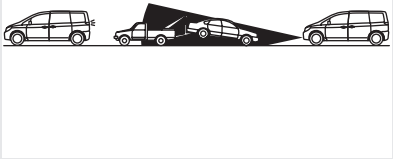
ZPA1726

⚠ 注意

●次のような障害物は検知しません。
・歩行者、自転車、動物、道路上に落ちている障害物
・対向車両
・前方を横切って通過する車両
●次のような場合は、前方の2台前の車両を検知できないことがあります。
・悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
・前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
・雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
・放送局など周辺の電波源により影響を受けているとき
・トンネル内を走行しているとき

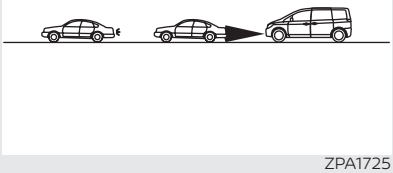
⚠ 注意

・前方の車両がけん引を行っているとき



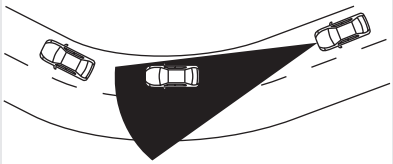
ZPA1724

・前方の車両との距離が極端に近いとき



ZPA1725

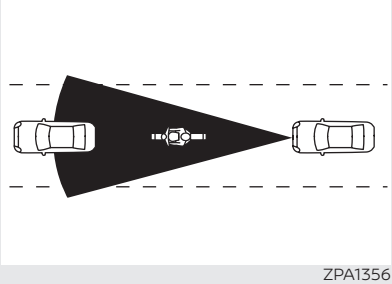
・急なカーブや、勾配の変化があるところを走行しているとき



ZPA1355

⚠ 注意

- 前方の車両がオートバイのような幅の狭い車両のときは、前方の車両を検知できず、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）により警報を行わないことがあります。



ZPA1356

- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

知識

- インテリジェント エマージェンシーブレーキのON／OFF を切り替えると、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、踏み間違い衝突防止アシストも連動してON／OFFされます。

インテリジェント エマージェンシーブレーキ…P.197
踏み間違い衝突防止アシスト…P.251

■警告表示

- 次の場合、メーター内の警告灯またはOFF表示灯が点灯し、作動が停止します。
  - ・インテリジェント エマージェンシーブレーキの設定をOFFにしたとき
  - ・インテリジェント エマージェンシーブレーキが異常により作動を停止したとき
  - ・VDCをOFFにしたとき
  - ・周辺の電波源の影響を受けているとき

停止したときの状態が改善されるとシステムは作動を再開します。



ZPA1357



ZPA1535

- 次の場合、メーター内のディスプレイに「フロントレーダー及びその周辺が汚れています　拭いてください」と警告が表示され、システムが停止します。
  - ・車両前部に取り付けられたレーダーセンサー周辺に雪や氷、泥などが付着しているとき

フロントレーダーシステム停止警告…P.126

➡ 対処方法

- 上記警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してからレーダーセンサー及びその周辺の汚れなどを取り除き、エンジンを再始動してください。

- システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「システム故障」と警告が表示され、自動的に作動が停止します。

システム故障警告A…P.124

- 次の場合、メーター内の警告灯が点灯し、システムが停止します。
  - ・インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）に異常があるとき

➡ 対処方法

- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。

アドバイス

- システムをONにできない、または警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■レーダーセンサーの取り扱い

レーダーセンサーの取り扱い（P.238）をお読みください。

踏み間違い衝突防止アシスト

踏み間違い衝突防止アシストは、進行方向に壁などの障害物、車両や歩行者（前進時のみ）などがいる場所で、駐車操作時など低速のときにアクセルペダルとブレーキペダルを間違えて踏み込む、あるいはブレーキ操作が遅れたときに運転者に音と表示で警告します。
さらに自動的にエンジン出力やブレーキを制御することで、過度な加速の防止や障害物への衝突防止を支援します。

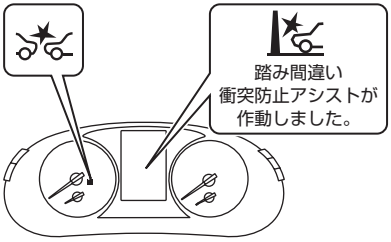
踏み間違い衝突防止アシストについて

前進時

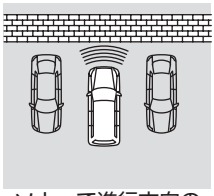
- フロントガラス上部のマルチセンシングフロントカメラにより前方の車両や歩行者を検知します。
- フロントバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。

後退時

- リヤバンパーに取り付けられたソナーにより、進行方向の障害物を検知します。



ZPA1559



ソナーで進行方向の
障害物を検知

ZPA1555

低速加速抑制機能

- 前進時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルを必要以上に踏み込むと、警報とともに自動的に加速を抑制します。
- 後退時（停車時含む）、進行方向に壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルを必要以上に踏み込むと、警報とともに自動的に加速を抑制します。

詳しくは、P.260をお読みください。

低速衝突軽減ブレーキ機能

- 前進、後退時、進行方向の障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、自動的にエンジン出力の制御、及びブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。

詳しくは、P.261をお読みください。

⚠ 警告

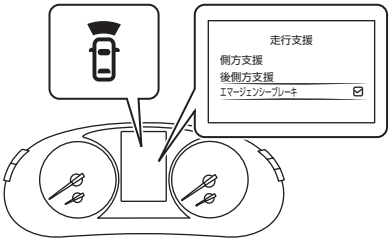
- **機能には限界があるため、過信せず安全運転を心がけてください。**
  踏み間違い衝突防止アシストは、アクセルペダルとブレーキペダルを踏み間違えることにより引き起こされる暴走や衝突事故の軽減を目的とした補助機能です。あらゆる状況で効果があるわけではありません。運転者は周囲の安全確認を行い、常に注意深い運転操作を心がけて走行してください。
- **故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。**
  低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

踏み間違い衝突防止アシストの停止のしかた

知識

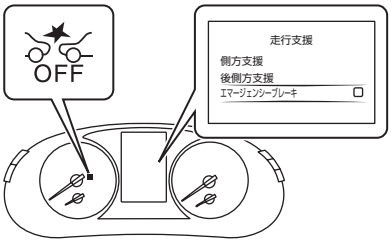
- 踏み間違い衝突防止アシストの設定は、インテリジェント エマージェンシーブレーキ、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）の設定と連動しています。
- インテリジェント エマージェンシーブレーキ機能をOFFに設定しても、エンジンを再始動するとONになります。

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「走行支援」⇒「エマージェンシーブレーキ」を選択すると、踏み間違い衝突防止アシストのON・OFFを切り替えることができます。
  設定のしかたは、P.129をお読みください。
- 機能をONにすると、アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が点灯します。



ZPA1722

- 機能をOFFにすると、システムが停止します。
  （アドバンスドドライブアシストディスプレイのインテリジェント エマージェンシーブレーキ表示が消灯し、インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯が点灯）



ZPA1723

⚠ 注意

- **次の場合は、システムが正常に作動しなかったり、機能を十分に発揮できないことがあります。**
  - ・悪天候（雨、霧、雪など）のとき
  - ・勾配が急な坂道を走行しているとき
  - ・段差などをまたいでいるときなど車両姿勢が変化しているとき
  - ・滑りやすい路面を走行しているとき
  - ・ハンドルを大きくきって旋回しているとき
  - ・外気温が低いときや走行開始直後などでブレーキが冷えているとき
  - ・下り坂などでブレーキが過熱してブレーキの効きが悪くなっているとき
  - ・水たまり走行後や洗車後などブレーキが濡れてブレーキの効きが悪くなっているとき
  - ・長期間駐車などで、ブレーキの性能が十分に発揮できないとき
  - ・摩耗しているタイヤ、空気圧不足のタイヤ、スペアタイヤのような非常用タイヤ、日産純正品もしくは日産販売会社で購入したタイヤ以外を使用しているときや、タイヤチェーンを装着しているとき
  - ・車両が傾いているとき（後席やラゲッジルームに極端に重い荷物を積んでいるとき）
- **動いている物体に対しては踏み間違い衝突防止アシストは作動しません。（前方の車両、歩行者を除く）**
- **次の場合は、予期せずシステムが作動し、思わぬ事故につながるおそれがあるため、踏み間違い衝突防止アシストをOFFにしてください。**
  - ・けん引するとき
  - ・トレーラーなどに積載するとき
  - ・シャシーダイナモを使用するとき
  - ・純正品以外のサスペンション部品を使用しているとき
    （車高や車両の傾きが変わると正しく障害物を検知できないことがあります。）
- **ソナーは次のような障害物は検知しません。**
  - ・背の低い障害物
  - ・幅の狭い障害物
  - ・針金、金網、ロープなどの細い障害物
  - ・バンパーに非常に近い障害物
  - ・急に進行方向に現れた障害物
- **ソナーは次のような障害物は検知しないことや作動が遅れることがあります。**
  - ・地面から高い位置に存在する障害物
  - ・スポンジ状のものや雪など表面が柔らかく音波を吸収しやすい障害物

⚠ 注意

- **ソナーは次のような場合は検知しないことがあります。**
  - ・雨、雪、霧、氷、汚れなどがソナーに付着しているとき
  - ・周囲で大きな音が鳴っているとき
  - ・周囲に超音波を発するものがあるとき
  - ・障害物の面が車両の前面、または後面に対して斜めのとき
- **ソナーは次のような場合は検知することがあります。**
  - ・周囲に草が生い茂っているとき
  - ・車両側面の近くに壁があるとき
  - ・路面上に段差や突起物があるとき
  - ・垂れ下がった旗、ビニールカーテンなどをくぐって走行するとき
  - ・車両周辺に雪のかたまりがあるとき
  - ・車両感応センサーや他車のソナーなど、超音波を発生するものが付近にいたとき
  - ・他車のホーン、オートバイの排気音や工事など、付近で大きな音がしたとき
  - ・背が高く上部が張り出しているものがあるとき
- **マルチセンシングフロントカメラは次のような障害物は検知しません。**
  - ・子供などの背の低い人、動物、自転車
  - ・対向車両
  - ・道路構造物（ガードレール、ポールなど車両と歩行者以外の障害物）
- **マルチセンシングフロントカメラは車両の後端を認識するため、以下の例のような車両を検知しないもしくは検知できない場合があります。**
  - ・バンパー形状などにより、タイヤが見えにくい車両
  - ・幌がはみ出し、後端形状がはっきりしない車両
  - ・前方を横切って通過する車両
  - ・斜めもしくは前向きに止まっている車

⚠ 注意

- **マルチセンシングフロントカメラは次のような場合、前方の車両、歩行者が検知できないことがあります。**
  - ・悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
  - ・前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  - ・カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪などが付着しているとき
  - ・カメラ前方のフロントガラスがくもっているとき
  - ・前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
  - ・前方の強い光により前方車両のタイヤの部分が影になり見えにくいとき
  - ・夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
  - ・夜間やトンネル内などで前方の車両のテールランプが点灯していないとき
  - ・トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
  - ・カーブを走行しているとき
  - ・勾配の変化があるところを走行しているとき
  - ・未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
  - ・歩行者が大きな荷物を持っている、背景と同じ色の服を着ているなど人特有の輪郭が認識できないとき
  - ・前方車両からの太陽光などを強く反射されたとき
  - ・対象物の位置や動きが大きく変化した場合（自車の車線変更･右左折、前方車両の右左折･急ハンドル･急加速･急減速など）
  - ・始動してから約15秒間のあいだ
  - ・カメラの視界がさえぎられているとき（フロントガラスの汚れ、油膜、虫汚れ、ワイパーブレード）
  - ・カメラの向きがずれているとき
- **マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような周辺状況では対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。**
  - ・対象物が背景と似た色合いで区別ができない場合
  - ・対象物が道路標示（道路上の横断歩道、制限速度などの標示）の近くにいる場合
  - ・対象物が路面の水たまりの付近にいる場合（周りの風景が水たまりに映りこむなど）
  - ・対象物が建物や街路樹などの影と重なっているとき
  - ・対象物と自車の間に水蒸気や煙などがあるとき

⚠ 注意

- **以下の対象物にはマルチセンシングフロントカメラが対象物の形状を正しく検出できずシステムが作動しない場合があります。**
  - ・夜間やトンネル内など暗い場所にいる歩行者
  - ・車高の低い車両
  - ・最低地上高（地面から車体までの高さ）が極端に低いもしくは極端に高い車両
  - ・特殊な形状の車両（タンクローリー、サイドカーなど）
  - ・前方の至近距離に割り込んだ車両
  - ・前方の至近距離に飛びだしてきた歩行者
  - ・自車の正面から横にずれた位置に存在する車両や歩行者
  - ・後端面積が小さい車両（空荷のトラックなど）
  - ・後輪から車両後端までが長い車両
  - ・四輪車以外の車両（二輪車など）
  - ・荷台から荷物や幌がはみ出している車両
- **マルチセンシングフロントカメラは以下の例のような場合、衝突するおそれがある対象を正しく検出できない場合があります。**
  - ・複数の対象物同士が近接している場合
  - ・対象となる二輪車または車高の低い車両の前方近くに車両がいる場合
- **外部の騒音などにより、警報音（ブザー）が聞こえない場合があります。**

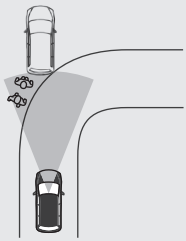
<u>低速加速抑制機能について</u>

- **ソナーで検出した壁や車両などの大きな障害物に対して作動します。車両の幅以下の障害物は検知しません。**
- **マルチセンシングフロントカメラで検出した衝突のおそれのある前方の車両や歩行者に対して作動します。**
- **低速加速抑制機能は、運転者がアクセルペダルを戻すと解除されます。**
- **アクセルペダルを踏み続けた場合は、作動を開始してから約6秒後に自動的に解除されます。**
- **渋滞中などで前方にいる車両を追い越すときなどに低速加速抑制機能が一時的に作動することがあります。**
- **信号待ちや右折待ちなどで、車間距離の短い状態から前の車に続いて発進する際、アクセルペダルを素早く深く踏み込むと低速加速制御機能が一時的に作動することがあります。**
- **次の場合は作動しません。**
  - ・車速が約15km/h以上のとき（前方の車両、歩行者に対しては約25km/h以上）
  - ・ブレーキペダルを踏んでいるとき
  - ・セレクトレバーがD、マニュアルモード、R以外のとき
  - ・トラクションコントロールが作動しているとき
  - ・タイヤが空転しているとき

⚠ 注意

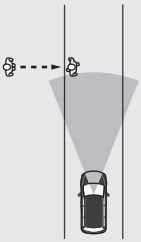
- 状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。
- 路面または壁面の模様・ペイント（かすれた道路標示や漢字で構成される特殊な道路標示を含む）、前方の道路構造物（トンネル、高架橋、交通標識、車両脇に設置された反射器（リフレクター）、反射シート、ガードレール）などで構成される形状が、車両や人の輪郭の特徴や車両のテールランプの大きさ・位置などと似通っているとシステムが判断した場合、システムが作動する場合があります。
- 自転車で走行している人を歩行者と検知し、システムが作動する場合があります。
- 以下のような場合、システムが衝突の可能性があると判断して作動する場合があります。

・カーブ入り口の道路脇に、車両、人がいる場合



ZPA1508

・歩行者が自車前方の走行レーンに近づいた場合



ZPA1509

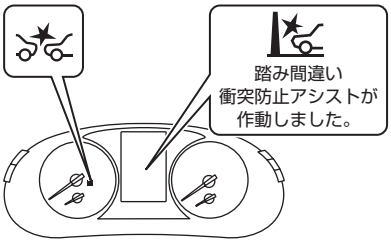
⚠ 注意

低速衝突軽減ブレーキ機能について

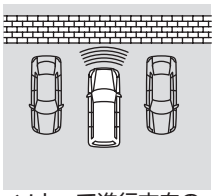
- **システムの作動を待たず、すみやかにブレーキ操作を行ってください。**
  車両の状態、走行状況、交通環境、天候、路面状況などにより作動しない場合や、本来の性能を発揮できないことがあります。
- **自動ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいても作動しません。**
- **自動ブレーキ制御は短時間しか作動しません。必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。**
- **車両を停止させる場合は、必ず運転者がブレーキペダルを踏んでください。**
  低速加速抑制機能が作動したあとに低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動で解除され、車両が動き出します。
- **次の場合は作動しません。**
  ・車速が約2km/h未満、または約15km/h以上のとき
  ・セレクトレバーがD、マニュアルモード、R以外のとき
- **アクセルペダルを踏んだ状態で障害物に接近したときは、作動が遅れることがあります。**
- **前進時は車両後方の障害物に対しては作動しません。同様に、後退時は車両前方の障害物に対しては作動しません。**
- **状況によっては外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。**

低速加速抑制機能

- 前進時（停車時含む）、進行方向に車両や歩行者、壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間自動で加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 後退時（停車時含む）、進行方向に壁などの障害物を検出している場合に、アクセルペダルが必要以上に踏み込まれたとシステムが判断すると、約6秒間自動で加速を抑制したり、弱いブレーキをかけたりすることで車速が上がることを抑えます。
- 車両、歩行者に対しては、車速約0～25km/h の範囲で作動します。
- 壁などの障害物に対しては、車速約0～15km/hの範囲で作動します。
- 低速加速抑制機能が作動しているときは、警報音と警告灯の点滅、及びアドバンスドドライブアシストディスプレイの表示によって運転者に警告します。



ZPA1559



ソナーで進行方向の
障害物を検知

ZPA1555

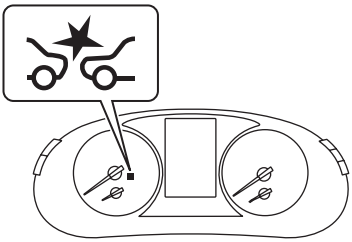
警告灯…P.159
警告メッセージ…P.120

⚠ 警告

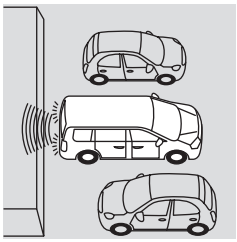
- **故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。**
  低速加速抑制機能は、アクセルペダルをゆっくりと深く踏み込んだときには作動しません。故意にアクセルペダルを踏み込まないでください。車両が急に動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

低速衝突軽減ブレーキ機能

- 前進、または後退時、進行方向の障害物を検知し、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、自動的にエンジン出力の制御、及びブレーキをかけて衝突を回避、または被害の軽減をします。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能は、車速約2～15km/hの範囲で作動します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動すると、警報音と警告灯の点滅によって運転者に警告します。



ZPA1561



ZPA1560

警告灯…P.159

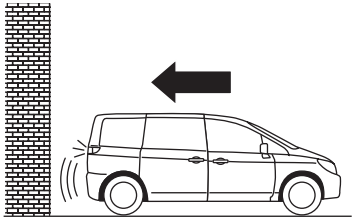
知識

- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動したときは制動灯が点灯します。
- 低速衝突軽減ブレーキ機能が作動しているときは、作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。

低速衝突軽減ブレーキが作動するとき・しないとき

クルマ止めのない駐車場などで壁などに衝突しそうになったとき

万一誤って壁に接近してしまったとき、衝突するおそれがあるとシステムが判断すると、ブザー音とメーター表示で警告し、自動的にブレーキをかけて衝突を回避、または軽減します。

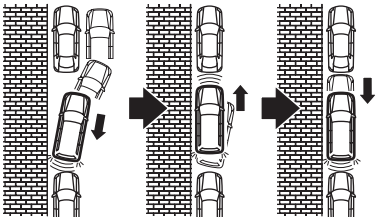


ZPA1069

- 自動ブレーキ制御が作動したあと、再び同じ障害物に近づいたときは作動しません。
- アクセルペダルを踏んで後退しているときは作動が遅れる場合があります。

縦列駐車をするとき

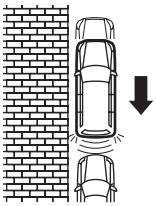
セレクトレバーをDからR、またはRからDに操作して切り替えたときは、セレクトレバーの操作を繰り返すたびに進行方向の障害物を検知して自動的にブレーキ制御が作動します。



ZPA1070

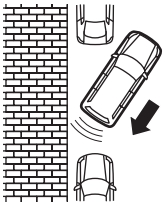
- 自動ブレーキ制御が作動したあと、セレクトレバーを切り替えずにさらに同じ障害物に向かって前進、または後退をしたときは、自動ブレーキ制御は作動しません。

●アクセルペダルを踏んでいるときは作動が遅れることがあります。



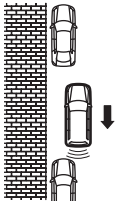
ZPA1071

●障害物に対し斜めに接近すると作動しないことがあります。



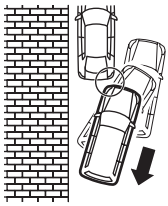
ZPA1073

●他車が自車に対して横にずれた位置にあるときは、作動しない、または作動が遅れることがあります。



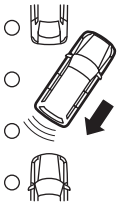
ZPA1075

●後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。



ZPA1072

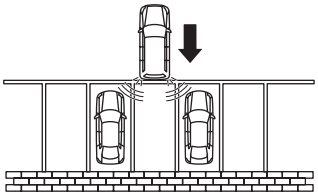
●幅の狭い障害物に対しては作動しないことがあります。



ZPA1074

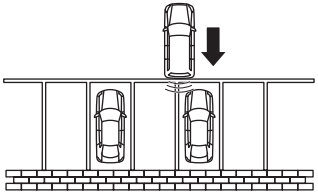
並列駐車をするとき

- 狭いスペースに進入するときに作動することがあります。



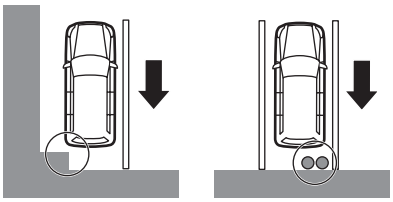
ZPA1076

- 他車が自車に対して横にずれた位置にあるときは作動しない、または作動が遅れることがあります。



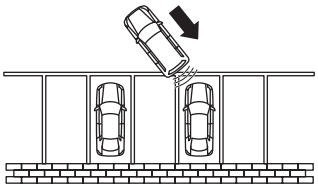
ZPA1078

- 壁から突き出している柱や配管などに対しては作動しません。



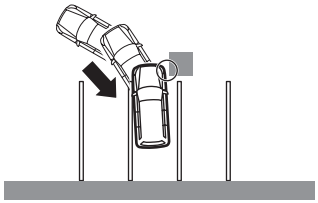
ZPA1080

- 他車の角に向かって接近したときは作動しません。



ZPA1077

- 後退中は、前方の障害物に対しては作動しません。同様に、前進中は後方の障害物に対しては作動しません。



ZPA1079

踏み間違い衝突防止アシストの作動が停止するとき

- 次の場合、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯が点灯し、自動的に作動が停止します。
  - ・インテリジェント エマージェンシーブレーキをOFFにしたとき
  - ・VDCをOFFにしたとき
- インテリジェント エマージェンシーブレーキが一時的に作動できなくなったときは、インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯し、踏み間違い衝突防止アシストも一時的に作動しなくなります。
  詳しくは、インテリジェント エマージェンシーブレーキの作動が停止するとき（P.244）をお読みください。
- システムに異常があると、メーター内のインテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯が点灯するとともに、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが自動的に停止します。
  システム故障警告A…P.124

アドバイス

- 警告灯が点灯したときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。上記の操作をしても、警告灯が点灯し続けるときはシステムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

警告灯…P.159
警告メッセージ…P.124

- 炎天下に駐車したときなど、カメラが高温になったとき（室内の温度が下がると、自動的に作動を復帰します。）
  システム故障警告C……P.125
  次の場合、アドバンスドドライブアシストディスプレイに「作動範囲外のため　現在使用できません」と警告が表示され、自動的に作動を解除します。
  システム故障警告B… P.124
  - ・ABS、またはVDC（トラクションコントロールは含まない）が作動したとき
  - ・VDCをOFFにしたとき

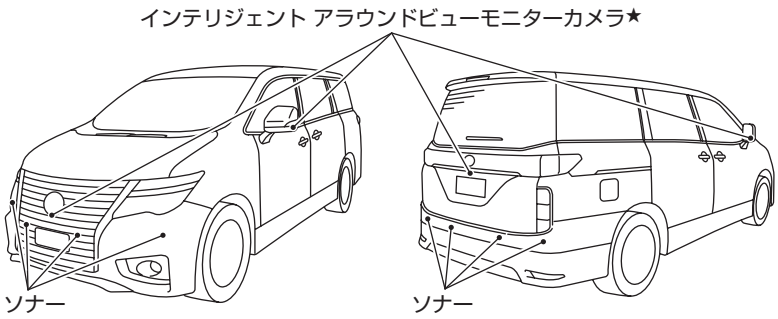
■マルチセンシングフロントカメラの取り扱い

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（P.214）をお読みください。

ソナー、カメラの取り扱い

システムを正しく作動させるために、以下のことをお守りください。

- ソナー及びカメラはいつもきれいにしておいてください。
  汚れているときは、柔らかい布で傷つけないように注意してふき取ってください。
- 強い力で乾拭きしないでください。また、高圧式スプレーガンやスチームクリーナーで清掃するときは、ソナー及びカメラから十分に離して使用してください。ソナーを損傷するおそれがあります。
- ソナー及びカメラ、またはその周辺に強い衝撃を与えないでください。またソナー及びカメラの取り外し、分解などをしないでください。故障、誤作動の原因になります。事故などでソナー及びカメラの取り付け部が変形した場合は、日産販売会社にご相談ください。
- ソナー及びカメラ、またはその周辺にステッカー（透明なものを含む）を貼ったり、アクセサリーなどを取り付けないでください。故障、誤作動の原因になります。



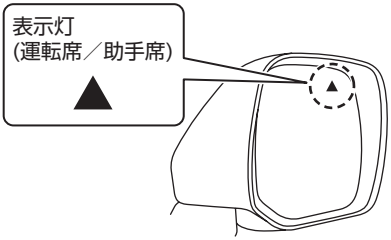
ZPA1727

RCTA（後退時車両検知警報）

RCTA（後退時車両検知警報）について

RCTA（後退時車両検知警報）は、後退時に後方を横切ろうとする車両に衝突するおそれがあるとき、警報によって注意を促します。

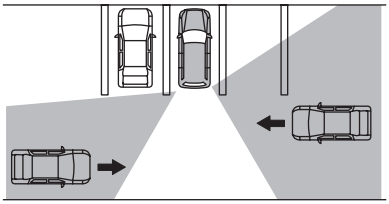
- 車両後部のレーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知します。
- セレクトレバーがRで、車速約8km/h以下のとき作動します。
- レーダーセンサーにより後方を横切ろうとする車両を検知すると、警報音とともに検知した側のドアミラー鏡面にある表示灯が点滅します。



ZPA1737

検知範囲について

- レーダーセンサーは、約20m先から近づいてくる車両を検知します。



ZPA1729

⚠ 警告

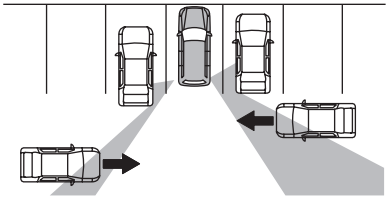
- RCTA（後退時車両検知警報）は、運転者の代わりに周囲を確認したり、車両と障害物との接触を防いだりする機能ではありません。駐車スペースから後退するときは、機能に頼らず、必ず運転者自身で周囲の安全を確認してください。

知識

- ドアミラー鏡面の表示灯は電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ドアミラー鏡面の表示灯の明るさは車両周囲の明るさによって切り替わります。

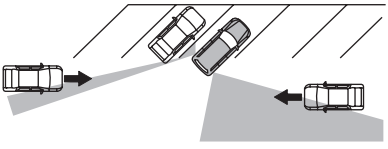
⚠ 注意

- 後退する前に、必ず目視で周囲の状況を確認してください。レーダーセンサーは接近している（動いている）車両を検知します。次のようなものは検知できないことがあります。
  - ・歩行者、自転車、動物など
  - ・約30km/h以上の速度で通過する車両
  - ・約8km/h以下の速度で通過する車両
- 次のような状況では、レーダーセンサーが接近する車両を検知できないことがあります。
  - ・隣に駐車している車両などが、レーダーセンサーの検出エリアを妨げているとき



ZPA1730

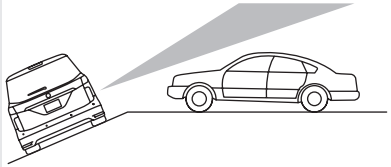
・駐車枠線が斜めに引かれた駐車場に駐車しているとき



ZPA1731

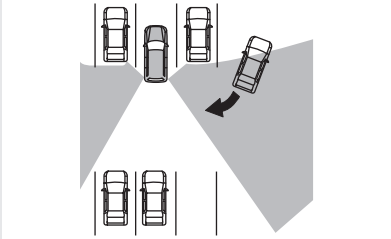
⚠ 注意

・傾斜した地面に駐車しているとき



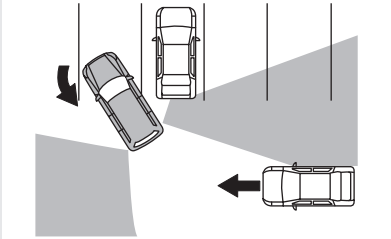
ZPA1732

・回り込むようにして自車両後方へ車両が接近してきたとき



ZPA1733

・接近してきた車両の向きが、自車両の向きと同じ、またはそれに近いとき



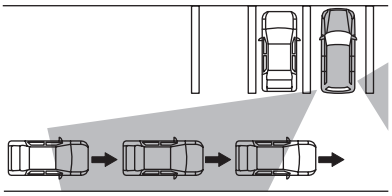
ZPA1734

⚠ 注意

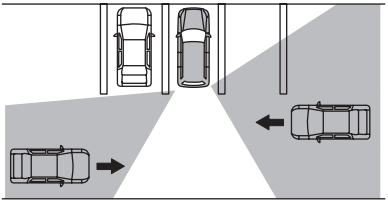
- 次のような場合は、思わぬ事故につながるおそれがありますので、システムを使用しないでください。
・悪天候（雨、雪、霧など）で視界が悪いとき
・水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
・雪や氷、泥などがレーダーセンサー周辺に付着しているとき
- レーダーセンサーは静止している障害物を検知しないよう設計されていますが、状況によってはガードレール、壁、駐車された車両などを検知することがあります。
- 外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

知識

- 複数の車両が連続して後方を通過する場合や、最初に検知した車両と逆方向から車両が接近してきた場合、2台目以降に対して警報が作動しない場合があります。



ZPA1735



ZPA1729

■ON／OFFのしかた

●アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「駐車支援」⇒「クロストラフィック」を選択すると、RCTA（後退時車両検知警報）機能のON･OFFを切り替えることができます。設定の詳細については、ドライブコンピューター（P.114）をお読みください。

知識

●設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

■警告表示

●次の場合はアドバンスドドライブアシストディスプレイに「サイドレーダー及びその周辺が汚れています　拭いてください」と警告が表示され、一時的にシステムが停止します。

・レーダーセンサーが汚れているとき

・レーダーセンサーに雨、雪、氷などが付着しているとき

P.サイドレーダーシステム停止警告…P.126

●システムに異常があると、アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示され、システムが停止します。

P.システム故障警告A…P.124

➡ 対処方法

●レーダーセンサーの周辺が汚れているときは安全な場所に停車し、レーダーセンサーの周辺の汚れなどを取り除いてからエンジンを再始動してください。レーダーセンサーの取り扱いについては、（P.238）をお読みください。

●アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されたときは、安全な場所に停車し、一度エンジンを停止してから再始動してください。

エンジン再始動後も表示され続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。

■レーダーセンサーの取り扱い

レーダーセンサーの取り扱い（P.238）をお読みください。

標識検知機能

フロントガラス上部にあるマルチセンシングフロントカメラにより標識を検知し、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。

⚠ 警告

- **走行中は運転者の責任で実際の標識を確認する。**
  標識検知機能は、運転者の安全運転をサポートする機能です。
  標識検知機能には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる標識を表示したりする場合があります。
  運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。

■標識検知機能について

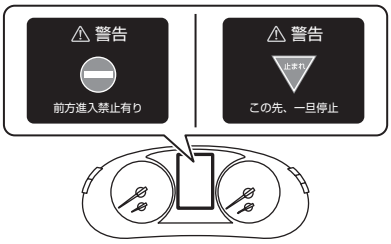
- 標識検知機能には次の機能があります。

進入禁止標識検知

- 前方の車両進入禁止標識を検知し、一方通行路へ進入する可能性がある場合にはアドバンスドドライブアシストディスプレイに警告表示します。
- 万一、車両進入禁止標識を通過した場合には警告音が鳴ります。

一時停止標識検知

- 前方の一時停止標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイに表示します。



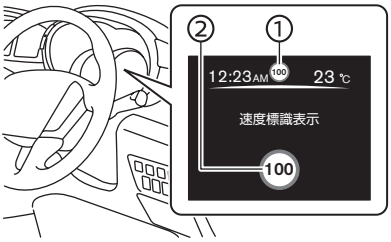
ZPA1738

知識

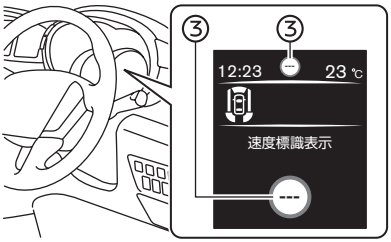
- 次のような道路標識は検知しません。
  ・電光式の最高速度標識
  ・補助標識（時間帯、区間の終わりなど）

最高速度標識検知

- 前方の最高速度標識を検知した場合には、アドバンスドドライブアシストディスプレイ①、及びドライブコンピューター②に表示されます。
- 次の場合は、最高速度標識の表示が切り替わります。
  - ・表示中の最高速度と異なる最高速度標識を検知したとき
- 次の場合は、最高速度標識の表示を終了し③が表示されます。
  - ・最高速度標識を検知し、車両がその標識を通過してから一定の距離を走行したとき
  - ・右左折などで走行している路線が変わったとシステムが判断したとき
- 最高速度標識を検知できない場合は③が表示されます。



ZPA1739



ZPA1740

■進入禁止標識／一時停止標識検知の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「道路標識表示」を選択すると、進入禁止標識／一時停止標識検知のON・OFFを切り替えることができます。
  設定の詳細については、（P.130）をお読みください。

知識

- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

■最高速度標識検知の停止のしかた

- アドバンスドドライブアシストディスプレイで「設定」⇒「運転支援システム」⇒「速度標識表示」を選択すると、最高速度標識検知のON・OFFを切り替えることができます。
  設定の詳細については、（P.130）をお読みください。

知識

- 設定は、エンジンを再始動しても維持されます。

■標識検知機能に関する注意事項

⚠ 警告

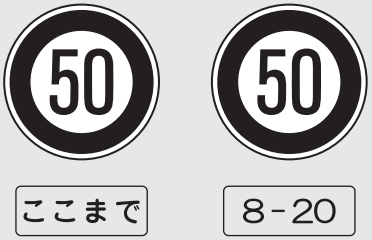
- **次のような場合は、標識の検知が遅れたり、検知できないことがあります。**
  - ・夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していない、あるいはヘッドランプのレンズが極端に汚れているとき
  - ・カメラ前方のフロントガラスに汚れ、油膜、水滴、氷、雪、虫汚れなどが付着しカメラの視界がさえぎられているとき
  - ・カメラ前方のフロントガラスが曇っているとき
  - ・前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けているとき
  - ・前方車両から反射した強い光（太陽光など）を受けているとき
  - ・トンネルの出入り口や日陰など、急に明るさの変化が起こったとき
  - ・悪天候（雨、雪、霧、風塵、砂塵、吹雪など）で視界が悪いとき
  - ・前方の車両や対向車などにより水、雪、砂などの巻き上げが発生しているとき
  - ・勾配の変化があるところを走行しているとき
  - ・未舗装路など凹凸のある路面を走行しているとき
  - ・隣を走る車で視界がさえぎられているとき
  - ・標識が曲がり角やカーブの先にあるとき
  - ・標識の周辺が煩雑で標識を認識しにくいとき
  - ・標識が自車から遠く離れた位置にあるとき
  - ・夜間で標識に自車のヘッドライトの光が届きにくい位置にあるとき
  - ・標識が色あせたり、折れ曲がっているとき
  - ・標識が破損しているなど形状が変わってしまっているとき
  - ・標識が泥、雪、または霜などで覆われたとき
  - ・標識の一部が樹木や汚れなどによって隠れて不明瞭なとき
  - ・標識に光（街灯など）や影が映り込んでいるとき
  - ・標識が大きすぎたり、小さすぎたりするとき
  - ・標識が低すぎたり、高すぎたりするとき
  - ・標識が明るすぎたり、暗すぎたりしたとき
  - ・カメラの向きがずれているとき
  - ・始動してから約15秒間は標識を検知しません
- **次のような場合は、標識の検知が適正に行えず、実際の規制内容とは異なるものを表示したり、実際には対象となる標識がないのに表示したりすることがあります。（最高速度標識においては、実際の最高速度よりも高い数字や、低い数字を表示したりすることがあります。）**
  - ・数字が認識しにくい標識（数字が消えかかっているなど）
  - ・検知対象となる標識の色、形に似たものが周辺にある場合（類似の標識、電光掲示板、看板、のぼり旗、構造物など）
  - ・自車の路線に対しての標識ではないが、自車の路線付近にあり、その標識が自車の路線に向いている場合（本線から分岐する側道の一時停止標識や最高速度標識など）



ZPA1741

⚠ 注意

- **標識検知機能は、運転者の安全運転をサポートする機能です。**
  標識検知機能には限界があり、状況によっては標識を検知できなかったり、実際とは異なる表示をしたりする場合があります。
  運転の際は、必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。
- **標識の近傍にある補助標識は検知しないため、実際の規制内容と異なる表示をする場合があります。必ず運転者の責任で実際の標識を確認してください。**



ZPA1742

アドバイス

- システムを正しく作動させるためにカメラ前方のフロントガラスはいつもきれいにしておいてください。マルチセンシングフロントカメラの取り扱いについては、（P.214）をお読みください。

知識

- 外部の騒音などにより、警報音が聞こえない場合があります。

ABS

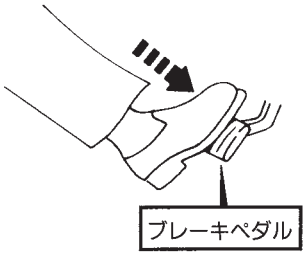
■ABSとは

急ブレーキ時や滑りやすい路面でのブレーキ時に、タイヤのロック（車輪の回転が止まる）を防止して、車両の安定性を向上させると共にハンドル操作による障害物回避をしやすくしたシステムです。

■ABS付車の取り扱いについて

急ブレーキを踏まなければいけないような状況に陥らないよう、安全運転を心がけることが大切です。万一の危険な状況では次のようにしてください。

①危険だと感じたら、ためらわず思いきりブレーキペダルを踏み込んでください。



TCA0121Z

②ABSが作動すると、ブレーキペダルに振動が伝わったり、作動音が聞こえたりします。これはABSの正常な作動によるものです。そのままブレーキペダルを踏み続けてください。

③障害物回避の際には、ブレーキペダルを踏みながらハンドル操作をしてください。

⚠ 警告

- ABSはあくまでも運転者のブレーキ操作を補助するシステムです。ABSの付いていない車と同様に、カーブの手前では十分な減速が必要です。早め早めの操作で安全運転をしてください。
- ABSはブレーキ時の車両の安定性、操舵性を確保しようとするための装置で、制動距離が短くなるとは限りません。でこぼこ道、じゃり道、積雪路などでは、ABSの付いていない車より制動距離が長くなることがあります。このような道を走行するときは、特に速度を控えめにし、車間距離を十分とって運転してください。
- ABSは各車輪の回転速度をセンサーで検出しています。タイヤ交換時は、必ず指定サイズのタイヤを4輪に装着してください。指定サイズ以外ではABSが正常に作動しなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 電源ポジションをONにしたときや、エンジン始動後最初の発進時に、エンジンルームよりモーターなどの音が聞こえることがありますが、これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- 車両を確実に停止させるために、ABSは低速では作動しません。路面の状況により異なりますが、約10km/h以下では作動しません。

室内装備の使いかた 4

●エアコンの使いかた…… 278
エアコンについて…… 278
吹き出し口について…… 279
インテリジェントエアコンシステムについて … 283
オートエアコン（前席用）…… 285
オートエアコン（後席用）…… 289

●オーディオの使いかた…… 293
オーディオを上手に使うために…… 293
ステアリングスイッチ…… 294

●カメラシステム…… 295
インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）… 295

●室内装備品の使いかた…… 308
サンバイザー…… 308
室内照明…… 308
ラゲッジルームランプ…… 310
コミュニケーションミラー…… 311
カップホルダー／ボトルホルダー…… 312
グローブボックス…… 314
リッド付ポケット…… 315
運転席アンダーポケット…… 315
フロントセンターコンソール…… 316
カップホルダー付シートサイドテーブル … 317
電源ソケット…… 318
USB電源ソケット …… 319
ロールサンシェード…… 320
シートバックフック…… 320
アシストグリップ…… 321
ラゲッジアンダーボックス…… 321
ラゲッジフック…… 321
ラゲッジルーム…… 322
フロアカーペット…… 324

エアコンの使いかた

エアコンについて

■内気循環、外気導入について

通常は吸い込み口を自動制御、または外気導入で使い、内気循環は必要なときだけ使ってください。

⚠ 警告

- 内気循環で長時間使用すると、窓ガラスがくもりやすくなり視界が損われ危険ですので、一時的に使ってください。

アドバイス

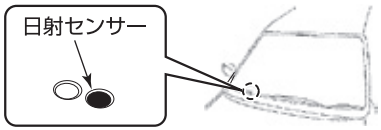
- 外気導入に固定していると、夏場など外気温が高いときは、冷房の効きが悪くなる場合があります。その場合は、一時的に内気循環にしてください。

■自動温度調節について

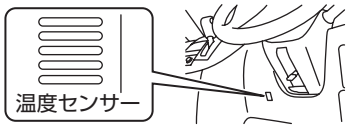
自動温度調節は日射センサーと温度センサーで行っています。

アドバイス

- センサーをふさいだり、クリーナーなどを吹きかけないでください。センサーの感度が低下し、正常に作動しなくなります。



ZAA0718



ZAA0719

■エアコンのにおいについて

エアコン装置は、空気中のいろいろなにおいが混ざり合うため、吹き出し風からにおいを感じることがあります。

知識

- エアコン作動時のにおいを抑えるため、駐車時などは外気導入にしておくことをおすすめします。

■長期間エアコンを使わないとき

エアコン装置のオイルの循環を切らさないために、ときどき冷房、または除湿暖房をしてください。

アドバイス

- 外気温が0℃近くまで下がるとエアコン装置が作動しないことがあるため、暖かい日に行ってください。

■エアコンガス

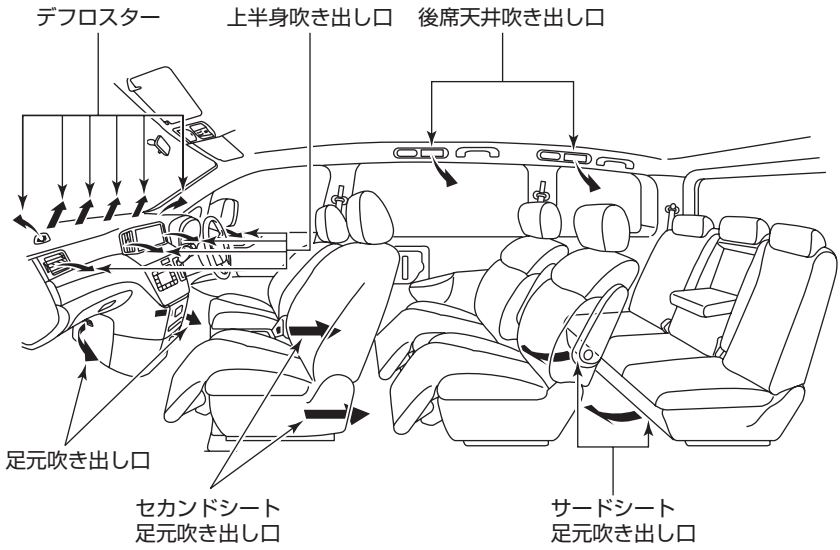
この車のエアコンガスは新冷媒を使用しています。

アドバイス

- エアコンガスは必ず新冷媒HFC134a（R134a）を入れてください。
- 地球温暖化防止のため大気放出はしないでください。
- エアコンの冷え具合が悪いときは、日産販売会社にご相談ください。

吹き出し口について

■吹き出し口の位置



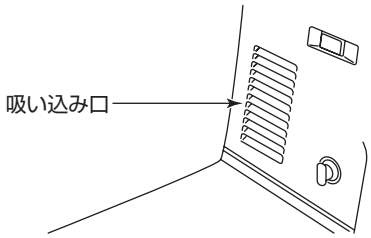
ZAA1086

⚠ 注意

- 特に皮膚の弱い方、乳幼児、病人、お年寄り、身体の不自由な方などには、吹き出し風が長時間連続してあたらないように運転者が注意してください。
  低温やけどや思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- 吸い込み口をかばんや買い物袋などの荷物でふさがないでください。吹き出し風量が減少するおそれがあります。



ZAA0722

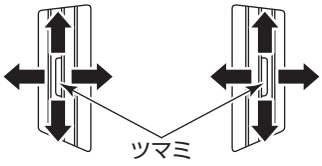
■吹き出し風の調節

- 吹き出し口のツマミを上下、または左右に動かして風向きを調節します。
- ダイヤルを回して風量の調節と開閉ができます。
  （開：≒、閉：☒）

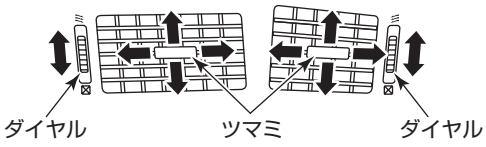
知識

- 冷房時、吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが、これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので、異常ではありません。

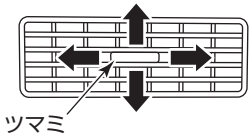
〈前席中央吹き出し口〉



〈前席左右吹き出し口〉



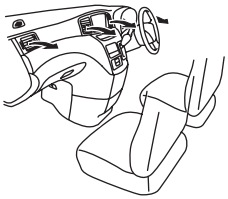
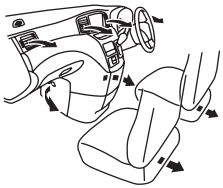
〈後席吹き出し口〉

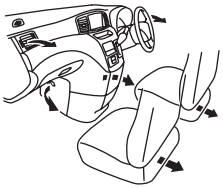
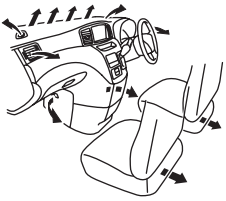


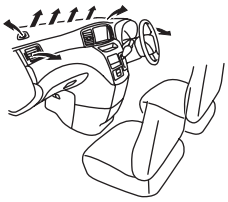
ZAA1087

■吹き出し口の切り替えと使用目的

使用目的に合わせて、吹き出し口切り替えスイッチ、またはデフロスタースイッチを押して切り替えます。

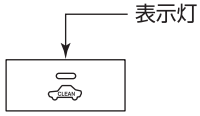
使用目的	上半身に送風したいとき	上半身、足元に送風したいとき
表　　示	 ECE0121Z	 ECE0122Z
吹き出し口	 ZAA0724	 ZAA0725

使用目的	足元に送風したいとき	足元への送風と窓ガラスのくもりを取りたいとき
表　　示	 ECE0123Z	 ZAA0763
吹き出し口	 ZAA0726	 ZAA0727

使用目的	前面及び側面ガラスのくもりを取りたいとき
表　　示	 ZAA0767
吹き出し口	 ZAA0728

インテリジェントエアコンシステムについて

プラズマクラスターイオン®フルオートエアコンとにおい・排出ガス検知式内外気自動切換え機構、エアコンフィルターの働きにより、車内の空気をクリーンにする効果が得られます。
エアコンのクリーンスイッチを押すことにより、これらを同時に作動させることができます。
（スイッチの表示灯が点灯）



ZAA0774

知識

- 次のような場合は、クリーンスイッチを押してもインテリジェントエアコンシステムは作動しません。
  - ・吹き出し口がデフロスター位置のとき。
  - ・外気温が約0℃以下のとき。

においセンサー・排出ガス検知式内外気自動切換え機構…P.284
エアコンフィルター…P.284

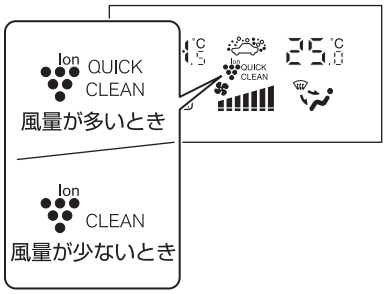
■プラズマクラスターイオン®フルオートエアコン（除菌機能付）

高濃度プラズマクラスターイオンをエアコンの吹き出し風に含ませ、除菌とともに内装に染みついたにおいを低減します。さらに肌の保湿効果がプラスしています。

知識

- プラズマクラスター、プラズマクラスターイオン及びPlasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。

- 風量により、CLEANモードとQUICK CLEANモードが切り替わります。

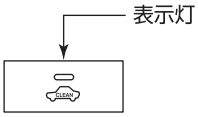


ZAA0729

■におい・排出ガス検知式内外気自動切換え機構

排気ガスの有害成分（CO、NO_2）や不快なにおい（家畜臭、工場の排気臭など）を車両前部のガスセンサーで検知し、吸い込み口を切り替えるシステムです。

- クリーンスイッチを押すと作動します。
（スイッチの表示灯が点灯）



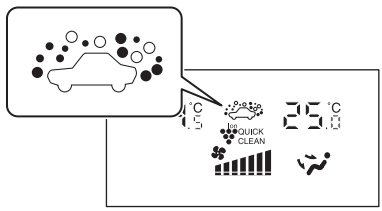
ZAA0774

- 作動後約5分間は、吸い込み口が内気循環に固定され、花粉などの侵入を防ぎながら車内をすばやく除菌します。
- 5分以降は、ガスセンサーの働きにより、内気循環⇔外気導入を自動で切り替えます。

知識

- 風向きによっては排気ガスやにおいを検知できない場合がありますが異常ではありません。
- 次の場合に、下のマークが表示されます。
  - ・クリーンスイッチがONで車外の排気ガスや不快なにおいを検知したとき。
  - ・ガスセンサー暖機中にクリーンスイッチがONのとき。（電源ポジションをONにした後、約40秒間はガスセンサーの暖機が行われます。）

知識



ZAA0771

■エアコンフィルターについて

クリーンフィルター★

ほこり、花粉、粉じんなどを集じんします。

高性能フィルター★

ほこり、花粉、粉じんなどを集じんし、アレル物質（花粉及びダニの糞・死がいなど）を除去します。

- 集じん性能を維持するため、メンテナンスは確実に行ってください。

交換時期：

1年ごと、または12,000km走行ごと

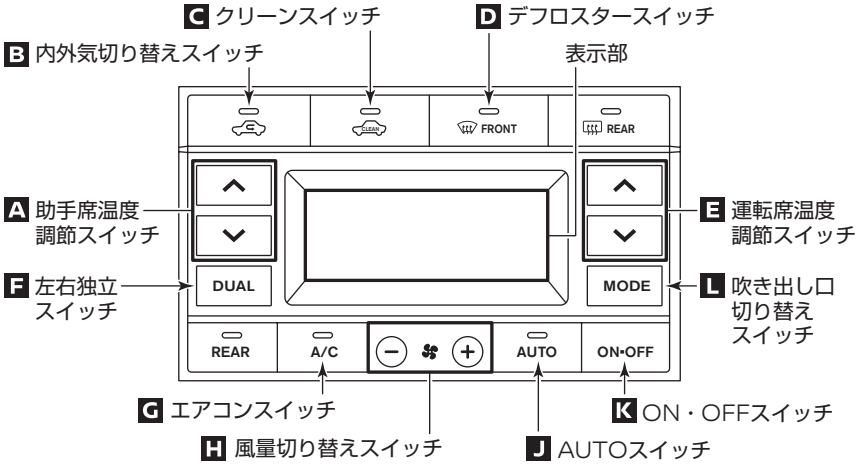
アドバイス

- 交換時期に満たない場合でも、エアコンやヒーターの吹き出し風量が極端に減少したり、窓ガラスがくもりやすくなった場合は交換してください。
- フィルターの取り付け、交換などについては、日産販売会社にご相談ください。

オートエアコン（前席用）

●エアコンは、エンジンをかけた状態で使ってください。

■操作スイッチ



ZAA1092

オートで使うとき

吹き出し温度、吹き出し口、風量を自動で制御し、設定した温度に保ちます。
また、内気循環／外気導入を自動制御モードに設定することで自動制御に切り替えます。

■作動のさせかた

①AUTOスイッチJを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）
②運転席温度調節スイッチEを押して希望の設定温度にします。
●温度の調節範囲は18～32℃です。
∧…温度が上がる
∨…温度が下がる
③クリーンスイッチCを押すとスイッチの表示灯が点灯し、内気循環／外気導入自動制御モードに設定されます。
内外気切り替えスイッチを押すごとに、内気循環／外気導入を切り替えます。

■止めかた

ON・OFF スイッチKを押します。

知識

- オートで使用中に風量の調整または、吹き出し口の切り替えを行うとAUTOスイッチの表示灯は消灯しますが、操作した機能以外については引き続き自動制御されます。
  また、内気循環／外気導入が自動制御モード中に内外気切り替えスイッチBを押すと、マニュアルモードに切り替わります。
  （点灯の場合は内気循環、消灯の場合は外気導入の状態になります。）
- 外気温が0℃近くまで下がると、エアコンスイッチGが点灯していてもエアコンが作動しないことがあります。
- エンジン始動直後で冷却水温が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。
- 外気温が低いときは、外気温に応じてフロントデフロスターへの風量が多くなります。
- クリーンスイッチCの表示灯を点灯させると、エアコンスイッチGも同時に点灯し自動制御に切り替わります。
- 電源ポジションをOFFにし、再度電源ポジションをONにすると、エアコンの条件によっては、内気循環／外気導入が自動制御モードになる場合があります。

設定を変えて使うとき

■内気循環・外気導入の切り替えかた

- 内外気切り替えスイッチ**B**を押すごとに切り替わります。
- 以下の条件を満たしているときにクリーンスイッチ**C**を押すと自動制御に切り替わります。
  - ・吹き出し口がデフロスター位置以外のとき。
  - ・外気温が約0℃の以上のとき。

モード	表示灯	使用目的
内気循環	 ZAA0716 点灯	トンネル内や渋滞などで外気が汚れているときや、早く冷暖房したいとき。
外気導入	 ZAA0528	外気を取り入れたいときや、タバコの煙などを外に出したいとき。
自動制御	※	車内の温度に応じて、吸い込み口を自動制御させるとき。

※自動制御時は、クリーンスイッチ**C**の表示灯が点灯し、内外気切り替えスイッチ**B**の表示灯が制御に合わせて点灯・消灯します。

■エアコンの切り替えかた

- エアコンスイッチ**G**を押すごとにエアコン（冷房・除湿機能）の作動/停止が切り替わります。
  - 作動：スイッチの表示灯が点灯
  - 停止：スイッチの表示灯が消灯
- 外気温が0℃近くまで下がると、エアコンスイッチ**G**が点灯していてもエアコン（冷房・除湿機能）が作動しないことがあります。

■風量の切り替えかた

- 風量切り替えスイッチ**H**で切り替えます。
  - ＋：風量を多くする
  - －：風量を少なくする
- 風量は画面に表示されます。

■吹き出し口を変更したいとき

- 吹き出し口切り替えスイッチ**L**を押すごとに切り替わります。


ZAA0768

■窓ガラスのくもりの取りかた

●デフロスタースイッチDを押します。
（スイッチの表示灯が点灯）

●止めるときは、もう一度デフロスタースイッチDを押します。
（スイッチの表示灯が消灯）

⚠ 注意

- デフロスタースイッチDをONにしているときは、エアコンの設定温度を低くしないでください。フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

- デフロスタースイッチDをONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

知識

- エアコンがOFFのとき、デフロスタースイッチDを押すとエアコンも自動的に作動します。

■運転席と助手席を別々に温度調節する

①左右独立スイッチFを押します。
（表示部に「DUAL」と表示）
②運転席温度調節スイッチEと助手席温度調節スイッチAを押すことで別々に温度調節することができます。（左右独立モード）

●解除するときは、もう一度左右独立スイッチFを押します。

知識

- 助手席温度調節スイッチAを押しても、自動的に左右独立モードに切り替わります。
- デフロスタースイッチDの表示灯が点灯しているときは、左右独立モードに切り替えることができません。
- 後席用エアコン操作時は、助手席用温度表示は消え、助手席用温度調節スイッチAを押しても助手席のみの温度調節はできません。

オートエアコン（後席用）

以下の操作で風量、吹き出し口が自動調節され、設定した温度に保ちます。
前席用エアコンを作動させてから操作します。

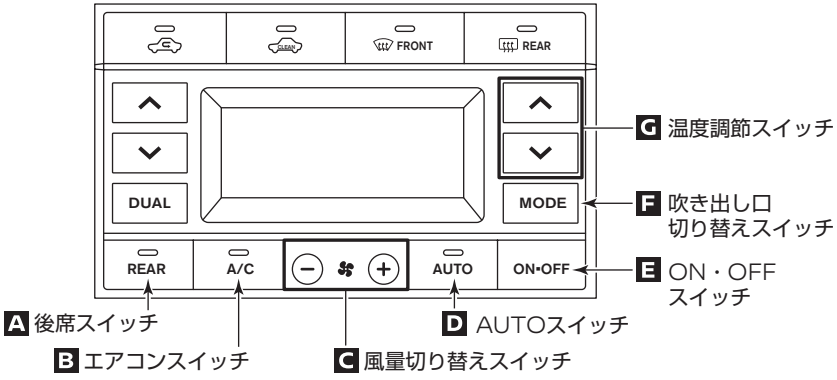
アドバイス

- エンジン始動直後で冷却水温が低いときは、足元への吹き出し風量が少なくなります。

知識

- 前席用エアコンと後席用エアコンの温度、風量、及び吹き出し口を別々に調節できます。

フロント操作部での使いかた



ZAA1093

■オートで使うとき

通常の使いかた

前席用エアコンを作動させてから操作します。

①後席スイッチ[A]を押します。
（表示部に「REAR」と表示）

②温度調節スイッチ[G]を押して希望温度にします。
温度の調節範囲は18～32℃です。
∧…温度が上がる
∨…温度が下がる

- 前席、後席用エアコンの両方を止めるときはON・OFFスイッチ[E]を押します。

- 後席用エアコンのみを止めるときは、後席スイッチ[A]を押して表示部に「REAR」と表示させて、ON・OFFスイッチ[E]を押します。

知識

- 後席スイッチ[A]を押してから、約10秒間操作しないと前席用エアコン操作画面に切り替わります。
- オートで使用中に、風量、吹き出し口をマニュアル操作すると、AUTOスイッチ[D]の表示灯は消灯しますが、操作したスイッチ以外は自動調節されます。
- 前席用エアコン（冷房・除湿機能）を作動させていないとき、後席用エアコンを作動させると前席用エアコン（冷房・除湿機能）が作動します。
- 後席用エアコンが作動中で表示部に「REAR」と表示されていないとき、エアコンスイッチ[B]を押して表示灯を消灯させると、後席用エアコンの作動が停止します。
（後席の吹き出し口が のときを除く。）

ヒーターとして使うとき

除湿を行わない自動調節のヒーターとして使えます。

①後席用エアコン作動中、後席スイッチ[A]を押して後席用エアコン操作画面に切り替えます。
（表示部に「REAR」と表示）

②吹き出し口切り替えスイッチ[F]を押して、後席の吹き出し口を にします。

③温度調節スイッチ[G]を押して希望温度にします。

④後席スイッチ[A]を押して、前席用エアコン操作画面に切り替えます。

⑤エアコンスイッチ[B]を押して、エアコンスイッチ[B]の表示灯を消灯させます。

知識

- ヒーターとして使うときは、天井の吹き出し口からは送風されません。また、車内温度は外気温度より低くなりません。外気温、湿度が低いときなどに使ってください。
- 除湿しながら暖房したいときは、エアコンスイッチ[B]を押してエアコン（冷房・除湿機能）を作動させてください。

■任意に設定を変えて使うとき

知識

- 後席スイッチ[A]を押して、後席用エアコン操作画面に切り替えてから操作します。
（表示部に「REAR」と表示）

風量を変更したいとき

- 風量切り替えスイッチ[C]を押すごとに切り替わります。
＋…風量が多くなる
－…風量が少なくなる



TCF0001Z

吹き出し口を変更したいとき

- 吹き出し口切り替えスイッチ[F]を押すごとに切り替わります。



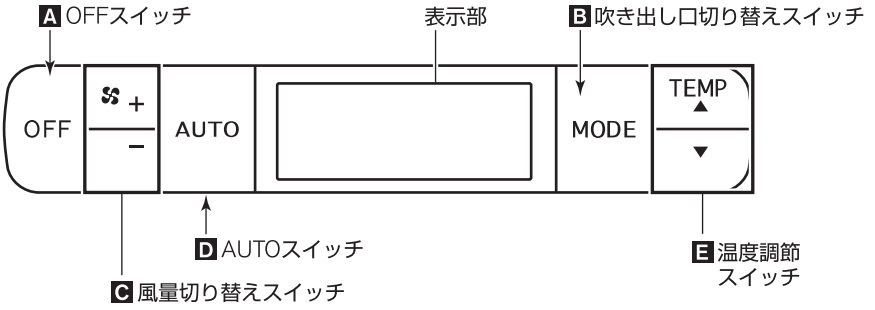
ECF0019Z

知識

- 風量、吹き出し口をオート（自動調節）に戻したいときは、後席スイッチ[A]を押して「REAR」と表示させてからAUTOスイッチ[D]を押します。

リヤ操作部での使いかた

リヤ操作部は、セカンドシートの天井部にあります。



ZAA0769

■オートで使うとき

通常の使いかた

前席用エアコンを作動させてから操作します。

①AUTOスイッチDを押します。
（表示部に「AUTO」と表示）

②温度調節スイッチEを押して希望温度にします。
温度の調節範囲は18～32℃です。
▲…温度が上がる
▼…温度が下がる

止めるときは、OFFスイッチAを押します。

ヒーターとして使うとき

フロント操作部で操作します。

ヒーターとして使うとき…P.290

■任意に設定を変えて使うとき

風量を変更したいとき

●風量切り替えスイッチCを押すごとに切り替わります。
＋…風量が多くなる
－…風量が少なくなる



TCF0001Z

吹き出し口を変更したいとき

●吹き出し口切り替えスイッチBを押すごとに切り替わります。



ECF0019Z

知識

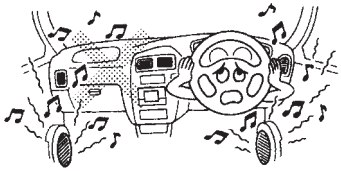
●風量、吹き出し口をオート（自動調節）に戻したいときは、AUTOスイッチDを押します。

オーディオの使いかた

オーディオを上手に使うために★

■安全運転のために

運転中は車外の音が聞こえる適度な音量でお聞きください。



TCA0123Z

⚠ 警告

- 音量が大きすぎると車外の状況が判らないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、走行中のオーディオ操作は前方不注意となるおそれがあります。十分注意して行ってください。

■ラジオの受信について

ラジオの受信は、車両の移動に伴う電波の変動、障害物や電車、信号機などの影響により、最良な受信状態を維持することができない場合があります。



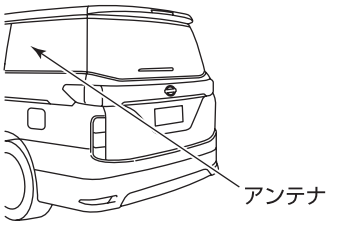
TCA0196Z

知識

- オーディオを聞いているとき、車内、または車の近くで携帯電話や無線機を使うと、ノイズ（雑音）が入ることがあります。

■アンテナについて

アンテナ線はリヤサイドウインドー左右の内側にあります。

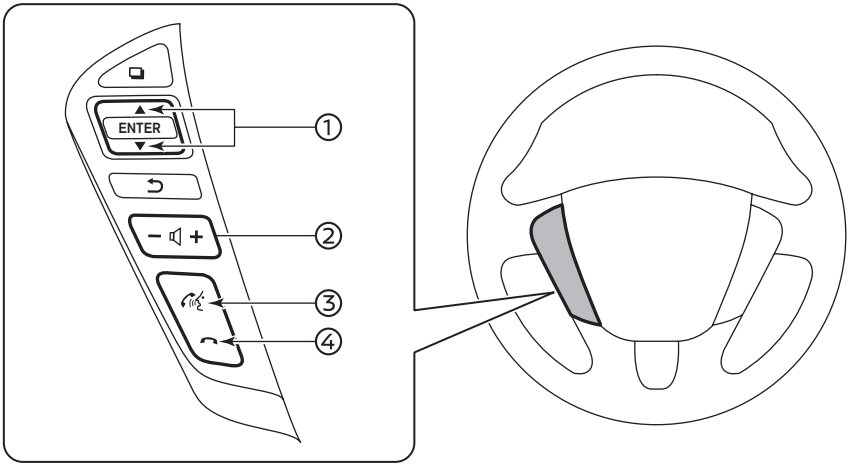


ZAA0760

アドバイス

- リヤサイドウインドーにミラータイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けないでください。受信感度が低下し、ノイズ（雑音）などが入るおそれがあります。
- リヤサイドウインドーの内側を清掃するときは、アンテナ線を切らないように、水を含ませた柔らかい布でアンテナ線にそって軽くふいてください。
  バックドアガラス、リヤサイドウインドーの清掃…P.337
- アンテナ線は、手荷物などで傷つけないようにしてください。

ステアリングスイッチ★



ZAA1122

日産オリジナルナビゲーションシステムを操作することができます。

①▲▼スイッチ
▲▼で曲や放送局の切り替えができます。
（メーター内のアドバンスドドライブアシストディスプレイを操作しているときは、オーディオの操作はできません。）

②音量調節スイッチ
＋側を押すと音量が大きくなり、－側を押すと小さくなります。

③通話開始スイッチ
電話の着信中に押すと通話を開始します。

④通話終了スイッチ
電話の通話中に押すと通話を終了します。

知識

- 取り扱いについては、日産オリジナルナビゲーションシステム用取扱説明書（別冊）も合わせてお読みください。
- 日産オリジナルナビゲーションシステム以外では作動の保証はいたしません。

カメラシステム

インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付）★

インテリジェント アラウンドビューモニターは、自車位置を映し出すことにより、駐車スペースへの駐車時や縦列駐車時に運転者を補助します。

⚠ 警告

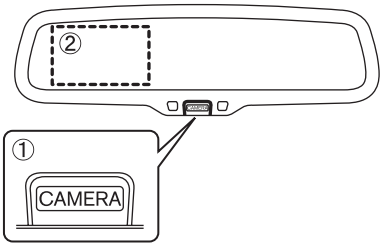
- インテリジェント アラウンドビューモニターは障害物などの確認を補助するシステムです。車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。特に車両の四隅は、トップビュー、フロントビュー、リヤビューに障害物が映らない死角になります。必ず窓から目視し、安全を確認してから車両を操作してください。常に低速で車両を移動させてください。
- ドアミラーを格納した状態では使用しないでください。適切な範囲を映すことができません。また使用するときは、バックドアが確実に閉まっているか確認してください。
- インテリジェント アラウンドビューモニターに映し出される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- カメラはフロントグリル中央部、ドアミラー、リヤナンバープレート上部に装着されています。作動を妨げるような物をカメラ部分に取り付けないでください。字光式ナンバープレートを装着すると、フロント&リヤビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。
- カメラ部は精密機械のため高圧洗車など、強い衝撃を与えないでください。故障、火災または感電のおそれがあります。

⚠ 注意

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、モニター画像の映りが悪くなりますので、ぬれた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- カメラ部には傷をつけないでください。画面の映像へ影響が出ることがあります。

インテリジェント アラウンドビューモニターの使いかた

- 電源ポジションがONのときにCAMERAスイッチを押すか、セレクトレバーを操作すると表示します。
- CAMERAスイッチ①とインテリジェント アラウンドビューモニター表示部②はルームミラーにあります。



ZAA0953

知識

- インテリジェント アラウンドビューモニター画面を表示しているときに、CAMERAスイッチを約3秒間押すと、移動物 検知機能のON·OFFを切り替えることができます。
  移動物 検知機能…P.306
- インテリジェント アラウンドビューモニター画面を表示していないときに、CAMERAスイッチを約3秒間押すと、自動防眩機能がOFFになります。
  ディスプレイ付自動防眩式ルームミラー…P.88

インテリジェント アラウンドビューモニターを表示する

■セレクトレバーの操作

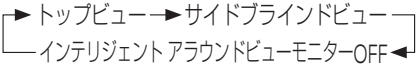
- セレクトレバーをRに入れるとインテリジェント アラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）／リヤビュー（右側画面）を表示します。セレクトレバーをRから他の位置に動かすとOFFになります。

■CAMERAスイッチの操作

- CAMERAスイッチを押すとインテリジェント アラウンドビューモニターがONになり、トップビュー（左側画面）／フロントビュー（右側画面）を表示します。
- 3分タイマー機能
  CAMERAスイッチを押してから約3分後に自動的にインテリジェント アラウンドビューモニター表示が消える機能です。セレクトレバーがR以外のときに作動します。（ただし、タイマー作動中にCAMERAスイッチを押したり、ソナーまたは移動物 検知機能が作動したりするとタイマーがリセットされます。）

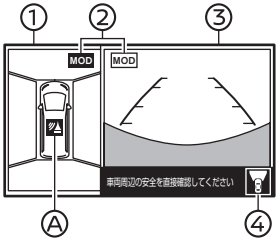
■画面の切り替え

- CAMERAスイッチを押すことで、左側画面を切り替えることができます。



●右側画面にフロントビューが表示されているときにセレクトレバーをRに入れると、リヤビューに切り替わります。
セレクトレバーをRから他の位置に動かすと、再度、フロントビューに切り替わります。

インテリジェント アラウンドビューモニター画面



ZAA1104

①左側画面

●トップビューまたはサイドブラインドビューを表示します。

②移動物 検知（P.306）機能作動状態アイコン

●どちらのビューで移動物 検知機能が作動するかを表します。

MOD：移動物 検知機能が作動します

MOD：移動物 検知機能が作動しません

知識

●電源ポジションをONにしてから初めてインテリジェント アラウンドビューモニターを表示したときに、アイコンⒶの色と点滅（約3秒間）で、ソナーの作動状況を表します。
– 赤色に点滅：ソナーON
– 灰色に点滅：ソナーOFF（ソナーをOFFにした直後も点滅します。）

●表示しているビューで映している範囲のみ移動物 検知機能が作動します。例えば、リヤビューで移動物 検知機能を作動させている場合には、車両前方の移動物は検知しません。

③右側画面

●セレクトレバーがRのときはリヤビューを、R以外のときはフロントビューを表示します。

④方向指示アイコン

●右側画面の映している方向を表します。

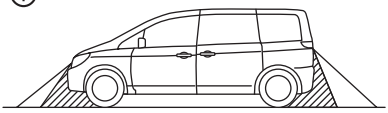
：リヤビュー表示

：フロントビュー表示

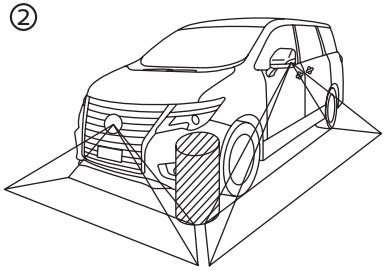
映し出す範囲

- 特定の領域は、カメラに映し出されません。フロントビューまたはリヤビューでは、バンパー下側または地上面の部分は表示されないことがあります①。トップビューでは、カメラの映し出す範囲の境目付近にあるもの、路面より高さのあるものは表示されないことがあります②。

①



②



ZAA1088

画面表示の種類

⚠ 警告

- 距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離は目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- 目安ラインや予想進路線は、乗車人数や燃料の容量などの影響により実際の距離と異なることがあります。目安としてお使いください。
- サイズが異なるタイヤと交換すると、予想進路線とトップビューが不適切に表示されることがあります。
- 上り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。下り坂では、モニターに表示される障害物は実際よりも近くにあるように見えます。ミラーを併用するか、目視によって正確な距離を判断してください。

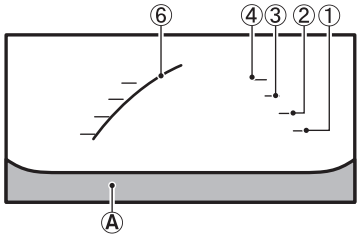
知識

- カメラレンズの特性により、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して見えたりすることがあります。
  車幅目安ラインと予想進路線は、実際の車幅と進路よりも広くなっています。

■フロントビュー／リヤビュー

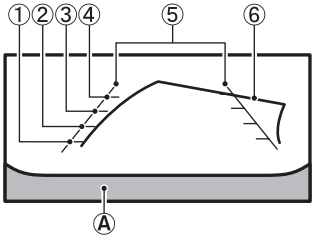
●車両の前方／後方の映像をインテリジェント アラウンドビューモニター右側画面に表示します。

〈フロントビュー〉



ZAA0988

〈リヤビュー〉



ZAA0989

●目安となる線（車幅目安ライン及び車体を表すラインⒶを基準にした距離目安ライン）がモニターに表示されます。

距離目安ライン

●車体からの距離の目安を示します。
- ①赤色：約0.5m
- ②黄色：約1m
- ③緑色：約2m
- ④緑色：約3m

⑤車幅目安ライン

●車幅の目安を示します。

⑥予想進路線

●運転操作時に予想進路を示します。予想進路線は、ハンドルを切ったときに表示されます。予想進路線はハンドルを切った角度に応じて移動し、ハンドルを中立位置にすると表示されなくなります。

●フロントビューは、車速が10km/hを超えると表示されなくなります。

⚠ 警告

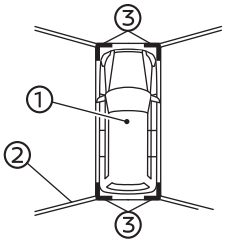
- リヤビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
- リヤビューモニターの映像は、ルームミラーやドアミラーで見るのと同様に左右反転させた鏡像です。
- 雪道や滑りやすい路面では、予想進路線と実際の進路が異なることがあります。
- リヤビューカメラは車幅の中心よりずれた位置に取り付けられているため、リヤビューの表示は多少右にずれて見えます。

⚠ 注意

- フロントビューが表示されているときに、中立位置から約90度の範囲内でハンドルを切ると、予想進路線が左右に表示されます。約90度以上ハンドルを切ると、予想進路線はハンドルを切った方向とは逆方向にのみ表示されます。

■トップビュー

- 自車位置や駐車スペースへの進入コースが分かりやすい、車両を上から見たような映像をインテリジェント アラウンドビューモニター左側画面に表示します。
  車両アイコン①は、自車位置を示しています。トップビューに表示される障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。
  カメラで撮影できない領域トップビュー境目②は、黒色で表示されます。
  電源ポジションをONにし、トップビューを表示すると、トップビュー境目②と撮影されないコーナー部分③は、約4秒間黄色で強調表示されます。ソナーがOFFのとき、撮影されないコーナー部分③は赤色で表示されます。



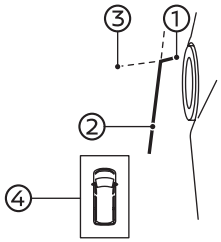
ZAA1089

⚠ 警告

- ドアミラー、車両前方、車両後方に装着されているカメラからの映像を組み合わせて処理した疑似的な映像のため、トップビューは、障害物を実際より遠く映します。
- 囲いや車両といった高さのある障害物は、映像の継ぎ目で位置がずれたり、表示されないことがあります。
- カメラの高さよりも上にある障害物は表示されません。
- トップビューの映像は、カメラの位置が変化するとずれることがあります。
- 路上の線は映像の継ぎ目でずれたり、曲がって見えたりすることがあります。ずれは、車両から遠ざかるにつれて大きくなります。

■サイドブラインドビュー

- 車両の左側前輪付近から前方を、インテリジェント アラウンドビューモニター左側画面に表示します。
  道路端への幅寄せ駐車などに便利です。



ZAA1107

目安ライン

- モニターには車幅と車両の前端を示す目安ラインが表示されます。
  - 前端目安ライン①は、車両前部の位置の目安を示します。
  - 側方目安ライン②は、ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。
  - 前端目安ライン①と側方目安ライン②の延長線③は、緑色の破線で表示します。

ソナー表示

- ソナー表示④はソナーが障害物を検知すると、表示されます。

⚠ 注意

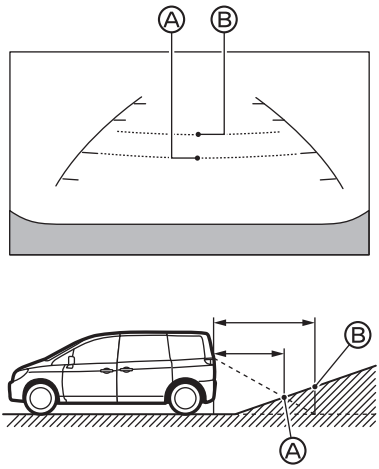
- カメラから汚れや雪を取り除くときに、カバーに傷をつけないように注意してください。
- 方向指示器の光が側方目安ラインと重なる場合がありますが、異常ではありません。

映像と実際の路面との誤差について

- フロントビューとリヤビューに表示される距離目安ラインと車幅目安ラインは、舗装された平坦な路面上での目安として使用してください。画面に表示される距離はあくまでも目安であり、自車と映し出されている障害物までの距離は、実際とは異なることがあります。

急な上り坂が後方にあるとき

- 距離目安ライン、車幅目安ラインは実際の距離よりも手前に表示されます。
  例えば、位置Ⓐまでの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置Ⓑです。上り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも遠くにあるように見えます。

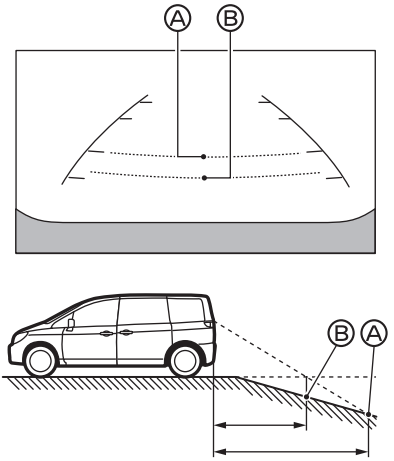


ZAA1094

※イラスト内画面は、リヤビュー（右側画面）です。

急な下り坂が後方にあるとき

- 距離目安ラインと車幅目安ラインは実際の距離よりも後ろに表示されます。
  例えば、位置Ⓐまでの距離が1mと表示されていても、実際に1mの距離にあるのは、位置Ⓑです。下り坂に障害物があるときは、障害物は実際よりも近くにあるように見えます。

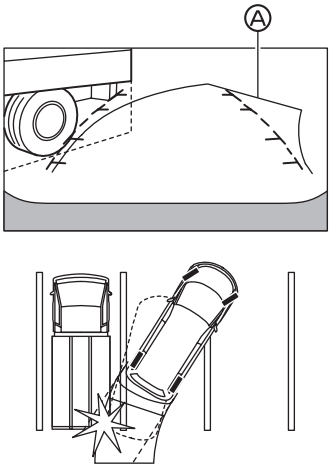


ZAA1095

※イラスト内画面は、リヤビュー（右側画面）です。

立体物が近くにあるとき

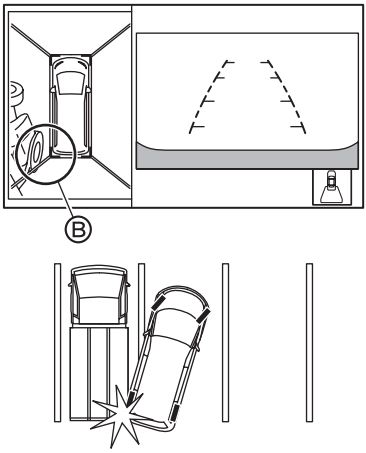
- 立体物が近くにある場合には実際の距離と異なって表示される場合があります。
  例）1
  予想進路線Ⓐは表示されているトラックの車体に触れていません。しかし、トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、ぶつかることがあります。



ZAA1096

※イラスト内画面は、リヤビュー（右側画面）です。

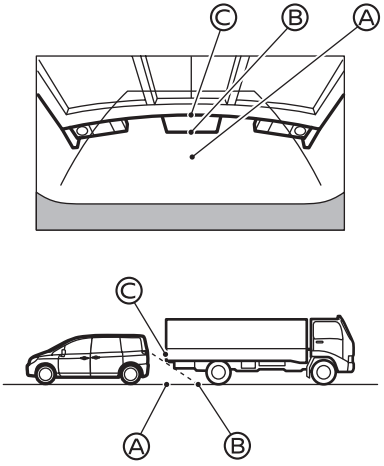
例）2
表示されているトップビューⒷでは、自車とトラックの車体間にはわずかな距離があるように見えます。しかし、実際の距離は表示されているよりも短く、トラックの車体にぶつかることがあります。



ZAA1097

立体物に接近するとき

Ⓒの位置はⒷの位置よりも遠くにあるように見えますが、実際はⒶの位置と同じ距離です。トラックの車体が実際の進路上に張り出している場合は、Ⓐの位置まで下がるとぶつかることがあります。

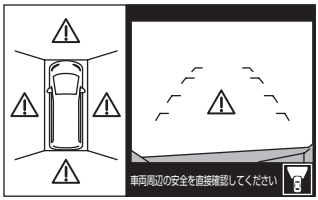


ZAA1098

※イラスト内画面は、リヤビュー（右側画面）です。

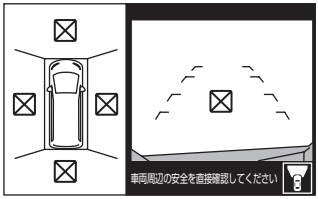
画面のエラー表示について

⚠アイコンが画面内に表示された場合は、インテリジェント アラウンドビューモニターの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。



ZAA1099

☒アイコンが画面内に表示された場合は、カメラ映像が一時的に周囲の電子機器の影響を受けている可能性があります。頻繁に表示される場合は日産販売会社で点検を受けてください。



ZAA1100

作動に関する注意事項

- フロントビュー及びリヤビューの表示線は、路面の状況により障害物への距離が実際と異なって見えることがあります。特徴をよく理解してください。
- セレクトレバーがR以外のとき、CAMERAボタンを押してインテリジェント アラウンドビューモニターを表示させたあと、ソナーまたは移動物 検知機能が作動しない状態で約3分間操作を行わないでいると、自動的にインテリジェント アラウンドビューモニター表示が消えます。
- 画面の切り替わり後は、映像の表示が遅れることがあります。インテリジェント アラウンドビューモニターが完全に表示されるまでは、映像が一時的にゆがむことがあります。
- 外気温が極端に高いか、低いときは、映像の映りが悪くなることがありますが、異常ではありません。
- カメラに直接強い光を当てると、映像の映りが悪くなることがありますが、異常ではありません。
- 蛍光灯照明が当たると、映像にちらつきが出ることがありますが、異常ではありません。
- インテリジェント アラウンドビューモニター映像の色味は、実際とはわずかに異なって見えることがあります。
- 暗い所や夜間時には映りが悪くなり、色味が異なって見えることがありますが、異常ではありません。
- トップビューの各カメラの映像に鮮明さの違いが生じることがあります。
- トップビューの画像は、4つのカメラからの映像を加工処理して表示するため、次のように表示される場合があります。
  - ・立体物が倒れこんで見える
  - ・路面よりも高い位置にある車両などが実際より遠くに見える
  - ・高さのあるものが画像の継ぎ目でずれて表示される
  - ・各カメラ画像の明るさが違う
- カメラに汚れ、雨、雪が付着すると、映像の映りが悪くなることがあります。カメラを清掃してください。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用してカメラを清掃しないでください。変色する原因となります。中性洗剤を薄めて含ませた布でふき取った後、乾いた布でふいてください。
- モニター映像に悪影響が生じるため、カメラに傷をつけないよう注意してください。
- カメラにはワックスを使用しないでください。中性洗剤を薄めて含ませた清潔な布でワックスをふき取ってください。

移動物 検知機能

車庫入れや駐車場からの発進時などに自車周辺の移動物を運転者にお知らせすることで、安全確認をサポートする機能です。

⚠ 注意

- 車両の操作をするときは、周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。

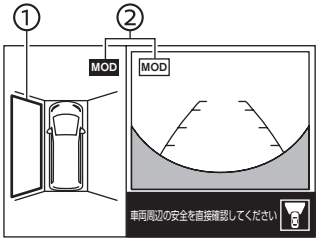
- 車両周辺に移動物があるときに、音と黄枠を表示してお知らせします。
- トップビューにMOD表示がある場合には移動物を検知したエリア（前後左右）に黄枠を表示します。
- 移動物 検知機能は以下の条件のとき、MODが表示されている画面で作動します。
  - ・セレクトレバーがPまたはNで車両が停車しているときに、トップビュー側で作動します。
  - ・セレクトレバーがDで車速約8km/h以下のときに、フロントビューで作動します。
  - ・セレクトレバーがRで車速約8km/h以下のときに、リヤビューで作動します。

知識

- サイドブラインドビューには移動物 検知機能がないので、MODアイコンを表示しません。
- インテリジェント アラウンドビューモニター画面を表示しているときに、CAMERAスイッチを約3秒間押すと、移動物 検知機能のON·OFFを切り替えることができます。
- 移動物 検知機能をOFFにした場合、MODアイコンが消えます。

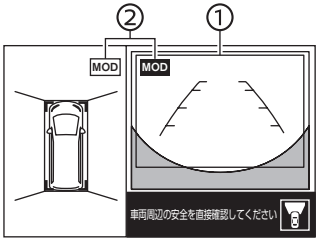
■移動物 検知機能表示画面

〈トップビュー〉



ZAA1101

〈フロントビュー〉



ZAA1102

①移動物 検知表示

●移動物 検知機能で移動物を検知したときに、黄枠でお知らせします。

②移動物 検知機能作動状態アイコン

●移動物 検知機能を作動させる側の画面のアイコンを青色で表示します。

MOD：移動物 検知機能が作動します

MOD：移動物 検知機能が作動しません

知識

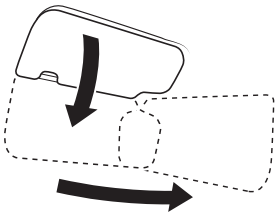
●以下の場合には移動物 検知機能は作動しません。
- ・車速やセレクトレバーの位置が移動物検知機能の作動条件から外れている場合
- ・トップビューによる移動物 検知機能作動中でいずれかのドアが開いている場合
- ・リヤビューによる移動物 検知機能作動中でバックドアが開いている場合

●トップビューによる移動物 検知機能作動中で電動格納ミラーが作動している場合、誤検知する場合があります。

室内装備品の使いかた

サンバイザー

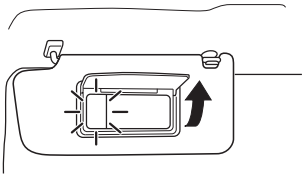
- 前方からの日差しを防ぐときは、下に下げて使います。
- 横からの日差しを防ぐときは、下に下げてフックから外し、横にして使います。



ESA1660Z

照明付バニティミラー

- サンバイザー裏側にバニティミラー（鏡）が付いています。



ESD0075Z

室内照明

アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

知識

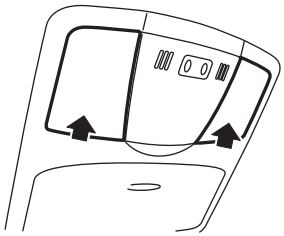
- ドア連動スイッチがDOOR位置でドアを開けたままのときは、マップランプ及びパーソナルランプのスイッチを押し戻しても常時点灯します。

バッテリーセーバー

- 室内照明が点灯したまま約15分以上放置した場合には、バッテリーあがりを防止するためランプが消灯します。

■マップランプ

- ランプを押すごとに点灯・消灯します。



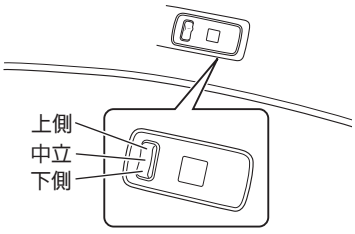
ZAA0731

■パーソナルランプ

セカンドシート、サードシート天井の左右にあります。

●電源ポジションの位置に関係なく、次のように点灯・消灯します。

スイッチ位置		点灯・消灯のしかた
上側	右側ランプ	常時点灯
	左側ランプ	消　灯
中　立		ドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。（電源ポジションがOFF、またはLOCKにあるとき、最後に開いているドア〔バックドアを除く〕を閉めてから約15秒間点灯後、消灯します。）
下側	右側ランプ	消　灯
	左側ランプ	常時点灯



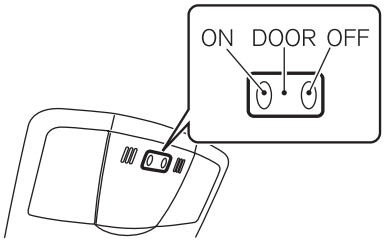
ESF0091Z

※イラストは、セカンドシートの左側です。

■ドア連動スイッチ

●ドア連動スイッチの位置により、次のようにマップランプとパーソナルランプの点灯・消灯のしかたを変えられます。

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
ON	常時点灯
DOOR	ドア（バックドアを除く）を開けると点灯し、閉めると消灯します。（電源ポジションがOFF、またはLOCKのときは、ドア〔バックドアを除く〕を閉めると約15秒間点灯後、消灯します。）
OFF	消灯



ZAA0733

キー連動室内照明システム

ドアの施錠、解錠に連動して室内照明が点灯・消灯します。
ドア連動スイッチがDOOR位置のときに作動します。

乗車時

- 運転席ドアを解錠すると、室内照明が約15秒間点灯後、消灯します。
- 室内照明点灯中に、電源ポジションをAcc、またはONにするか、運転席ドアを施錠すると消灯します。

降車時

- 電源ポジションをOFF、またはLOCKにすると室内照明が約15秒間点灯後、消灯します。
- 室内照明点灯中に運転席ドアを施錠すると消灯します。

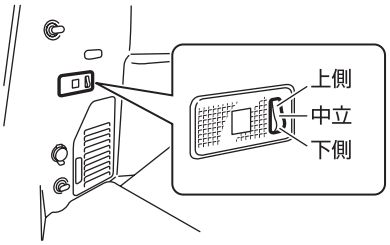
知識

- キー連動室内照明システムのON/OFFを切り替えたい場合は、日産販売会社へご相談ください。

ラゲッジルームランプ

電源ポジションの位置に関係なく、次のように点灯、消灯します。

スイッチ位置	点灯・消灯のしかた
中立	バックドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。
上側、または下側	消灯



ZAA0734

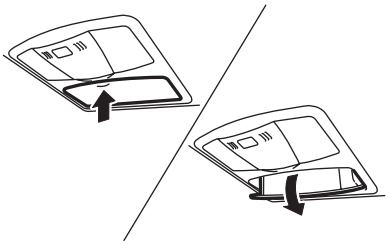
アドバイス

- エンジン停止時に長時間点灯させないでください。バッテリーがあがりエンジンの始動ができなくなります。

コミュニケーションミラー

運転中でも、セカンドシート及びサードシートの様子が確認できます。

- 使うときは、ふたを押して開けます。
- 格納するときは、ロックするまで押し戻します。



ZAA0735

⚠ 警告

- 運転中は、信号待ちなどの停車中に使ってください。走行中に使用すると前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

カップホルダー／ボトルホルダー

⚠ 警告

- 飲物の出し入れは、信号待ちなどの停車中に行ってください。走行中の使用は前方不注意となり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

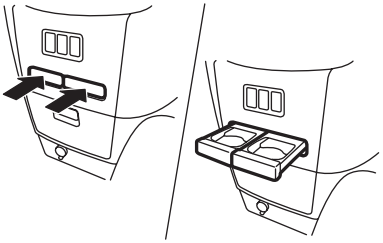
⚠ 注意

- 飲物の容器によっては確実に固定されないことがあるため、こぼさないよう注意してください。

■フロントシート用カップホルダー

インスト部

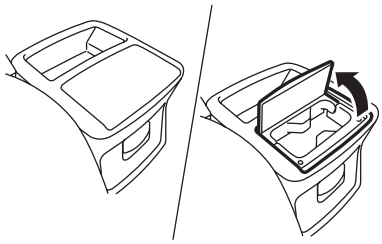
- パネル部を押すとカップホルダーが出てきます。
- 格納するときは、パネル部を押し戻します。



ZAA0736

フロントセンターコンソール前端

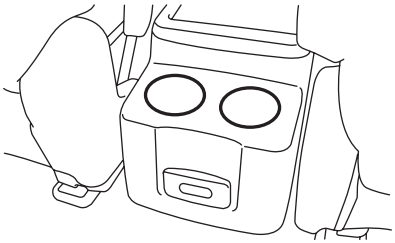
- ふたを上に開けて使います。



ZAA0737

■セカンドシート用カップホルダー

フロントセンターコンソール後端



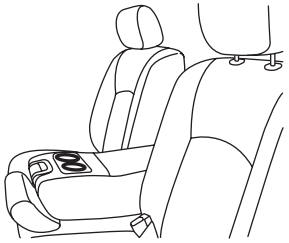
ZAA0738

カップホルダー付シートサイドテーブル★

P.317をお読みください。

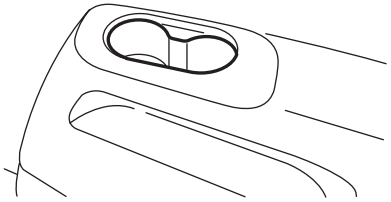
セカンドシートアームレスト★

- セカンドシートのアームレストを倒して使います。
  アームレストの使いかた…P.80



ZAA0739

■サードシート用カップホルダー

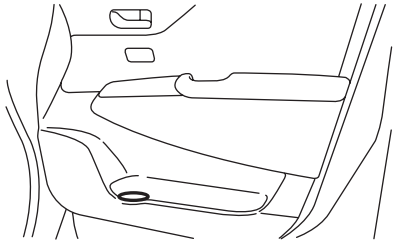


ZAA0741

■ボトルホルダー

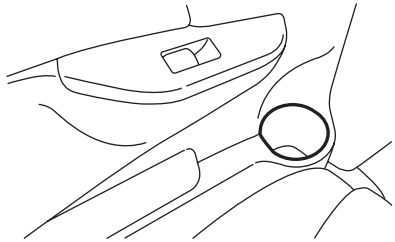
- ペットボトルのふたを閉めてから収納してください。

フロントドアポケット（前席ドア）左右



ZAA0742

スライドドアポケット左右



ZAA0743

★/★：車両型式、オプションなどで異なる装備

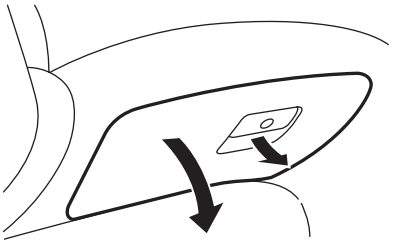
グローブボックス

⚠ 注意

- グローブボックスを開けたまま走行しないでください。ブレーキをかけたとき収納した物が飛び出す、またはふたに当たるなどして、思わぬケガをするおそれがあります。
- ふたを開けるときは、ゆっくり開けてください。ふたを全開にしたとき、身体に当たるおそれがあります。

■開閉のしかた

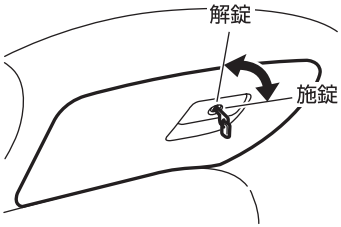
- ノブを手前に引いて開けます。
- 閉めるときは、前方へ押してロックします。



ZAA0744

■施錠・解錠のしかた

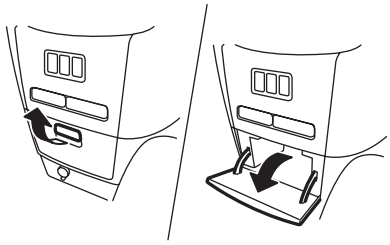
- メカニカルキー（P.34）で施錠、解錠します。
- メカニカルキーは半分ほど差し込んだ状態で止まります。



ZAA0745

リッド付ポケット

- ノブを手前に引いて開けます。
- 閉めるときは、前方へ押してロックします。



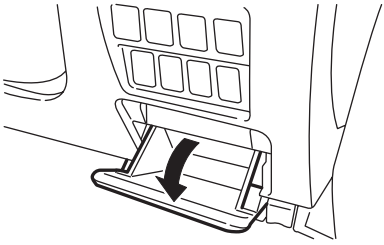
ZAA0747

⚠ 注意

- ふたを開けたまま走行しないでください。収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをしたり、事故につながるおそれがあります。

運転席アンダーポケット

- ふたを引いて開けます。
- 閉めるときは、前方へ押してロックします。



ZAA0748

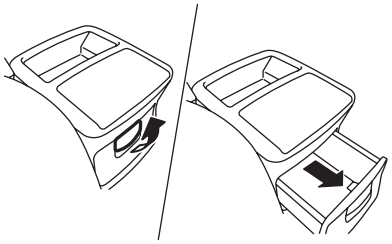
知識

- 運転席アンダーポケットを取り外すと、奥にヒューズ（P.373）があります。

フロントセンターコンソール

■引き出し式ボックス

- ノブを手前に引いて開けます。
- 閉めるときは、押し戻してロックします。



ZAA0749

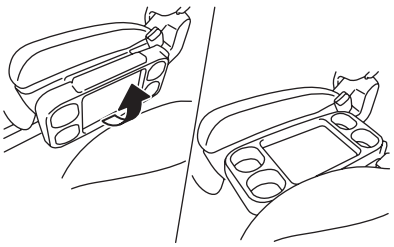
⚠ 注意

- ふたを開けたまま走行しないでください。収納した物が飛び出したりして、思わぬケガをしたり、事故につながるおそれがあります。

カップホルダー付シートサイドテーブル★

セカンドシート（運転席側）の左側にあります。

- テーブルをゆっくりと引き上げます。
- 格納するときは、下側に押し下げます。



ZAA0754

⚠ 注意

- テーブルを操作するときは、手などを挟まないように注意してください。
- テーブルの上に乗ったり、足で蹴ったりしないでください。また、席を移動するときは、テーブルを格納してから移動してください。転んで思わぬケガをしたり、テーブルが破損するおそれがあります。
- 急発進、急ブレーキに注意してください。テーブルに置いた物が落ちてきて思わぬケガにつながるおそれがあります。また、カップホルダーに熱い飲物を置いているときは、こぼれてやけどをするおそれがあります。
- 3kg以上の物をテーブルに置かないでください。テーブルが格納してしまい、物が落ちたりして思わぬケガをするおそれがあります。また、カップホルダー部に熱い飲物を置いているときは、こぼれてやけどをするおそれがあります。
- カップホルダー部でも入れ物によっては確実に固定されないことがあるため、こぼさないように注意してください。

アドバイス

- テーブルを強く引き上げたり、3kg以上の物を置いたりしないでください。破損や変形の原因となります。

知識

- テーブルにはカップホルダーが4個付いています。

電源ソケット

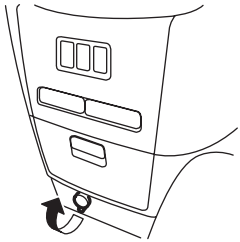
電源ポジションがAcc、またはONのとき使えます。

カーアクセサリーの電源をとるときや、市販の車載電話及び携帯電話の車載キットの電源をとるときに使います。

容量は12V（ボルト）、10A（アンペア）、120W（ワット）です。

センタークラスター下

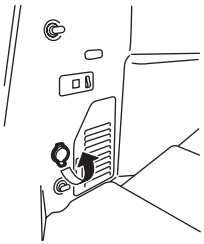
- ふたを開けて使います。
- 使わないときは、ふたを閉めます。



ZAA0750

ラゲッジルーム内

- ふたを開けて使います。
- 使わないときは、ふたを閉めます。



ZAA0751

⚠ 注意

- 2マタソケットなどでタコ足配線をしないでください。
- 安全のため、消費電力120W以下のものを使ってください。
- 相手プラグをソケットの奥まできちんと挿入して使ってください。挿入が不完全になると、異常発熱し、車両のヒューズが切れる場合があります。
- 相手プラグを挿入したり抜いたりするときは、使用機器側の電源スイッチをOFFにするか、電源ポジションをLOCKにしてください。
- 使用中や使用直後はソケットや相手プラグが熱くなっていることがあるため、注意してください。
- シガーライターをソケットに差し込まないでください。
- ソケットに水などがかからないようにしてください。
- ソケットには指や金属などを入れないでください。

アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけて使ってください。また、アイドリング状態で長時間使ったり、エアコン、ヘッドランプ、リヤウインドーデフォッガーなどを同時に使わないでください。

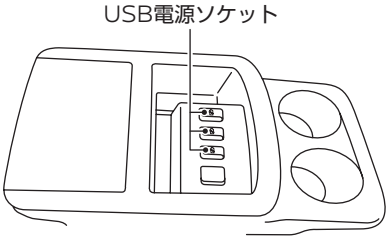
USB電源ソケット★

USB電源ソケットはモバイル機器などの充電専用です。電源ポジションがONまたはAccのとき使えます。

■USB電源ソケットの使いかた

モバイル機器を充電するのに便利なUSB電源ソケットが用意されています。

- USB電源ソケットはフロントセンターコンソール（コンソールトレイ）にあります。
- 使用しないときは、ふたを閉めます。
- 容量は1箇所につき、5V（ボルト）、2.4A（アンペア）、12W（ワット）です。



ZAA1103

⚠ 警告

- **SRSエアバッグの作動を妨げるような場所に、モバイル機器や接続用のケーブルを設置しない。**
  SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグの作動時にモバイル機器が飛ばされたりして、死亡または重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- **モバイル機器または接続用のケーブルは、運転の邪魔にならない場所に固定する。**
  運転に支障をきたし、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- **USB電源ソケットを使用するときは、次のことを守る。**
  USB電源ソケットの不適切な使用は、車両のヒューズが切れるだけでなく、最悪の場合、車両火災ややけどにつながるおそれがあります。
  - ・複数のUSB電源ソケットを持つアダプターを使用して、一度にたくさんのモバイル機器を充電しない
  - ・消費電力12W以下のものを使用する
  - ・ケーブルはしっかり奥まで挿入する
  - ・ソケットに水をかけたり、指や金属などを入れたりしない
  - ・ソケットの向きに注意し、無理な接続や取り外しをしない
- **両面挿し（リバーシブル）対応のUSBケーブルは、USB電源ソケットの内部端子を破損するおそれがあるので使用しない。**



リバーシブルタイプUSBコネクター
(接点基板が中央にある)

ZAA1079

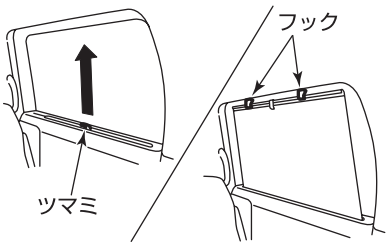
アドバイス

- バッテリーあがりを防止するため、エンジンをかけた状態で使用してください。

ロールサンシェード

セカンドシート及びサードシートの左右にあります。

- ツマミを持って上方向に引き出し、フックに引っ掛けます。
- 格納するときは、フックから外して元の位置に格納します。



ZAA0756

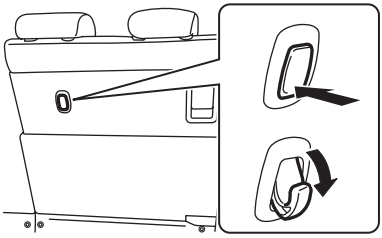
アドバイス

- ロールサンシェードを上方向以外に引っ張らないでください。破損の原因になります。

シートバックフック★

サードシートの背もたれの後ろにあります。

- 買い物袋などを引っ掛けるときに使います。
- フックの背の下側を押しながら回転させます。



ZAA0975

⚠ 注意

- 4kg以上の物を掛けないでください。シートのリクライニングレバーを引いたとき、背もたれが後方に倒れたり、フックが破損するおそれがあります。

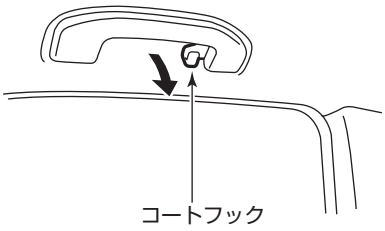
知識

- 荷物を掛けないときは、フックを格納してください。

アシストグリップ

助手席及びセカンドシート、サードシートの左右に付いています。セカンドシート及びサードシート左右にはコートフックが付いています。

●引き出して使います。



ZAA0128

⚠ 注意

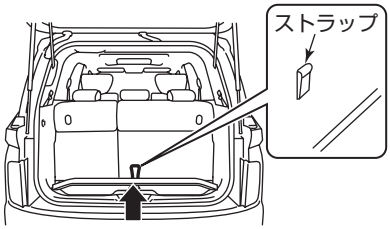
●コートフックに先のとがった物を掛けないでください。SRSエアバッグが作動したときに飛ばされて、思わぬ傷害につながるおそれがあります。

アドバイス

●コートフックには、1kg以上の物を掛けないでください。破損するおそれがあります。

ラゲッジアンダーボックス

ストラップを引いて、ふたを持ち上げて使用します。



ZAA0974

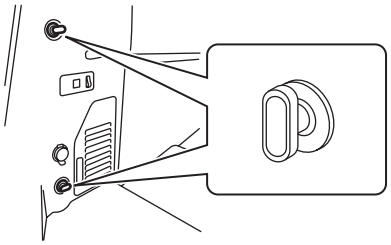
アドバイス

●ふたを開けたままサードシートを動かしたり、走行したりしないでください。荷物やふたなどを破損するおそれがあります。

ラゲッジフック

ラゲッジルームの左右に計4箇所あります。

●買い物袋などを引っ掛けるときに使います。



ZAA0758

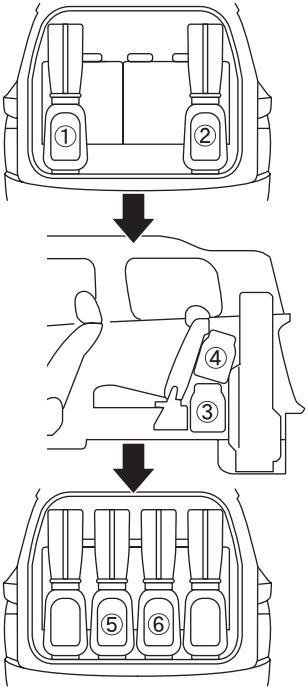
アドバイス

●3kg以上の物を掛けないでください。フックが破損するおそれがあります。

ラゲッジルーム

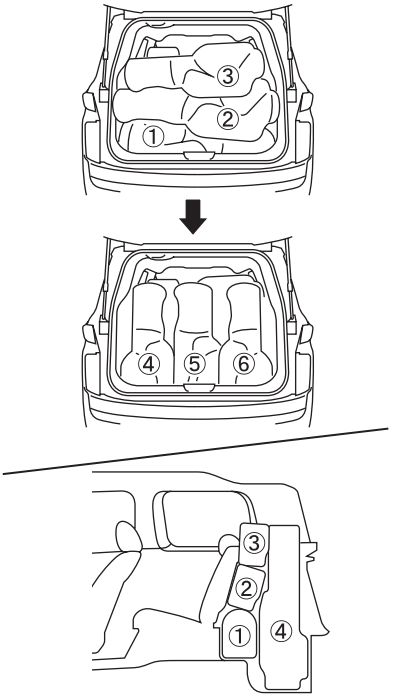
ラゲッジルームにゴルフバッグを6個載せるときは、以下のように組み合わせると載せやすくなります。

9インチ相当のゴルフバッグの場合



ZAA0977

9.5インチ相当のゴルフバッグを含む場合



ZAA0982

■準備

ゴルフバッグを載せる前に以下の準備を行ってください。

- セカンドシートを中央より前にスライドさせます。
  セカンドシート…P.78
- サードシートを最前方にスライドさせ、一度背もたれを前に折りたたみ、最初にロックする位置まで戻します。
  サードシート…P.82
- ラゲッジアンダーボックスのふたを持ち上げ、ふたの裏側にあるストラップ2箇所を外し、ラゲッジアンダーボックス内の底面に格納します。
  ラゲッジアンダーボックス…P.321

■ゴルフバッグの載せかた

9インチ相当のゴルフバッグの場合

- 1個目、2個目のゴルフバッグを左右両端に立てます。
- 3個目、4個目のゴルフバッグをサードシート背もたれの後ろに横にして重ねます。
- 5個目、6個目のゴルフバッグを中央に立てます。

9.5インチ相当のゴルフバッグを含む場合

- 1個目、2個目、3個目のゴルフバッグをサードシート背もたれの後ろに横にして重ねます。
- 4個目、5個目、6個目のゴルフバッグを立てます。

知識

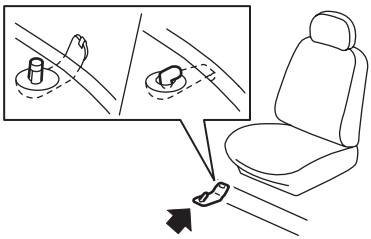
- 9.5インチのゴルフバッグまで収納できますが、形状・大きさにより収納できない場合があります。

フロアカーペット★

この車（年式）専用のフロアカーペットが設定されています。床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

■固定のしかた

床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。
①フロアカーペットを床の形状に合わせて敷きます。
②フロアカーペットの取付穴に固定クリップのピンを通し、確実に固定します。



ZSS0043

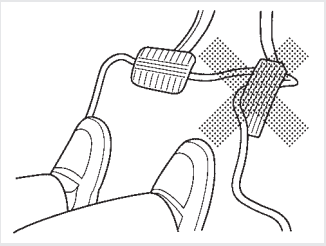
※車種により、固定クリップ・ピンの形状や、各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は、日産販売会社にお問い合わせください。

⚠ 警告

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出る、またはブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

運転席にフロアカーペットを敷くときは

- 日産純正品であっても、他車種及び異なる年式のフロアカーペットは使用しない。
- フロアカーペットでペダルを覆わない。
- フロアカーペットを重ねて敷かない。
- フロアカーペットがずれないように固定クリップで確実に固定する。
- 運転席専用のフロアカーペットを使用する。
- フロアカーペットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない。



ESD0143Z

運転する前に

- フロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し、洗車後は必ず確認する。
- エンジン停止時及びセレクトレバーがPのときに各ペダルをいっぱいに踏み込み、フロアカーペットと干渉しないで運転に支障がないことを確認する。

車との上手なつきあいかた 5

●快適ドライブのために…… 326
雨の日の快適ドライブ…… 326
夏の快適ドライブ…… 327
寒冷時の取り扱い…… 328
タイヤチェーンについて…… 332

●お手入れのしかた…… 333
外装のお手入れ…… 333
内装のお手入れ…… 336
ウォッシャー液の補給…… 338
ワイパーの交換…… 338
タイヤの交換…… 340

快適ドライブのために

雨の日の快適ドライブ

■窓ガラスがくもるとき

フロント、サイドウインドーガラス

エアコンで除湿します。

エアコンの吹き出し口を⛆にして、吸い込み口は外気導入にします。

冬でもエアコンを活用してください。

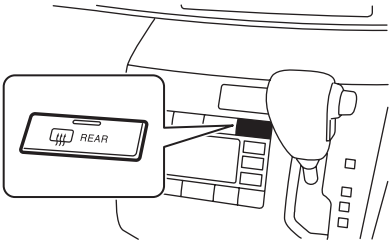
窓ガラスのくもりの取りかた… P.354

知識

- 早くくもりを取りたいときは、吹き出し温度を高くし、吹き出し風量を多くします。

バックドアガラス

リヤウインドーデフォッガースイッチ（P.176）を使い、くもりを取ってください。



ZSD0075

■ガラスが油膜でギラギラするとき

ガラスクリーナーを使って、ガラスの表面やワイパーのゴムを清掃してください。

アドバイス

- 油膜があると、雨の夜などは対向車の光が乱反射して見にくくなることがあります。

■ワイパーのふき残しがあるとき

- ワイパーブレードのゴムが摩耗していたり、異物がかみ込んでいると線が残ります。ワイパーブレードを清掃し、異物を取り除いてください。
- ゴムが摩耗しているときは、早めにゴムを交換してください。（P.339）

夏の快適ドライブ

■オーバーヒートを防ぐために

日常点検で冷却水の量を点検してください。

水温計がオーバーヒートを示しそうになったら、安全な場所に停車して冷やしてください。

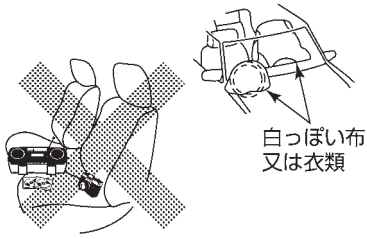
オーバーヒートしたときは…P.370

アドバイス

- 地面に水漏れの跡があるときや、冷却水が早くなくなるときは、日産販売会社で点検を受けてください。

■炎天下で駐車するとき

シートやハンドルに白い布やサンシェードなどを掛けたり、ボディにカバーなどを掛けて温度の上昇を防いでください。熱に弱い製品は車内に置かないでください。



ZSD0011

⚠ 警告

- お子さまや介護が必要な方だけを車内に残さないでください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- 炎天下では、樹脂部品や金属部品が高温になっていることがあり、触れるとやけどをするおそれがあります。特に小さいお子さまを乗せるときは注意してください。
  また、車内が高温になるので、CD、カメラ、サングラスなど樹脂製の小物、ガスライターや炭酸系の飲物などを置いたままにしないでください。変形したり爆発するおそれがあります。特にインストルメントパネルの上など、直射日光の当たる場所は大変高温になるので注意してください。

■海に出かけたあとは

- 車体に付着した塩分を早めに落としてください。塩分を付着させたまま放置しておくと、サビの原因となります。
- 洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

寒冷時の取り扱い

車の冬じたく

■エンジンオイルの準備

外気温に応じたエンジンオイルを使ってください。

サービスデータ（エンジンオイル）…P.384

■バッテリー液の点検、補給

メンテナンスノート「簡単な整備のしかた」をお読みください。

■冷却水の濃度点検

冷却水の凍結を防ぐため、冷却水の濃度を点検してください。

冷却水の濃度	凍結温度
50%	約−35℃

冷却水を補充・交換するときは、日産純正スーパーロングライフクーラント（50%希釈品）をお使いください。

サービスデータ（冷却水）…P.385

アドバイス

- 工場出荷時に50%にしてあります。
- 冷却水の点検・補充・交換は日産販売会社にご相談ください。

■冬用タイヤ、タイヤチェーンの準備

- 冬用タイヤに交換するときは、4輪とも必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤに交換してください。（P.340）
- タイヤチェーンはお客さまのタイヤサイズに合った日産純正品をおすすめします。（P.332）

■ウォッシャー液の濃度点検

ウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液容器に記載してある凍結温度を参考に、外気温に応じた希釈割合（濃度）にしてください。

日産純正ウインドウォッシャー液をおすすめします。

ウォッシャー液の補給…P.338

⚠ 注意

- 外気温に応じた希釈割合に合わせてください。不適合の場合、ウインドーガラスに噴射した液が凍結し、視界不良となるおそれがあります。

■寒冷地用ワイパーブレードの装着

寒冷地用のワイパーブレードを装着するときは、お車に合った日産純正部品をお使いください。
詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

⚠ 注意

- 高速走行時は通常のワイパーブレードよりふき取りにくくなります。速度を落として走行してください。

アドバイス

- 降雪期以外は通常ブレードに戻してください。

出発前の準備

■窓ガラスの雪や霜を落とす

プラスチックの板などを使って、ガラスを傷つけないように落としてください。

⚠ 警告

- ルーフに積もった雪は落としてください。窓ガラスに雪が滑り落ちると視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■足回りの着氷を落とす

足回り（ブレーキホース、フェンダー裏側など）に付着した氷塊を、部品を破損しないように注意して取り除いてください。

■靴の雪を落とす

乗車時、靴に付いた雪はよく落としてください。ペダル類の操作時に滑ったり、窓ガラスのくもりの原因となります。

■車が凍結したら

凍った部分にお湯をかけて氷を溶かしてください。溶けたらすぐにふき取ってください。

アドバイス

- ドアなどの開閉部分を無理に開けないでください。ゴムがはがれたり損傷するおそれがあります。
- ワンタッチオートスライドドア付車、またはリモコンオートバックドア付車は、開閉できるかどうか手動で確認してから、オート作動させてください。凍結したまま操作を繰り返すと、故障の原因になります。
- ワイパー、ドアミラー、パワーウインドーなどを無理に動かさないでください。装置が損傷するおそれがあります。
- ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結するおそれがあります。

雪道を走行するとき

■滑りやすい路面の走りかた

- 滑りやすい路面での急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど無理な運転は危険ですのでしないでください。雪道や凍結路では速度を落とし、車間距離をとり、ゆとりある運転をしてください。
- 雪道、凍結路では早めに冬用タイヤ、タイヤチェーンなどを装着して走行してください。
  タイヤチェーンについて…P.332
- 雪道を走行するときは、4WD車は駆動モード切り替えスイッチ（P.192）をAUTO、またはLOCKに切り替えます。

■走行中の雪の付着に注意

- ブレーキに付着した雪が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ときどきブレーキの効き具合を確認してください。
  効きが悪いときは、前後の車との距離を十分とり、低速走行で効きが回復するまでブレーキペダルを軽く踏んでください。
- フェンダーの裏側に付いた雪が積もり、ハンドルの切れが悪くなることがあります。ときどき確認して雪を取り除いてください。

寒冷時の駐車

■長時間駐車するとき

- セレクトレバーをPに入れ、パーキングブレーキをかけずに輪止めをしてください。パーキングブレーキをかけると、ブレーキが凍結して解除できなくなるおそれがあります。
- フロントグリルを風が吹いてくる方向に向けて駐車しないでください。エンジンルームに雪が入ったりエンジンが冷えて始動しにくくなります。
- 軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪で車が損傷するおそれがあります。
- 雪が降りそうなときや降雪時にはワイパーアームを起こしておいてください。ブレードと窓ガラスが凍結し、破損するおそれがあります。

雪道を走行したあとは

- 凍結防止剤をまいた道路を走行したあとは、サビの原因となるので早めに洗車してください。
  洗車するときは、下回りも念入りに洗ってください。

アドバイス

- 寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

タイヤチェーンについて

- タイヤチェーンは必ず前2輪に装着してください。4WD車も前2輪に装着してください。
- この車はタイヤと車体のすき間が狭く、お客さまのタイヤサイズに合ったタイヤチェーンでも使用できない場合があります。
  タイヤチェーンはお客さまの車に適合した日産純正品をおすすめします。適合するタイヤチェーンについては日産販売会社にご相談ください。

■装着の前に

- 安全に作業できる平坦な場所に停車してください。
- パーキングブレーキをかけエンジンを止めます。さらに、非常点滅表示灯を点滅させ、必要に応じて停止表示板（または停止表示灯）を置きます。

■装着のしかた

- タイヤチェーンは付属の取扱説明書に従って正しく装着してください。

⚠ 注意

- 不適正に装着したり、タイヤサイズに合わないものなどを使用すると、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

アドバイス

- タイヤチェーンを装着すると、アルミホイールに傷をつけるおそれがあります。
- タイヤチェーンを装着したときはタイヤチェーンに付属の取扱説明書で指示された速度で走行してください。安全が損われたりタイヤチェーンが切れやすくなります。
- 雪のない舗装路ではチェーンを装着したまま走行しないでください。チェーンの摩耗を早め、寿命が短くなります。また、4WD車は機構に無理がかかり故障の原因となります。
- タイヤチェーンを装着しているときは、突起しているところや穴の上を走行したり、急ハンドルやタイヤがロックするようなブレーキ操作をしないでください。

お手入れのしかた

外装のお手入れ

塗装面を美しく保つために

■駐車、保管場所に注意

風通しの良い車庫や屋根のある場所をおすすめします。

■洗車・ワックスがけの実施

- 塗装面に付着した汚れをそのままにすると、変色やサビの原因となります。次のような場合はすぐに洗車してください。
  - ・ばい煙、虫の死がいや鳥のふん、樹液、鉄粉、コールタールなどが付着したとき。
  - ・海岸地区、凍結防止剤を散布した道路を走行したあと。
  - ・ほこり、汚れがひどいとき。

アドバイス

- ケミカル用品などは用途により使い分けが必要です。用途にあったものをお使いください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみの原因となります。
- 洗車をするときに、車体に体重をかけるなどして、強い力で押したときに、場所によっては車体がへこむおそれがあります。

洗車のしかた

■水洗いするとき

①水をかけながら下回りの汚れを洗い流します。

②水をかけながら塗装面の高い位置から低い位置の順にセーム皮や柔らかいスポンジなどで汚れを落とします。

・汚れがひどいときは、ボディーシャンプーなどを使い、その後十分に水で洗い流します。

③はん点が残らないように水をふき取ります。

⚠ 注意

- 下回りを洗うときはケガをしないように注意してください。

アドバイス

- 洗車するときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良やエンジンの不調、電気部品の故障などの原因になるおそれがあります。
- 硬いブラシや、たわしなどは使わないでください。塗装面を傷つけるおそれがあります。
- 寒冷時に洗車をするときはブレーキに直接水がかからないように注意してください。ブレーキ装置に水が入ると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。

■洗車機を使うとき

自動洗車機

ドアミラー（P.86）を格納してください。

高圧（コイン）洗車機

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。洗車ノズルを近づけすぎると、モールなどの樹脂部分やシール材などが変形、損傷したり、塗装の劣化を早めたりすることがあります。

アドバイス

- 自動洗車機で洗車すると、ブラシの傷がつき、塗装の光沢が失われたり劣化を早めたりすることがあります。
- 自動洗車機で洗車すると、リヤワイパーを破損するおそれがあります。
- ドアガラスのまわりに高圧ノズルを近づけないでください。車内に水が漏れるおそれがあります。
- ルーフスポイラー付車は、洗車機の種類によってはスポイラーが引っ掛かり、洗車できないことがあります。

ワックスをかけるとき

ワックスがけは1か月に1回程度、または水はじきが悪くなったときに行ってください。かけかたは普通塗装車、メタリック及びパール塗装車とも同じです。

■ワックスのかけかた

①塗装面の汚れを洗車などで取り除きます。

②塗装面が冷えているとき（体温以下が目安）にワックスをかけます。かけかたはワックス容器に記載してある説明に従ってください。

アドバイス

- 塗装されていないバンパー、スポイラーなどの樹脂部品には、ワックスを使用しないでください。ムラになることがあります。
- コンパウンド（研磨剤）の入ったワックスを使うと、塗装面の光沢や水をはじく特性が失われることがあります。

■ワックスの選びかた

- コンパウンド（研磨剤）の入っていない、塗装に適したワックスを使ってください。
  日産純正カーワックスをおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アルミロードホイールのお手入れ

●中性洗剤を含ませたスポンジなどを使い、汚れを洗い落としてください。日産純正クリーナーをおすすめします。

※詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

●変色やしみの原因になったり、傷をつけるおそれがあるため、次のことをお守りください。
- ・強酸性、強アルカリ性の洗剤は使わない。
- ・洗剤はホイールの表面が冷えているときに使用する。（体温以下が目安）
- ・洗剤を使用したあとは、早めに十分洗い流す。
- ・硬いブラシやコンパウンド（研磨剤）の入った洗剤などは使わない。

軽い補修のしかた

塗装面の小さい傷はタッチアップペイントを使い、早めに傷部を補修してください。サビの発生を防ぎ、塗装面を長持ちさせます。

内装のお手入れ

アドバイス

- 車室内に水をかけないでください。オーディオ★やスイッチ類、フロア下の配線や電気部品などに水がかかると故障するおそれがあります。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤を使用しないでください。変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあります。また、各種クリーナー類には、これらの成分が含まれているおそれがあるため、確認してからご使用ください。
- 消臭剤·芳香剤、化粧品·日焼け止めなどは、容器からこぼしたりしないでください。また、吊り下げタイプの消臭剤·芳香剤などは、内装部品に接触しないようにしてください。含まれる成分によっては、内装部品に付着すると変色やしみ、ひび割れ、塗装はがれなどの原因となるおそれがあるため、付着した場合は、すみやかに柔らかい布でふき取ってください。
- 内装部品を固いもので擦ったり引っかいたりしないでください。傷がつき、破損するおそれがあります。

カーペットの汚れ取り

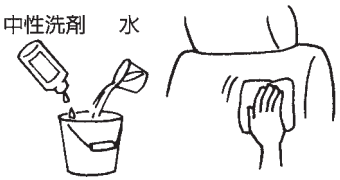
電気掃除機でほこりを取り除き、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。
フロアカーペットを取り外したときは、敷き直すときにフロアカーペットがずれないように固定クリップで正しく確実に固定してください。
フロアカーペット…P.324



TCA0145Z

布、ビニールレザーの汚れ取り

中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ、軽くふき取ります。さらに水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
汚れがひどいときは、日産純正ルームクリーナーなどで汚れを落としてください。



TCA0146Z

本革シートのお手入れ★

■通常のお手入れ

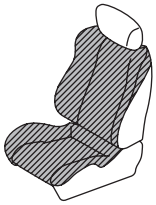
ガーゼなど柔らかい布でふきます。

■水溶性の汚れを取るとき

柔らかい布をぬるま湯に浸し、固くしぼってからふき取ります。次に乾いた柔らかい布でふきます。

■油性の汚れを取るとき

①ぬるま湯に中性洗剤を溶かし（濃度2～3%）、柔らかい布に含ませ汚れを取ります。
②真水に浸した布を固くしぼってふき取ります。
③乾いた柔らかい布でふき、風通しのよい日陰で乾燥させます。



本革部位

ZSD0034

アドバイス

- 直射日光は変色、変質の原因になります。日よけに心がけてください。
- 水などでぬれたときは早めにふき取ってください。皮革が硬化、収縮する原因となります。

知識

- 本革シートのお手入れ用品（クリーナーなど）のご購入については、日産販売会社にご相談ください。

バックドアガラス、リヤサイドウインドーの清掃

- ガラスの内側を清掃するときは、熱線やアンテナ線を切らないように水を含ませた柔らかい布で熱線やアンテナ線にそって軽くふいてください。
- ガラスクリーナー、洗剤などは使わないでください。

メーター表面の汚れ取り

柔らかい布を真水に浸し、固くしぼってからふき取ります。

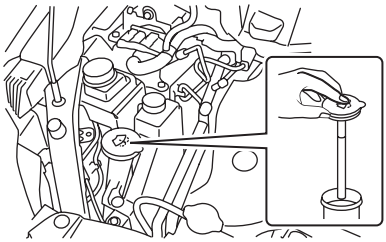
アドバイス

- 乾いた布やウエットティッシュなどを使用しないでください。傷がついたり、変色の原因になります。
- ワックスやコーティング剤、油などが付着した布ではふかないでください。変色の原因になります。

ウォッシャー液の補給

- ふたの穴を押さえ、引き抜くと、スポイト式にウォッシャー液の残量が点検できます。引き抜いたときにウォッシャー液がチューブ下端にしか入らないと、ウォッシャータンクはほぼ空の状態です。
- ウォッシャー液は日産純正ウインドウォッシャー液をおすすめします。

ウォッシャータンク容量…P.385



ZSD0028

⚠ 注意

- ウォッシャー液を補給するときは、液を高温部にかけないようにしてください。出火するおそれがあります。

アドバイス

- ウォッシャー液のかわりに石けん水などを入れないでください。
塗装面がしみになるおそれがあります。

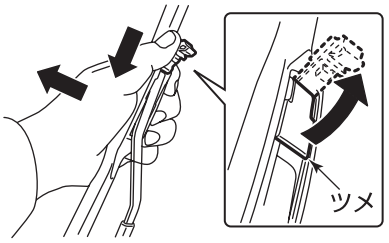
知識

- フロントワイパーとリヤワイパーのウォッシャータンクは兼用です。

ワイパーの交換

ワイパーブレードの交換

①ワイパーアームを起こします。
②ブレードのツメのロックを外し、ブレードを矢印の方向に引きながらアームから取り外します。



ZSD0029

③新しいブレードを取り付けます。
取り付けは取り外したときと逆の手順で行い、ツメがロックされブレードが確実に固定されていることを確認します。

⚠ 注意

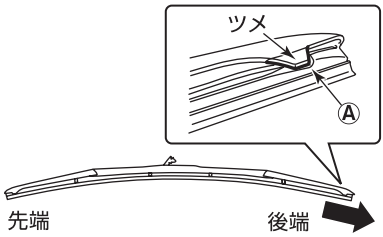
- 交換するときは、ワイパーアーム及びワイパーブレードがガラスに当たらないよう気をつけてください。ガラスに当たるとガラスが破損するおそれがあります。

アドバイス

- ワイパーブレードに大きな力を加えて変形させないでください。ふき取りにくくなったり、破損するおそれがあります。

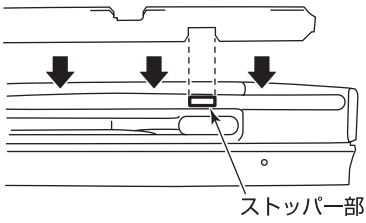
ワイパーゴムの交換

①ワイパーアームからワイパーブレードを取り外します。
②ブレードのツメをワイパーゴムⒶ部（後端）から外して矢印方向にスライドし、取り外します。



ZSD0030

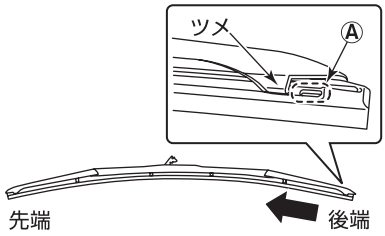
③取り付けるときは、取り外したときと逆の手順で行います。
・金属のプレートは、切りかきがワイパーゴムのストッパー部に合うように向きに注意してセットしてください。



ZSD0036

※ゴムのストッパー部は左右非対称です。

・ワイパーゴムのⒶ部がない側からブレードに沿って差し込み、ブレードのツメをⒶ部に入れて固定します。



ZSD0031

アドバイス

- ワイパーゴムを取り外すときは、カバーを無理に引っ張らないで下さい。無理に引っ張ると切れるおそれがあります。

知識

- ワイパーゴムに石けん水を塗ると脱着しやすくなります。

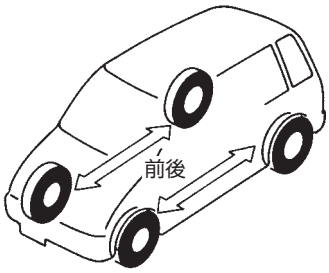
タイヤの交換

⚠ 注意

- タイヤはゴム製品のため、徐々に劣化します。安全を確保するため、5～7年を目安に必ず点検を受けてください。点検については日産販売会社へご相談ください。

■タイヤの位置交換（ローテーション）

左右それぞれで前後タイヤの交換を行ってください。
タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を伸ばすために、約5,000km走行ごとに定期的な位置交換をおすすめします。



TSA2431Z

⚠ 注意

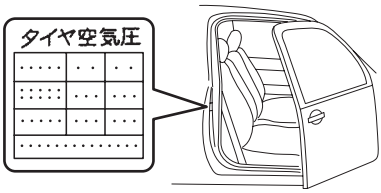
- タイヤ間に著しい摩耗差があったり、空気圧が規定値より著しく異なると、車の性能が十分発揮できなくなり、安全性を損なう、または故障の原因になります。

アドバイス

- タイヤの位置交換と同時に空気圧も点検してください。
- タイヤの位置交換については、日産販売会社にご相談ください。

■タイヤ空気圧の点検

- タイヤの空気圧は、走行前のタイヤが冷えているときに点検・調整してください。
  タイヤ接地部のたわみが大きいときは、空気圧が不足しています。すみやかに調整するか、日産販売会社にご相談ください。偏平タイヤの空気圧はたわみ状態ではわかりにくいので、タイヤエアゲージを使用し点検してください。
- タイヤ空気圧は自然に少しずつ低下します。月に一度はタイヤエアゲージを使用してタイヤ空気圧が適正であるか点検してください。
- タイヤ空気圧は走行に伴い約1割程度上がることがあります。
- タイヤの指定空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。



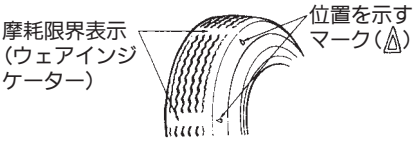
TCE0005Z

⚠ 注意

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

■タイヤ摩耗の点検

摩耗限界表示（ウェアインジケーター）が表れたら、タイヤを交換してください。



TCD0071Z

■タイヤ・ロードホイールを交換するとき

- タイヤを交換するときは、4輪とも同時期に行い、必ず指定サイズで同一の銘柄、パターン（溝模様）のタイヤを取り付けてください。
- タイヤサイズは運転席ドア開口部のタイヤ空気圧表示を参照してください。

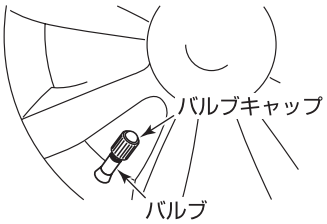
⚠ 注意

- 指定サイズ以外のタイヤ・ロードホイールは絶対に取り付けないでください。不適合なタイヤ・ロードホイールを取り付けると、安全性が損われ、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 特に4WD車は径が異なるタイヤを装着すると、車の機構に無理がかかり、重大な故障につながります。また、VDCのシステムが正常に作動しないことがあります。
  次のようなタイヤの装着はしないでください。
  - ・摩耗差の大きいタイヤの装着
  - ・前輪、または後輪だけに冬用タイヤを装着
  - ・サイズや種類の異なるタイヤを個々に装着
- タイヤの修理や交換をするときは、日産販売会社にご相談ください。

- ロードホイールを交換するときは、必ず指定サイズで同一種類のロードホイールを取り付けてください。ロードホイールのサイズは巻末のサービスデータに記載してあります。

アドバイス

- ロードホイールは、リムサイズやインセットが同じでも、他の車の物は使えない場合があります。お手持ちの物をご使用になるときは、日産販売会社にご相談ください。
- アルミロードホイールには荷重制限がありますので、交換するときは日産販売会社にご相談ください。
- タイヤやロードホイールを交換したときは、ホイールバランスを確実にとってください。
- ホイールナットの締め付けトルクは、108N・m（11kg・m）です。
- バルブキャップは日産純正品を使用してください。日産純正品以外のバルブキャップを使用すると腐食して固着し、外れなくなる場合があります。



ZSD0035

- バルブキャップは工具などを使用して締め付けると、バルブキャップが破損するおそれがあります。

万一のとき 6

●ドアが開かないときは…… 344
インテリジェントキーでドアが開かない 344

●エンジンが始動しないときは…… 345
インテリジェントキーで始動できない…… 345
ジャンプスタートのしかた…… 346

●ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは… 348
ハンドルロック（ステアリングロック）の解除のしかた… 348

●各種警告機能について…… 349
警告灯がついたときは…… 349
ブザー（警報音）が鳴ったときは…… 353

●くもりが取れないときは…… 354
窓ガラスのくもりの取りかた…… 354

●動かないときは…… 355
セレクトレバーが動かない…… 355
雪道やぬかるみからの脱出のしかた…… 355
けん引について…… 356

●路上で故障したときは…… 359
発炎筒の使いかた…… 359
故障したときの対処方法…… 360

●工具・タイヤ応急修理キットについて…… 361
格納場所…… 361
ジャッキアップのしかた（ディーラーオプション）… 362

●パンクしたときは…… 365
タイヤ応急修理のしかた…… 365

●オーバーヒートしたときは…… 370

●水没したときは…… 371

●ヒューズを点検・交換するときは…… 373

●電球（バルブ）を交換するときは…… 375

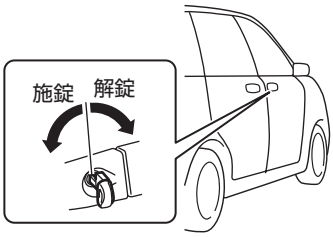
●事故がおきたときは…… 382

ドアが開かないときは

インテリジェントキーでドアが開かない

■メカニカルキーによるドアの施錠・解錠

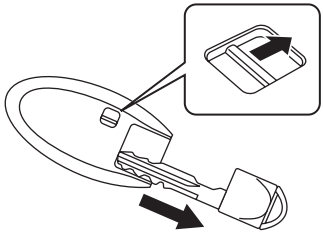
車両前方に回すと解錠し、車両後方に回すと施錠します。



ZIC0469

知識

- メカニカルキーはインテリジェントキーに内蔵されています。

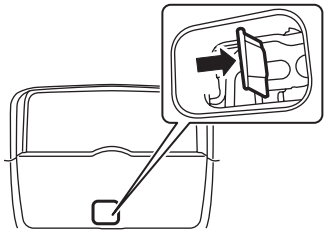


ZIC0035

■バックドアの解錠

バッテリーあがりなどにより、電磁式バックドアオープナースイッチでバックドアを開けられなくなったときは、次の操作をしてください。

①バックドア車内側にあるカバーの下側をお手持ちのマイナスドライバーなどにあて布をして外します。
②レバーを矢印の方向に動かし、解錠します。



ZIC0483

③バックドアを持ち上げます。

アドバイス

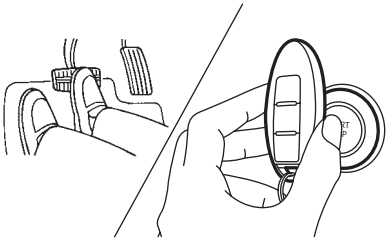
- 操作後はなるべく早く日産販売会社で点検を受けてください。

エンジンが始動しないときは

インテリジェントキーで始動できない

インテリジェントキーの電池が切れたときや、使用環境によりインテリジェントキーと車両の通信が正常に行われないときには、以下の手順でエンジンを始動してください。

①セレクトレバーがPにあることを確認し、ブレーキペダルを踏みます。
②インテリジェントキーの裏面を、エンジンスイッチに接触させます。（ブザーが“ピピッ”と鳴ります。）



ZPA0396

③LOCKの表示が点灯してから約10秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままエンジンスイッチを押すとエンジンが始動します。
・ブレーキペダルから足を離してエンジンスイッチを押すと、電源が切り替わります。

アドバイス

- 上記の操作で始動できない場合は、早めに日産販売会社へ連絡してください。

- エンジンを止めるときは、通常のときと同じように、セレクトレバーをPにしてからエンジンスイッチを押してください。

知識

- ドアの施錠・解錠は、メカニカルキーを使って行ってください。（P.39）
- インテリジェントキーの電池が切れたときは、早めに電池を交換してください。（P.35）

ジャンプスタートのしかた

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからないとき。
- ライトがいつもより極端に暗いとき。
- ホーンの音が小さい、または鳴らないとき。

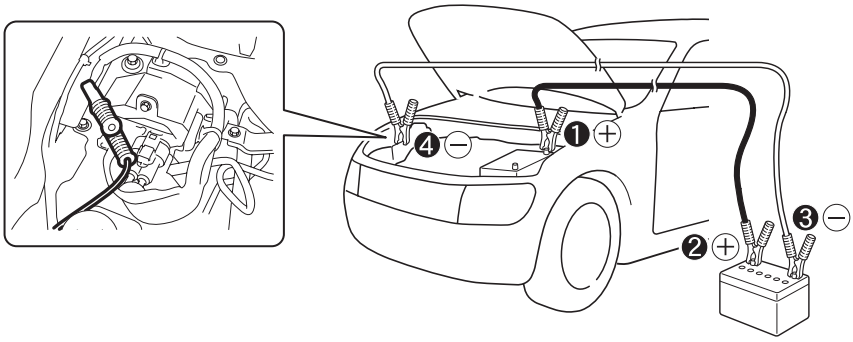
■処置のしかた

12V（ボルト）バッテリー仕様の救援車を依頼し、ブースターケーブル（別売り）をつなぎ始動してください。

①電源ポジションをOFF、またはLOCKにします。
②ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1本目
❶自車(あがった)バッテリーの⊕端子
❷救援車(正常な)バッテリーの⊕端子

2本目
❸救援車(正常な)バッテリーの⊖端子
❹自車の車体（バッテリーから離れたボルトなど）



ZCE0463

⚠ 警告

- ブースターケーブルをつなぐときは、以下のことを必ず守ってください。火花が発生し、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
  - ・ブースターケーブルを正しい順番と位置でつなぐ。
  - ・ブースターケーブルを自車バッテリーの⊖端子に直接つながない。
  - ・ブースターケーブルの⊕端子と⊖端子を接触させない。

③救援車のエンジンを始動し、エンジン回転数を少し高めにします。
④自車のエンジンをかけます。
・エンジンをかけるときは、ヘッドランプやエアコンなどはOFFにしてください。
・エンジンが始動しても、しばらくエアコンやオーディオ★を使わないでください。

アドバイス

- エンジンが始動できない場合には、一旦電源ポジションをOFFにして、10秒以上待ってから再始動してください。

⑤ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。
⑥早めに日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 警告

- バッテリーを充電するときは換気を十分に行い、火気は近づけないでください。バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に付着すると、失明や炎症など重大な傷害につながるおそれがあります。万一、付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、飲み込んだときは多量の水を飲んで応急処置をしたあと、医師の診療を受けてください。

⚠ 注意

- ブースターケーブルのワニグチクリップは、車体に触れたり、他のワニグチクリップと接触しないように注意してください。
- ブースターケーブルは、エンジン始動時の振動で外れたりしないように、確実につないでください。
- ブースターケーブルをつなぐときや外すときは、冷却ファンやベルトに巻き込まないように注意してください。

アドバイス

- 押しがけでの始動はできません。
- バッテリーはお客さまの車に適合した日産純正部品をおすすめします。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。
- バッテリーがあがるとハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。

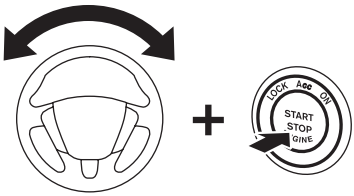
ハンドルがロックし、エンジンの始動ができないときは

ハンドルがロックされているときは、エンジンスイッチを押しても電源ポジションが切り替わらない場合があります。次の手順でハンドルロック（ステアリングロック）を解除してください。

ハンドルロック（ステアリングロック）の解除のしかた

●ハンドルを左右に回しながらエンジンスイッチを押します。ロックが解除できないときは、繰り返し行ってください。

エンジンのかけかた…P.177



ZCE0761

アドバイス

- ハンドルがロックされていても、数mm～数cmだけ動かすことができます。その範囲内でハンドルを左右にゆっくり回しながらエンジンスイッチを押してください。
- ハンドルがロックされているときはハンドルが重く、力を入れないと回すことができないことがあります。
- バッテリーがあがるとハンドルロック（ステアリングロック）の解除が行えず、電源ポジションが切り替わらなくなります。すみやかにバッテリーを充電してください。

各種警告機能について

警告灯がついたときは

運転中に警告灯・表示灯が点灯、または点滅したときは、次の対処方法に従ってください。

車両故障のおそれがない表示灯については、P.150をお読みください。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
故障警告灯（MIL） 	● 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯、または点滅します。	点灯、または点滅したときは、ただちに日産販売会社に連絡してください。
充電警告灯 	● 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 ● エンジン回転中、バッテリーの充電系統に異常があると点灯します。	点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。 点灯したまま走行しないでください。バッテリーが破損したり、エンジンが突然停止し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
ブレーキ警告灯 	● 電源ポジションをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。（パーキングブレーキをかけているときは消灯しません。） ● 電源ポジションがONのとき、次の場合は点灯し続けます。	
	・パーキングブレーキをかけているとき。	走行中はパーキングブレーキを解除してください。
	・ブレーキ液が不足しているとき。	パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、ただちに安全な場所に停車して、日産販売会社に連絡してください。この場合はブレーキの効きが極度に悪くなっているおそれがあります。ブレーキの効きが悪いときは、ブレーキペダルを強く踏んで停車してください。
	・ブレーキシステムに異常があるとき。	エンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 パーキングブレーキを解除しても点灯し続けるときは、点灯したまま走行しないでください。また、ブレーキ液が規定量以下になっていたら走行しないでください。ブレーキの効きが極度に悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
ABS警告灯 	• 電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。 • 電源ポジションがONのとき、ABSのシステムに異常があると点灯します。	電源ポジションをONにしても点灯しないとき、またはエンジン始動後や走行中に点灯したときは、高速走行や急ブレーキを避け、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
電動ポンプ式油圧パワーステアリング警告灯 	• 電源ポジションをONにすると点灯し、エンジンがかかると消灯します。 • エンジン回転中、電動パワーステアリングのシステムに異常があると点灯します。	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
シートベルト警告灯 	• 電源ポジションがONのとき、運転者がシートベルトを着用していないと点灯します。	点灯したときはシートベルトを着用してください。 走行中は全員がシートベルトを着用してください。着用しないと、万一の事故時や急ブレーキ時に、死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。
SRSエアバッグ警告灯 	• 電源ポジションをONにすると約7秒間点灯後、消灯します。 • 電源ポジションがONのとき、SRSエアバッグのシステム、プリテンショナー機能に異常があると、点灯、または点滅を続けます。	電源ポジションをONにしても点灯しないとき、または約7秒間たっても点灯、点滅を続けるときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。 電源ポジションをONにしても点灯しないときや、点灯、点滅を続けるときは、放置したまま走行しないでください。万一のときSRSエアバッグ、プリテンショナーシートベルトが正常に作動せず、重大な傷害につながるおそれがあります。

名称	点灯・点滅する条件	説明・対処方法
VDC警告灯 	●電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。 ●VDC作動中に点滅します。 ●電源ポジションがONのとき、VDCのシステムに異常があると点灯します。	点灯したときは、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
AFS警告灯 	●電源ポジションをONにすると約1秒間点灯後、消灯します。 ●電源ポジションがONのとき、アクティブAFSのシステムに異常があると点滅します。	点滅したときは、日産販売会社で点検を受けてください。
マスターウォーニング 	●電源ポジションをONにすると数秒間点灯後、消灯します。 ●アドバンスドドライブアシストディスプレイに警告が表示されると点灯します。	点灯したときはアドバンスドドライブアシストディスプレイの警告表示を確認して、適切な処置をしてください。
インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 	●次の場合は点灯します。 ・インテリジェント エマージェンシーブレーキ、インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）、または踏み間違い衝突防止アシストのシステムに異常が発生しているとき ●次の場合は点滅します。 ・インテリジェント エマージェンシーブレーキまたは踏み間違い衝突防止アシストが作動したとき	エンジン再始動後も警告灯が点灯し続けるときは、システムの異常が考えられます。通常走行には支障はありませんが、日産販売会社で点検を受けてください。 各システムについては、インテリジェント エマージェンシーブレーキ（P.239）、踏み間違い衝突防止アシスト（P.251）及びインテリジェント FCW（前方衝突予測警報）をお読みください。

ブザー（警報音）が鳴ったときは

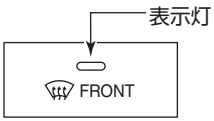
どこで音が鳴りましたか？	どんな音が鳴りましたか？	何をしたときに鳴りましたか？	確認すること
車外	ピピピピ…	リクエストスイッチを押したとき	電源ポジションがAcc、またはONのままになっていないか インテリジェントキーを車内、またはラゲッジルーム内に置き忘れていないか いずれかのドアが半ドアになっていないか ドアを閉める前にリクエストスイッチを押していないか
		インテリジェントキーのドア施錠スイッチを押したとき	ドアを閉める前にドア施錠スイッチを押していないか いずれかのドアが半ドアになっていないか
		ドアを閉めたとき	無意識にリクエストスイッチを押していないか
	ピッピッピッ	ドアを閉めたとき	電源ポジションがAcc、またはONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていないか
	ピー	ドアを閉めたとき	セレクトレバーがPになっているか
車内	ピピピピッ、ピピピピッ…	運転席ドアを開けたとき	電源ポジションがAcc、またはONのままになっていないか
	ピピッピピッピピッ	ドアを閉めたとき	電源ポジションがAcc、またはONのまま、インテリジェントキーが車外へ持ち出されていないか
		エンジンスイッチを押したとき	インテリジェントキーを携帯しているか
	ピピピピピピッ	エンジンスイッチを押したとき	セレクトレバーがPになっているか
		セレクトレバーをPにしたとき	電源ポジションがAcc、またはONのままになっていないか

くもりが取れないときは

窓ガラスのくもりの取りかた

■フロント、サイドウインドーガラス

●デフロスタースイッチを押します。（スイッチの表示灯が点灯）



ZCE0641

●止めるときは、もう一度デフロスタースイッチを押します。（スイッチの表示灯が消灯）

⚠ 注意

- デフロスタースイッチをONにしているときは、エアコンの設定温度を低くすると、フロントウインドーガラスの外側に露が付き、視界を妨げるおそれがあります。

アドバイス

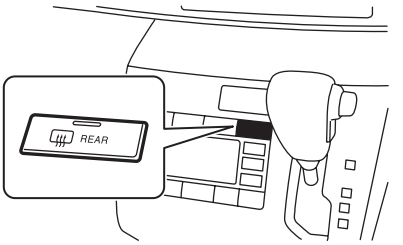
- デフロスタースイッチをONにしているときは、内気循環にしないでください。くもりが取れにくくなります。

知識

- エアコンがOFFのとき、デフロスタースイッチを押すとエアコンも自動的に作動します。

■バックドアガラス

リヤウインドーデフォッガースイッチ（P.176）を使い、くもりを取ってください。



ZSD0075

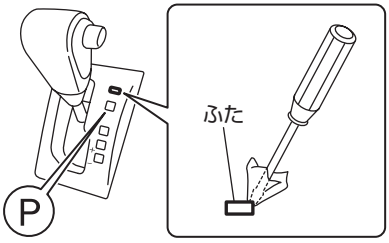
動かないときは

セレクトレバーが動かない

万一バッテリーあがりなどでセレクトレバーをPから動かせないときに使います。

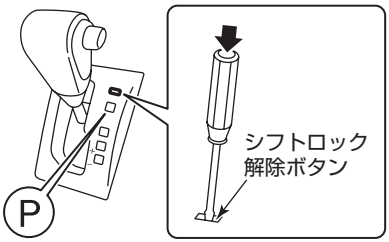
①安全のためパーキングブレーキをかけ、ブレーキペダルを踏み続けます。

②お手持ちのマイナスドライバーなどでふたを外します。傷つきを防ぐため、ドライバーに布などを当てて外してください。



ZPA1698

③お手持ちのマイナスドライバーなどでシフトロック解除ボタンを押しながら、セレクトレバーのボタンを押してセレクトレバーを動かします。



ZPA1699

アドバイス

- セレクトレバーをPから動かせないときは、シフトロックシステム（P.21）などの故障が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

雪道やぬかるみからの脱出のしかた

砂地、雪道、ぬかるみなどから抜け出せなくなったときは、次の方法で脱出してください。

①VDC OFFスイッチを押して、VDCをOFFにします。

②4WD車は、駆動モード切り替えスイッチ（P.192）でAUTOモードまたはLOCKモードにします。

③車両の前後に障害物がないことを確認します。

④ハンドルを左右に回し、前輪の周囲をならします。必要に応じ、タイヤの下に木材などをそえてください。

⑤ゆっくりとアクセルペダルを踏み込み、前進または後退します。
周囲の安全を確認したうえで、前進と後退を繰り返してください。

⚠ 警告

- 周囲の人や物との衝突を避けるため、前進と後退を繰り返すときは、周辺に何もないことを確認してください。特に脱出の瞬間は、車両が前方または後方に飛び出すおそれがあります。
- 必要以上にアクセルペダルを踏み込まないでください。急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 数回試しても脱出できないときは、日産販売会社またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

けん引について

車が動かなかったり、異常な音がするときは、けん引せずに日産販売会社へご連絡ください。
けん引が必要なときは、できるだけ日産販売会社、または専門業者に依頼してください。

JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

他車にけん引してもらうとき

⚠ 警告

- 電源ポジションがLOCKでバッテリーがあがると、ハンドルロック（ステアリングロック）の解除ができなくなるため、このままの状態でけん引しないでください。けん引するときは救援車のバッテリーとつなぎ、電源ポジションをAcc、またはONにしてハンドル操作ができる状態で行ってください。また、けん引中は電源ポジションをLOCKにしないでください。ハンドル操作ができなくなり危険です。

⚠ 注意

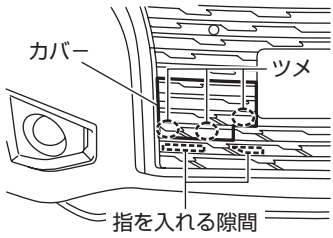
- エンジンが停止していると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなる、またはハンドル操作力が重くなりますので注意してください。
- 長い下り坂では、ブレーキが過熱して効かなくなり、事故につながるおそれがあります。このような場所でけん引するときは、レッカー車で引いてもらってください。
- 4WD車はけん引してもらう場合、必ず駆動モード切り替えスイッチを2WDに切り替えてください。LOCKモードのままけん引すると、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。
- 4WD車はトレーラーに車載するか、4輪接地の状態でけん引してもらってください。2輪を上げた状態でけん引すると、上げた車輪が回転して、思わぬ事故や故障につながるおそれがあります。

アドバイス

- けん引してもらうときは、速度30km/h以下、距離30km以内にしてください。高速走行や長距離走行をすると、トランスアクスルが破損することがあります。できるだけレッカー車、またはトレーラーを依頼してください。
- けん引ロープはできるだけソフトロープを使い、バンパーに傷をつけないように注意してください。

①4WD車は2WDに切り替えてください。
ALL MODE4×4…P.192

②カバー下の隙間に手を入れ、ツメ3箇所を上方向に押しながらカバーを手前に引いて外します。

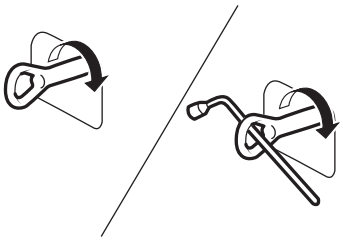


ZCE0774

アドバイス

- 工具に布などを当てながら外してください。車体に傷をつけるおそれがあります。

③ホイールナットレンチを使ってけん引フックを確実に取り付けます。
工具…P.361



ZCE0128

④自車及び他車のけん引フックにロープを掛けます。

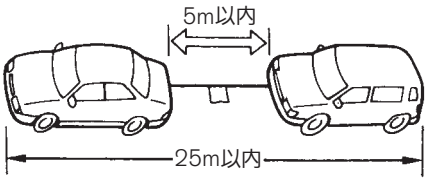
⚠ 注意

- 指定以外のフックは絶対に使わないでください。フック部が破損するおそれがあります。

アドバイス

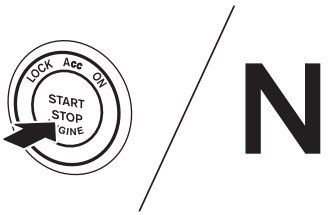
- ロープを掛けるときは、できるだけ同じ側で水平になるように掛けてください。

⑤ロープ中央に30cm×30cm以上の白い布を必ず取り付けます。



TSA2438Z

⑥エンジンをかけられるときはエンジンをかけ、セレクトレバーをNにします。

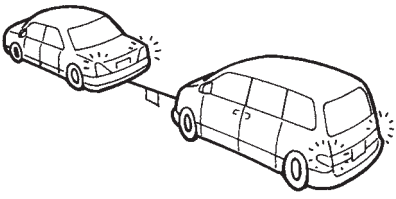


ZCE0403

知識

- エンジンをかけられないときは、電源ポジションをAcc、またはOFFにしてください。

⑦パーキングブレーキを解除します。
⑧けん引中はロープをたるませないように、前の車の制動灯に注意してください。



TCD0036Z

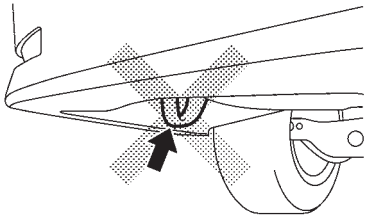
- 使い終わったら、けん引フックを取り付けた逆の手順で取り外します。

アドバイス

- カバーを取り付けるときは、ツメの裏側部分を押し付けるようにして取り付けてください。

リヤフックについて

後ろ側のフックは船舶輸送時の固定専用です。
けん引やトレーラー輸送時などの固定には絶対に使わないでください。
この車で他車をけん引することはできません。



ZCE0461

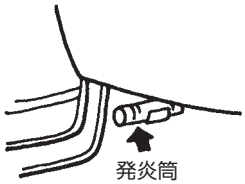
路上で故障したときは

必ず安全な場所に車を退避させ、非常点滅表示灯などで後続車に危険を知らせてください。
安全な場所に退避できないときは、発炎筒で後続車に危険を知らせてください。

発炎筒の使いかた

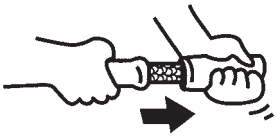
故障や事故などで緊急停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

①助手席足元部のホルダーから発炎筒を外します。



TCA0157Z

②本体を回しながらケースから引き抜きます。



TCA0158Z

③点火部をケースのすり薬でこすって点火します。



TCA0159Z

⚠ 警告

- お子さまには触らせないでください。いたずらなどで発火するおそれがあり危険です。
- 可燃物の近くで使わないでください。引火する危険があります。
- 点火は必ず車外で行い、点火後は顔や身体に近づけないでください。やけどをする危険があります。
- トンネル内では使わないでください。煙で視界が悪くなり、他車の走行の妨げとなり事故をまねくおそれがあります。このときは非常点滅表示灯を使ってください。

知識

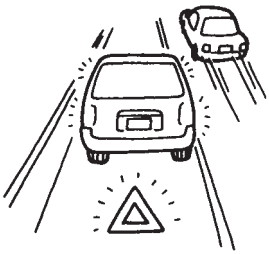
- 点火後は約5分間燃え続けます。
- 発炎筒に記載してある使用方法、注意をあらかじめ確認しておいてください。
- 発炎筒には有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。

故障したときの対処方法

■路上で故障したとき

①車を路肩などに止め、非常点滅表示灯を点滅させます。

②高速道路や自動車専用道路では、車の後方に停止表示板、または停止表示灯を置きます。

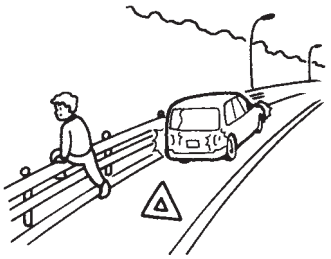


TCA0210Z

知識

- 高速道路や自動車専用道路では、停止表示板（停止表示灯）の表示が法律で義務づけられています。

③全員車から降り、ガードレールの外など安全な場所に、すみやかに避難してください。



TCA0211Z

④安全を確保後、救援を頼みます。

■エンストしたとき

①あわてずエンジンをかけ直してみます。

②エンジンがかからないときは、付近の人に救援を求めて、車を押してもらい、安全な場所に移動してください。このときセレクトレバーをNにしてください。



TCB0046Z

③安全な場所に移動後、救援を頼みます。

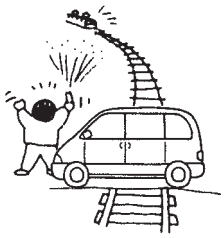
注意

- エンジンが止まると、ブレーキやパワーステアリングの倍力装置が働かなくなるため、極度にブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作力が重くなりますので注意してください。

■踏み切りで出られないとき

①ただちに踏み切りの非常ボタンを押してください。

②発炎筒で一刻も早く列車に知らせてください。



TCB0047Z

工具・タイヤ応急修理キットについて

格納場所

● 工具、タイヤ応急修理キットは、ラゲッジサイドボックス（左側）に格納されています。



ZCE0490

※車種により、エアコンプレッサーの形状が異なります。

⚠ 注意

- 工具を使ったあとは、元の場所に格納してください。車内に放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

知識

- 停止表示板（停止表示灯）、輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 工具の種類、発炎筒（P.359）などは、万一のときに困らないようにあらかじめ位置を確認しておいてください。
- 修理剤ボトルには有効期限があります。期限が切れる前に日産販売会社でお買い求めください。
- 修理剤ボトルの有効期限は、ボトル上面のラベルに記載されています。（例：○○/○○○○→月/年）
- タイヤ応急修理キットは、指定の格納場所に保管してください。

タイヤ応急修理のしかた…P.365

ジャッキアップのしかた（ディーラーオプション）

ジャッキとジャッキハンドルバーは標準で搭載されていません。
ジャッキアップする場合は、この車両専用のジャッキを準備してください。
ご購入については、日産販売会社にご相談ください。

⚠ 警告

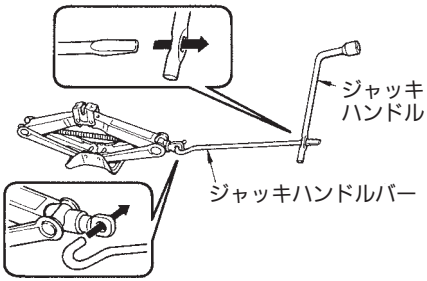
- ジャッキアップしたときは絶対に車両の下に入らないでください。
  ジャッキが外れると、重大な傷害につながるおそれがあり非常に危険です。
- ジャッキアップ中は、エンジンを始動しないでください。車が発進し、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ジャッキを使うときは、次のことを必ず守ってください。
  - ・ジャッキは必ずこの車両専用のものを使い、他車のジャッキは使わないでください。また、この車両専用のジャッキは他車に使わないでください。
  - ・ジャッキはタイヤ交換、またはタイヤチェーンの脱着以外には使わないでください。
  - ・平坦で硬いところに駐車して作業してください。
  - ・使用前にパーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにしてください。
  - ・輪止めなどで車を固定してください。
  - ・ジャッキの上下に台やブロックなどを入れないでください。
  - ・人や荷物は必ず車から降ろしてください。

■ジャッキハンドルのセットのしかた

- ジャッキにジャッキハンドルバーとジャッキハンドルをセットします。



TCA0215Z

アドバイス

- ジャッキハンドルバーは、確実にジャッキハンドルの穴に差し込んでください。

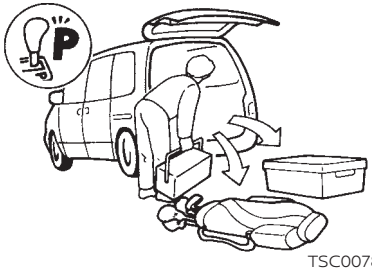
■ジャッキアップのしかた

交通の妨げにならず、安全に作業ができる地面（平坦な硬い場所）に停車し、人や荷物を車から降ろします。

⚠ 注意

- やわらかい地面の上では行わないでください。ジャッキが倒れ、事故につながるおそれがあります。

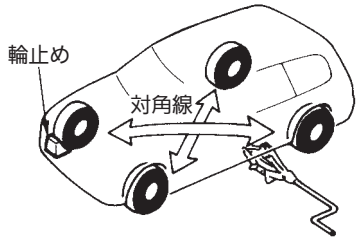
①パーキングブレーキをかけ、セレクトレバーをPにし、エンジンを止めます。



TSC0078Z

②ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤに輪止めをします。

・輪止めは、前輪をジャッキアップするときは後輪の後ろ側、後輪をジャッキアップするときは前輪の前側に置きます。



TSA2453Z

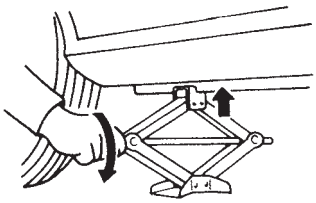
⚠ 注意

- やむを得ず傾斜地で作業する場合は、ジャッキをかける位置と対角線の位置にあるタイヤの下り側に輪止めをし、車が動き出さないようにしてください。

知識

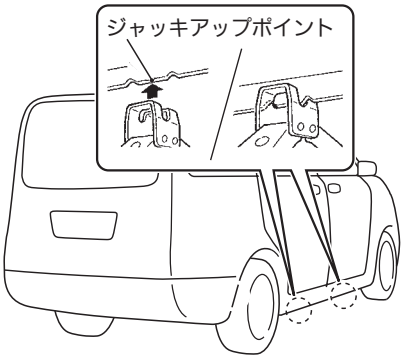
- 輪止めは標準で搭載されていませんので必要に応じて準備してください。なお、輪止めはタイヤを固定できる大きさの石、木片などで代用できます。

③ジャッキを手で回し、ジャッキの溝がジャッキアップポイントの中央に入るまで上げます。



TCA0172Z

ジャッキアップポイント

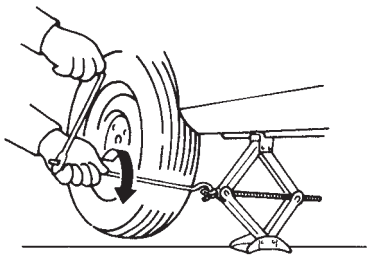


ESF0144Z

アドバイス

- ジャッキアップポイント以外の所にはジャッキをかけないでください。車体が変形するおそれがあります。

④ジャッキハンドルを回して、タイヤと地面が少し離れるまで、ジャッキアップします。



TCA0174Z

⚠ 注意

- ジャッキハンドルを回すときは、ジャッキハンドルバーを手でしっかり握って回してください。回転中に外れると、思わぬケガをするおそれがあります。

パンクしたときは

パンクしたときの応急処置として、パンクしたタイヤを応急修理してください。

タイヤ応急修理のしかた

タイヤトレッド部（接地面）に刺さった釘やネジなどによる軽度のパンクは、タイヤ応急修理キットで応急修理できます。
しかし本キットは応急修理を目的としているため、修理後はすみやかに日産販売会社、または専門の修理業者で点検、恒久修理を行ってください。

タイヤ応急修理キットの格納場所… P.361

次の場合、応急修理はできませんので、日産販売会社、またはJAFなどに連絡してください。

- 修理剤の有効期限が切れている場合
- 約6mm以上の切り傷や刺し傷がある場合
- タイヤサイド部が損傷を受けた場合
- ほとんど空気の抜けた状態で走行した場合
- タイヤがリムの外側、または内側へ完全に外れている場合
- リムが破損している場合
- タイヤが2本以上パンクしている場合

⚠ 注意

応急修理キットについて

- 応急修理キットは、必ず日産純正品を使用してください。
- 応急修理キットは、搭載車両専用です。他の車には使用しないでください。
- 応急修理キットは自動車用タイヤの空気充填や空気圧チェック以外で使用しないでください。
- 応急修理キットはDC12V専用です。他の電源での使用はできません。
- 水やほこりを避けて使用してください。
- 分解、改造などは絶対にしないでください。
- コンプレッサーに衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- お子さまが誤って手を触れないように注意してください。

修理剤について

- 飲むと健康に害があります。万一誤って飲んだ場合は、できるだけたくさんの水を飲み、ただちに医師の診療を受けてください。
- 万一目や皮膚に付着した場合には、水でよく洗い流してください。
  それでも異常を感じたときは、医師の診療を受けてください。

知識

- タイヤ応急修理キットの修理剤を使用したタイヤは、新しいタイヤに交換されることをおすすめします。タイヤの交換については専門の修理業者と相談し、損傷が激しい場合は交換、修理可能と判断された場合は修理を実施してください。
- ホイールは付着した修理剤をふき取れば再使用できますが、タイヤのバルブは新しいものと取り替えてください。
- 修理剤は再使用できません。使用後は新しい修理剤をお求めください。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

■応急修理のしかた

※車種により、エアコンプレッサーの形状が異なります。

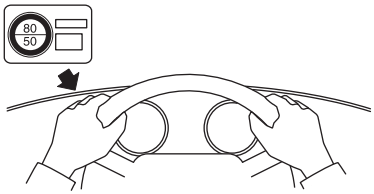
アドバイス

- タイヤに釘やネジが刺さっている場合は、抜いてしまうとパンク穴が大きくなり空気が漏れやすくなるため、抜かずにタイヤ応急修理キットで応急修理してください。

タイヤ応急修理キットは、ラゲッジルーム左側のふたを開けて取り出します。

格納場所…P.361

①コンプレッサーの速度制限シールをはがし、運転者のよく見えるところに貼ります。

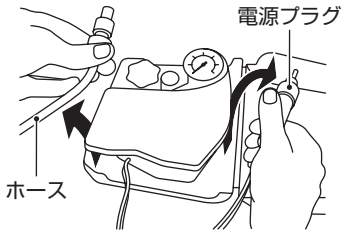


ZCE0342

注意

- ハンドルのセンターパッド部には速度制限シールを貼らないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。
  また、警告灯やスピードメーターが見えなくなる位置にも貼らないでください。

②コンプレッサーからホースと電源プラグを取り出します。



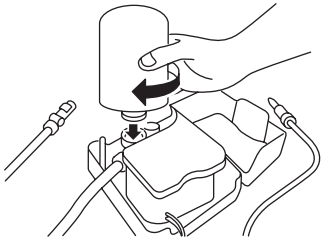
ZCE0343

③コンプレッサーから、ボトルホルダーのキャップを外します。



ZCE0344

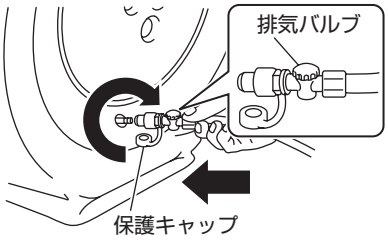
④修理剤ボトルのキャップを外し、内ぶたをつけたままボトルホルダーに取り付けます。
（ボトルホルダーにねじ込むと内ぶたが破れます。）



ZCE0345

⑤パンクしたタイヤのバルブからキャップを外します。

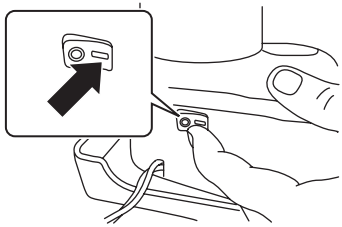
⑥ホース先端の保護キャップを外し、ホース（排気バルブが閉まっていることを確認してください）をパンクしたタイヤのバルブに確実にねじ込みます。



ZCE0346

⑦コンプレッサーのスイッチがOFF（「○」の位置）にあることを確認し、電源プラグを車内の電源ソケットに差し込みます。

⑧電源ポジションをAccにしてコンプレッサーのスイッチをON（「－」の位置）にし、タイヤを指定空気圧、または180kPa以上まで昇圧させます。
この際、実際の空気圧が測れるようにコンプレッサーを一時停止して圧力計で測定してください。
空気圧が高すぎる場合は、排気バルブを反時計回りに回して、空気を抜いてください。



ZCE0347

⚠ 注意

- ホースとタイヤの接続が不十分な場合、空気が漏れたり、修理剤が飛び散るおそれがあります。
- 破裂の危険があるので応急修理キット作動中は補修中のタイヤから離れてください。タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにコンプレッサーのスイッチを切り、修理を中止してください。
- バルブを介して修理剤を注入するため、圧力が600kPaに達することがありますが、異常ではありません。通常は、30秒ほどで下がります。

※タイヤの指定空気圧は運転席ドア開口部に表示、及び巻末のサービスデータに記載してあります。

アドバイス

- コンプレッサーは長時間使用すると故障につながるおそれがありますので、10分以上連続して作動させないでください。タイヤ空気圧を昇圧できない場合は修理できません。

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合

10分以内に180kPaまで昇圧できない場合は、タイヤがひどい損傷を受けているおそれがあります。
この場合は、本修理キットで応急修理することができません。日産販売会社、またはJAFなどに連絡してください。

JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

⑨指定空気圧、または180kPa以上まで昇圧できたら、コンプレッサーのスイッチを切り、電源プラグを電源ソケットから抜きます。ホースをバルブからすばやく取り外し、ホースに保護キャップを取り付け、バルブにキャップを取り付けます。

アドバイス

- ボトル内に残った液剤がこぼれないように、ボトルはボトルホルダーにつけたままにしておいてください。

⑩修理剤をタイヤ内に広げるため、10分間、または3km程度走行してください。80km/h以下の速度で注意深く運転してください。

⚠ 注意

- 空気を入れたあとは、ホースの口金が熱くなることがあります。やけどしないように注意してください。
- 走行するときは、低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してください。

⑪走行後、再度コンプレッサーのスイッチが OFF（「○」の位置）にあることを確認し、コンプレッサーのホースをタイヤのバルブに取り付け、コンプレッサーに付属している空気圧計でタイヤ空気圧をチェックしてください。

130kPa未満の場合

本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社、またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

130kPa以上指定空気圧未満の場合

コンプレッサーのスイッチをON（「－」の位置）にして指定空気圧まで昇圧し、⑩、⑪の作業を行います。

上記作業を繰り返しても指定空気圧より低下する場合は、本修理キットによる応急修理はできません。運転を中止して日産販売会社、またはJAFなどのロードサービスに連絡してください。

JAFの営業所一覧…メンテナンスノート「サービス網について」をお読みください。

指定空気圧の場合

応急修理は完了です。すみやかに日産販売会社、または専門の修理業者まで慎重に運転してください。

アドバイス

- 応急修理後の恒久修理の際、パンク穴を発見できないために恒久修理できないことがあります。そのまま走行を続ける場合は、こまめに空気圧をチェックしてください。頻繁に空気圧の低下がみられるときは、日産販売会社、または修理業者で点検を受けてください。

オーバーヒートしたときは

次のようなときは、オーバーヒートです。

- 水温計（P.111）がオーバーヒートの範囲を示したとき。
- エンジンルームのすき間から蒸気が出ているとき。

⚠ 警告

- エンジンルーム内は高温になっているため、エンジンフードを開けるときは十分に注意してください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
- エンジンが十分に冷えていないときは、ラジエーターやリザーバータンクのキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し、やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。

■処置のしかた

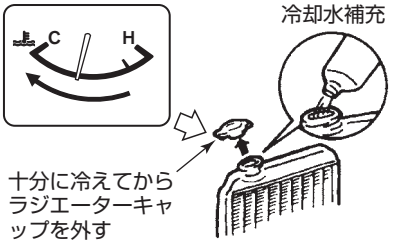
①ただちに安全な場所に停車します。

②エンジンをかけたままエンジンフードを開け、風通しをよくしてエンジンを冷やします。
万一、冷却ファンが回っていないときは、ただちにエンジンを止め、自然冷却してください。

⚠ 警告

- 蒸気が出ているときは、エンジンフードを開けないでください。やけどなど重大な傷害につながるおそれがあります。
エンジンを止め蒸気が出なくなるまで待ち、エンジンフードを開けてください。

③水温計がオーバーヒートの範囲より下がったら、エンジンを止めしばらく待ちます。
エンジンが十分冷えてから冷却水の量、ホースなどからの水漏れを点検してください。



ZCE0660

④冷却水が不足しているときは、ラジエーター（P.387、388）とリザーバータンク（P.387、388）に冷却水を補充してください。

・補充後は、しっかりキャップを閉めてください。

アドバイス

- 応急的に水だけを補充したときは、できるだけ早く冷却水を交換してください。

⑤走行中、再度水温計がオーバーヒートの範囲を示したときは、①～④の作業を繰り返し行ってください。

⑥早めに日産販売会社で点検を受けてください。

水没したときは

■水没したときの対処のしかた

水没したときは、次のような対処方法で車外に脱出してください。

- シートベルトを外して車外に脱出してください。
- ドアが開く水位が低いうちにドアを開けて、車外に脱出してください。
- ドアが開かなかった場合、窓ガラスを開け、窓から車外に脱出してください。
- パワーウインドースイッチを押しても窓ガラスが開かない場合、以下の方法で脱出してください。
  - ・緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がある場合、窓ガラスを割り窓から車外に脱出してください。
  - ・緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）がない場合、または緊急脱出用ハンマーで窓ガラスが割れない場合には、車内外の水位が同じ高さくらいまで浸水するのを待ち、ドアを強く押し開けて車外に脱出してください。（車内外の水圧差がなくなると、ドアを開けることができます。）

⚠ 警告

- 水位が窓ガラスよりも高いとき、緊急脱出用ハンマーを使用した場合、割れたガラスが車内に入り、ケガをするおそれがあります。

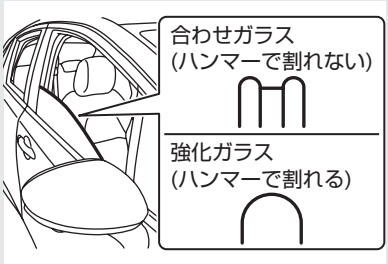
緊急脱出用ハンマー（ディーラーオプション）について

- フロントウインドーガラスは合わせガラスのため、緊急脱出用ハンマーで割ることはできません。前席ドアガラス、後席ドアガラス、バックドアガラスを割って脱出してください。

※ドアガラスについては、車両の仕様変更により、合わせガラスの場合があります。
合わせ、または強化ガラスの見分け方法については、ガラスの断面、もしくは刻印（マーク）を確認することで見分けることができます。

ガラスの断面で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスを半分ほど開け、断面を上から確認し、2枚のガラスが貼り合わせられている場合は合わせガラスとなります。



ZCE0776

⚠ 警告

ガラスにある刻印（マーク）で合わせガラスを見分ける方法

- ドアガラスには次のような刻印（マーク）が表示されています。この表示によって、合わせガラスかどうかを見分けることができます。

Eマーク



■合わせガラス：XI、V-XI
■強化ガラス：無印、V

JISマーク



■合わせガラス：L
■強化ガラス：T

ZCE0777

※車両によっては、刻印（マーク）が表示されていない場合があります。

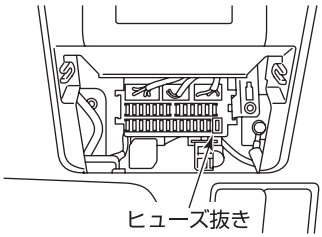
ヒューズを点検・交換するときは

ランプがつかないときや電気系統の装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。
故障の状況から、関係するヒューズの位置を確認してください。

■ヒューズボックスの位置

ヒューズボックスは運転席足元にある運転席アンダーポケットの奥とエンジンルームにあります。

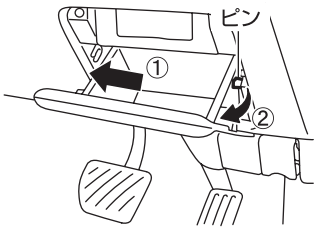
運転席足元



ZCE0464

取り外しかた

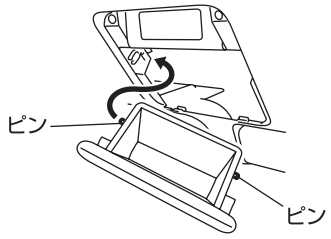
①ふたを開けた状態で上方向に引き、下側のロック部を外します。
②運転席アンダーポケットを傾け、ピンを右側から片方ずつ抜いて取り外します。



ZCE0492

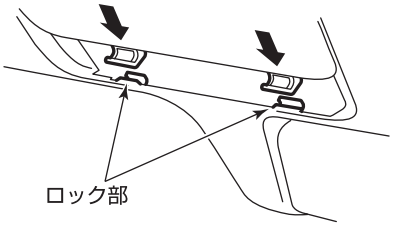
取り付けかた

①運転席アンダーポケットを傾け、ピンを左側から片方ずつ奥に入れます。



ZCE0493

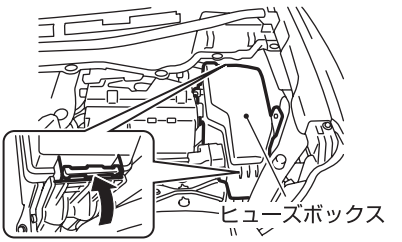
②運転席アンダーポケットの底面の突起とホルダーの下側のロック部を合わせて“カチッ”と音がするまで押し込みます。



ZCE0494

③ふたを閉めます。

エンジンルーム



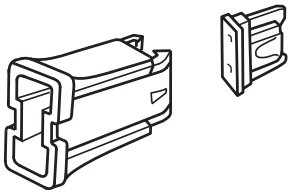
ZCE0465

■ヒューズの位置

- ヒューズボックスの裏側に表示してあります。
- 車種により、付いていないヒューズがあります。

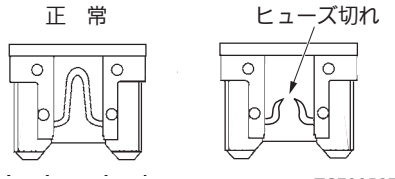
■ヒューズの交換のしかた

①電源ポジションをOFF、またはLOCKにします。
②ヒューズボックスのふたを開けます。
③ヒューズ抜きをヒューズに差し込んで引き抜き、ヒューズが切れていないか確認します。



TCG0005Z

④ヒューズが切れているときは、同じ容量のヒューズと交換します。



TCE0058Z

⚠ 警告

- 規定容量以外のヒューズや、ヒューズの代わりに針金、銀紙などは絶対に使わないでください。配線などが過熱、焼損し、火災につながるおそれがあります。

アドバイス

- 交換してもヒューズが切れるときは、日産販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズ抜きは、ヒューズに対して垂直に差し込み、引き抜いてください。
- ヒューズを交換したときは、確実に差し込まれていることを確認してください。

知識

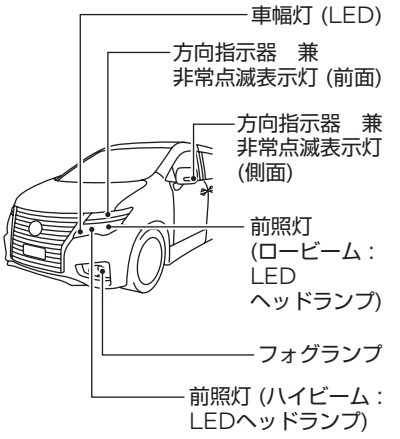
- エンジンルーム内のヒューズを交換するときは、日産販売会社にご相談ください。

電球（バルブ）を交換するときは

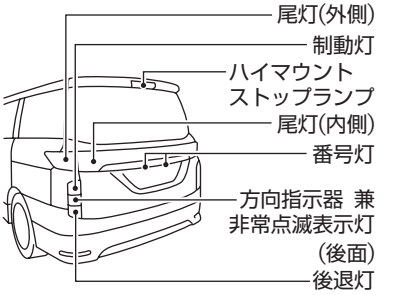
外装ランプが点灯しないときは、バルブ切れが考えられます。バルブを点検し、切れているときは交換してください。

●バルブの交換作業が不慣れな方や部品の破損などが心配な方は、日産販売会社にご相談ください。

■外装ランプの位置



ZCE0775



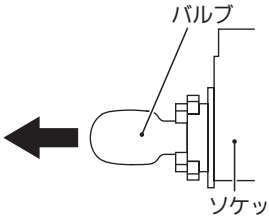
ZCE0650

●以下の電球が点灯しないときは、日産販売会社で点検を受けてください。

・前照灯
・車幅灯
・制動灯
・ハイマウントストップランプ
・方向指示器 兼 非常点滅表示灯（側面）

■バルブの外しかた

各バルブをソケットから外すときは、バルブを持ち、引き抜きます。



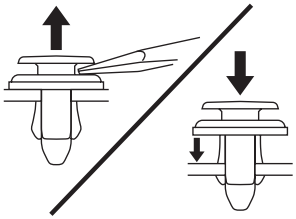
ESH0655Z

■クリップの脱着のしかた

バルブの交換作業をするときは、クリップを外し、内装などを脱着します。

以下の方法で、各クリップを脱着してください。

- 切り欠きにお手持ちの工具（マイナスドライバーなど）を差し込み、ロックを解除してから引き抜きます。
- 取り付けるときは、ロックが解除された状態で取り付け、指でロックを押し込みます。



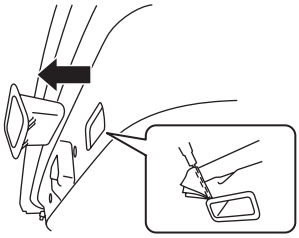
ESG0745Z

■バックドアフィニッシャーインナーの外しかた

以下のバルブを交換するときは、バックドアフィニッシャーインナーを外す必要があります。お手持ちの工具を使い、次の手順で行ってください。

・尾灯（内側）
・番号灯

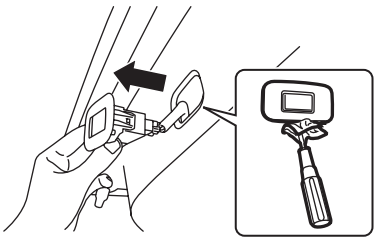
①バックドアグリップを外します。



ZCE0467

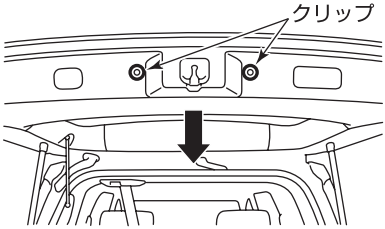
②リモコンオートバックドア付車はバックドアインナースイッチのカバーを外し、コネクターを外します。

リモコンオートバックドア無車は、バックドアインナースイッチと同じ位置にあるカバーを外します。



ZCE0468

③クリップを外し、バックドアフィニッシャーインナーを下方向に引きながら外します。



ZCE0469

アドバイス

- 無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

■バルブ交換のしかた

- 交換をする前にバッテリーの㊀端子を外してください。
- 指定された容量のバルブ（P.386）に交換してください。
- 交換したあとは、点灯することを確認してください。
  点灯しない場合は、日産販売会社で点検を受けてください。

⚠ 注意

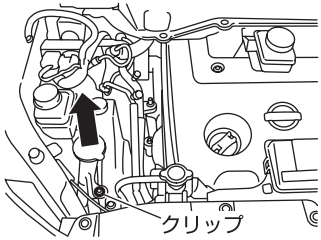
- バルブの交換は、エンジンルームやバルブが冷えた状態で行ってください。やけどをするおそれがあります。
- バルブ交換をするときは、軍手などを着用して作業してください。
- ステーなどの端で指や腕をケガしないように十分注意してください。

アドバイス

- 外した部品は確実に取り付けてください。水が入り故障の原因になるおそれがあります。
- バルブに油が付着したときは柔らかい布などでふき取ってください。また、素手でガラス部分に触れないでください。バルブの寿命が短くなったりバルブが破損するおそれがあります。

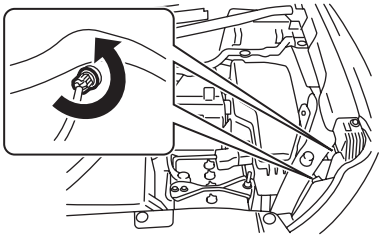
方向指示器 兼 非常点滅表示灯（前面）

①運転席側のバルブを交換する場合は、クリップを外し、ウォッシャータンクインレットを外します。（助手席側の交換の場合は②以降をお読みください。）



ZCE0495

②ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



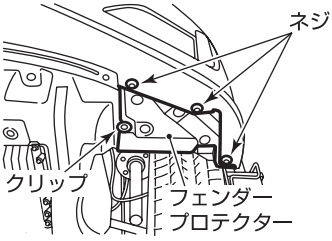
ZCE0646

③取り外したときと逆の手順で取り付けます。

フォグランプ

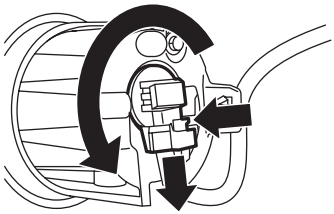
①作業スペースを確保するために、作業する側と反対方向にハンドルを切ります。

②フロントバンパー下側のネジ（3箇所）とクリップ（1箇所）を外し、フェンダープロテクターをめくります。



ZCE0473

③コネクターを外してからソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



ZCE0474

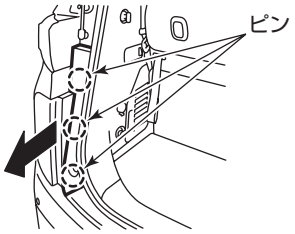
④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）、後退灯

①バックドアを開けます。

②サイドシールドリヤバンパーコーナーを外します。

・サイドシールドリヤバンパーコーナーは、裏側がピン3箇所で固定されています。

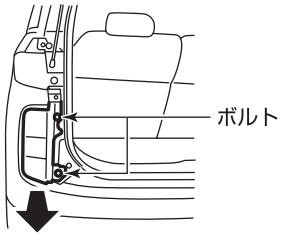


ZCE0475

アドバイス

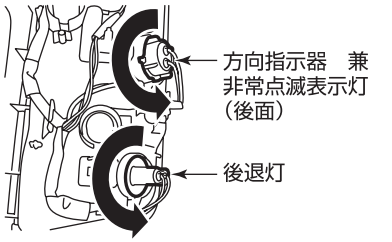
- 無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

③お手持ちの工具でボルトを外してリヤコンビランプを車両後方に引いて外します。



ZCE0476

④交換したいバルブのソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



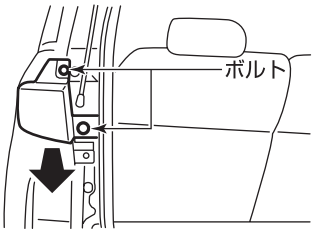
ZCE0477

⑤取り外したときと逆の手順で取り付けます。

尾灯（外側）

①方向指示器 兼 非常点滅表示灯（後面）の①～②の作業（P.379）を行います。

②お手持ちの工具でボルトを外し、尾灯ランプを車両後方に引いて取り外します。

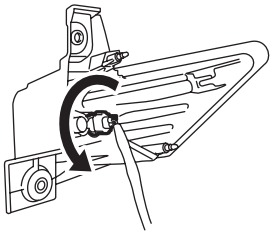


ZCE0478

アドバイス

- 無理に力を加えないでください。破損するおそれがあります。

③ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



ZCE0479

④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

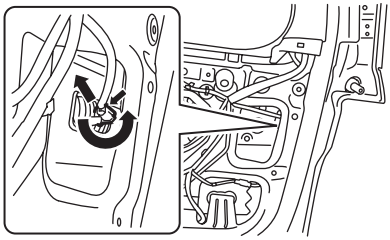
尾灯（内側）

①バックドアを開けます。

②バックドアフィニッシャーインナーを外します。

バックドアフィニッシャーインナーの外しかた…P.376

③コネクターを外してからソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



ZCE0488

④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

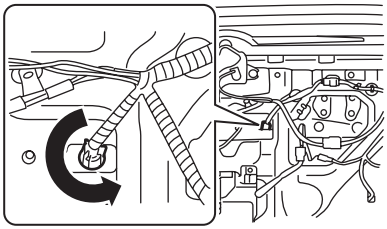
番号灯

①バックドアを開けます。

②バックドアフィニッシャーインナーを外します。

バックドアフィニッシャーインナーの外しかた…P.376

③ソケットを反時計回りに回して引き抜き、バルブを交換します。



ZCE0489

④取り外したときと逆の手順で取り付けます。

事故がおきたときは

あわてずに次の処置をしてください。

1 続発事故の防止

他の交通の妨げにならないような安全な場所に車を移動させ、エンジンを止めます。

2 負傷者の救護

負傷者がいる場合は、医師・救急車が到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

3 警察への届け出

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを連絡します。

4 相手方の確認とメモ

相手方の氏名、住所、電話番号などを確認してメモします。
同時に事故状況もメモしておいてください。

5 販売会社と保険会社への連絡

ご購入された販売会社と加入の保険会社へ連絡をします。

サービスデータ

■点検・整備について

メンテナンスノートに、点検・整備及び保証の内容について記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

- 点検・整備の実施、記録、保存は法律で義務づけられています。
- 点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

■点検値

項目		点検値	
オルタネーター・ウオーターポンプ・エアコンコンプレッサーベルト		QR25DE	調整不要※
オルタネーター・エアコンコンプレッサーベルト		VQ35DE	調整不要※
ブレーキペダル	遊び	3～11mm	
	床板とのすき間 約490N（約50kg）で踏んだとき	115mm以上	
パーキングブレーキ	踏みしろ 約196N（約20kg）で操作したとき	5～6ノッチ	

※ベルトオートテンショナー（自動張力調整機構）を採用しており、ベルト張力調整は不要です。詳しくは、日産販売会社にご相談ください。

■交換油脂類

お車の性能を適正に保つため、弊社指定銘柄のご使用をおすすめします。指定銘柄以外をお使いになる場合、指定銘柄に相当する品質のものをお使いください。

下記は、おおよその規定量です。実際の量は、わずかに異なることがあります。交換時期についてはメンテナンスノートをお読みください。

●エンジンオイル

適　用	指定銘柄	規定量（ℓ）	
		オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換
QR25DE	日産純正SNストロングセーブ・X　0W−20 （API：SN、SAE：0W−20）	4.3	4.6
VQ35DE	日産純正SNストロングセーブ・X Eスペシャル　5W−30 （API：SN、SAE：5W−30）		

〈指定銘柄以外のエンジンオイルについて〉

指定銘柄以外をお使いになる場合は、下記に適合したエンジンオイルをお使いください。

グレード：

API規格SN をお使いください。

ILSACマークのついたものをおすすめします。



APIマーク



ILSACマーク

ZTI0060

粘度（SAE規格）：

下記粘度（SAE規格）のものをご使用ください。

QR25DE：0W-20、VQ35DE：5W-30

●CVTフルード

適用		指定銘柄	規定量(ℓ)
QR25DE	2WD	日産純正CVTフルードNS-3 ※	7.3
	4WD		8.3
VQ35DE	2WD		10.2
	4WD		

※CVTフルードは、専用のCVTフルードNS-3を必ずご使用ください。それ以外のフルードを使用すると、CVTが破損するおそれがあります。

●リヤデファレンシャルオイル

適用	指定銘柄	規定量(ℓ)
4WD	日産純正デフオイルハイポイドスーパー（API：GL−5、SAE：80W−90）	0.55

●トランスファーオイル

適用		指定銘柄	規定量(ℓ)
4WD	QR25DE	日産純正デフオイルハイポイドスーパー（API：GL−5、SAE：80W−90）	0.36
	VQ35DE		0.31

●パワーステアリングフルード

適用	指定銘柄	規定量(ℓ)
全車	日産純正パワーステアリングフルードE-PSF ※	1.0

※パワーステアリングフルードは、電動パワーステアリング専用のパワーステアリングフルードE-PSFを必ずご使用ください。それ以外のフルードを使用すると、操舵力が著しく重くなる場合があります。

●ブレーキフルード

適用	指定銘柄
全車	日産純正ブレーキフルード No.2500（DOT3）

●冷却水

適用		指定銘柄	規定量(ℓ)
QR25DE	2WD	日産純正スーパーロングライフクーラント	10.1 ※
	4WD		9.8 ※
VQ35DE			11.0 ※

※リザーバータンクのMAXレベル容量（0.75ℓ）を含みます。

●ウォッシャー液

適用	指定銘柄	規定量(ℓ)
全車	日産純正ウインドウォッシャー液 ※	4.5

※外気温に応じて濃度を調節してください。

■電球（バルブ）の容量

電球（バルブ）			容量（V−W）	バルブタイプ
前照灯（ヘッドランプ）	ハイビーム		LED ※	−
	ロービーム		LED ※	−
前部霧灯（フォグランプ）			12−55	H11
車幅灯			LED ※	−
番号灯			12−5	W5W
尾灯		外側	12−5	W5W
		内側	12−5	W5W
制動灯			LED ※	−
ハイマウントストップランプ			LED ※	−
後退灯			12−16	W16W
方向指示器 兼 非常点滅表示灯		前面	12−21（アンバー）	WY21W
		側面	LED ※	−
		後面	12−21（アンバー）	WY21W

※：電球（バルブ）単体の交換はできません。

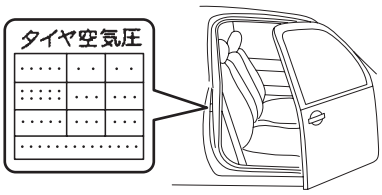
■タイヤ・ロードホイールサイズ

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D.	インセット
225/55R18	18×7½J	114.3mm（5穴）	55mm

■タイヤ空気圧　kPa（kgf/cm²）

タイヤサイズ	空気圧	
	前輪	後輪
225/55R18	240（2.4）	240（2.4）

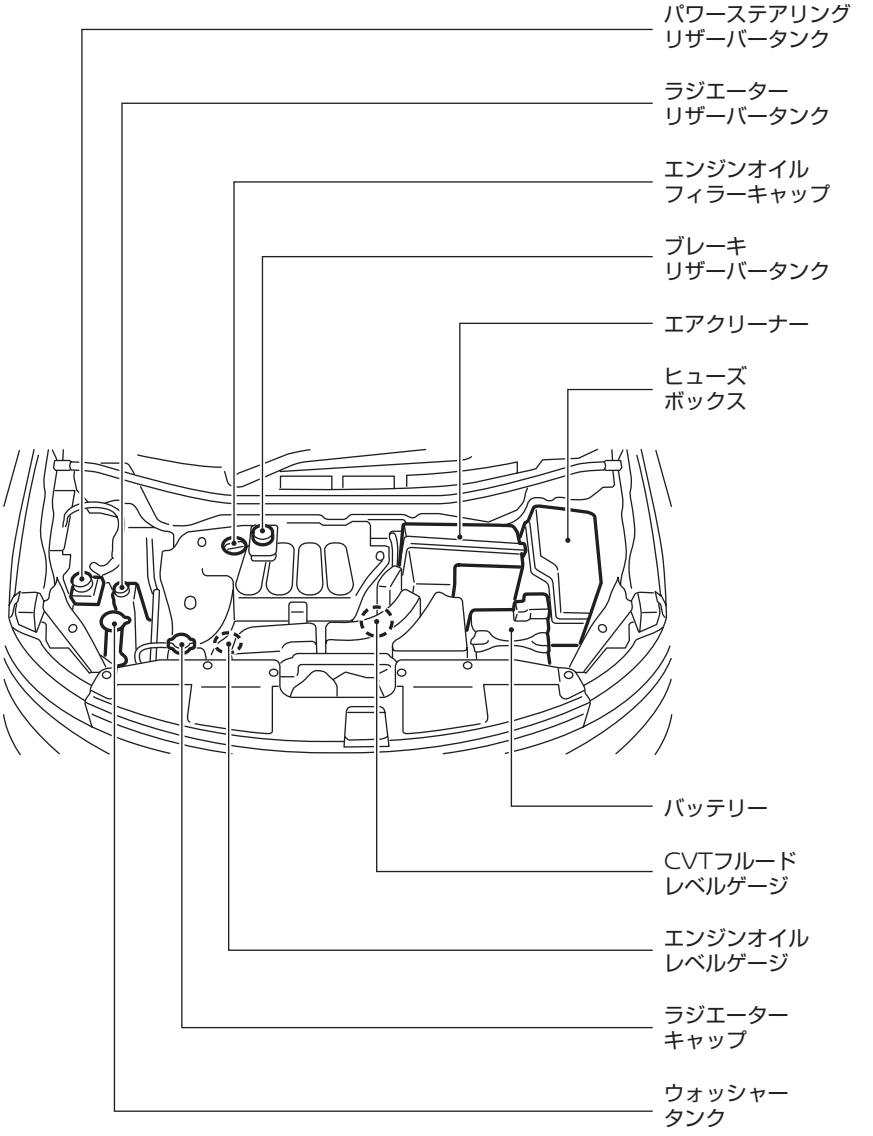
タイヤの指定空気圧は運転席ドアの開口部に表示してありますので、確認してください。



TCE0005Z

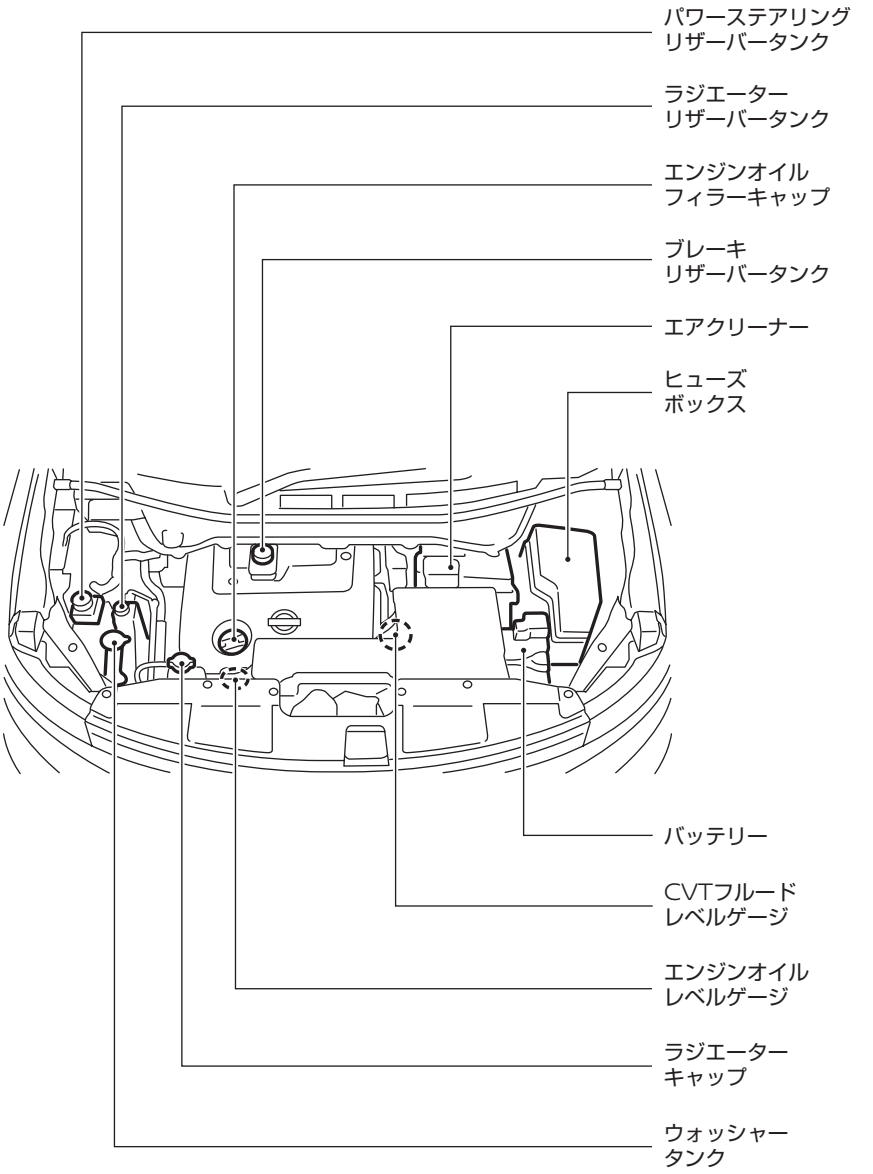
■エンジンルーム内配置図

QR25DEエンジン搭載車



ZTI0078

VQ35DEエンジン搭載車



■五十音さくいん

※太字は、万一のときや困ったときについての項目です。

ア

アームレスト
フロントシート…… 72
セカンドシート…… 80
サードシート…… 85
ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーについて …… 102
アウターミラー（ドアミラー）…… 86
アクティブAFS
アクティブAFSについて …… 167
AFS警告灯 …… 160
AFS警告 …… 122
アクティブヘッドレスト…… 72
アシストグリップ…… 321
アダプティブシフトコントロール…… 185
アドバンスドドライブアシストディスプレイ …… 112
アラーム（インテリジェントキー）… 161
アラーム（警報装置）…… 165
アラーム表示…… 136
アルミロードホイールのお手入れ…… 335
アンチロックブレーキシステム→エ：ABS
アンテナ…… 293

イ

一時停止標識検知…… 272
イモビライザー→エンジンイモビライザー
イルミネーションコントロール…… 112
インテリジェント アラウンドビューモニター（移動物 検知機能付） …… 295
インテリジェント アラウンドビューモニターカメラ …… 267
インテリジェントエアコンシステムについて …… 283
インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）
インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）…… 229
インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）表示 …… 233
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）…… 247
インテリジェント FCW（前方衝突予測警報）表示 …… 248
インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）
インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）…… 222
インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）表示 …… 225
セーフティ・シールドスイッチ
……225、233
インテリジェント エマージェンシーブレーキ
インテリジェント エマージェンシーブレーキ …… 239
インテリジェント エマージェンシーブレーキOFF表示灯 …… 153
インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 …… 159
インテリジェント オートライトシステム（フロントワイパー連動、薄暮れ感知「おもいやりライト」機能付） …… 168
インテリジェントキー…… 28
インテリジェントキー持ち出し警告 …… 142
インテリジェントキー非作動時エンジン始動表示 …… 141
インテリジェントキー電池切れ表示 …… 141
キー…… 31
電池の交換…… 35
ドアの施錠・解錠…… 37
表示・警告…… 140
メカニカルキー機能…… 34
リモートコントロールエントリー機能 …… 33
インテリジェントキー［警報が鳴ったとき］ …… 161
インテリジェントキーが正常に作動しないとき …… 180

インテリジェント クルーズコントロール
インテリジェント クルーズ
コントロール …… 197
インテリジェント クルーズ
コントロール警告灯 …… 204
ステアリングスイッチ…… 203
定速制御機能…… 215
インナーミラー（ルームミラー）…… 88

ウ

ウインカー →ホ：方向指示器
ウインドーガラス
（パワーウインドー）…… 60
ウォーニング（警告灯）…… 154
ウォッシャー
ウォッシャー液（規定量）…… 385
ウォッシャー液の補給…… 338
寒冷時の取り扱い…… 328
スイッチ…… 174
動かないときは…… 355
動けなくなったときは…… 359
運転席アンダーポケット…… 315
運転のしかた…… 177

エ

エアコン
エアコンについて…… 278
インテリジェントエアコンシステムに
ついて …… 283
エアコンフィルター…… 284
オートエアコン（前席用）…… 285
オートエアコン（後席用）…… 289
エアバッグ
SRSエアバッグ …… 103
SRSエアバッグ警告灯 …… 158
AFS→アクティブAFS
ABS
ABS …… 276
ABS警告灯 …… 156
ECOモード
ECOモードインジケーター …… 153
ECOモードスイッチ …… 220
FCW→セ：前方衝突予測警報（FCW）
LLC（冷却水）
寒冷時の取り扱い…… 328
タンク容量…… 385
LDW（車線逸脱警報）→シ：車線逸脱警報
（LDW）
エンジンイモビライザー（盗難防止装置）
エンジンイモビライザー…… 35
表示灯（セキュリティー
インジケーター）…… 152
エンジンオイル
寒冷時の取り扱い…… 328
規定量…… 384
エンジンが始動しないときは…… 345
エンジン始動操作表示…… 140
エンジンスイッチ（プッシュエンジン
スターター）…… 177
エンジンの始動・停止のしかた…… 178
エンジンフード…… 59
エンジンルームから蒸気が出ているとき
…… 370
エンジンルーム内配置図
QR25DEエンジン搭載車 …… 387
VQ35DEエンジン搭載車 …… 388
エンストして始動ができなくなったとき
…… 360

オ

オイル…… 384
オーディオについて…… 293
オートエアコン（前席用）…… 285
オートエアコン（後席用）…… 289
オートクロージャー
スライドドア…… 43
バックドア…… 52
オートスライドドア…… 44
オートドアメインスイッチ…… 45、55
オートバックドア…… 54
オートマチック車の運転のしかた…… 186
オートレベライザー
（ヘッドランプ）…… 166
オーバーヒートしたときは…… 370
ALL MODE 4×4 …… 192

オットマン機構
助手席…… 73
セカンドシート…… 81
オドメーター…… 111

カ
外気温計…… 113
外装のお手入れ…… 333
カギ…… 31
各種警告機能について…… 349
ガソリン（使用燃料、燃料補給口、タンク容量）…… 63
カップホルダー…… 312
カップホルダー付シートサイドテーブル …… 317
ガラスのお手入れ（バックドアガラス、リヤサイドウインドー）…… 337
寒冷時の取り扱い…… 328
寒冷地用ワイパーブレードの装着…… 329

キ
キー…… 31
キーID警告 …… 123
キーシステム警告…… 122
キー連動室内照明システム…… 310
キックダウン…… 20

ク
空気圧（タイヤ）…… 386
駆動モード切り替えスイッチ…… 192
駆動モード表示灯（AUTO）…… 152
駆動モード表示灯（LOCK）…… 152
くもりが取れないときは…… 354
くもり取り
デフロスター…… 288
リヤウインドーデフォッガースイッチ …… 176
クラクション（ホーンスイッチ）…… 176
クリアランスランプ→シ：車幅灯
クリープ現象…… 20
クリーンフィルター…… 284
車のお手入れ…… 333
グローブボックス…… 314

ケ
警告（アドバンスドドライブアシストディスプレイ）…… 118
警告灯…… 154
警報ブザー音別一覧表（インテリジェントキー）…… 164
警報装置…… 165
けん引について…… 356

コ
工具（格納場所）…… 361
高性能フィルター…… 284
後席シート
セカンドシート…… 78
サードシート…… 82
後席用エアコン…… 289
後側方車両検知警報（BSW）…… 228
後側方衝突防止支援システム（インテリジェント BSI）…… 229
後退時車両検知警報（RCTA）…… 268
航続可能距離…… 116
後退灯
電球（バルブ）の交換 …… 375
電球（バルブ）の容量…… 386
故障警告灯（MIL）…… 155
故障したときは…… 359
コミュニケーションミラー…… 311
コンソール…… 316

サ
サードシート…… 82
サービスデータ…… 383
最高速度標識検知…… 273
最高速度標識表示…… 273
サイドアンダーミラー…… 89
サイドミラー（ドアミラー）…… 86
サイドレーダー…… 238
サンバイザー…… 308
サンルーフ…… 64

シ
シート
お手入れ…… 336

フロントシート…… 69
セカンドシート…… 78
サードシート…… 82
シートサイドテーブル…… 317
シートバックフック…… 320
シートヒーター…… 74
シートベルト
シートベルト警告灯…… 158
シートベルトの着用のしかた…… 90
シートベルト非着用警報（シートベルトリマインダー）…… 165
前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト …… 97
事故がおきたときは…… 382
室内照明…… 308
シフトロック解除ボタン…… 184
シフトロックシステム…… 21
車載工具…… 361
車線逸脱警報（LDW）
車線逸脱警報（LDW）…… 221
車線逸脱警報（LDW）表示 …… 225
車線逸脱防止支援システム（インテリジェント LI）
車線逸脱防止支援システム（インテリジェント LI）…… 222
車線逸脱防止支援システム（インテリジェント LI）スイッチ… 225
車線逸脱防止支援システム（インテリジェント LI）表示 …… 225
ジャッキアップのしかた…… 362
車幅灯
電球（バルブ）の交換 …… 375
電球（バルブ）の容量…… 386
充電警告灯…… 155
進入禁止標識検知…… 272

ス

水温計…… 111
水温計がオーバーヒートの範囲を示したとき …… 370
スイッチの使いかた…… 166
水没したときは…… 371
ステアリングスイッチ
インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）…… 225
インテリジェント BSI（後側方衝突防止支援システム）…… 229
インテリジェント クルーズコントロール …… 203
オーディオ…… 293
ステアリング（ハンドル）…… 68
ステアリングロック（ハンドルロック）未解除表示 …… 140
ハンドルがロックしエンジンの始動ができないときは …… 348
スピードメーター…… 110
スモールランプ→シ：車幅灯
スライド（シート前後位置調節）
フロントシート…… 69、70
セカンドシート…… 78
サードシート…… 82

セ

制動灯
電球（バルブ）の容量…… 386
セカンドシート…… 78
セキュリティーインジケーター…… 152
セレクトレバー
セレクトレバーの使いかた…… 182
マニュアルモード…… 183
セレクトレバーをPから動かせないとき …… 355
洗車のしかた…… 333
前照灯→ヘッドランプ
前席シート…… 69
前席ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト …… 97
センターコンソール…… 316
前方衝突予測警報（インテリジェント FCW） …… 247
前方進入禁止有り（警告メッセージ）… 126

ソ

走行時間表示、走行距離表示…… 116
走行するとブザーが鳴る
シートベルト非着用警報…… 165

パーキングブレーキ戻し忘れ警報 165
走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする（ブレーキパッド摩耗警報） 165
走行中にブレーキを踏んだとき、ペダルが振動する（ABS） …… 276
速度計（スピードメーター）…… 110
ソナー
ソナー、カメラの取り扱い…… 267
ソナー機能について…… 146
ソナー表示…… 145

タ

ターンシグナル→ホ：方向指示器
タイヤ
アルミロードホイールのお手入れ… 335
空気圧…… 386
空気圧の点検…… 341
タイヤチェーンについて…… 332
タイヤの位置交換（ローテーション）…… 340
タイヤ・ロードホイールサイズ…… 386
タイヤ・ロードホイールを交換するとき …… 342
タイヤ応急修理のしかた（パンクしたとき）…… 365
タイヤサイズ警告…… 122
タイヤ応急修理キットについて…… 365
タコメーター…… 110

チ

チャージランプ（充電警告灯）…… 155
チャイルドシート
チャイルドシートについて…… 98
チャイルドシート適合表…… 100
ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーについて …… 102
チャイルドセーフティドアロック…… 43
チルト・テレスコピックステアリング …… 68

テ

ディスプレイ（アドバンスドドライブアシストディスプレイ）…… 112
テールランプ→ヒ：尾灯
テールランプ表示灯…… 151
デフロスター…… 288
電球（バルブ）の容量…… 386
電球（バルブ）を交換するときは…… 375
電源ポジションOFF忘れ警告 …… 144
点検・整備について…… 383
電源ソケット…… 318
電池の交換…… 35
電動格納式ドアミラー…… 86
電動ポンプ式油圧パワーステアリング警告灯 …… 157
テンプメーター（水温計）…… 111

ト

ドア開き警告…… 118
ドア…… 37
前席ドア…… 38
スライドドア…… 40
ドアが開かないときは…… 344
ドアミラー…… 86
ドアロックスイッチ…… 40
ドアを室内から開けられないとき（チャイルドセーフティドアロック）… 43
盗難防止装置…… 35
時計…… 113
ドライブコンピューター表示…… 114
ドライブ情報表示…… 116
トリップメーター…… 111

ナ

内装のお手入れ…… 336
ナンバー灯→ハ：番号灯

ネ

燃費情報表示…… 116
燃料
燃料…… 63
燃料計…… 111
燃料残量警告…… 119
燃料タンク容量…… 63
燃料補給口…… 63

ハ

パーキング（駐車）ブレーキ…… 181
パーキングブレーキ戻し忘れ警告…… 119
パーキングブレーキ戻し忘れ警報…… 165
パーソナルドライビングポジション
メモリーシステム …… 75
パーソナルランプ…… 309
ハイビームアシスト…… 170
ハイビームアシスト表示灯…… 153
ハイマウントストップランプ
電球（バルブ）の容量…… 386
ハザード→ヒ：非常点滅表示灯
挟み込み防止機構
ツインサンルーフ…… 66
パワーウインドー…… 62
発炎筒の使いかた…… 359
バックドア…… 49
バックドアが開けられなくなったとき
…… 52
バックミラー（ルームミラー）…… 88
バックランプ→コ：後退灯
バッテリーがあがったときは…… 346
バッテリーセーバー
室内照明…… 308
ヘッドランプ…… 166
パッド摩耗警報…… 165
バニティミラー…… 308
バルブを交換するときは…… 375
パワーウインドー…… 60
パワーウインドー
［正常に作動しないとき］ …… 62
パワーシート…… 70
パンクしたときは…… 365
番号灯
電球（バルブ）の交換 …… 375
電球（バルブ）の容量…… 386
ハンドル（ステアリング）…… 68
ハンドルロック（ステアリングロック）
未解除表示 …… 140
ハンドルがロックしエンジンの
始動ができないときは …… 348

ヒ

ヒーターシート…… 74
ヒーター付ドアミラー…… 87
BSI→後側方衝突防止支援システム
BSW→後側方車両検知警報
非常点滅表示灯
スイッチ…… 173
電球（バルブ）の交換…… 375
電球（バルブ）の容量…… 386
尾灯（テールランプ）
電球（バルブ）の交換 …… 375
電球（バルブ）の容量…… 386
ヒューズを点検・交換するときは…… 373
標識検知機能
一時停止標識検知…… 272
最高速度標識検知…… 273
進入禁止標識検知…… 272
標識検知機能…… 272
表示灯…… 150

フ

VDC
VDC …… 195
VDC OFF表示灯…… 152
VDC警告灯 …… 159
ブースターケーブルのつなぎかた…… 346
フード（エンジンフード）…… 59
ブザー
インテリジェントキー関連…… 161
シートベルト非着用警報…… 165
パーキングブレーキ戻し忘れ警報… 165
踏み間違い衝突防止アシスト
踏み間違い衝突防止アシスト…… 251
インテリジェント エマージェンシーブ
レーキOFF表示灯 …… 153
インテリジェント エマージェンシーブ
レーキ警告灯 …… 159
低速加速抑制機能…… 260
低速衝突軽減ブレーキ機能…… 261
フューエルフィラーリッド
（燃料補給口）…… 63
フューエルメーター（燃料計）…… 111

フォグランプ
スイッチ…… 172
電球（バルブ）の交換…… 375
電球（バルブ）の容量…… 386
表示灯…… 151
プラズマクラスターイオン®フルオート
エアコン …… 283
フルオートエアコン…… 285
ブレーキ警告灯…… 155
ブレーキパッド摩耗警報…… 165
ブレーキペダルを踏むと音がする…… 24
ブレーキランプ→セ：制動灯
フロアカーペット…… 324
フロントセンターコンソール…… 316
フロントシート…… 69

へ

平均車速表示…… 116
ヘッドランプ
インテリジェント オートライトシステム
（フロントワイパー連動、薄暮れ感知
「おもいやりライト」機能付）…… 168
オートレベライザー…… 166
自動点灯ランプの消灯のしかた
（車両停車時）…… 168
電球（バルブ）の交換…… 375
電球（バルブ）の容量…… 386
ヘッドランプ上向き表示灯…… 151
ヘッドランプ警告…… 123
ヘッドランプ消し忘れ警報…… 165
ライトスイッチ…… 166
ヘッドレスト
フロントシート…… 71
セカンドシート…… 79
サードシート…… 85

ホ

ホイールサイズ…… 386
ホイールナットレンチ…… 361
防眩式ルームミラー…… 88
方向指示器
スイッチ…… 173
電球（バルブ）の交換 …… 375
電球（バルブ）の容量…… 386
方向指示表示灯…… 150
防犯装置
エンジンイモビライザー
（盗難防止装置）…… 35
セキュリティーインジケーター…… 152
ホーンスイッチ…… 176
ポジションインジケーター…… 151
ポジションランプ→シ：車幅灯
ボトルホルダー…… 312
ボンネット（エンジンフード）…… 59

マ

マスターウォーニング…… 160
マップランプ…… 308
マニュアルシート…… 69
マニュアルモード…… 183

ミ

ミラー
コミュニケーションミラー…… 311
ドアミラー…… 86
サイドアンダーミラー…… 89
バニティミラー…… 308
ルームミラー…… 88

メ

メーター…… 110
メンテナンス設定…… 134
メンテナンスデータ
（サービスデータ）…… 383

ユ

油圧警告…… 120
雪道を走行するとき…… 330

ヨ

4WD警告 …… 121
4WD高油温警告 …… 121
4WD（4輪駆動）車の扱いかた …… 190

ラ

ライトスイッチ…… 166

ライト類が点灯しないとき（バルブの交換）…… 375
ラゲッジアンダーボックス…… 321
ラゲッジフック…… 321
ラゲッジルーム…… 322
ランプ（室内照明）
　マップランプ…… 308
　パーソナルランプ…… 309
　ラゲッジルームランプ…… 310
ランプのレンズ内面がくもる…… 24

リ

リクエストスイッチ
　ドア…… 38
　バックドア…… 49
リクライニング（背もたれの角度調節）
　フロントシート…… 69、70
　セカンドシート…… 78
　サードシート…… 82
リッド付ポケット…… 315
リバースブザー…… 165
リフター（シートの上下調節）… 69、70
リモコンオートバックドア…… 54
リヤウインドーデフォッガースイッチ（バックドアガラスのくもり取り）… 176
リヤコンビランプ→ヒ：尾灯
リヤシート
　セカンドシート…… 78
　サードシート…… 82
リヤワイパー…… 175

ル

ルームミラー…… 88
ルームランプ（室内照明）…… 308

レ

冷却水
　寒冷時の取り扱い…… 328
　冷却水（規定量）…… 385
レーダーセンサー…… 238
レバー（セレクトレバー）…… 182

ロ

ロードホイールサイズ…… 386
ロードホイールを交換するとき…… 342
ロードリミッター付プリテンショナー シートベルト …… 97
ロールサンシェード…… 320
路上で故障したときは…… 359

ワ

ワイパー
　寒冷時の取り扱い…… 329
　スイッチ…… 174
ワイパーの交換…… 338
ワックスをかけるとき…… 334
ワンタッチオートスライドドア…… 44

■アルファベットさくいん

A

ABS（アンチロックブレーキシステム）…… 276
ABS警告灯 …… 156
AFS（アクティブAFS）…… 167
AFS警告灯 …… 160
A/C（エアコン）…… 278
ALL MODE 4×4 …… 192

B

BSI（後側方衝突防止支援システム）… 229
BSW（後側方車両検知警報）…… 228

C

CVT（セレクトレバー）…… 182
CVT警告 …… 123

E

ECOモード …… 220
ECOモードインジケーター …… 153
ELR（緊急固定）付3点式シートベルト …… 93、94

F

FCW（前方衝突予測警報）…… 247

I

INT（ワイパー） …… 174
ISO FIX対応チャイルドシート固定専用アンカーについて …… 102

L

LDW（車線逸脱警報）
LDW（車線逸脱警報）…… 221
LDW（車線逸脱警報）表示 …… 225

M

MIL（故障）警告灯…… 155
MIST（ワイパー） …… 174

O

ODOメーター …… 111

R

RCTA（後退時車両検知警報） …… 268

S

SRSエアバッグ …… 103
SRSエアバッグ警告灯 …… 158

T

TRIP（トリップメーター）…… 111

U

USB電源ソケット …… 319

V

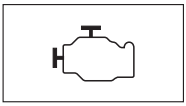
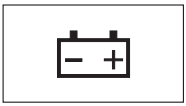
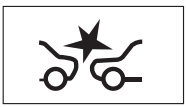
VDC …… 195
VDC OFF表示灯…… 152
VDC警告灯 …… 159

W

W数（電球の容量）…… 386

■警告灯・警告表示さくいん

警告灯、または警告表示が出たら、すみやかに適切な処置をしてください。
下記は警告灯及び警告表示のみ記載しています。
その他の表示については表示灯（P.150）、アドバンスドドライブアシストディスプレイ（P.112）をお読みください。

メーター内警告灯			
	故障警告灯（MIL） P.155		SRSエアバッグ警告灯 P.158
	充電警告灯 P.155		VDC警告灯 P.159
	ブレーキ警告灯 P.155		インテリジェント エマージェンシーブレーキ警告灯 P.159
	ABS警告灯 P.156		AFS警告灯 P.160
	電動ポンプ式油圧パワーステアリング警告灯 P.157		マスターウォーニング P.160
	シートベルト警告灯 P.158		

メーター内アドバンスドドライブアシストディスプレイ

インテリジェントキー持ち出し警告 P.118  キーが 見つかりません	油圧警告 P.120  油圧低下 車両を安全なところに 止めてください
ドア開き警告 P.118 	4WD警告 P.121 **4WD** 4WDシステム異常 取扱説明書を見てください
パーキングブレーキ戻し忘れ警告 P.119 パーキングブレーキを 解除してください	4WD高油温警告 P.121 **4WD** 4WDシステム高油温 車両を安全なところに 止めてください
燃料残量警告 P.119 航続可能距離 **000** km	タイヤサイズ警告 P.122 **4WD** タイヤサイズ異常 取扱説明書を見てください
踏み間違い衝突防止アシスト作動警告 P.120  踏み間違い 衝突防止アシストが 作動しました。	キーシステム警告 P.122  キーシステム故障 取扱説明書を見てください

メーター内アドバンスドドライブアシストディスプレイ	
AFS警告 P.122 AFSシステム異常 取扱説明書を見てください	システム故障警告B P.124 作動範囲外のため 現在使用できません
ヘッドランプ警告 P.123 ヘッドランプ システム異常 取扱説明書を見てください	システム故障警告C P.125 車線認識カメラ・ その周辺が高温のため 使用できません
CVT警告 P.123 CVT故障 取扱説明書を見てください	フロントレーダーシステム停止警告 P.126 フロントレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください
キーID警告 P.123  キーIDが 正しくありません	サイドレーダーシステム停止警告 P.126 サイドレーダー及び その周辺が汚れています 拭いてください
システム故障警告A P.124 システム故障 取扱説明書を見てください	進入禁止標識検知表示 P.126  前方進入禁止有り

メーター内アドバンスドドライブアシストディスプレイ

一時停止標識検知表示 P.127  この先、一旦停止	P戻し忘れ警告 P.143  Pレンジに 入れてください
最高速度標識検知表示 P.127 速度標識表示  	電源ポジションOFF忘れ警告 P.144  パワースイッチを 押してください
ソナーシステム異常警告 P.127 ソナー故障 取扱説明書を見てください	ヘッドランプ消し忘れ警告 P.144  ライト消灯して ください
インテリジェントキー持ち出し警告 P.142  キーが 見つかりません	